

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	耐震建物 11 R3
提出年月日	令和 3 年 <u>8</u> 月 <u>31</u> 日

## 設工認に係る補足説明資料

### 地震応答計算書に関する

### 地震応答解析における材料物性のばらつき

### に関する検討

注記：文中の下線部は R2 から R3 への変更箇所を示す。  
(応答解析結果については，地盤物性の変更に伴い全て差し替えたが，下線部を省略する)

## 目 次

	ページ
1. 目的及び概要 .....	1
1.1 目的 .....	1
1.2 概要 .....	1
2. 材料物性のばらつきの考え方 .....	3
2.1 建屋物性のばらつき .....	4
2.2 地盤物性のばらつき .....	9
3. 材料物性のばらつきを考慮した設計用地震力の設定 .....	10
3.1 設計用地震力の設定方法 .....	10
3.2 地盤物性のばらつきの設定 .....	13
4. 材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果の概要 .....	14
5. まとめ .....	14

別紙 1 安全冷却水 B 冷却塔における材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果

別紙 2 燃料加工建屋における材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果

■ : 商業機密の観点から公開できない箇所

## 1. 目的及び概要

本資料は、再処理施設、廃棄物管理施設、MOX 燃料加工施設の設計基準対象施設及び再処理施設、MOX 燃料加工施設の重大事故等対処施設に対する、建物・構築物（本資料においては、建物及び屋外機械基礎とし、洞道、竜巻防護対策設備 及び 排気筒は含まない。\*）（以下、「建物・構築物」という。）の地震応答計算書を補足説明するものである。

### 1.1 目的

本資料では、耐震評価に用いる材料物性のばらつきを考慮した設計用地震力の設定方法について示すとともに、建物・構築物及び機器・配管系の設計用地震力の設定根拠となる、各建物・構築物の材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果を示すことで、材料物性のばらつきを適切に考慮した耐震評価が行われていることを説明する。

### 1.2 概要

地震応答解析に用いる材料定数については、添付書類「地震応答解析の基本方針」に基づき材料物性のばらつき等を適切に考慮することとしている。また、耐震評価についても、当該地震応答解析の結果に基づき地震荷重を設定することにより、材料物性のばらつきを適切に反映している。

本資料では、まず、地震応答解析結果に影響を及ぼす建物・構築物の剛性（コンクリート強度、補助壁）及び地盤物性（地盤のせん断波速度）のばらつきについて、ばらつきによる変化が建屋応答へ及ぼす影響を検討し、建物・構築物の耐震評価において考慮すべき要因を選定する。次に、当社事業所内の建物・構築物における共通の考え方として、耐震性評価に用いる材料物性のばらつきを考慮した設計用地震力の設定方法について示す。また、別紙では、建物・構築物及び機器・配管系の設計用地震力の設定根拠となる、各建物・構築物の材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果を示す。

なお、材料物性のばらつきを考慮した機器・配管系の評価については、「耐震機電 11 地震応答解析における材料物性のばらつきに伴う影響評価について」に示す。

本資料の適用範囲は、再処理施設、廃棄物管理施設及び MOX 燃料加工施設の建物・構築物（建屋及び屋外機械基礎）に係る、添付書類「耐震性に関する計算書」のうち地震応答計算書及び「波及的影響をおよぼすおそれのある下位クラス施設の耐震性についての計算書」とする。

また、本資料は、今回設工認申請（令和 2 年 12 月 24 日申請）のうち、以下に示す添付書類の補足説明に該当するものである。

- ・再処理施設 添付書類「IV-2-1-1-1 安全冷却水 B 冷却塔の耐震性に関する計算書」のうち「a. 安全冷却水 B 冷却塔の地震応答計算書」
- ・MOX 燃料加工施設 添付書類「III-3-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」

※：本資料に示す内容において、適用範囲外とした施設についてはそれぞれの資料において説明を行う。また、本資料の引用で他の資料の説明に代える場合には、引用範囲を明らかに記すこととする。

## 2. 材料物性のばらつきの考え方

建物・構築物の動的地震力は、建物・構築物の地震応答解析（時刻歴応答解析法）により求められており、地盤物性、建屋物性、地盤のばね定数の算定及び減衰定数、地震動の位相特性などの影響を受ける。特に床応答スペクトルに影響を及ぼす要因は、建屋物性及び地盤物性であることが確認されている。<sup>1)</sup>

地震応答解析モデルの建物・構築物の剛性について、鉄筋コンクリート構造物においては、コンクリートの設計基準強度を用いて算出しているが、構造体コンクリートの強度が設計基準強度を上回るよう施工されるため、実構造物と地震応答解析モデルとで剛性が異なることが考えられる。なお、鉄骨構造物においては、鉄骨部材は品質管理された規格品であり、剛性及び耐力のばらつきは小さい。

また、地震応答解析モデルの設定に際して耐震壁として考慮していない壁（以下、「補助壁」という。）は剛性算定対象外としているが、実現象においては補助壁が剛性に寄与することが考えられる。

さらに、建物・構築物と地盤との相互作用を考慮したモデルによる地震応答解析において、地盤物性はボーリング調査孔のPS 検層及び湿潤密度試験結果に基づき設定していることから、それら試験結果のばらつきが建物・構築物の応答へ影響を及ぼすことが考えられる。

以上より、建物・構築物の剛性（以下、「建屋物性」という。）のばらつき要因としてはコンクリート強度及び補助壁が、地盤物性のばらつき要因としては地盤のせん断波速度が考えられる。

### 【参考文献】

- 1)：第 29 回耐震設計分科会資料 No. 29-4-5-7 「参考資料 4.7 鉛直方向の設計用床応答スペクトルの拡幅率」（(社) 日本電気協会（平成 20 年 1 月 18 日））

## 2.1 建屋物性のばらつき

建物・構築物のうち、鉄筋コンクリート造の耐震壁についての剛性は、補足説明資料「耐震建物 09 地震応答解析における耐震壁のせん断スケルトンカーブの設定」に示す設定方法により算定している。その剛性のばらつきについては、コンクリート強度を実強度とし、補助壁を剛性算定の対象に考慮することが考えられる。コンクリート強度を実強度とすることで、設計基準強度の場合よりも弾性係数が増加する。また、剛性を期待できる補助壁を剛性算定の対象に考慮することで、剛性が上昇する。

部材の発生応力については、コンクリート強度を実強度とし、補助壁を剛性算定の対象に考慮することにより、ばらつきを考慮しないケース（以下、「基本ケース」という。）に対して変化すると考えられるが、耐力については上昇する。また、2.1.1 節で後述するように、変位及びせん断ひずみ度については、剛性が上昇することから、基本ケースよりも小さくなると考えられる。

なお、鉄骨造の屋根トラスについては鉄筋コンクリート造の建屋剛性が上昇しても耐力は上昇しないが、当社事業所内における建物・構築物の鉄骨造の屋根トラス<sup>※</sup>については、先行発電炉のような S クラスに分類される二次格納施設を構成する部材には該当せず、波及的影響の観点から評価を実施しており、波及の許容限界に対しては十分な裕度を有していることから、施設の耐震安全性に及ぼす影響は軽微である。

よって、建物・構築物の耐震評価において、建屋物性のばらつきは考慮しないこととする。また、建屋物性のばらつきと後述する地盤物性のばらつきとの重畳についても、当社事業所内の建物・構築物は軟質岩盤に立地しているため、建屋物性のばらつきによる建屋応答への感度は地盤物性のばらつきによる感度に比べて小さいことから、東海第二発電所での審査実績を参考に、考慮しないこととする。

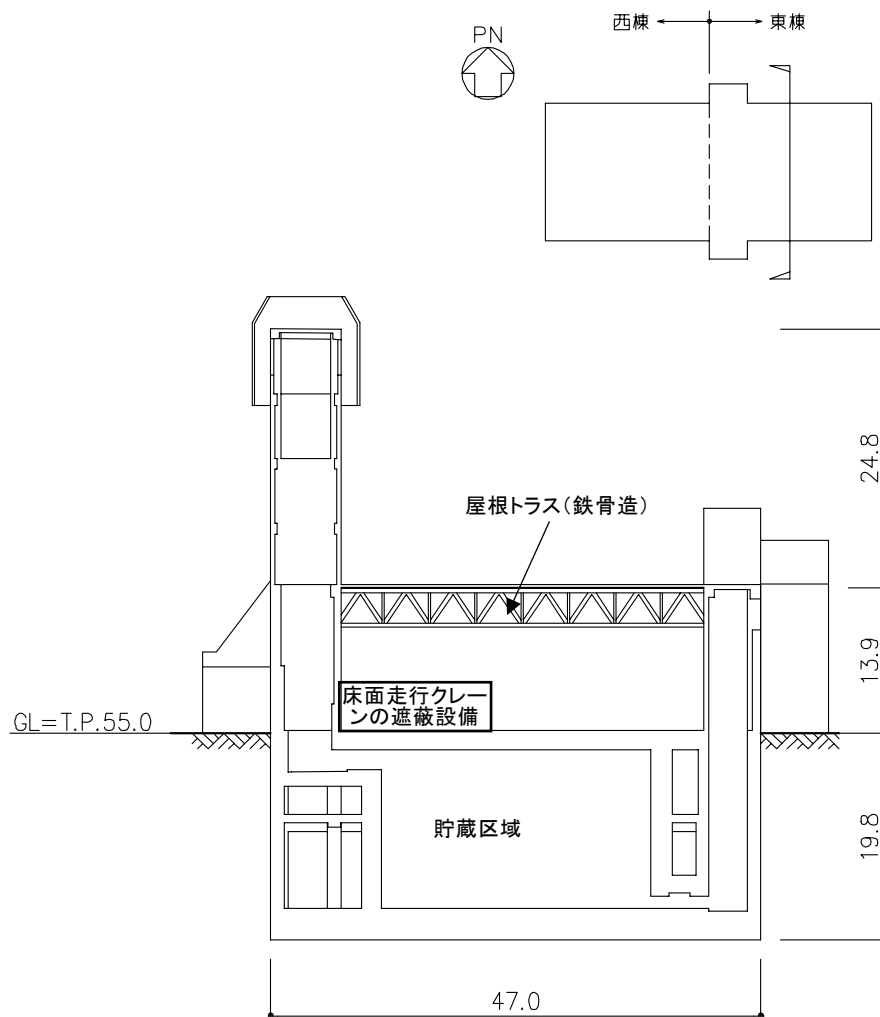
機器・配管系の評価における建屋物性のばらつきの取り扱いについては、「耐震機電 11 地震応答解析における材料物性のばらつきに伴う影響評価について」で示す。

なお、参考として、別紙の参考資料に、建屋物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果を示し、その際に用いるコンクリートの実強度の一覧及び補助壁の選定条件について、2.1.2 節に示す。検討用地震動は、基準地震動  $S_s$  のうち、卓越周期に著しい偏りがなく、継続時間が長い  $S_s$ -A を用いることとし、建屋物性のばらつきが建屋応答に与える影響についてその傾向を把握する。

※当社事業所内における建物・構築物の鉄骨造の屋根トラスについて

当社事業所内において鉄骨造の屋根トラスを有する建物・構築物としては、第1 ガラス固化体貯蔵建屋、ガラス固化体貯蔵建屋及びガラス固化体貯蔵建屋 B 棟が存在する。

第1 ガラス固化体貯蔵建屋の屋根トラスは、発電炉における二次格納バウンダリのような S クラス施設を支持する部材ではない。ただし、S クラス施設である貯蔵区域及び床面走行クレーンの遮蔽設備の上部に位置することから、屋根トラスの落下により波及的影響を及ぼさないことを確認している。ガラス固化体貯蔵建屋、ガラス固化体貯蔵建屋 B 棟も考え方は同様である。

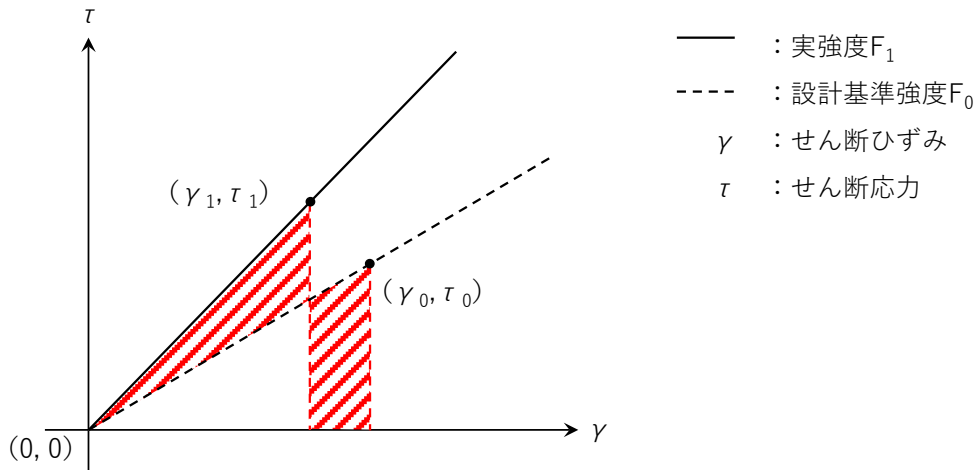


第 2.1-1 図 第 1 ガラス固化体貯蔵建屋の断面図 (NS 方向) (単位 : m)

### 2.1.1 コンクリート強度のばらつきによる影響の考察

コンクリート強度のばらつきによる建屋物性に及ぼす影響について、せん断力とせん断ひずみ度の関係に着目し考察を行う。

コンクリート強度について設計基準強度を用いた場合及び実強度を用いた場合の地震の入力エネルギーが同等であると仮定した場合（エネルギー一定則）の  $\tau - \gamma$  関係図を第 2.1.1-1 図に示す。



第 2.1.1-1 図  $\tau - \gamma$  関係図

建物・構築物への地震の入力エネルギーが同等であることから、以下の関係式が得られる。

$$\frac{1}{2} \cdot \tau_0 \cdot \gamma_1 = \frac{1}{2} \cdot \tau_0 \cdot \gamma_0$$

ここで、 $\tau = G \cdot \gamma$  より ( $G$ : せん断弾性係数)

$$G_1 \cdot \gamma_1^2 = G_0 \cdot \gamma_0^2$$

上式を  $\gamma_1$  について解くと、

$$\gamma_1 = \gamma_0 \sqrt{\frac{G_0}{G_1}} < \gamma_0 (G_0 < G_1) \quad \dots \text{①式}$$

$\tau_1 = G_1 \cdot \gamma_1$  より、

$$\tau_1 = G_1 \cdot \gamma_0 \sqrt{\frac{G_0}{G_1}} = \gamma_0 \cdot \sqrt{G_1 \times G_0} = G_0 \cdot \gamma_0 \sqrt{\frac{G_1}{G_0}} = \tau_0 \sqrt{\frac{G_1}{G_0}} > \tau_0 (G_0 < G_1) \quad \dots \text{②式}$$

$G = \frac{E}{2(1+\nu)}$  であることから ( $E$ : ヤング係数,  $\nu$ : ポアソン比),

$$\tau_1 = \tau_0 \sqrt{\frac{G_1}{G_0}} = \tau_0 \sqrt{\frac{E_1}{E_0}} \quad \dots \text{③式}$$



ここで、「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説-許容応力度設計法-（（社）日本建築学会，1999）（以下，「RC規準」という）」より

$$\frac{E_1}{E_0} = \frac{3.35 \times 10^4 \times \left(\frac{r}{24}\right)^2 \times \left(\frac{F_1}{60}\right)^{\frac{1}{3}}}{3.35 \times 10^4 \times \left(\frac{r}{24}\right)^2 \times \left(\frac{F_0}{60}\right)^{\frac{1}{3}}} = \frac{F_1^{\frac{1}{3}}}{F_0^{\frac{1}{3}}} = \left(\frac{F_1}{F_0}\right)^{\frac{1}{3}} \quad (r: \text{コンクリートの気乾単位体積重量})$$

すなわち，

$$\frac{E_1}{E_0} = \left(\frac{F_1}{F_0}\right)^{\frac{1}{3}} \quad \dots \text{④式}$$

③式に④式を代入し，

$$\tau_1 = \tau_0 \sqrt{\frac{E_1}{E_0}} = \tau_0 \sqrt{\left(\frac{F_1}{F_0}\right)^{\frac{1}{3}}} = \tau_0 \cdot \left(\frac{F_1}{F_0}\right)^{\frac{1}{6}}$$

したがって，

$$\frac{\tau_1}{\tau_0} = \left(\frac{F_1}{F_0}\right)^{\frac{1}{6}} < \frac{F_1}{F_0} \quad (F_0 < F_1) \quad \dots \text{⑤式}$$

①式より，コンクリート強度を実強度とした場合は，設計基準強度とした場合に比べてせん断ひずみ度は減少することを確認した。

また②式より，コンクリート強度を実強度にした場合は，設計基準強度とした場合に比べて応力は大きくなるが，⑤式より，その応力の増加率  $\tau_1/\tau_0$  は，コンクリート強度の増加率  $F_1/F_0$  に比べて小さいことを確認した。

## 2.1.2 建屋物性のばらつきの設定条件

### (1) コンクリートの実強度一覧

建屋物性のばらつきとして考慮するコンクリートの実強度については、経年変化に関する技術的な評価（以下、「PLM」という）による実強度値がある場合はその数値を設定し、PLMによる実強度値が無い場合は、既認可での使用前検査の実績であるコンクリートの圧縮強度試験結果の平均値\*とする。なお、新設建屋については、「原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準（(社)日本原子力学会，2015）」にコンクリート実強度の統計値として記載される、設計基準強度の1.4倍以上の値を用いることとする。

コンクリートのヤング係数は、コンクリート強度から「RC規準」に基づき算出する。

注記\*：燃料加工建屋のコンクリートの実強度は、建設中のため、使用前検査を受検済みである部分の基礎スラブ及び地下3階壁・柱等のコンクリートの圧縮強度試験結果等を踏まえ、設定する。

### (2) 補助壁の選定条件

建物・構築物の壁は、耐震壁・補助壁及びその他の壁に分類される。

耐震壁は、基礎版より立ち上がる主架構面上の連層壁で、建物・構築物の重量の他、建物・構築物に作用する外力を負担し、地震応答解析モデルを構成する壁である。補助壁は、東海第二発電所での審査実績を参考に、耐震壁以外の壁のうち、下記に示す選定条件を満たす壁とし、建屋物性のばらつきの検討として、建屋物性のばらつき幅が大きく取れるように設定する。なお、その他の壁は、耐震壁・補助壁に該当せず、剛性及び耐力を見込めないと考えられる壁である。

(補助壁の選定条件)

- ・耐震壁として考慮している最小の壁厚さ以上の壁（厚さ300mm以上の壁もしくは250mm以上の壁）
- ・質点の設定レベルにある上下階の床（中間床は含めない）をつなぐ壁

また、補助壁の剛性は、水平方向の地震応答解析モデルに対しては、せん断断面積を付加することにより考慮し、鉛直方向の地震応答解析モデルに対しては、軸断面積を付加することにより考慮する。

## 2.2 地盤物性のばらつき

地盤物性のばらつきについては、地盤のせん断波速度が変化することにより、地盤物性が変化する。これに対応して、建物・構築物への入力地震動の特性及び地盤ばねのばね定数が増減し、建物・構築物に考慮すべき設計用地震力も変化する。

したがって、建物・構築物の耐震評価において、設計用地震力に地盤物性のばらつきを考慮する。

なお、地盤物性のばらつきの詳細については、補足説明資料「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」で示し、地盤物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果については、別紙に示す。

### 3. 材料物性のばらつきを考慮した設計用地震力の設定

#### 3.1 設計用地震力の設定方法

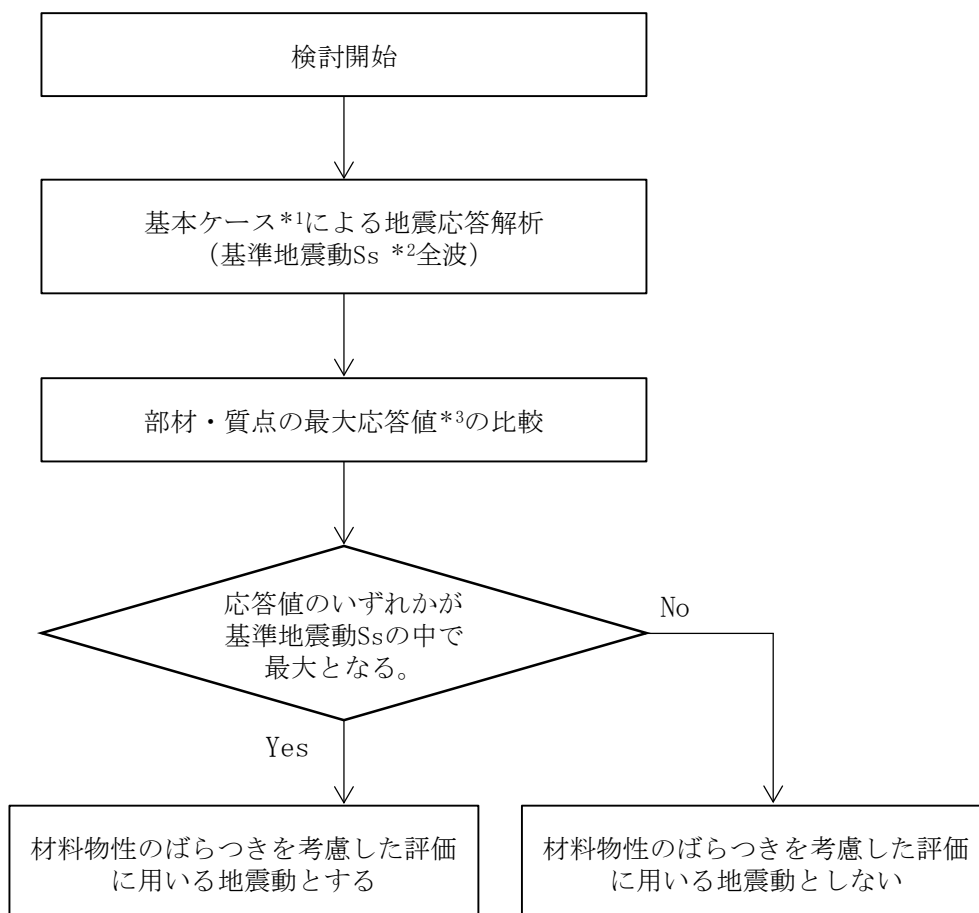
建物・構築物の設計用地震力は、「基本ケース」及び「材料物性のばらつきとして、地盤物性のばらつきを考慮したケース（以下、「材料物性のばらつきを考慮したケース」という）」の解析結果における包絡値を用いて設定する。

材料物性のばらつきを考慮したケースの質点系モデルによる地震応答解析は、基本ケースによる建物・構築物の応答を確認したうえで、応答への影響の大きい入力動に対して実施する。

材料物性のばらつきを考慮した検討に用いる地震動の選定方法を以下に示す。また、選定方法のフローを第 3. -1 図に示す。

- ①基本ケース（コンクリート強度：設計基準強度，補助壁：考慮せず，地盤のせん断波速度等：標準地盤，RC 造部の減衰定数：5%（燃料加工建屋の場合は 3%）による地震応答解析を行う。
- ②基本ケースによる地震応答解析結果より，部材及び質点の最大応答値の比較を行う。  
ここで用いる応答値は，基準地震動  $S_s$  及び弾性設計用地震動  $S_d$  の加速度，変位，せん断力（せん断ひずみ\*），曲げモーメント，軸力とする。
- ③応答値のいずれかが基準地震動  $S_s$  あるいは弾性設計用地震動  $S_d$  の中で最大となる地震動を，材料物性のばらつきを考慮した検討に用いる地震動とする。

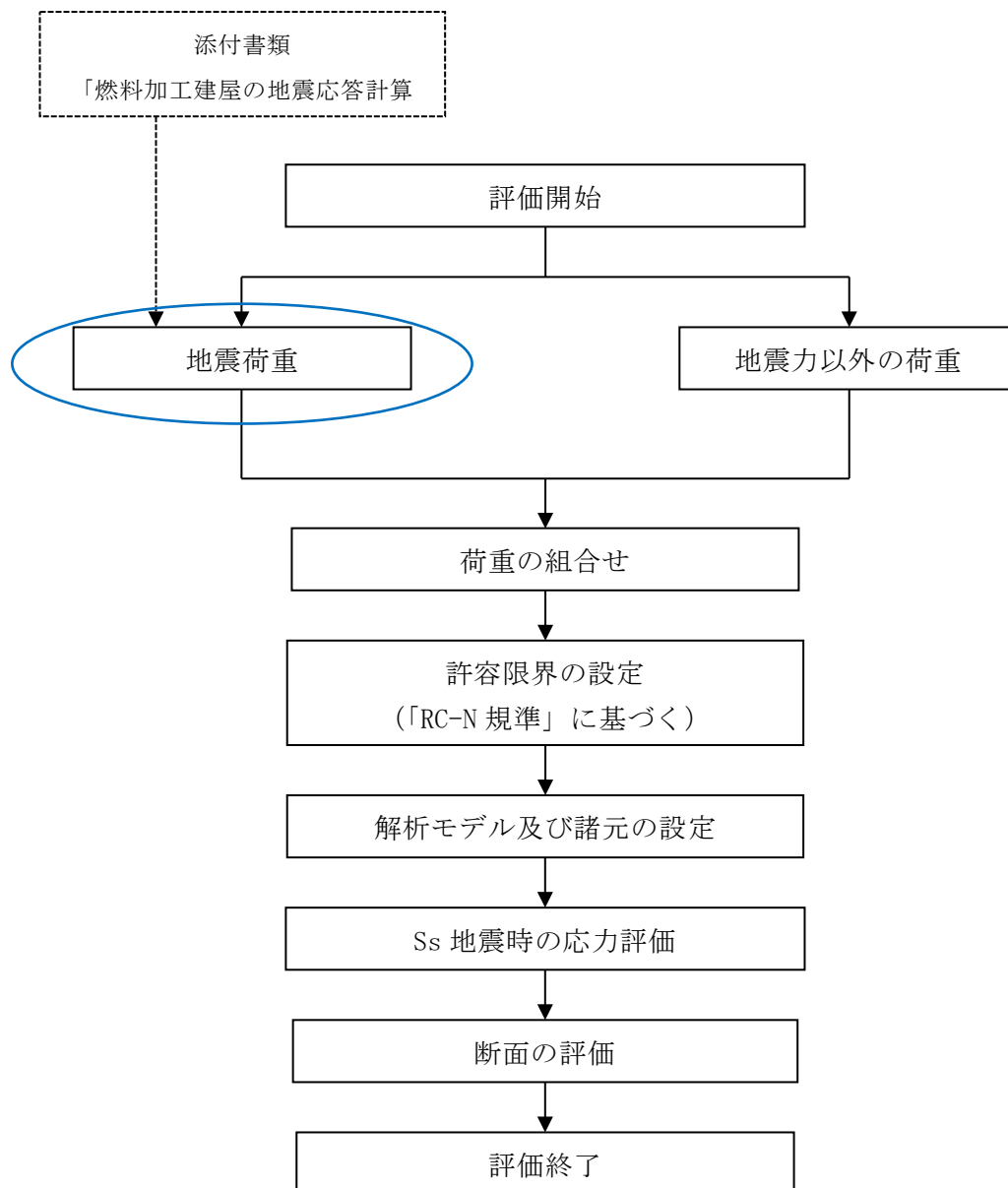
※：せん断力とせん断ひずみには相関性があり，それぞれが最大となる地震動は対応するため，代表してせん断力の最大応答値を確認することとする。




- ※1 コンクリート強度：設計基準強度，補助壁：考慮せず，地盤のせん断波速度：標準，地盤，RC 造部の減衰定数：5%（燃料加工建屋の場合は 3%）
- ※2 弾性設計用地震動 Sd によるばらつき検討に用いる地震動の選定の際は，「Ss」を「Sd」に読み替える。
- ※3 応答値は，基準地震動 Ss 及び弾性設計用地震動 Sd については，加速度，変位，せん断力（せん断ひずみ），曲げモーメント及び軸力とする。

第 3. -1 図 材料物性のばらつきを考慮した検討に用いる地震動の選定方法のフロー

材料物性のばらつきを地震荷重として考慮した建物・構築物の耐震性評価フローの例として燃料加工建屋の基礎スラブの応力解析による評価フローを第 3.1-1 図に示す。耐震性評価において、地震荷重は、質点系モデルによる地震応答解析により得られた最大応答値から算出し、解析モデルの各節点に配分することにより考慮している。質点系モデルによる地震応答解析により得られた最大応答値は、基本ケース及び材料物性のばらつきを考慮したケース（以下「検討ケース」という。）ごとに異なるため、保守的な評価として、各質点において、検討ケースごとに得られた応答値のうち最大の応答値から算出される地震荷重を採用することとする。



 : 地盤物性のばらつきを考慮する。

第 3.1-1 図 応力解析による評価フロー例（燃料加工建屋の基礎スラブ）

### 3.2 地盤物性のばらつきの設定

地盤物性のばらつきを考慮することによる質点系モデルの応答値の算出に当たり、地盤のせん断波速度のばらつきを設定する。

地盤物性のばらつきの影響評価においては、「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」に示すとおり設定する。

#### 4. 材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果の概要

材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果より、以下の傾向を確認した。なお、各建物・構築物の材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果の詳細は、別紙に示す。

材料物性のばらつきとして、地盤物性のばらつきを考慮したケースでは、地盤物性が硬くなる側に変化した場合、地盤－建屋連成系としての剛性が大きくなるため変位は小さくなり、地盤物性が柔らかくなる側に変化した場合、地盤－建屋連成系としての剛性が小さくなるため変位は大きくなることを確認した。また、地盤物性の変化により、加速度及びせん断力、曲げモーメントは増減することを確認した。

参考として実施した建屋物性のばらつきを考慮した地震応答解析では、軟質岩盤に立地しているため地盤－建屋連成系としての剛性に対して建屋物性の変化は支配的ではなく、発生応力及び加速度は概ね同程度となった。また、変位及びせん断ひずみについては、建屋剛性が大きくなる側に変化することから概ね同等または小さくなることを確認した。

#### 5. まとめ

本資料では、耐震評価に用いる材料物性のばらつきを考慮した設計用地震力の設定方法について示すとともに、建物・構築物及び機器・配管系の設計用地震力の設定根拠となる、各建物・構築物の材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果を示した。

以上より、建物・構築物の耐震性評価においては、地盤物性のばらつきを考慮した設計用地震力により耐震評価を実施しており、建屋物性のばらつきの影響については、耐力が上昇し、また建屋応答は基本ケースと比較して同程度または小さくなることから、その設計用地震力の中に包含されると考えられることを示した。このことから、材料物性のばらつきを適切に考慮した耐震評価が行われていることを確認した。



別紙 1

安全冷却水 B 冷却塔における  
材料物性のばらつきを考慮した  
地震応答解析結果

## 目 次

1. 概要 ..... 別紙 1-1
2. 地盤物性のばらつきの設定 ..... 別紙 1-2
3. 地震動の選定 ..... 別紙 1-8
4. 材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果 ..... 別紙 1-22
  - 4.1 材料物性のばらつきの設定 ..... 別紙 1-22
  - 4.2 地震応答解析結果 ..... 別紙 1-27

参考資料 安全冷却水 B 冷却塔における建屋物性のばらつきによる建屋応答への影響に関する考察

## 1. 概要

本資料は、安全冷却水 B 冷却塔における機器・配管系及び建物・建築物の設計用地震力の設定根拠として、建物・構築物の材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果を示すものである。

本資料では、まず、本文「第 3.-1 図 材料物性のばらつきを考慮した検討に用いる地震動の選定方法のフロー」に基づき、材料物性のばらつきによる検討に用いる地震動を選定する。

次に、機器・配管系及び建物・建築物の設計用地震力の設定根拠となる地盤物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果について示す。

なお、参考として、建屋物性のばらつきによる建屋応答への影響に関する考察を参考資料に示す。

2. 地盤物性のばらつきの設定

地盤物性のばらつきの影響評価においては、「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」に示すとおり設定する。基本ケース及び地盤のばらつきを考慮したケースの地盤モデルを第 2. -1 表～第 2. -3 表に、ひずみ依存特性を第 2. -1 図～第 2. -3 図に示す。

第 2. -1 表 安全冷却水 B 冷却塔の地盤モデル（基本ケース）

（「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-2 第 3. -1 表の再掲）

標高 T. M. S. L. (m)	岩種	単位体積重量 $\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	S波速度 $V_s$ (m/s)	P波速度 $V_p$ (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$
▽基礎スラブ底面						
53.80						
▽MMR下端レベル	MMR	*1	*1	*1	*1	
39.00						
37.08	細粒砂岩	18.3	680	1910	*2	
36.63	粗粒砂岩				*3	
9.02	細粒砂岩				*2	
-25.57		18.1	940	2040		
▽解放基盤表面	泥岩（下部層）	16.9	790	1880	*4	
-70.00	泥岩（下部層）	16.9	790	1880	—	

\*1：支持地盤相当の岩盤に支持されているとみなし、MMR直下の支持地盤の物性値を設定する。

\*2：第 2. -1 図に示す細粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。

\*3：第 2. -2 図に示す粗粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。

\*4：第 2. -3 図に示す泥岩（下部層）のひずみ依存特性を設定する。

第 2. -2 表 安全冷却水 B 冷却塔の地盤モデル (+1σ)

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-2 第 3. -2 表の再掲)

標高 T. M. S. L. (m)	岩種	単位体積重量 $\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	S波速度 $V_s$ (m/s)	P波速度 $V_p$ (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$
▽基礎スラブ底面 53.80						
▽MMR下端レベル 39.00	MMR	*1	*1	*1	*1	
37.08	細粒砂岩	18.3	760	2060	*2	
36.63	粗粒砂岩				*3	
9.02	細粒砂岩	18.1	1010	2100	*2	
-25.57	泥岩 (下部層)	16.9	850	1940	*4	
▽解放基盤表面 -70.00	泥岩 (下部層)	16.9	850	1940	-	

\*1：支持地盤相当の岩盤に支持されているとみなし、MMR直下の支持地盤の物性値を設定する。

\*2：第 2. 2-2 図に示す細粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。

\*3：第 2. 2-3 図に示す粗粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。

\*4：第 2. 2-4 図に示す泥岩 (下部層) のひずみ依存特性を設定する。

第 2.-3 表 安全冷却水 B 冷却塔の地盤モデル ( $-1\sigma$ )

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-2 第 3.-3 表の再掲)

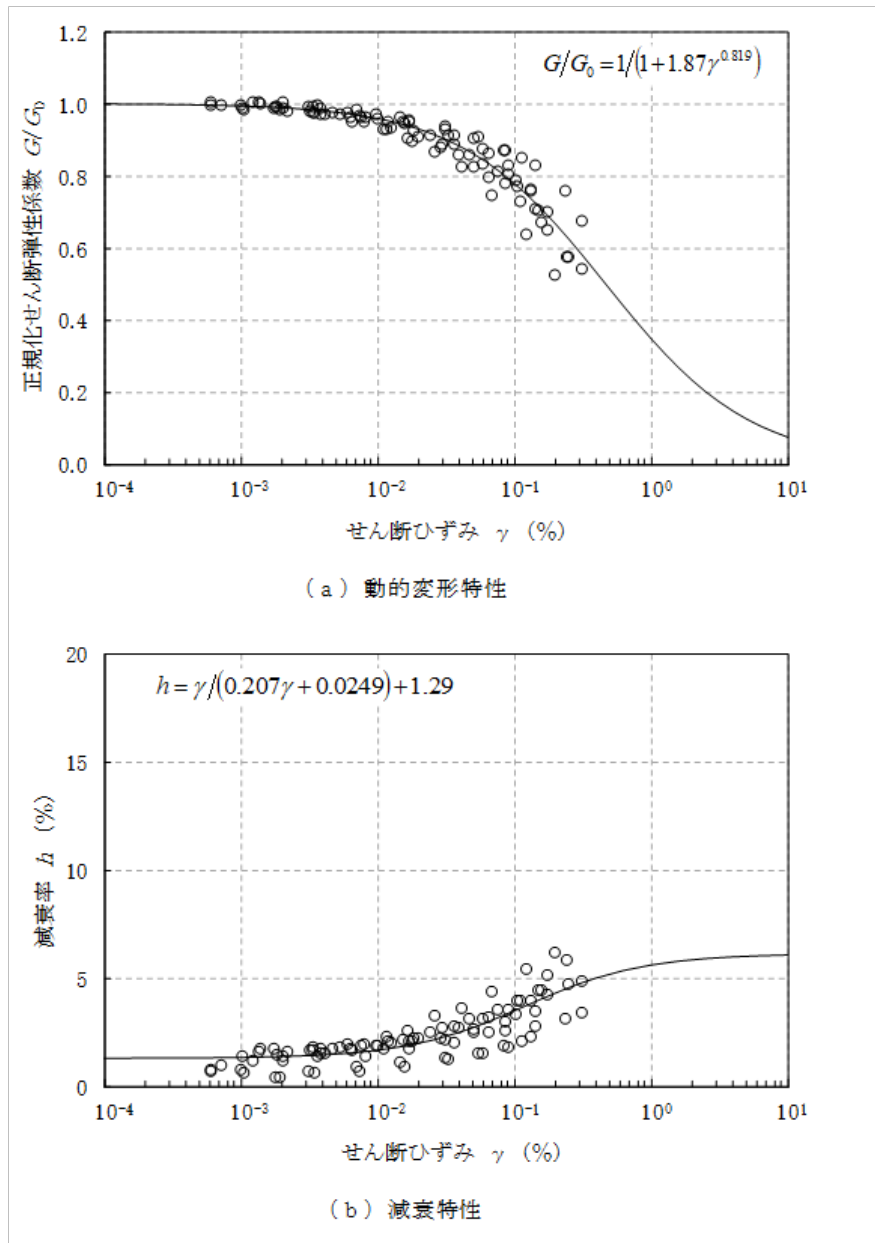
標高 T. M. S. L. (m)	岩種	単位体積重量 $\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	S波速度 $V_s$ (m/s)	P波速度 $V_p$ (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$
▽基礎スラブ底面						
53.80						
▽MMR下端レベル	MMR	*1	*1	*1		*1
39.00						
	細粒砂岩	18.3	600	1760		*2
37.08	粗粒砂岩					*3
36.63						
	細粒砂岩	18.1	870	1980		*2
9.02						
▽解放基盤表面	泥岩 (下部層)	16.9	730	1820		*4
-25.57						
-70.00	泥岩 (下部層)	16.9	730	1820		—

\*1：支持地盤相当の岩盤に支持されているとみなし、MMR直下の支持地盤の物性値を設定する。

\*2：第 2.2-2 図に示す細粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。

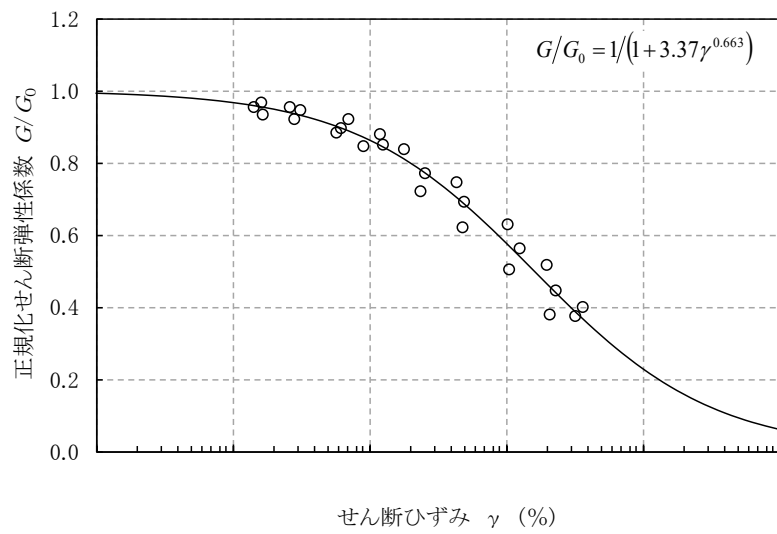
\*3：第 2.2-3 図に示す粗粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。

\*4：第 2.2-4 図に示す泥岩 (下部層) のひずみ依存特性を設定する。

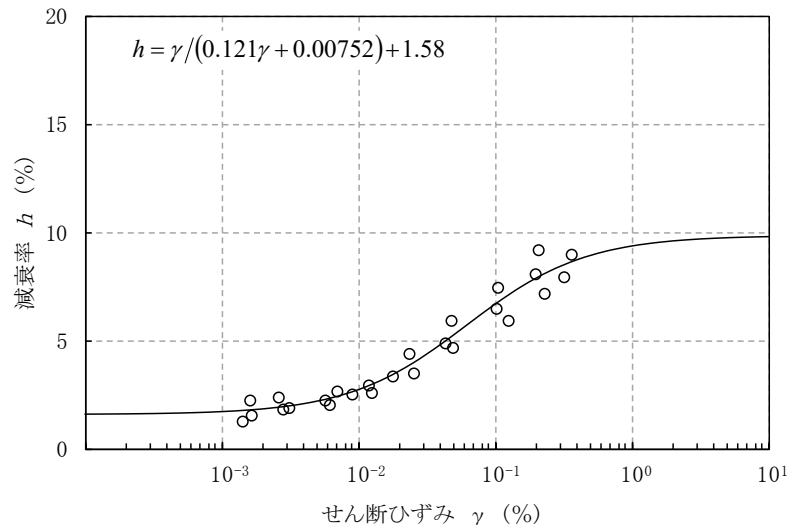


第 2. -1 図 細粒砂岩のひずみ依存特性

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-2 第 2. 2-2 図の再掲)



(a) 動の変形特性

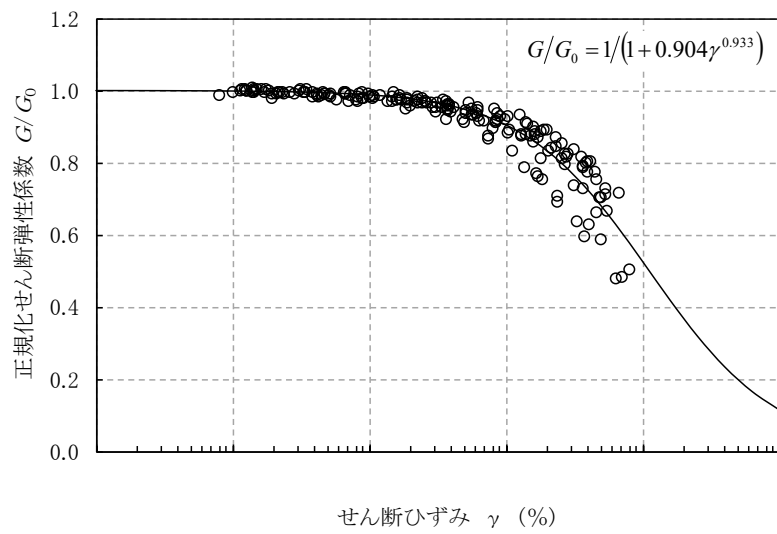


(b) 減衰特性

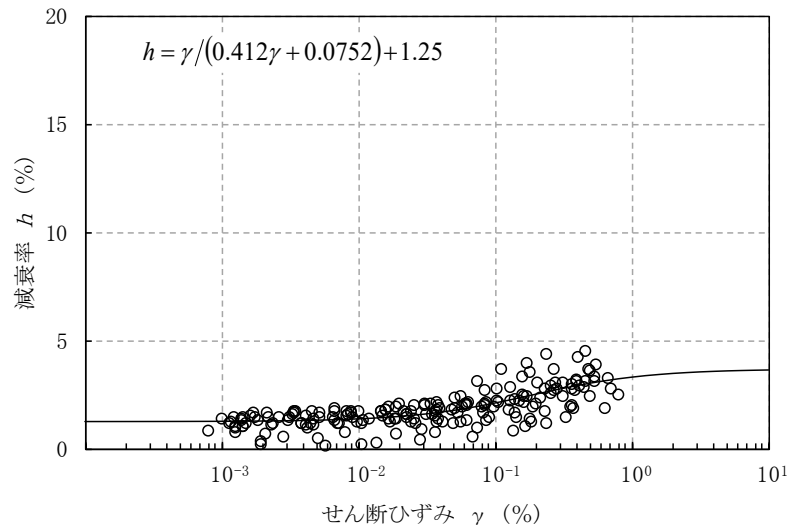
第 2. -2 図 粗粒砂岩のひずみ依存特性

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-2 第 2. 2-3 図の再掲)





(a) 動の変形特性



(b) 減衰特性

第 2.-3 図 泥岩 (下部層) のひずみ依存特性

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-2 第 2.2-4 図の再掲)

### 3. 地震動の選定

本文「第 3. -1 図 材料物性のばらつきを考慮した検討に用いる地震動の選定方法のフロー」に基づき、材料物性のばらつきを考慮した検討に用いる地震動を選定する。

基本ケースによる基準地震動  $S_s$  に対する応答を第 3. -1 表～第 3. -11 表に、基本ケースによる弾性設計用地震動  $S_d$  に対する応答を第 3. -12 表～第 3. -22 表に示す。

第 3. -23 表に示す地震動をばらつき検討に用いる地震動とする。

第 3. -1 表 最大応答加速度一覧表（基準地震動 Ss, NS 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )											
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3. -2 表 最大応答変位一覧表（基準地震動 Ss, NS 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)											
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3. -3 表 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 Ss, NS 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)											
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3. -4 表 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 Ss, NS 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN・m)											
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3. -5 表 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 Ss, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )											
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3. -6 表 最大応答変位一覧表 (基準地震動 Ss, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)											
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-7 表 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 Ss, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^3 \text{kN}$ )											
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-8 表 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 Ss, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^4 \text{kN}\cdot\text{m}$ )											
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-9 表 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S<sub>s</sub>, 鉛直方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )								
		S <sub>s</sub> -A (V)	S <sub>s</sub> -B1 (UD)	S <sub>s</sub> -B2 (UD)	S <sub>s</sub> -B3 (UD)	S <sub>s</sub> -B4 (UD)	S <sub>s</sub> -B5 (UD)	S <sub>s</sub> -C1 (UD)	S <sub>s</sub> -C2 (UD)	S <sub>s</sub> -C3 (UD)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-10 表 最大応答変位一覧表（基準地震動 S<sub>s</sub>, 鉛直方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)								
		S <sub>s</sub> -A (V)	S <sub>s</sub> -B1 (UD)	S <sub>s</sub> -B2 (UD)	S <sub>s</sub> -B3 (UD)	S <sub>s</sub> -B4 (UD)	S <sub>s</sub> -B5 (UD)	S <sub>s</sub> -C1 (UD)	S <sub>s</sub> -C2 (UD)	S <sub>s</sub> -C3 (UD)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-11 表 最大応答軸力一覧表（基準地震動 S<sub>s</sub>, 鉛直方向）

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 <sup>3</sup> kN)							
		S <sub>s</sub> -A (V)	S <sub>s</sub> -B1 (UD)	S <sub>s</sub> -B2 (UD)	S <sub>s</sub> -B3 (UD)	S <sub>s</sub> -B4 (UD)	S <sub>s</sub> -B5 (UD)	S <sub>s</sub> -C1 (UD)	S <sub>s</sub> -C2 (UD)

注記：網掛けは最大値を示す。



第 3.-12 表 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 Sd, NS 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )											
		Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B2 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-B4 (NS)	Sd-B5 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-13 表 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 Sd, NS 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)											
		Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B2 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-B4 (NS)	Sd-B5 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-14 表 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, NS 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^3 \text{kN}$ )											
		Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B2 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-B4 (NS)	Sd-B5 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-15 表 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, NS 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^4 \text{kN}\cdot\text{m}$ )											
		Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B2 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-B4 (NS)	Sd-B5 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-16 表 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 Sd, EW 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )											
		Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B2 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-B4 (EW)	Sd-B5 (EW)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-17 表 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 Sd, EW 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)											
		Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B2 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-B4 (EW)	Sd-B5 (EW)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-18 表 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^3 \text{kN}$ )											
		Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B2 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-B4 (EW)	Sd-B5 (EW)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-19 表 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^4 \text{kN}\cdot\text{m}$ )											
		Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B2 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-B4 (EW)	Sd-B5 (EW)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3. -20 表 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, 鉛直方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )								
		Sd-A (V)	Sd-B1 (UD)	Sd-B2 (UD)	Sd-B3 (UD)	Sd-B4 (UD)	Sd-B5 (UD)	Sd-C1 (UD)	Sd-C2 (UD)	Sd-C3 (UD)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3. -21 表 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, 鉛直方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)								
		Sd-A (V)	Sd-B1 (UD)	Sd-B2 (UD)	Sd-B3 (UD)	Sd-B4 (UD)	Sd-B5 (UD)	Sd-C1 (UD)	Sd-C2 (UD)	Sd-C3 (UD)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-22 表 最大応答軸力一覧表（弾性設計用地震動 Sd, 鉛直方向）

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力 ( $\times 10^3 \text{kN}$ )							
		Sd-A (V)	Sd-B1 (UD)	Sd-B2 (UD)	Sd-B3 (UD)	Sd-B4 (UD)	Sd-B5 (UD)	Sd-C1 (UD)	Sd-C2 (UD)

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-23 表 材料物性のばらつき検討に用いる地震動

建屋	基準地震動 Ss	弾性設計用地震動 Sd
安全冷却水 B 冷却塔	Ss-A	
	Ss-B3	Sd-A
	Ss-B4	Sd-C1
	Ss-C1	Sd-C3
	Ss-C3	Sd-C4
	Ss-C4	

4. 材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果

4.1 材料物性のばらつきの設定

材料物性のばらつきとして、地盤物性のばらつきを考慮したケースは、補足説明資料「地震応答解析における地盤モデル及び地盤物性値の設定について」に示す通り、ボーリング調査孔の PS 検層結果や湿潤密度試験結果に基づき算出した基本ケースの値に対する標準偏差 ( $\pm 1\sigma$ ) を設定している。

材料物性のばらつきを考慮する解析ケースを第 4.1-1 表に、地震応答解析に採用した解析モデルの一覧を第 4.1-2 表～第 4.1-5 表に示す。

第 4.1-1 表 材料物性のばらつきを考慮する解析ケース

ケース No.	解析ケース	基準地震動 Ss	弾性設計用地震動 Sd
0	基本ケース	全波	全波
1	材料物性のばらつきを考慮したケース ( $+1\sigma$ )	Ss-A, Ss-B3, Ss-B4, Ss-C1, Ss-C3, Ss-C4	Sd-A, Sd-C1, Sd-C3, Sd-C4
2	材料物性のばらつきを考慮したケース ( $-1\sigma$ )	Ss-A, Ss-B3, Ss-B4, Ss-C1, Ss-C3, Ss-C4	Sd-A, Sd-C1, Sd-C3, Sd-C4



第 4.1-2 表 地震応答解析に採用した解析モデル（基準地震動 Ss, ケース No.1）

(a) 水平方向

NS 方向							
Ss-A (H)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)

EW 方向							
Ss-A (H)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)

凡例

- ①：基礎浮上り非線形モデル
- ②：誘発上下動を考慮するモデル
- ③：地盤 3 次元 FEM モデル

(b) 鉛直方向

Ss-A (V)	Ss-B3 (UD)	Ss-B4 (UD)	Ss-C1 (UD)	Ss-C3 (UD)
-------------	---------------	---------------	---------------	---------------

凡例

- ①：鉛直ばねモデル
- ②：地盤 3 次元 FEM モデル

第 4.1-3 表 地震応答解析に採用した解析モデル（基準地震動 Ss, ケース No.2）

(a) 水平方向

NS 方向							
Ss-A (H)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)

EW 方向							
Ss-A (H)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)

凡例

- ①：基礎浮上り非線形モデル
- ②：誘発上下動を考慮するモデル
- ③：地盤 3 次元 FEM モデル

(b) 鉛直方向

Ss-A (V)	Ss-B3 (UD)	Ss-B4 (UD)	Ss-C1 (UD)	Ss-C3 (UD)
-------------	---------------	---------------	---------------	---------------

凡例

- ①：鉛直ばねモデル
- ②：地盤 3 次元 FEM モデル

第 4.1-4 表 地震応答解析に採用した解析モデル（弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 1)

(a) 水平方向

NS 方向					
Sd-A (H)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)

EW 方向					
Sd-A (H)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)

凡例

- ① : 基礎浮上り非線形モデル
- ② : 誘発上下動を考慮するモデル
- ③ : 地盤 3 次元 FEM モデル

(b) 鉛直方向

Sd-A (V)	Sd-C1 (UD)	Sd-C3 (UD)

凡例

- ① : 鉛直ばねモデル
- ② : 地盤 3 次元 FEM モデル

第 4.1-5 表 地震応答解析に採用した解析モデル（弾性設計用地震動 Sd, ケース No.2)

(a) 水平方向

NS 方向					
Sd-A (H)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)

EW 方向					
Sd-A (H)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)

凡例

- ①：基礎浮上り非線形モデル
- ②：誘発上下動を考慮するモデル
- ③：地盤 3 次元 FEM モデル

(b) 鉛直方向

Sd-A (V)	Sd-C1 (UD)	Sd-C3 (UD)

凡例

- ①：鉛直ばねモデル
- ②：地盤 3 次元 FEM モデル

## 4.2 地震応答解析結果

### (1) 基準地震動 $S_s$

基準地震動  $S_s$  による最大応答値を第 4.2-1 図～第 4.2-11 図に示す。また、浮上り検討を第 4.2-1 表～第 4.2-3 表、最大接地圧を第 4.2-4 表～第 4.2-6 表に示す。

### (2) 弾性設計用地震動 $S_d$

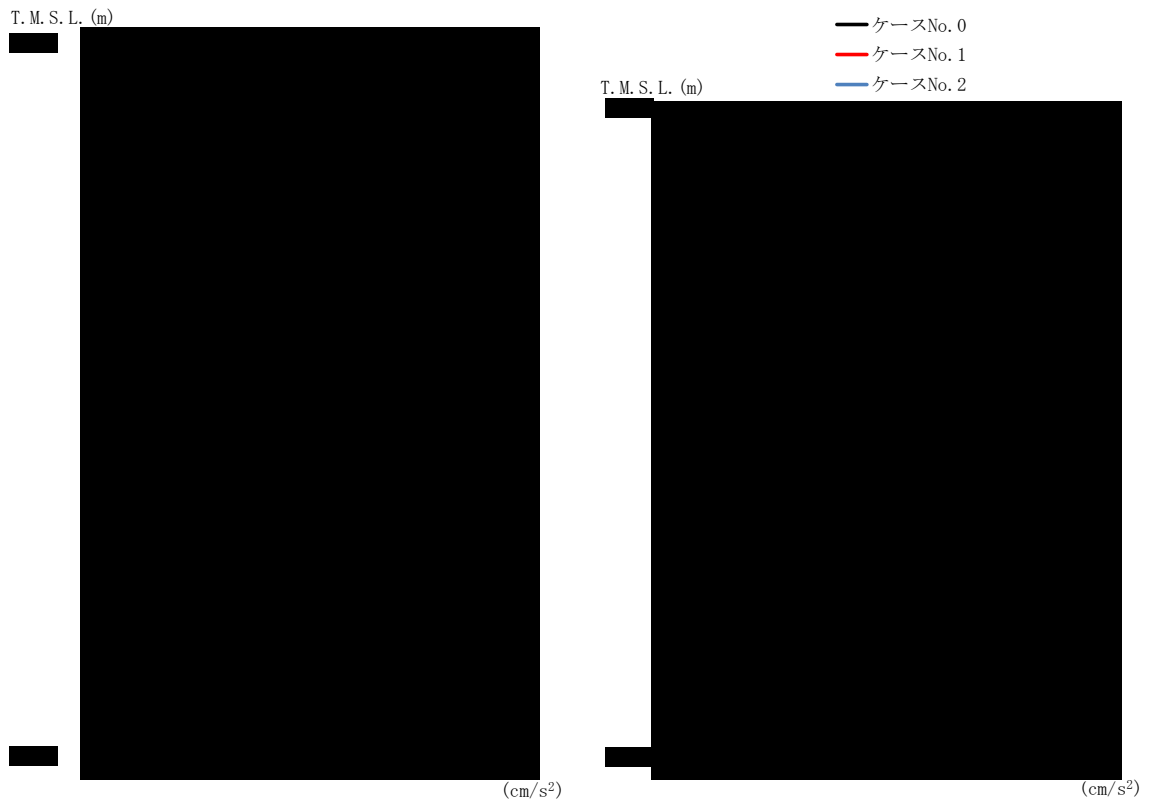
弾性設計用地震動  $S_d$  による最大応答値を第 4.2-12 図～第 4.2-22 図に示す。また、浮上り検討を第 4.2-7 表～第 4.2-9 表、最大接地圧を第 4.2-10 表～第 4.2-12 表に示す。



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Ss-A

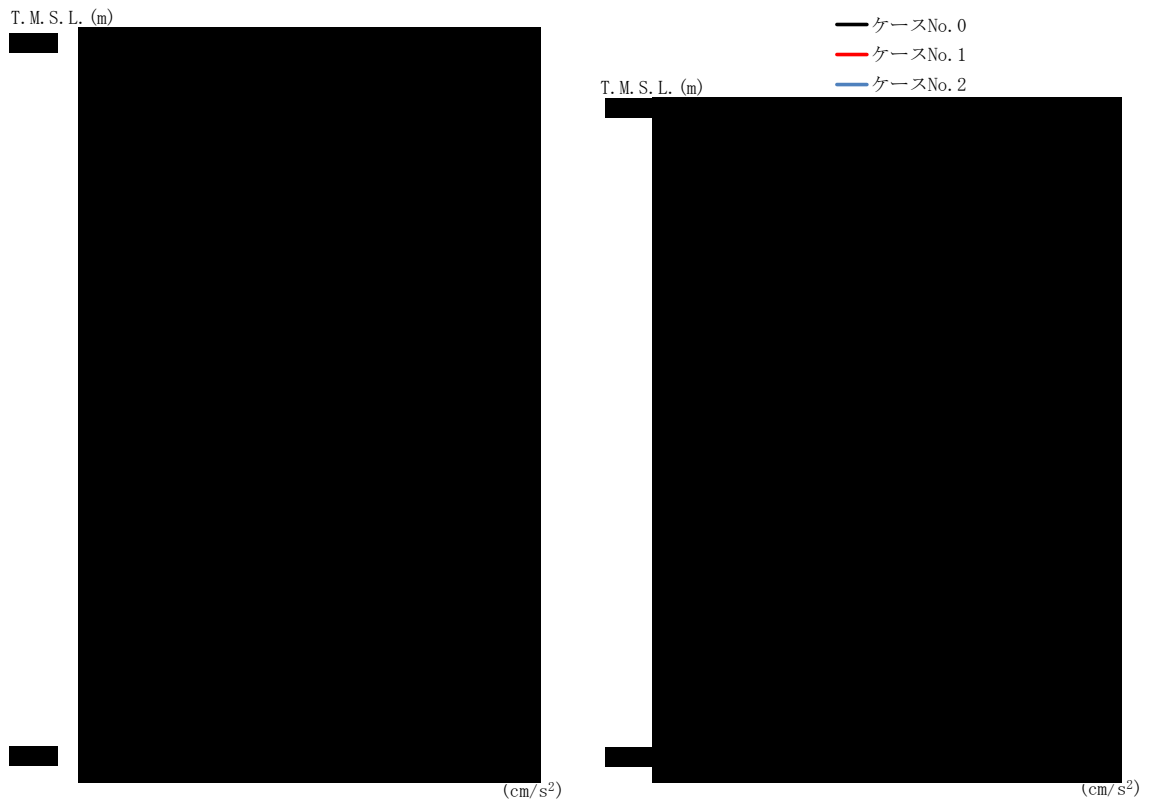
第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (1/8)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Ss-B3

第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (2/8)

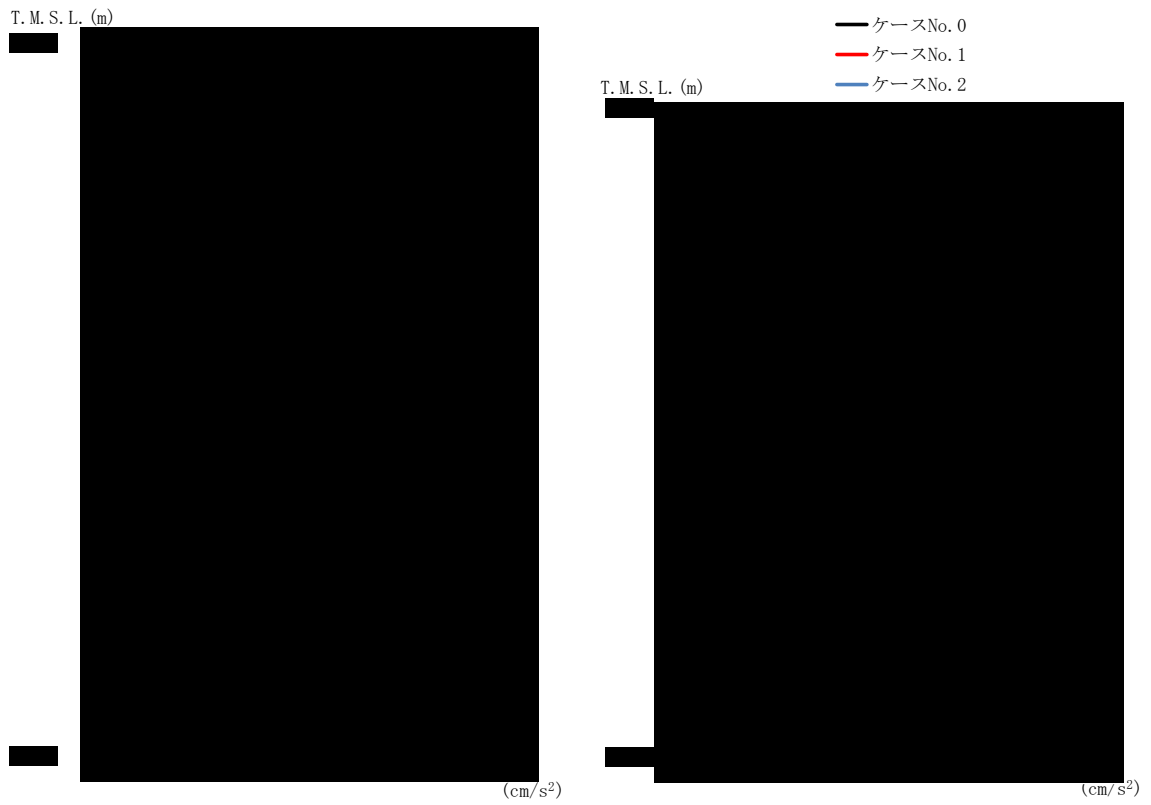


T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Ss-B4

第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (3/8)

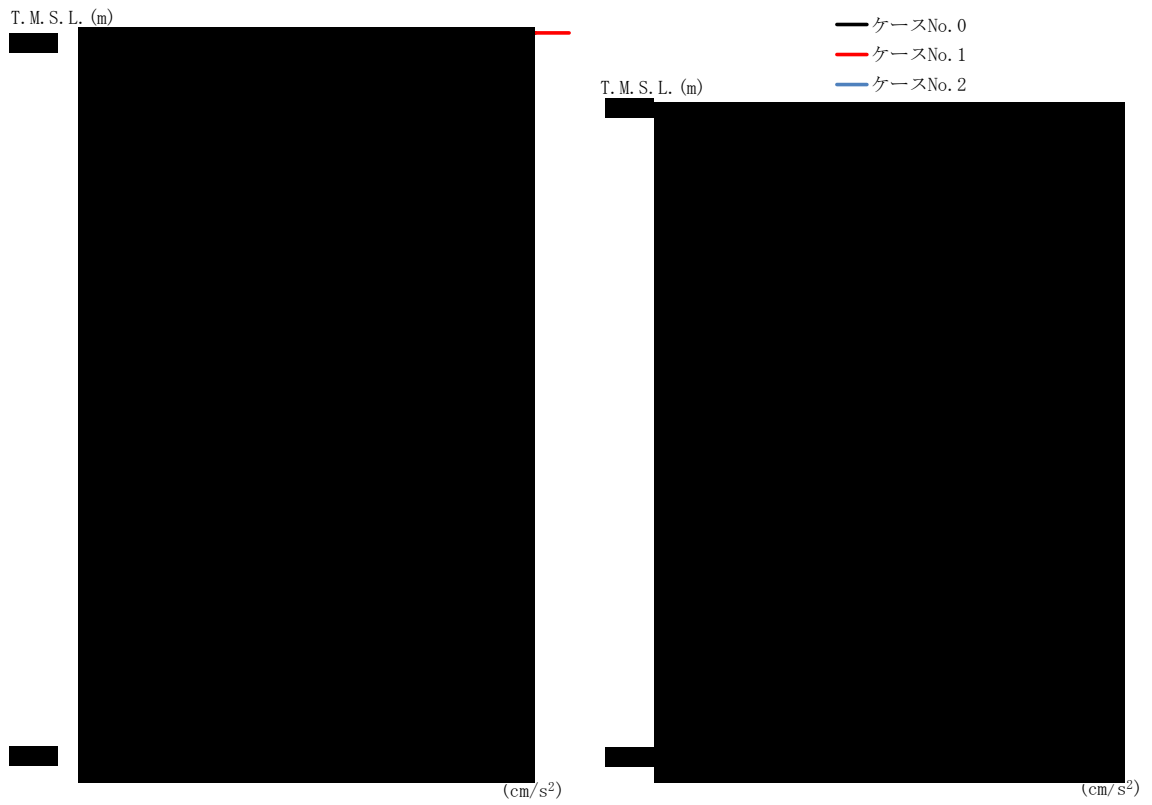




T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(d) Ss-C1

第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (4/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(e) Ss-C3 (NS)

第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (5/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Ss-C3 (EW)

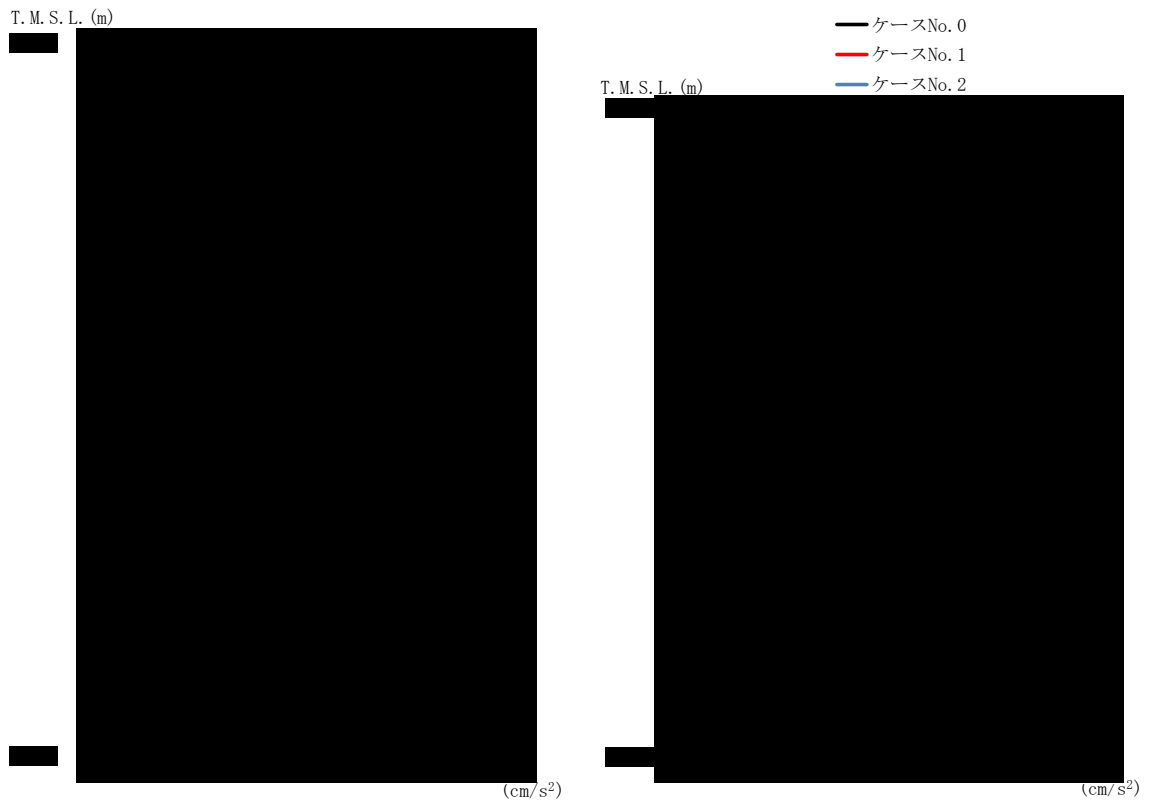
第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (6/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(g) Ss-C4(NS)

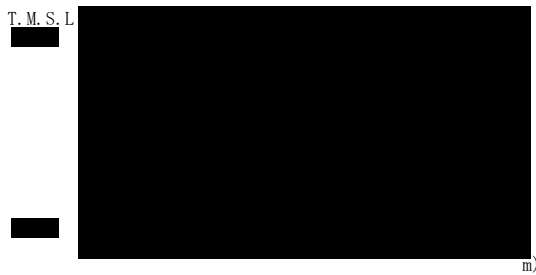
第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (7/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(h) Ss-C4 (EW)

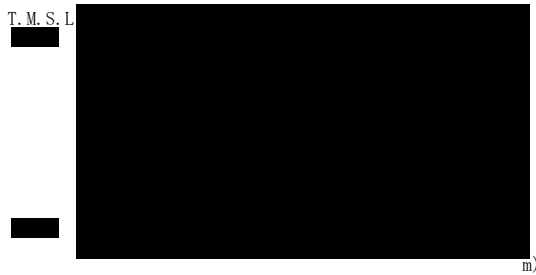
第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (8/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Ss-A

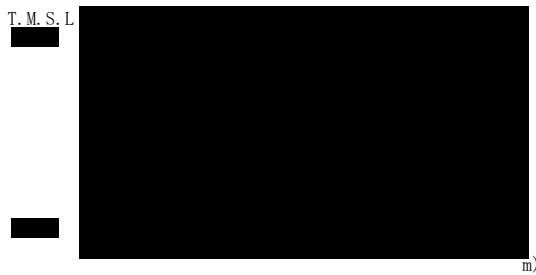
第4.2-2図 最大応答変位 (NS方向) (1/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Ss-B3

第4.2-2図 最大応答変位 (NS方向) (2/8)

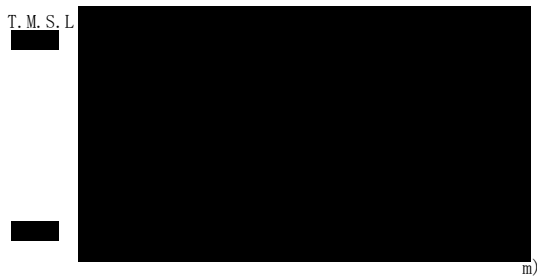


T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Ss-B4

第 4.2-2 図 最大応答変位 (NS 方向) (3/8)

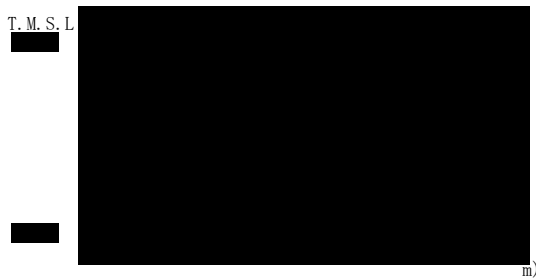




T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(d) Ss-C1

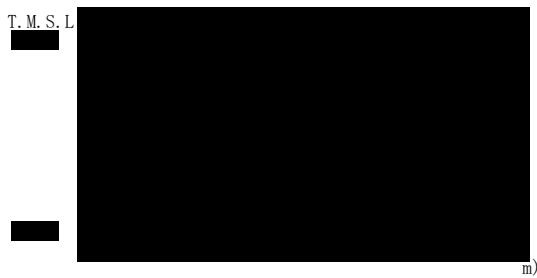
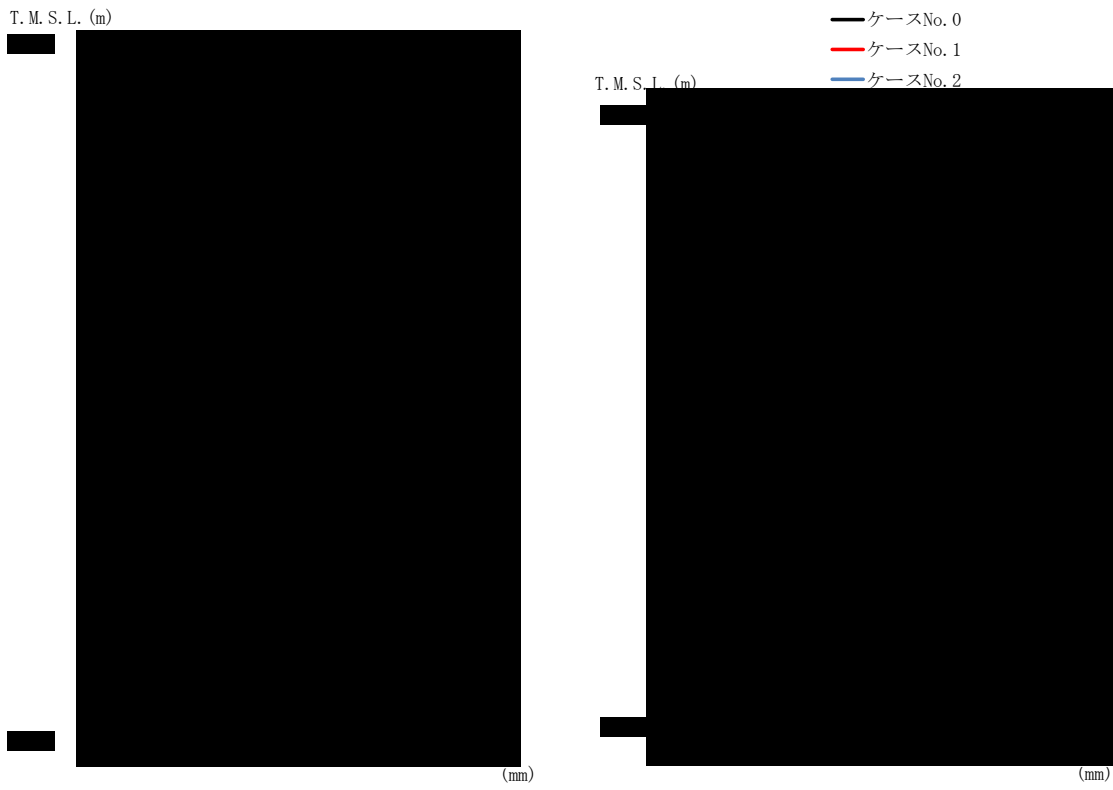
第4.2-2図 最大応答変位 (NS方向) (4/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Ss-C3 (NS)

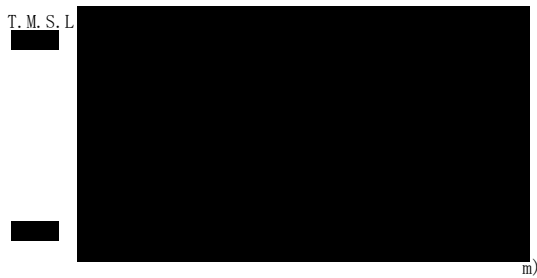
第 4. 2-2 図 最大応答変位 (NS 方向) (5/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Ss-C3 (EW)

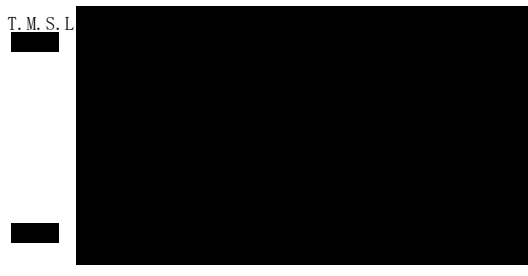
第 4. 2-2 図 最大応答変位 (NS 方向) (6/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(g) Ss-C4(NS)

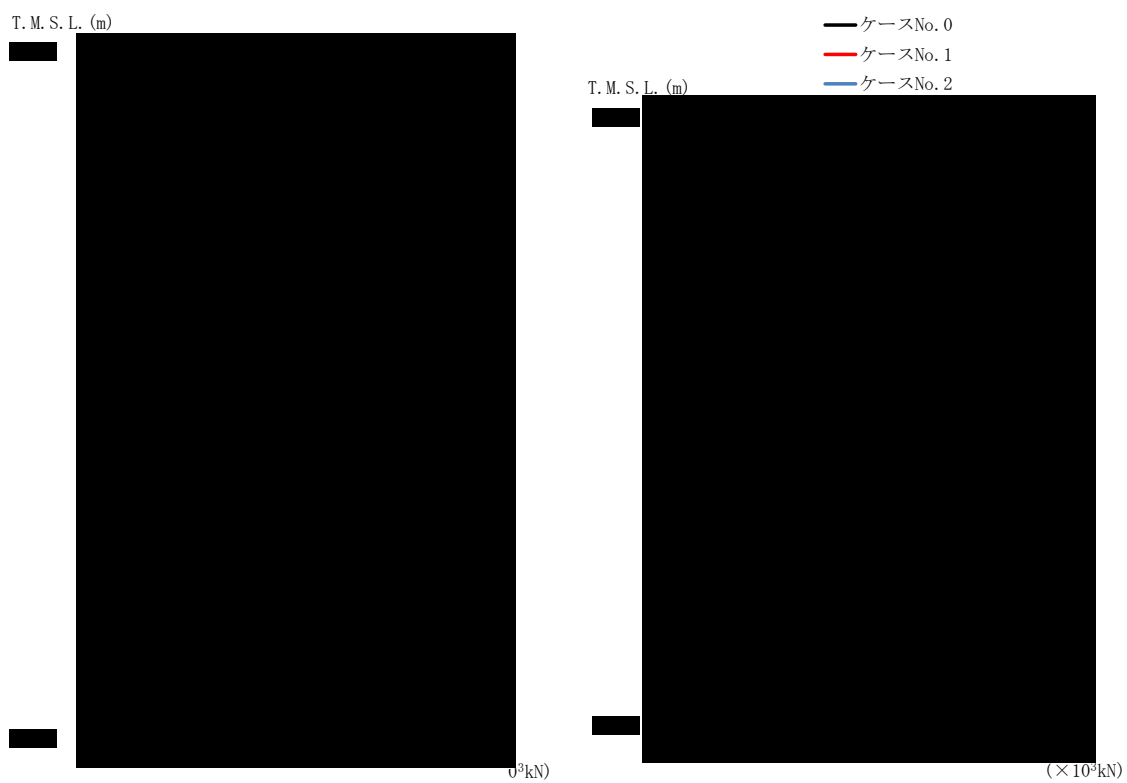
第4.2-2図 最大応答変位 (NS方向) (7/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(h) Ss-C4 (EW)

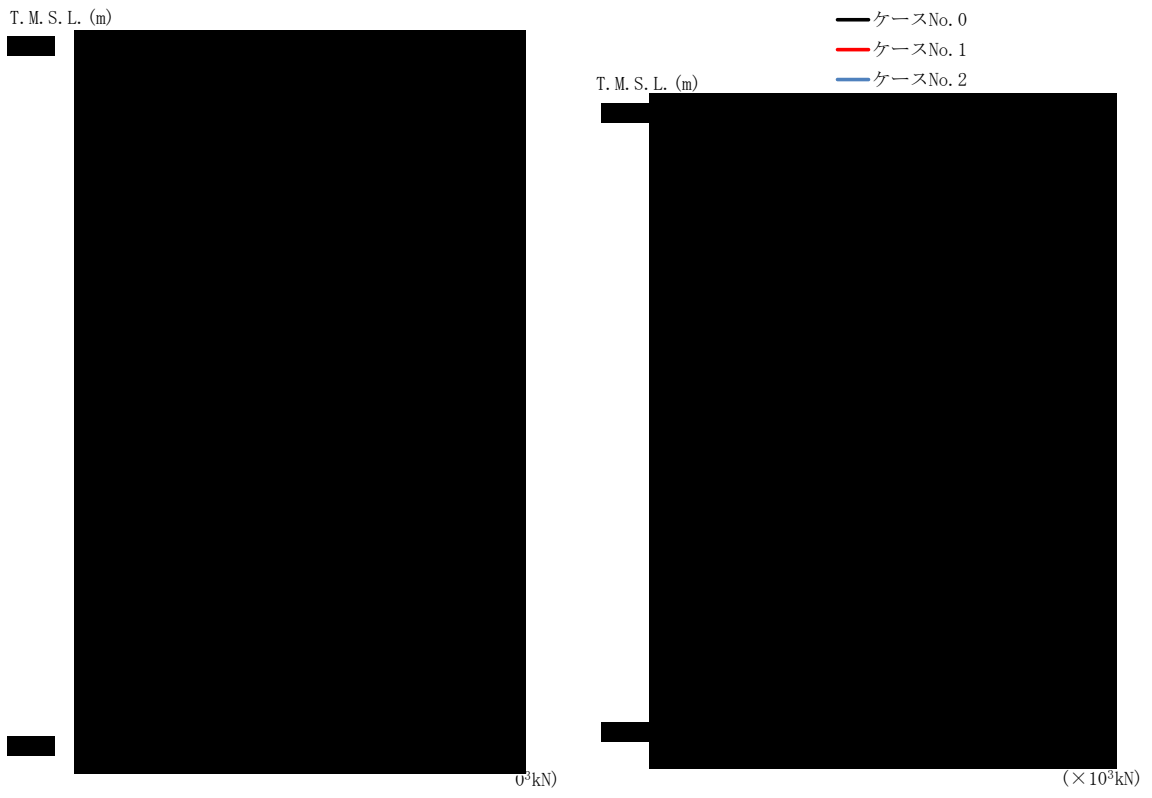
第 4. 2-2 図 最大応答変位 (NS 方向) (8/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10³kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(a) Ss-A

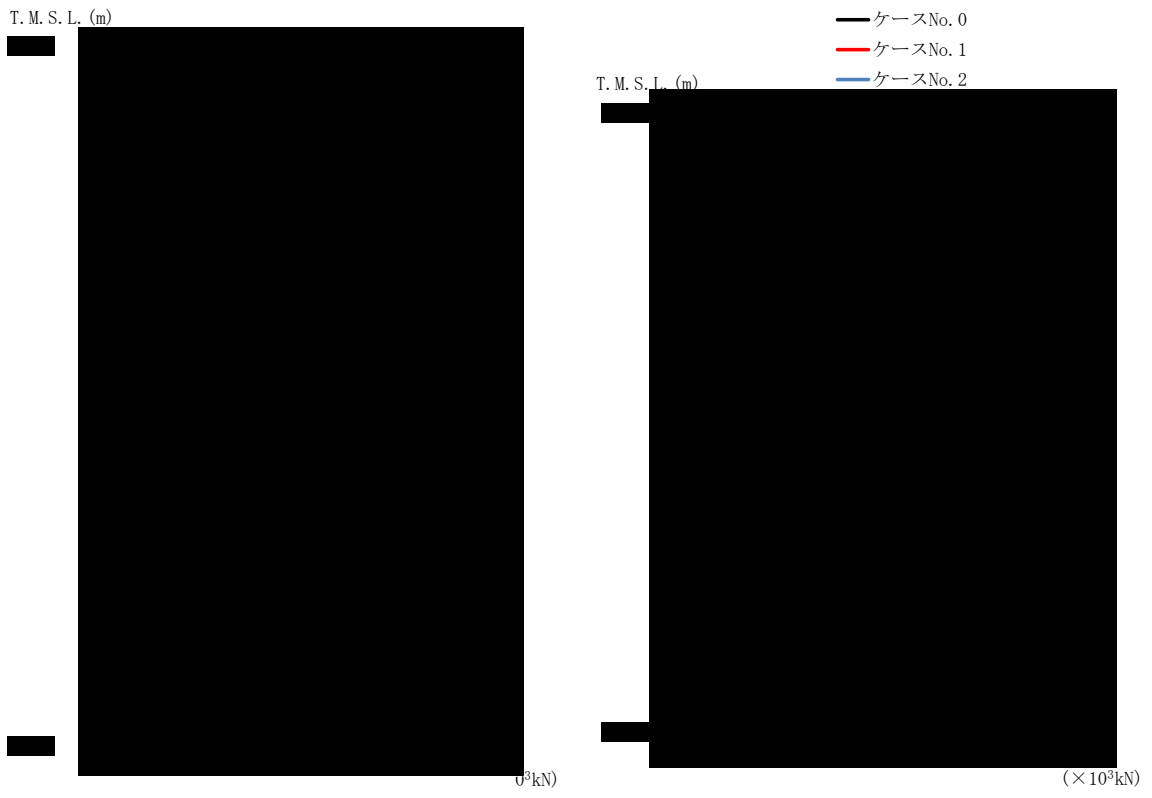
第4.2-3図 最大応答せん断力 (NS 方向) (1/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Ss-B3

第4.2-3図 最大応答せん断力 (NS方向) (2/8)

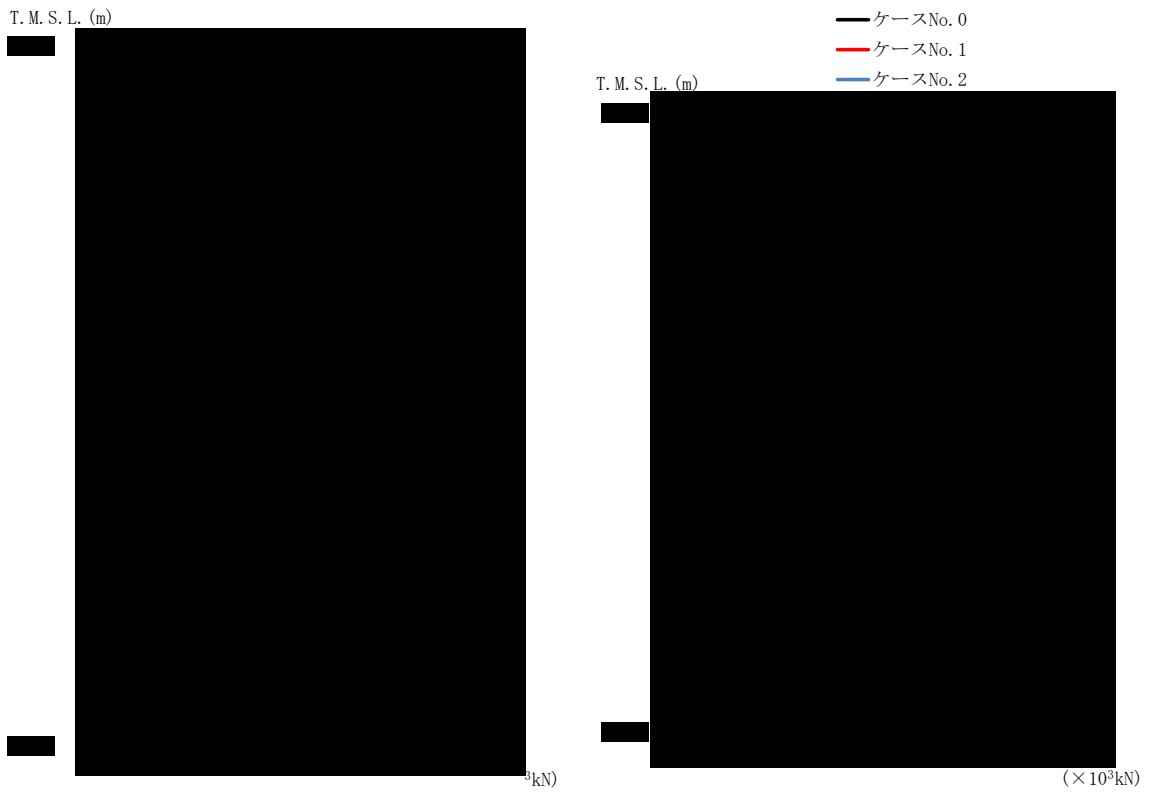


T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10³kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(c) Ss-B4

第 4.2-3 図 最大応答せん断力 (NS 方向) (3/8)

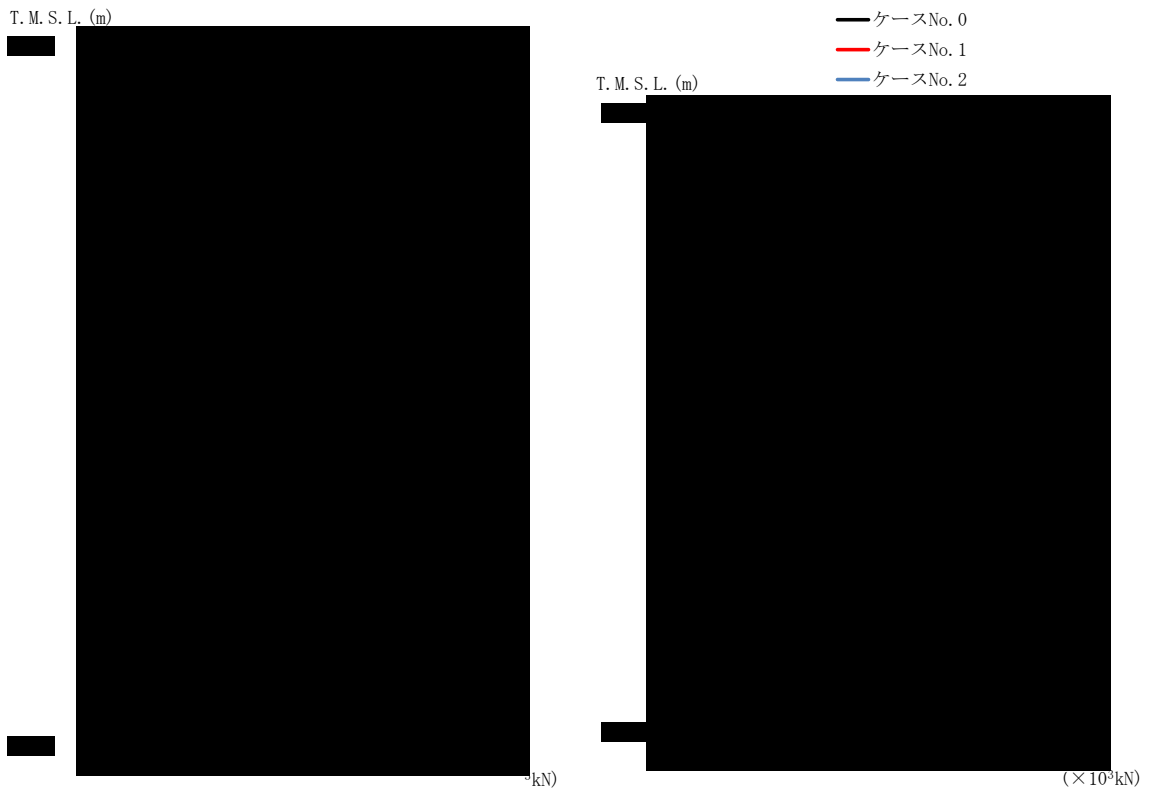




T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(d) Ss-C1

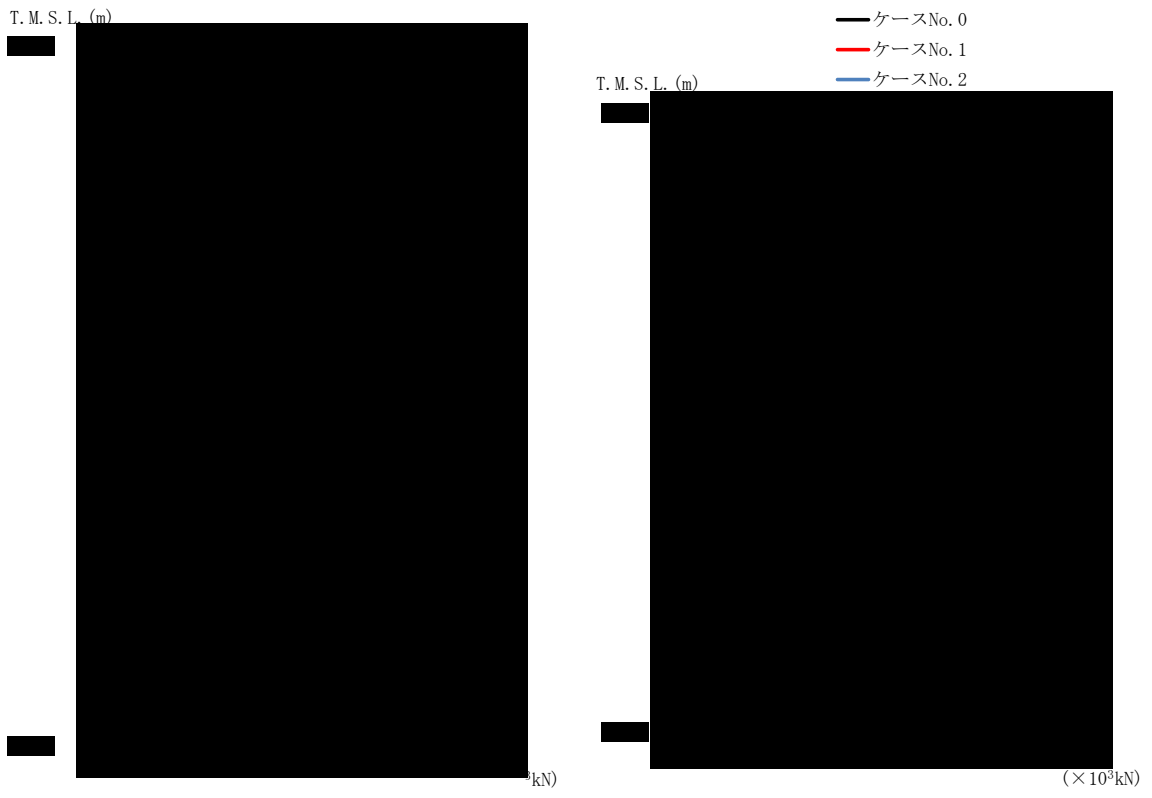
第4.2-3図 最大応答せん断力 (NS 方向) (4/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(e) Ss-C3 (NS)

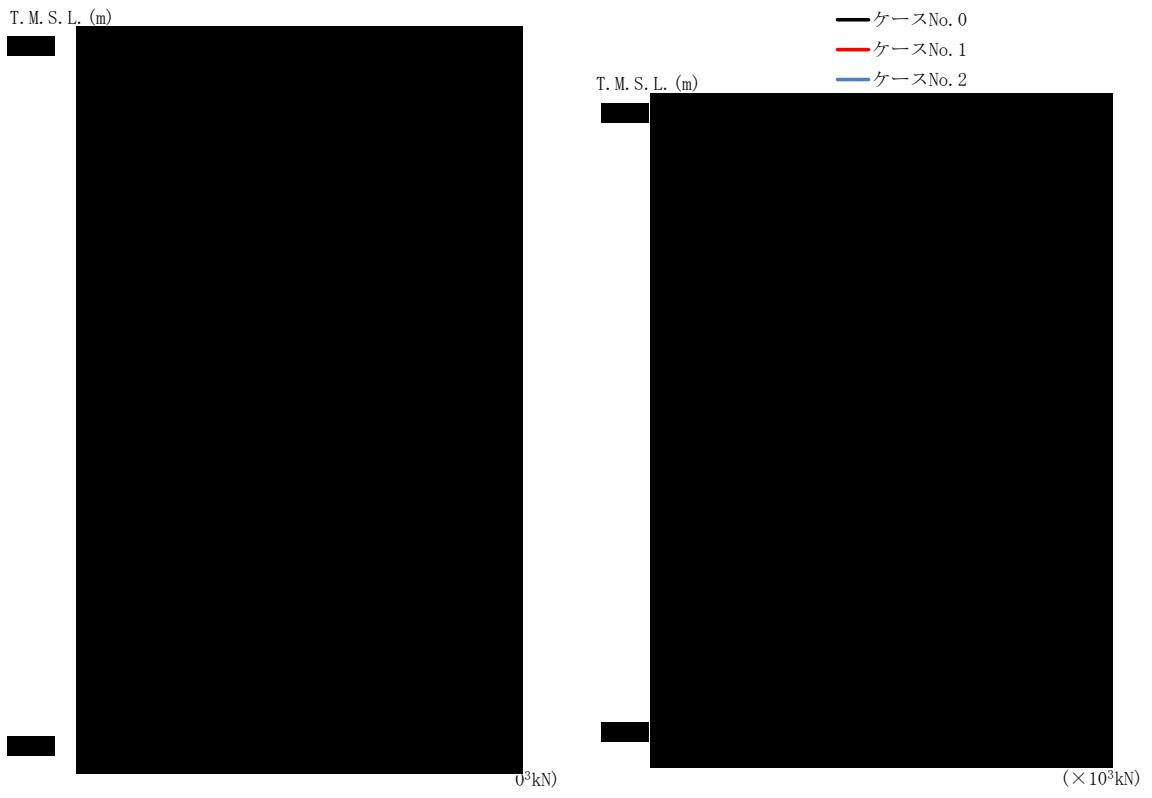
第4.2-3図 最大応答せん断力 (NS 方向) (5/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Ss-C3(EW)

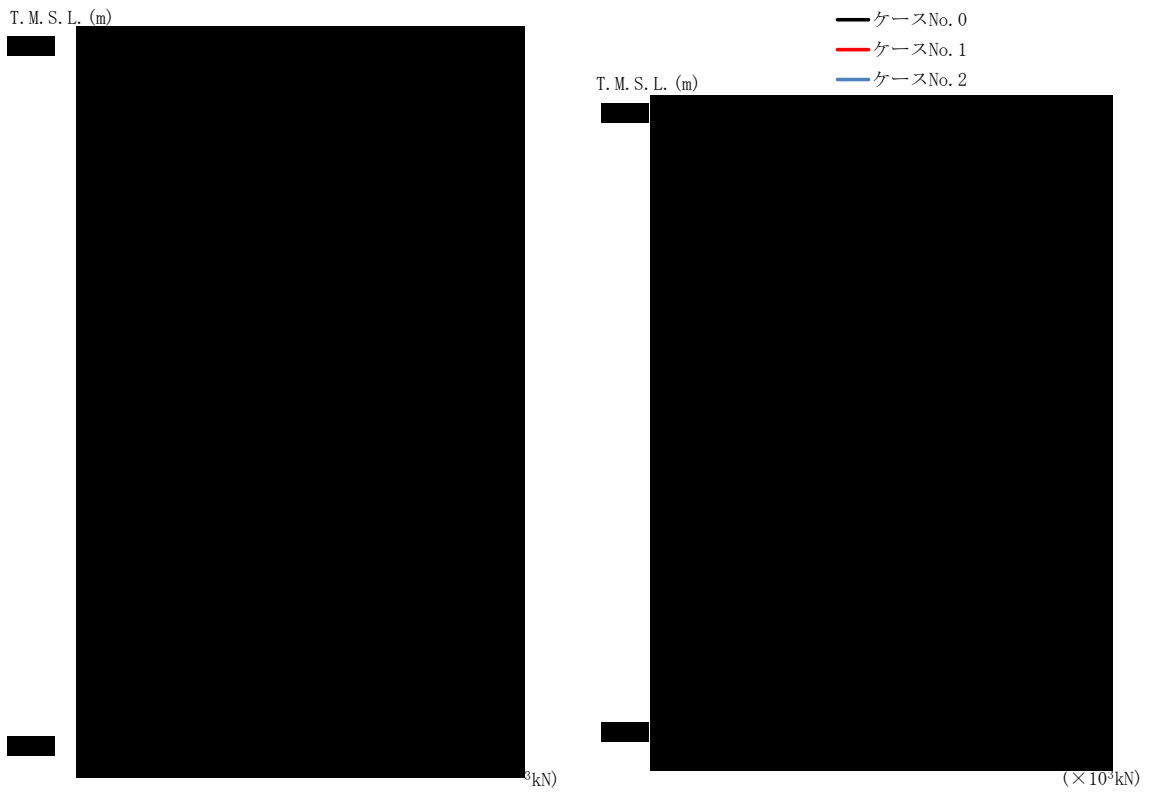
第4.2-3図 最大応答せん断力 (NS 方向) (6/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10³kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(g) Ss-C4(NS)

第4.2-3図 最大応答せん断力(NS方向)(7/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(h) Ss-C4 (EW)

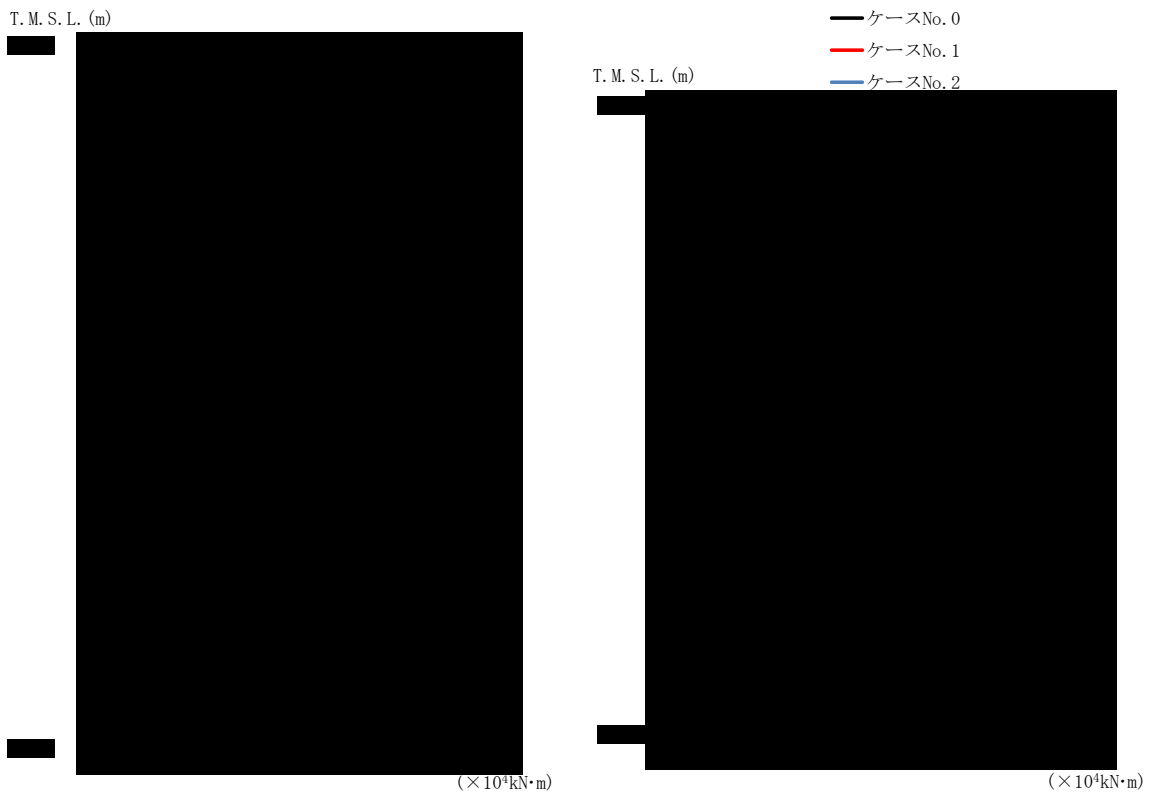
第 4.2-3 図 最大応答せん断力 (NS 方向) (8/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^4 \text{kN}\cdot\text{m}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Ss-A

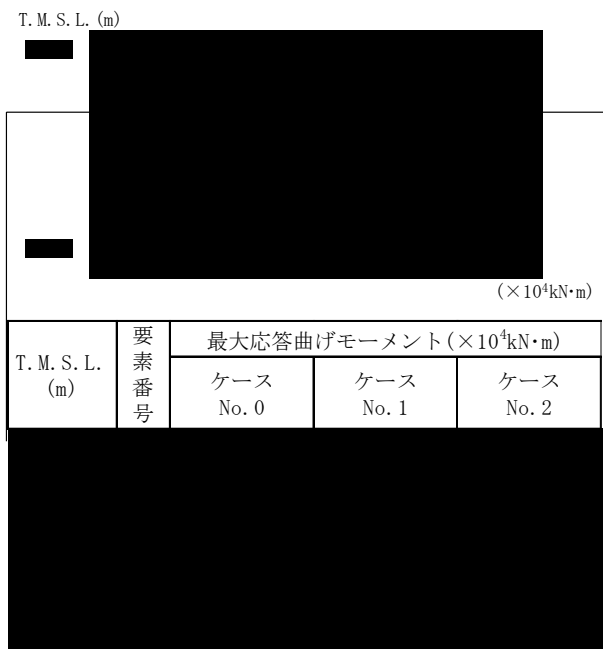
第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (1/8)



T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (x10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted data]				

(b) Ss-B3

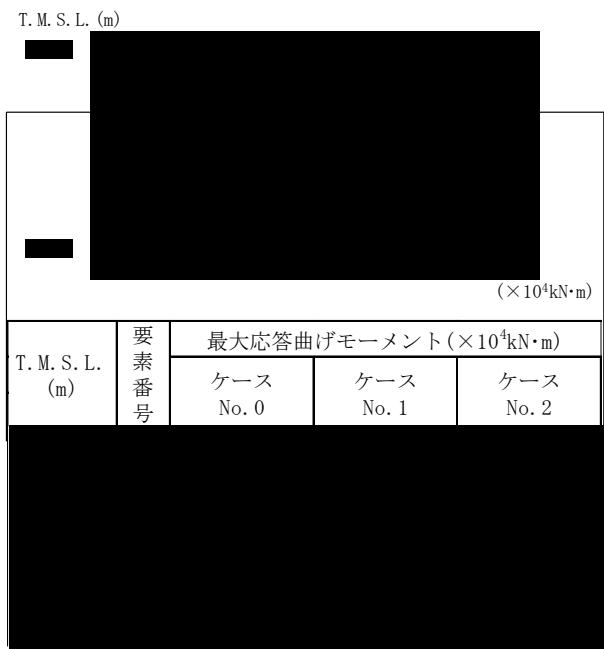
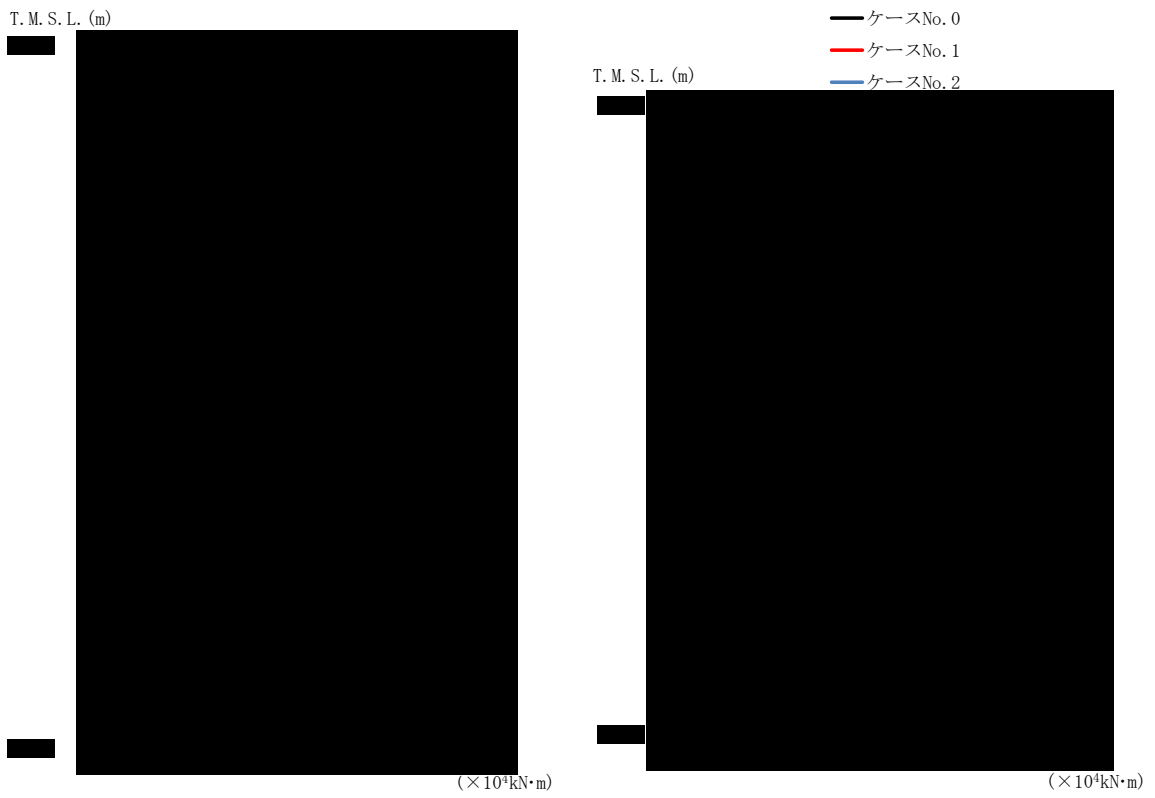
第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (2/8)



(c) Ss-B4

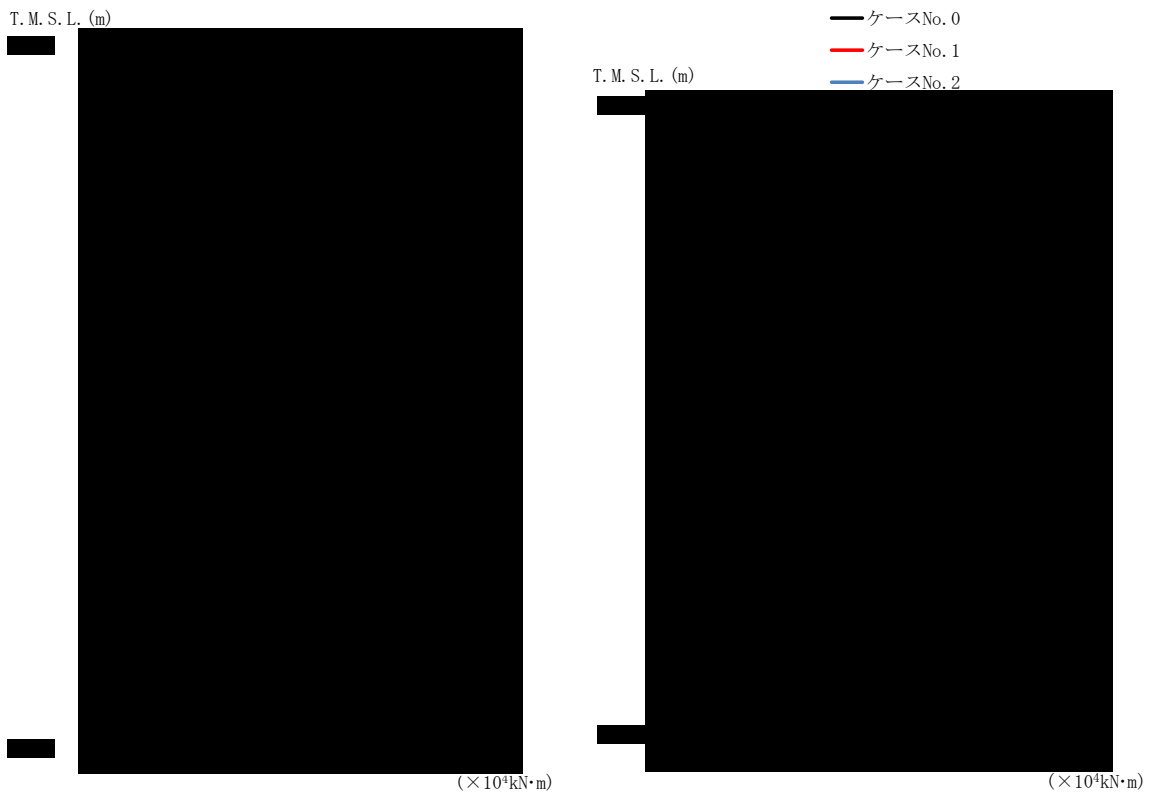
第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (3/8)





(d) Ss-C1

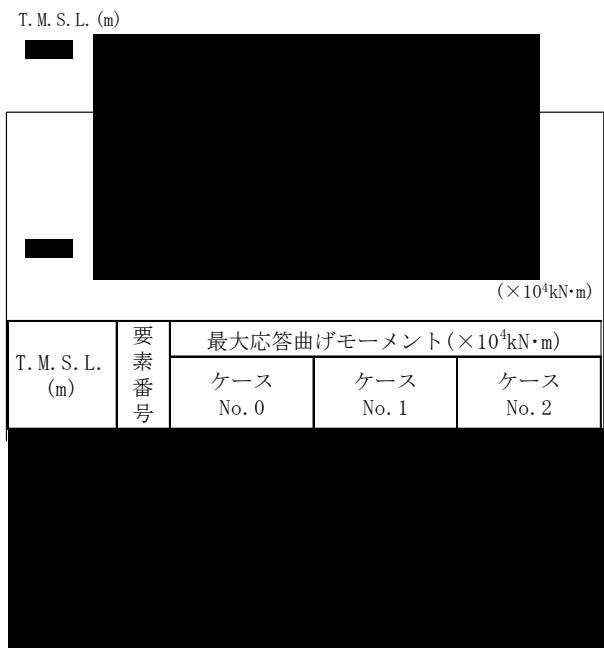
第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (4/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (x10^4 kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Ss-C3 (NS)

第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (5/8)



(f) Ss-C3(EW)

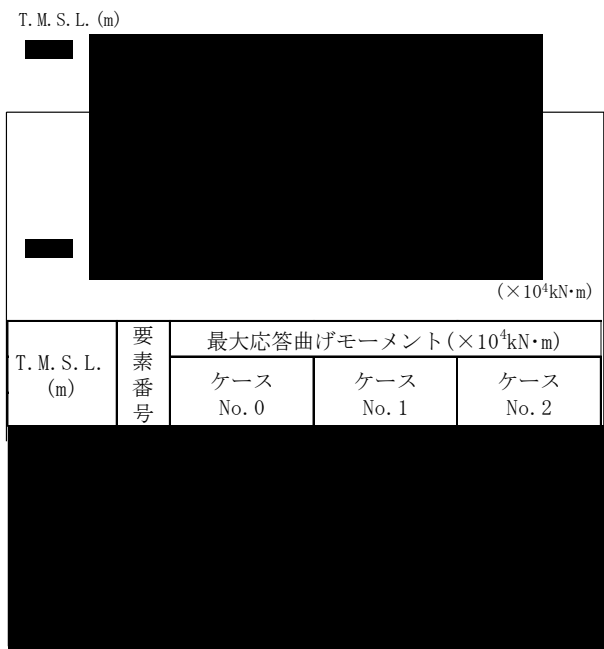
第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (6/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN・m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted data]				

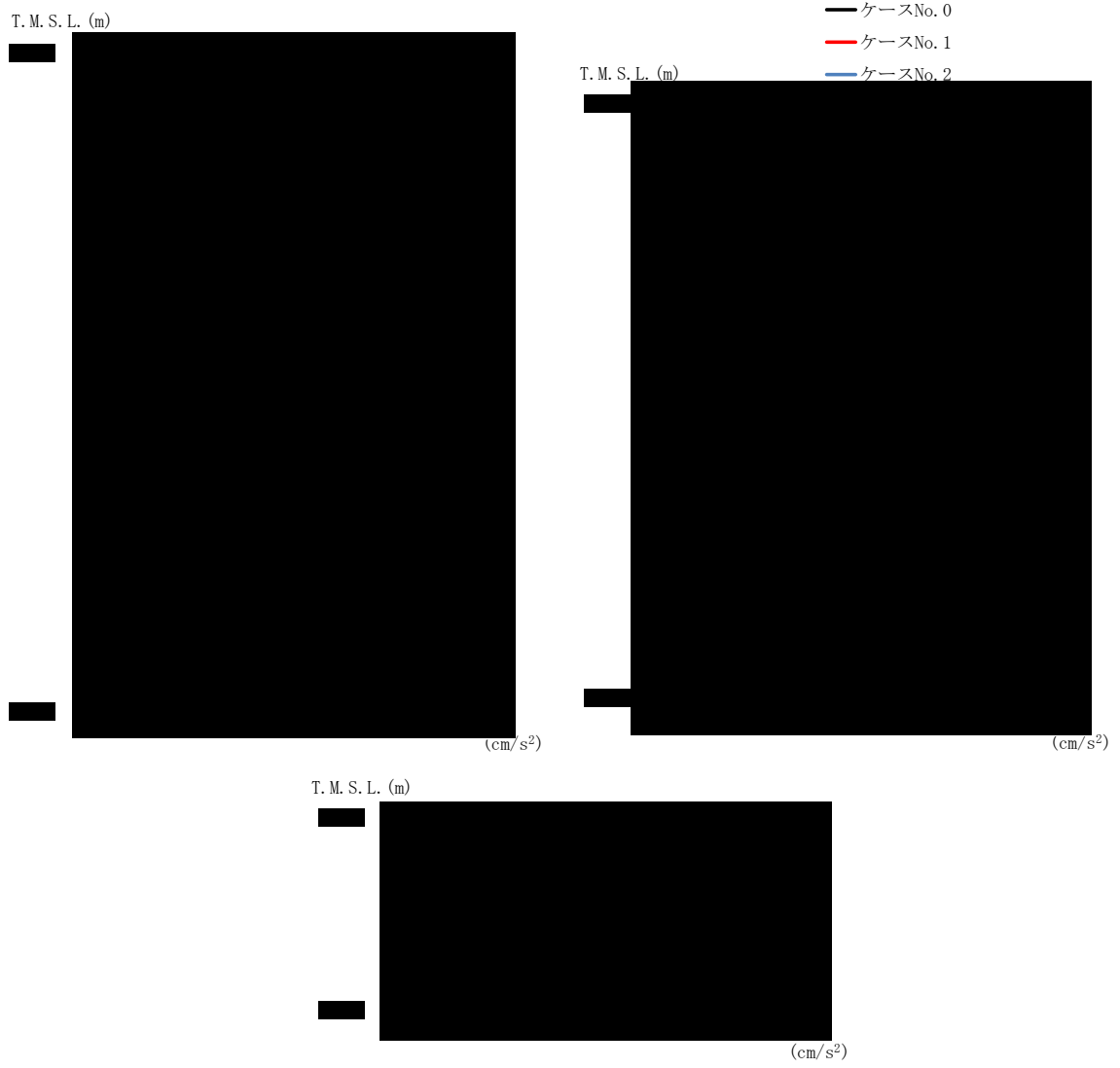
(g) Ss-C4(NS)

第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (7/8)



(h) Ss-C4(EW)

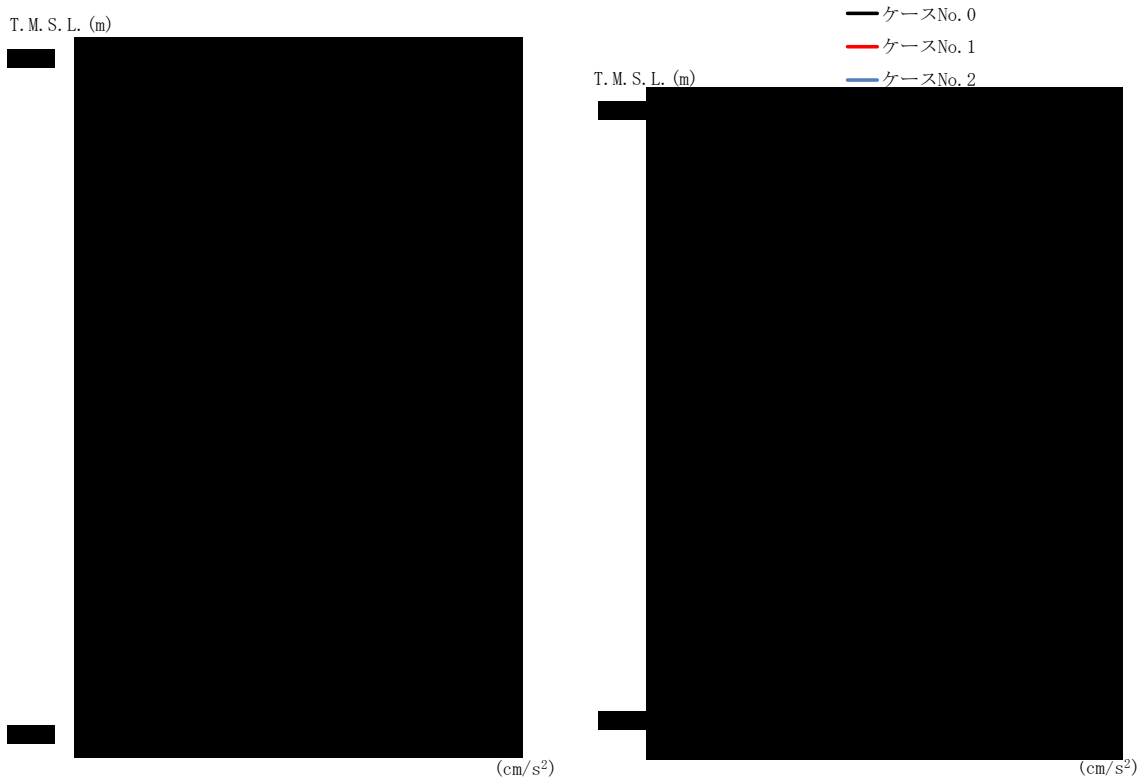
第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (8/8)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Ss-A

第 4.2-5 図 最大応答加速度 (EW 方向) (1/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Ss-B3

第 4.2-5 図 最大応答加速度 (EW 方向) (2/8)

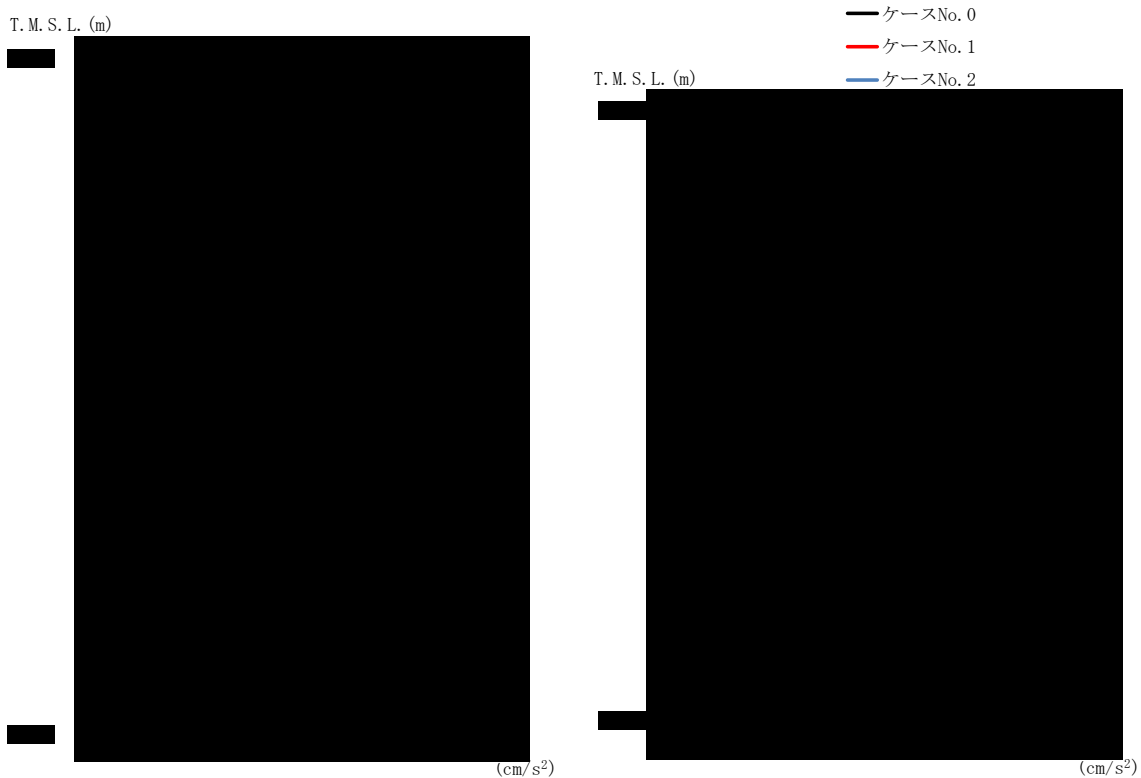


T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(c) Ss-B4

第 4.2-5 図 最大応答加速度 (EW 方向) (3/8)





T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(d) Ss-C1

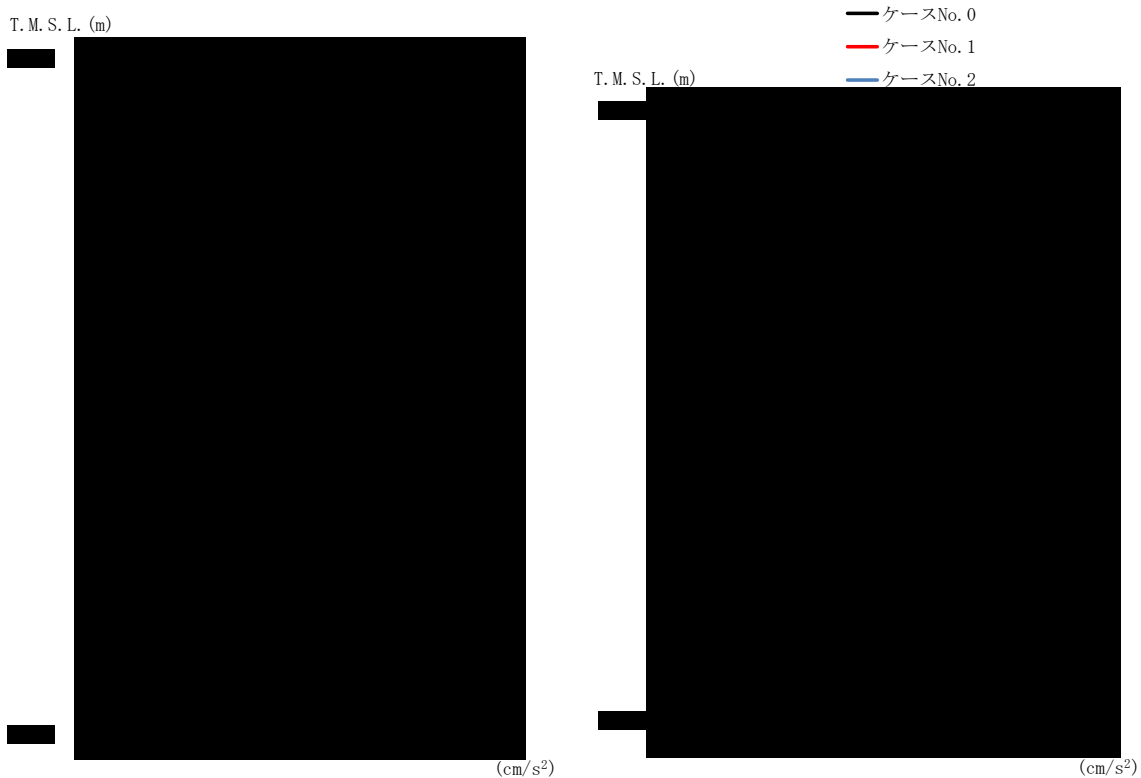
第 4.2-5 図 最大応答加速度 (EW 方向) (4/8)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(e) Ss-C3 (NS)

第 4.2-5 図 最大応答加速度 (EW 方向) (5/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Ss-C3 (EW)

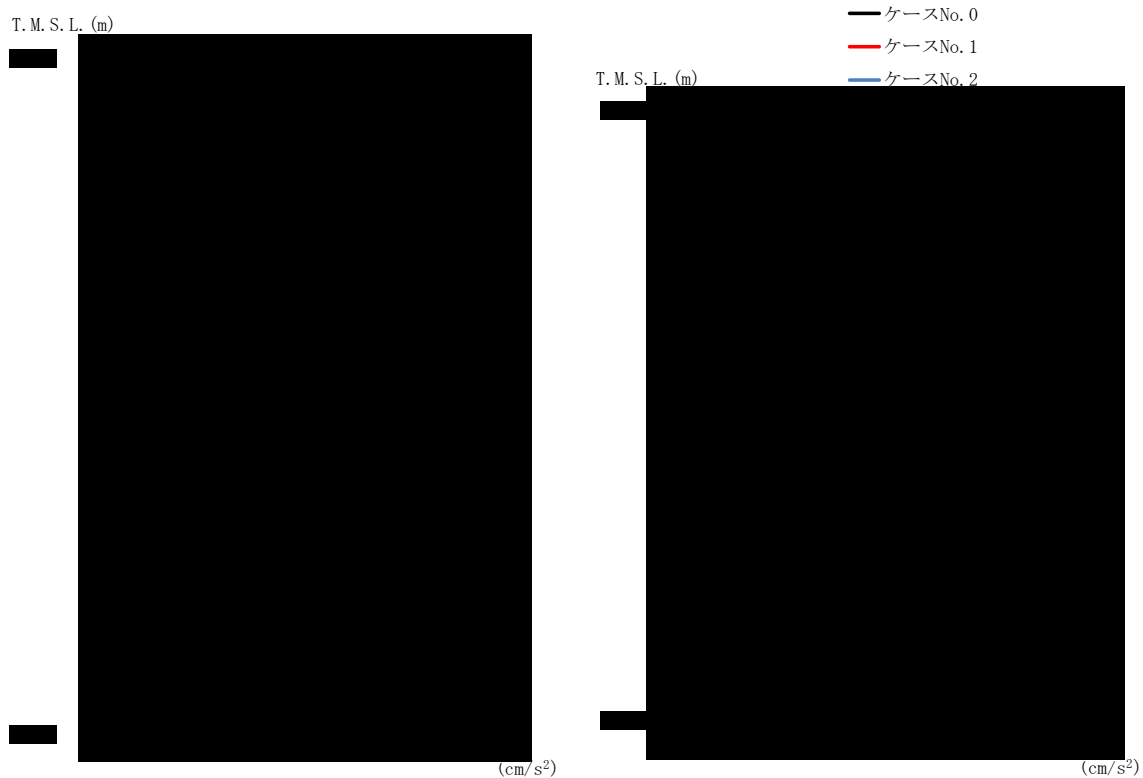
第 4.2-5 図 最大応答加速度 (EW 方向) (6/8)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(g) Ss-C4(NS)

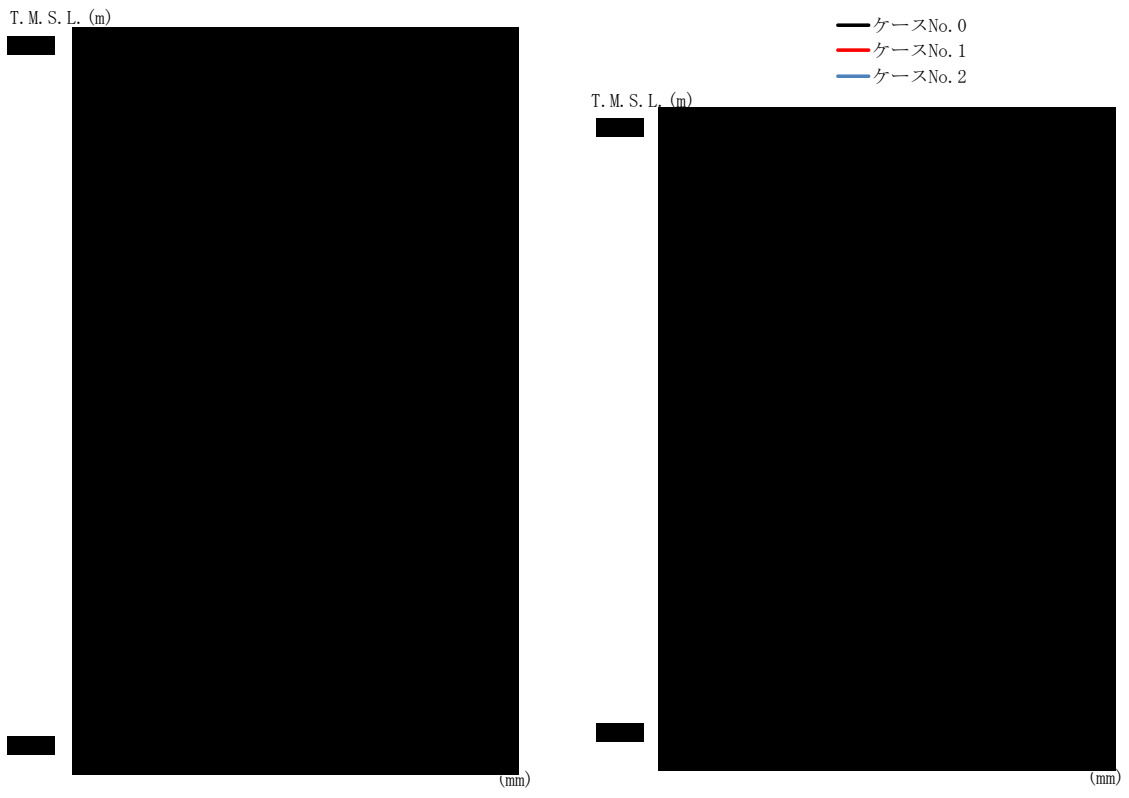
第 4.2-5 図 最大応答加速度 (EW 方向) (7/8)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(h) Ss-C4 (EW)

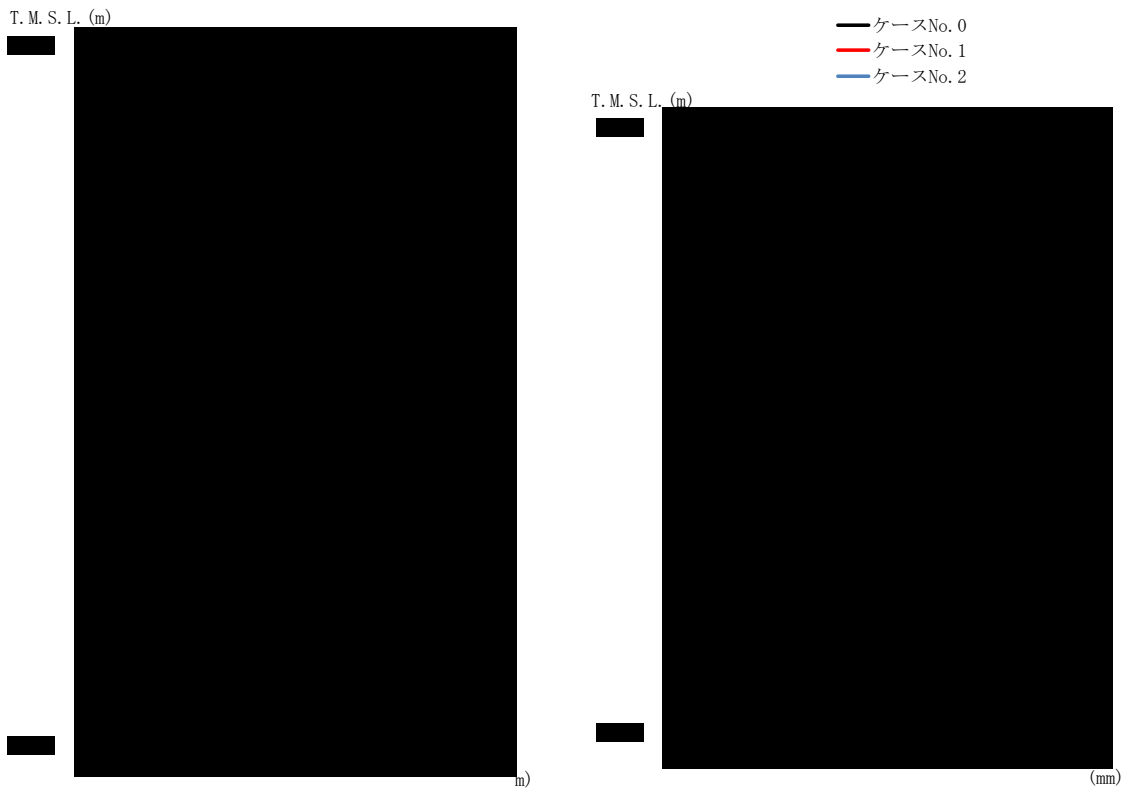
第 4.2-5 図 最大応答加速度 (EW 方向) (8/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位(mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Ss-A

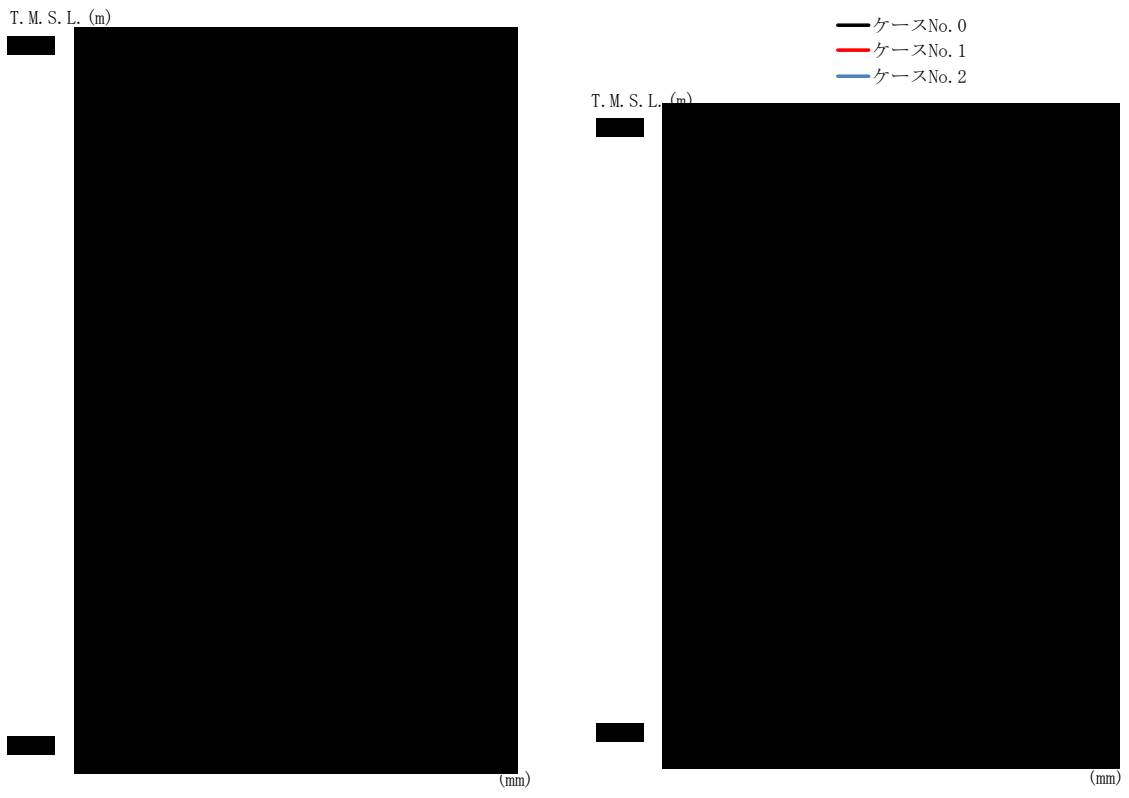
第4.2-6図 最大応答変位 (EW方向) (1/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位(mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(b) Ss-B3

第4.2-6図 最大応答変位 (EW方向) (2/8)

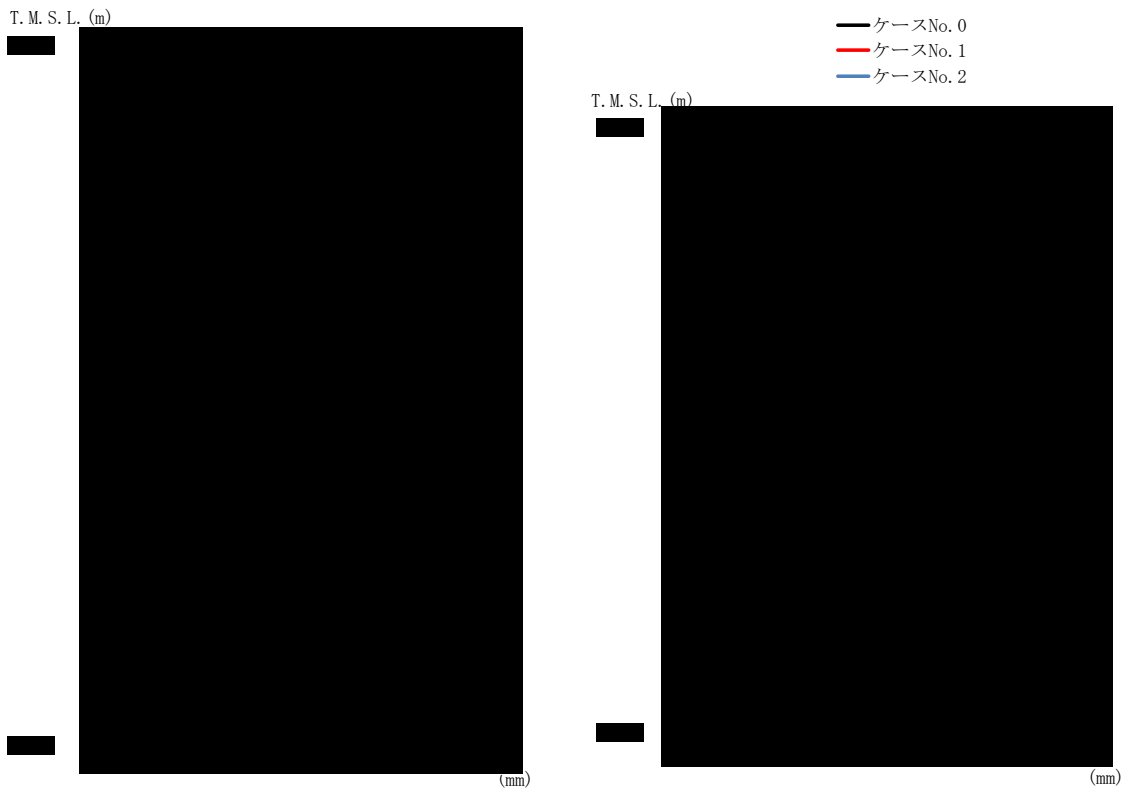


T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Ss-B4

第 4.2-6 図 最大応答変位 (EW 方向) (3/8)

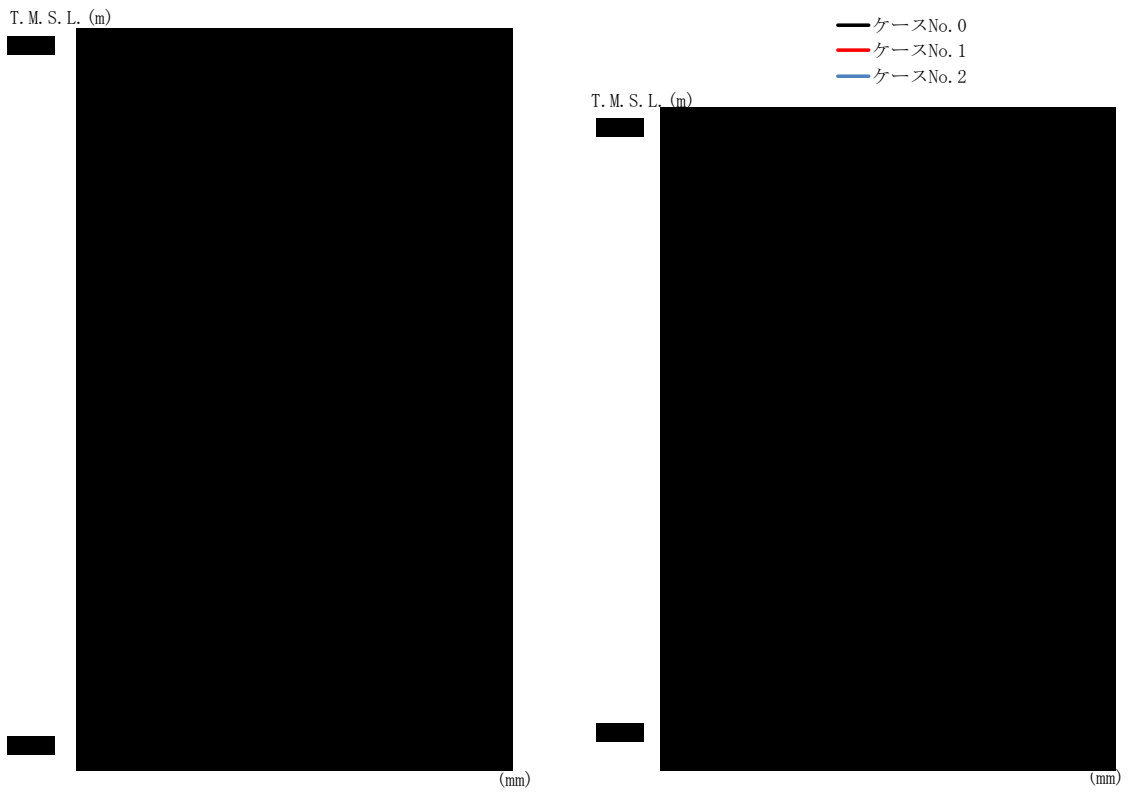




T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(d) Ss-C1

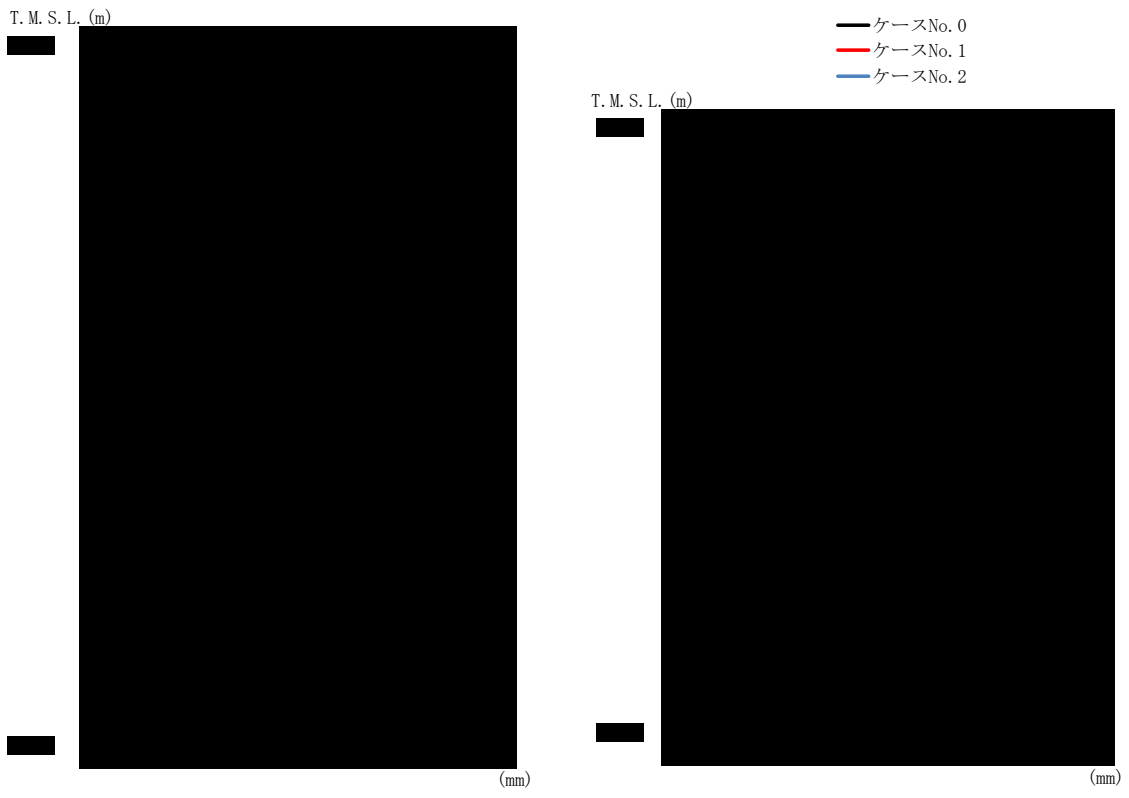
第 4.2-6 図 最大応答変位 (EW 方向) (4/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(e) Ss-C3 (NS)

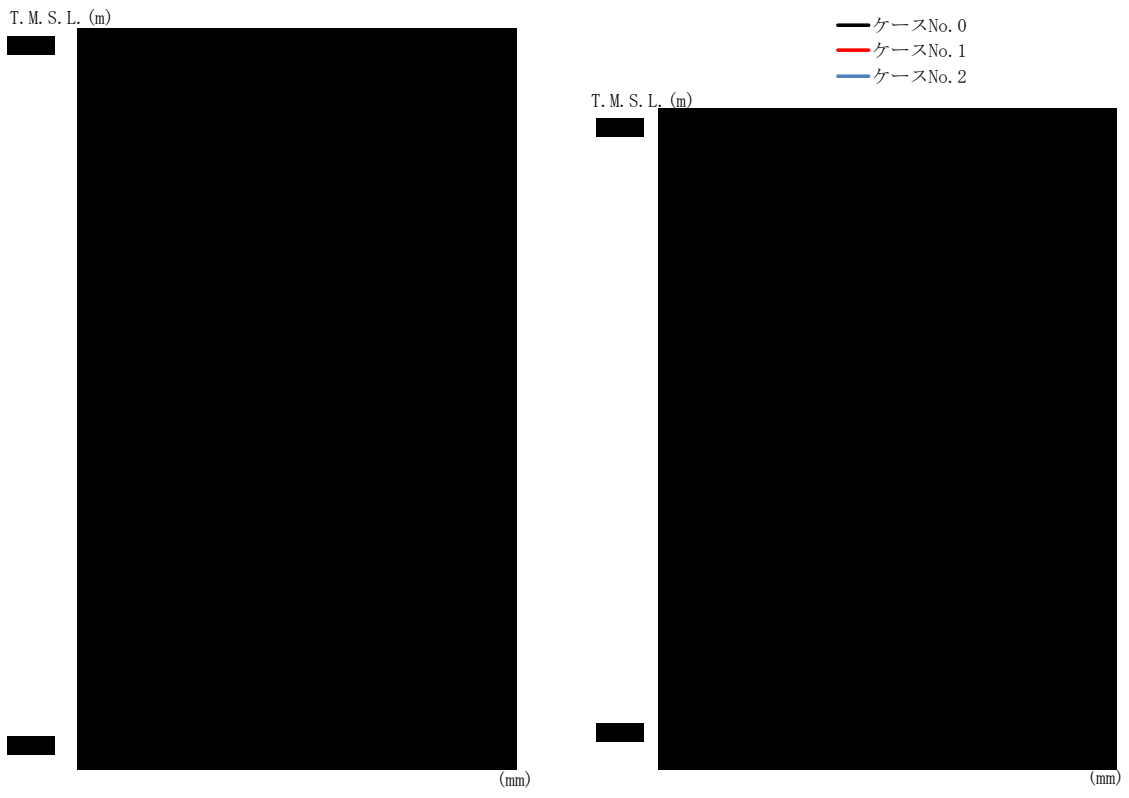
第 4. 2-6 図 最大応答変位 (EW 方向) (5/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Ss-C3 (EW)

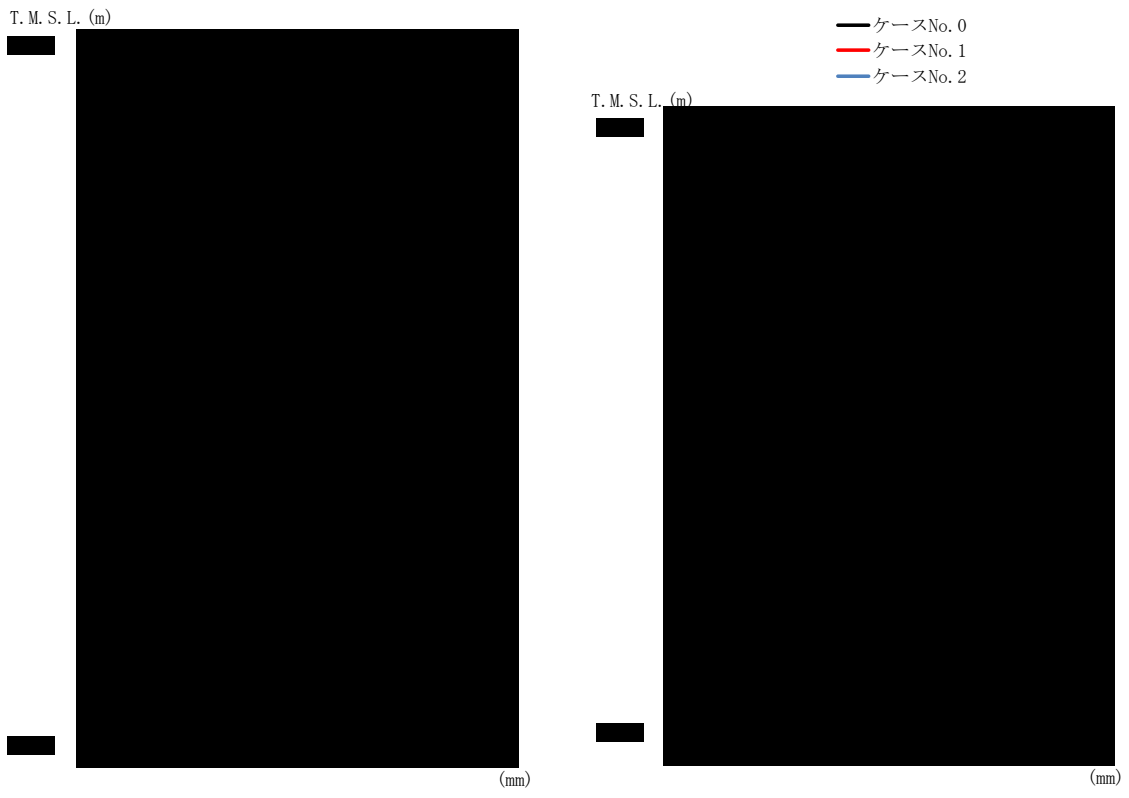
第 4. 2-6 図 最大応答変位 (EW 方向) (6/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(g) Ss-C4 (NS)

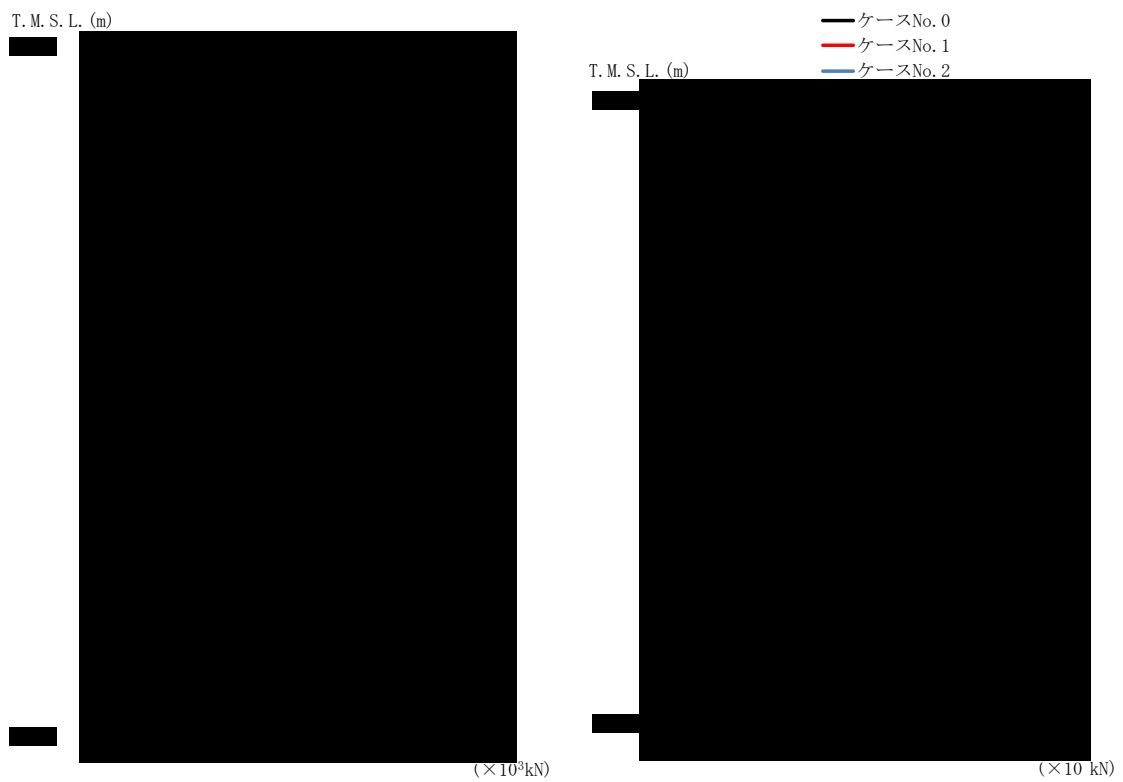
第 4. 2-6 図 最大応答変位 (EW 方向) (7/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(h) Ss-C4 (EW)

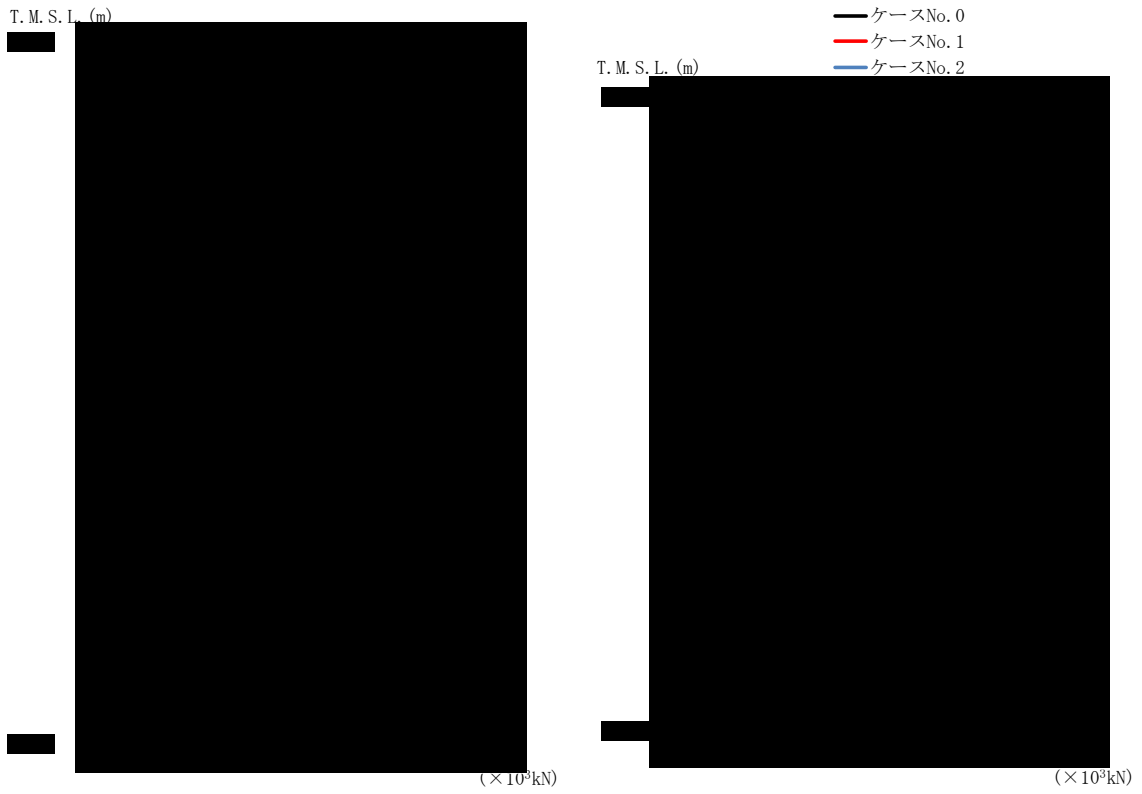
第 4. 2-6 図 最大応答変位 (EW 方向) (8/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Ss-A

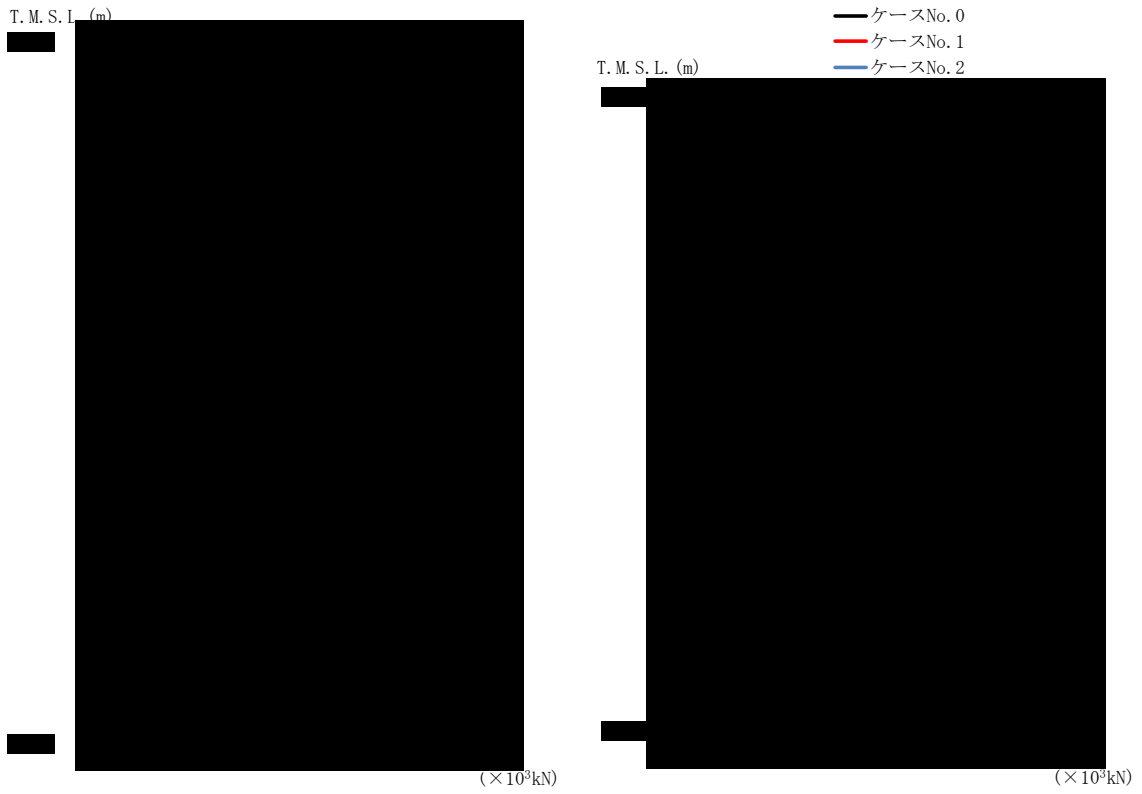
第4.2-7図 最大応答せん断力 (EW 方向) (1/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (x10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(b) Ss-B3

第4.2-7図 最大応答せん断力 (EW 方向) (2/8)

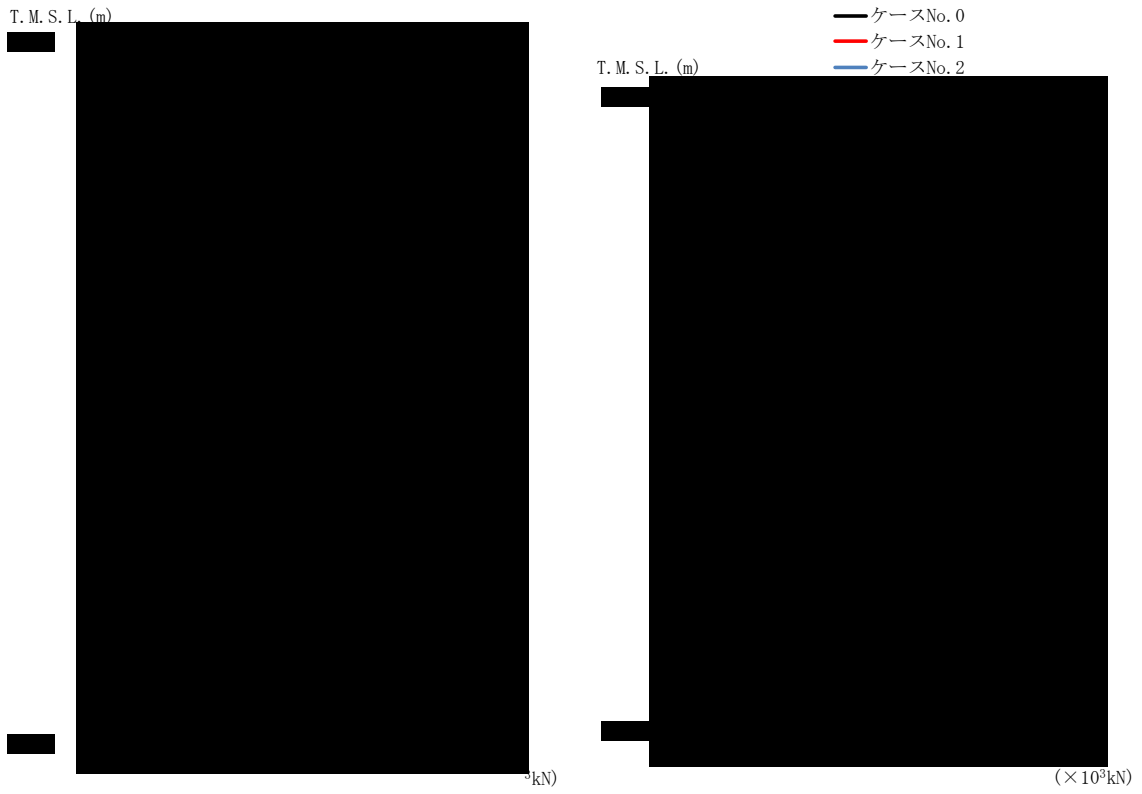


T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(c) Ss-B4

第 4.2-7 図 最大応答せん断力 (EW 方向) (3/8)

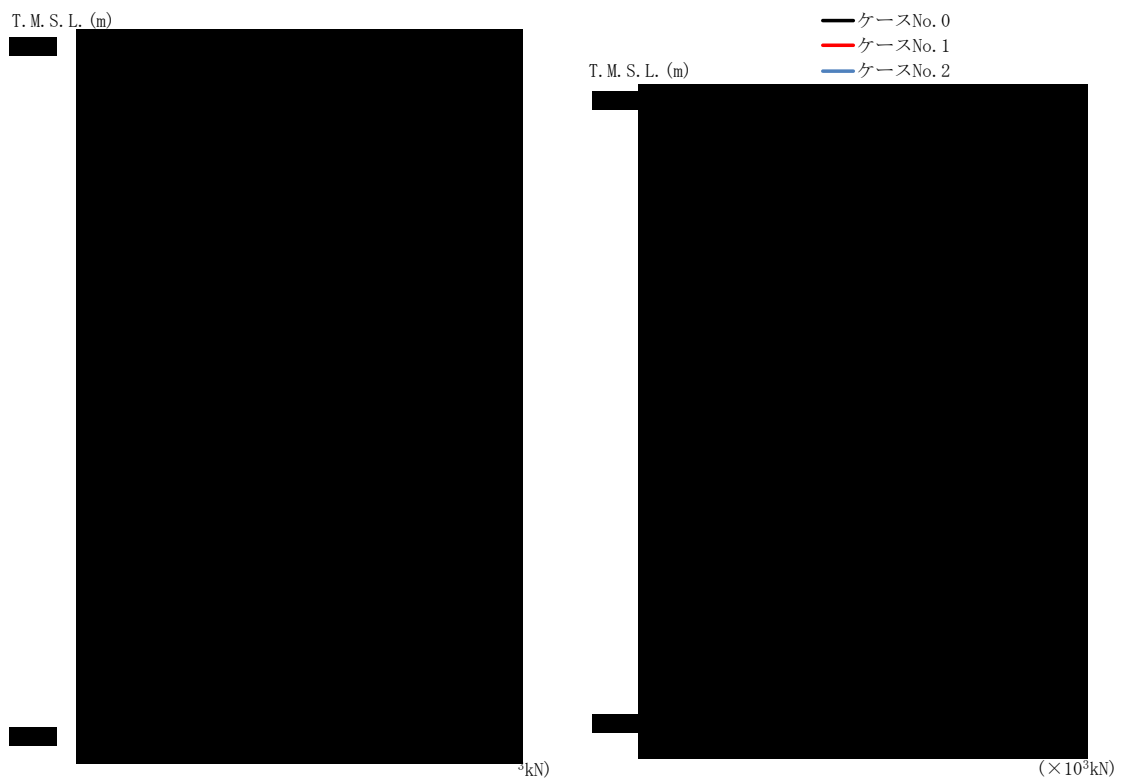




T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(d) Ss-C1

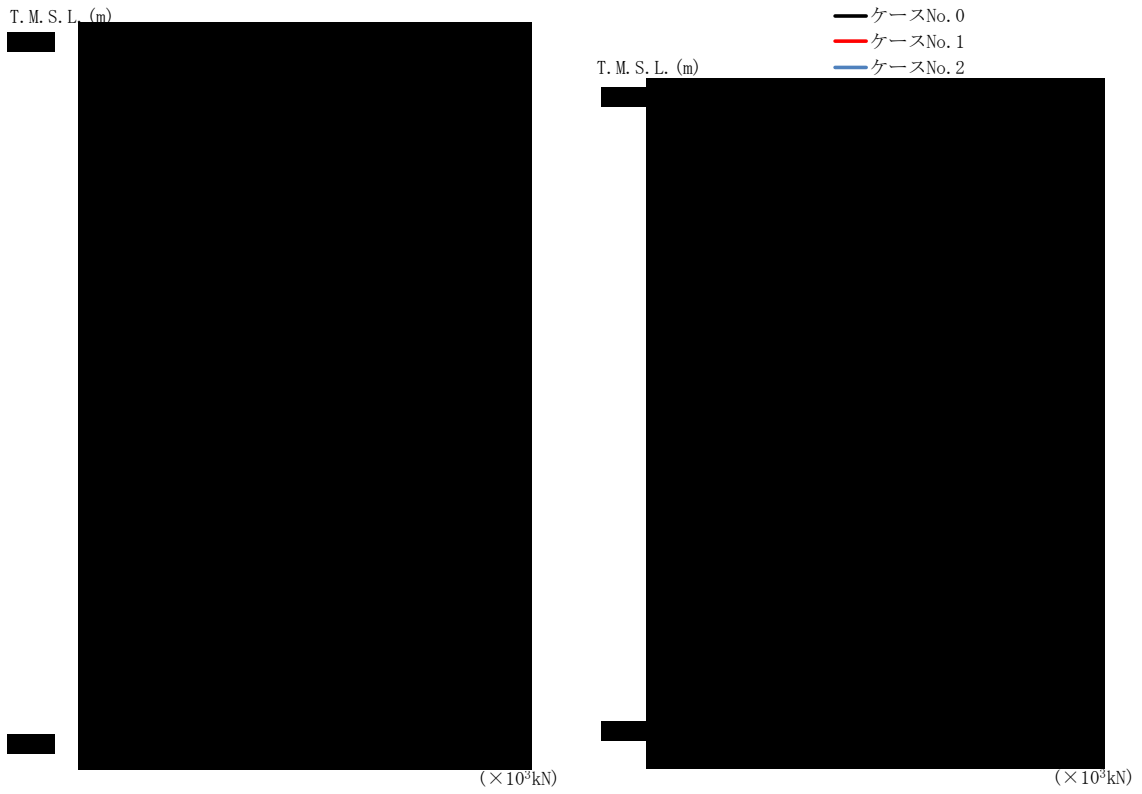
第4.2-7図 最大応答せん断力 (EW 方向) (4/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(e) Ss-C3(NS)

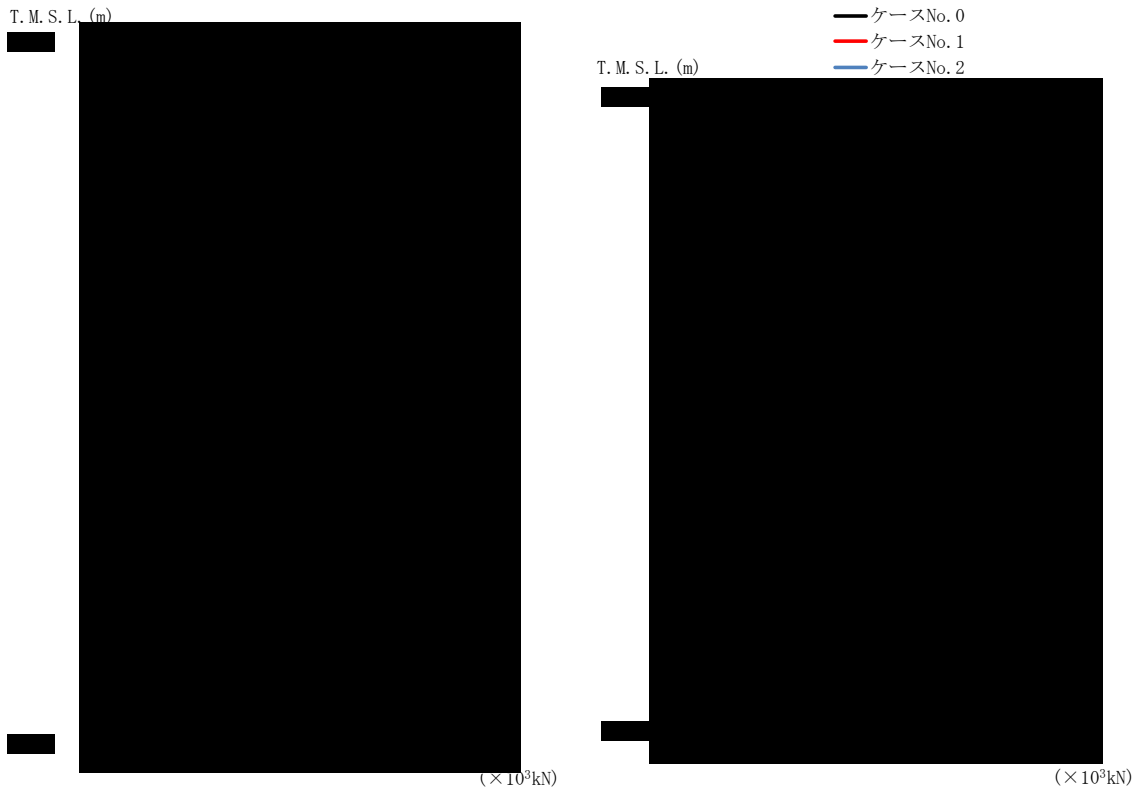
第4.2-7図 最大応答せん断力 (EW 方向) (5/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(f) Ss-C3 (EW)

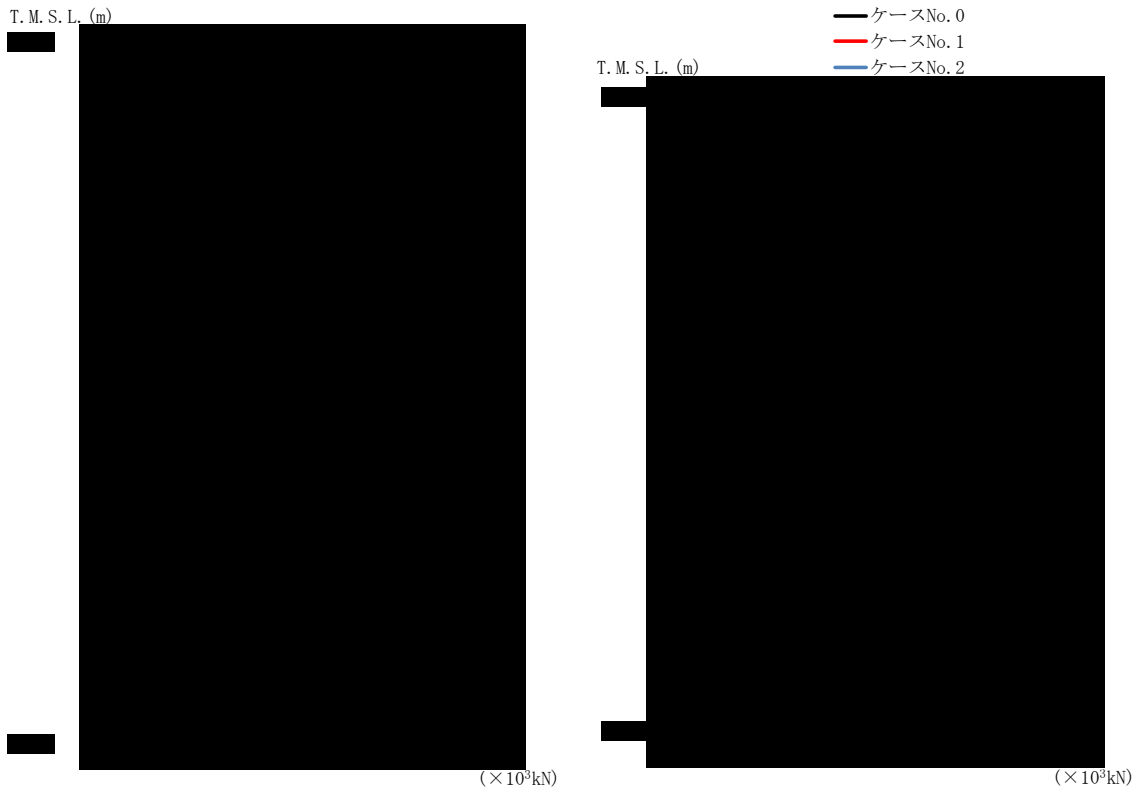
第 4. 2-7 図 最大応答せん断力 (EW 方向) (6/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (x10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(g) Ss-C4(NS)

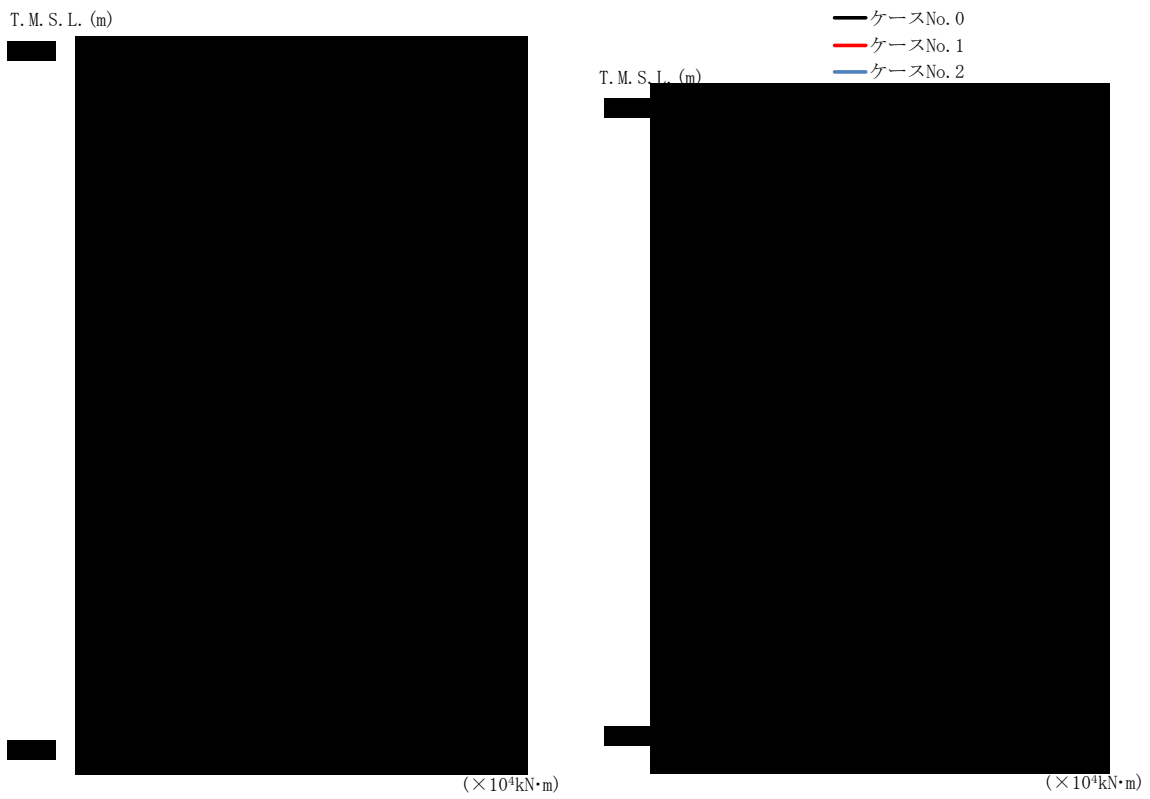
第4.2-7図 最大応答せん断力 (EW 方向) (7/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^3 \text{kN}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(h) Ss-C4 (EW)

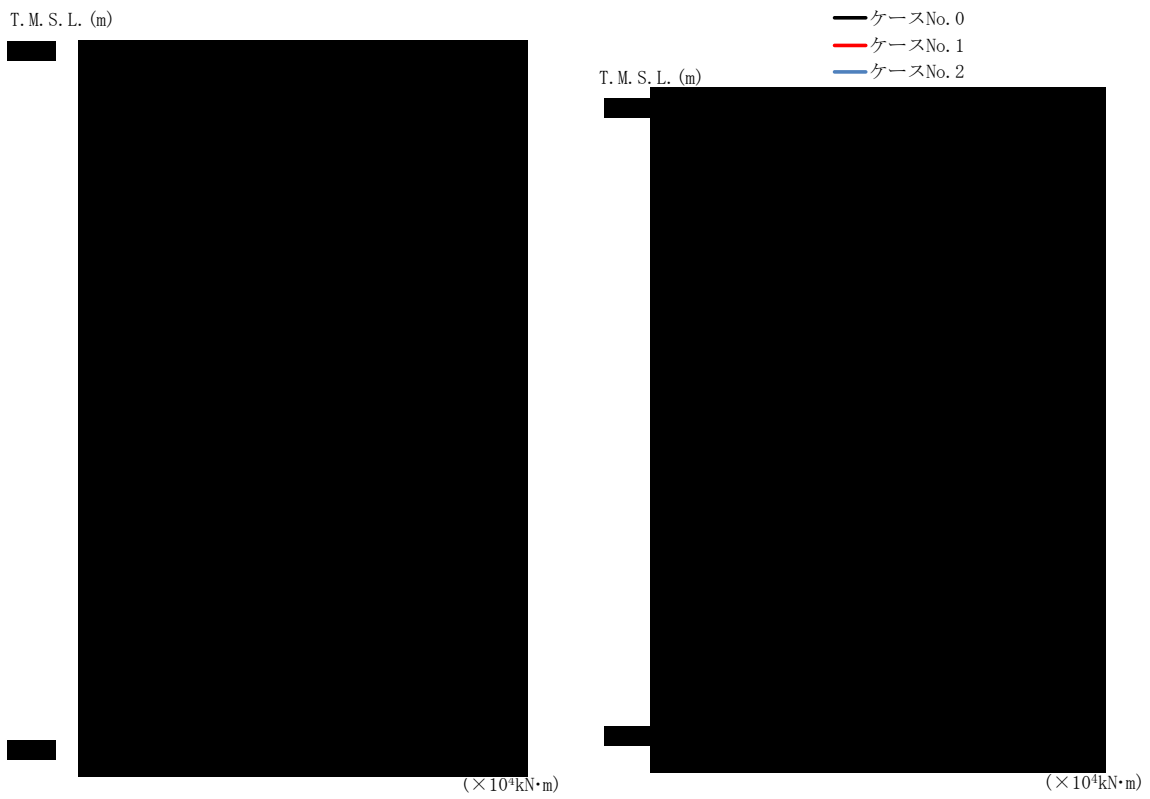
第 4. 2-7 図 最大応答せん断力 (EW 方向) (8/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Ss-A

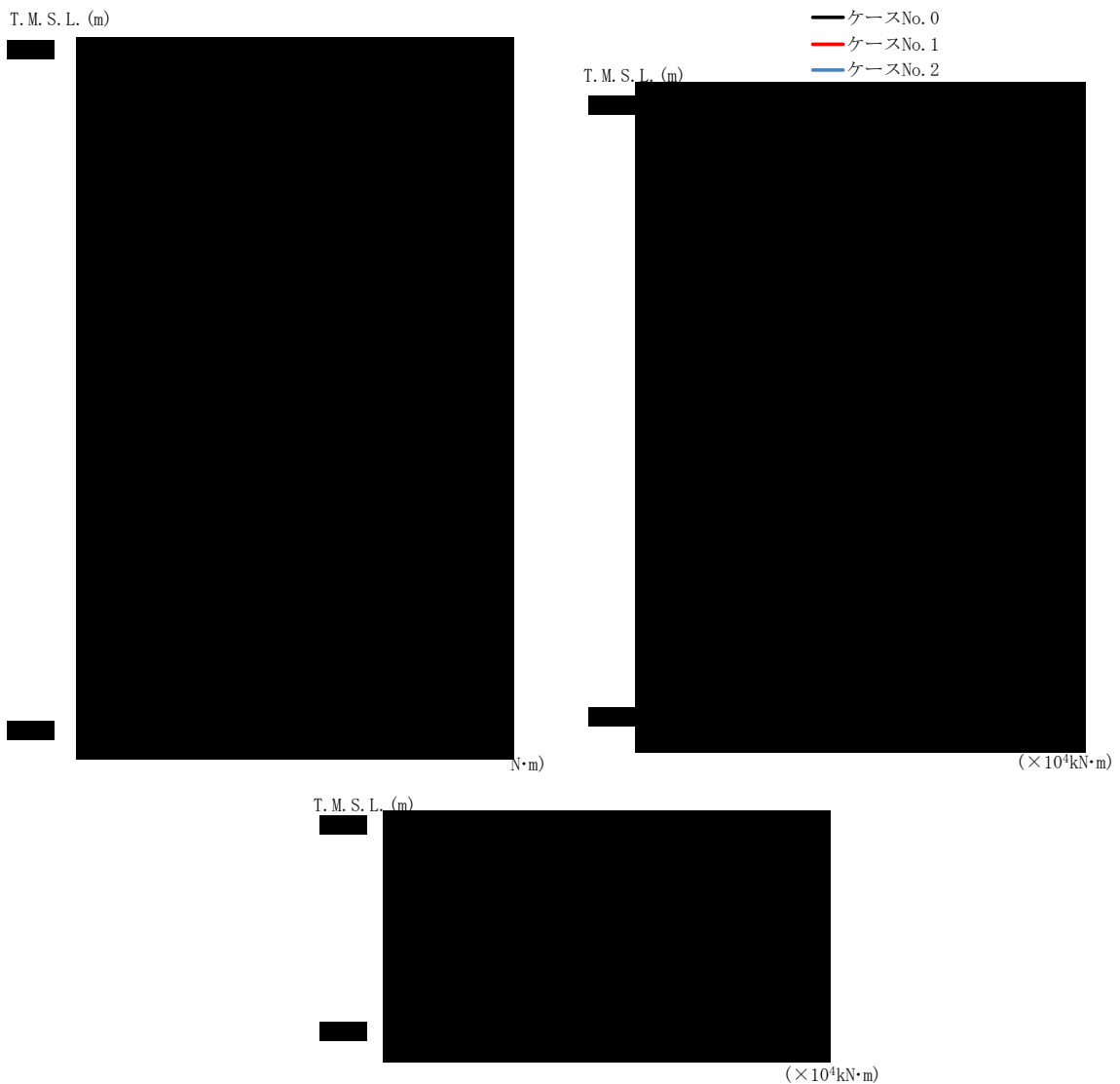
第 4.2-8 図 最大応答曲げモーメント (EW 方向) (1/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN・m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(b) Ss-B3

第4.2-8図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (2/8)

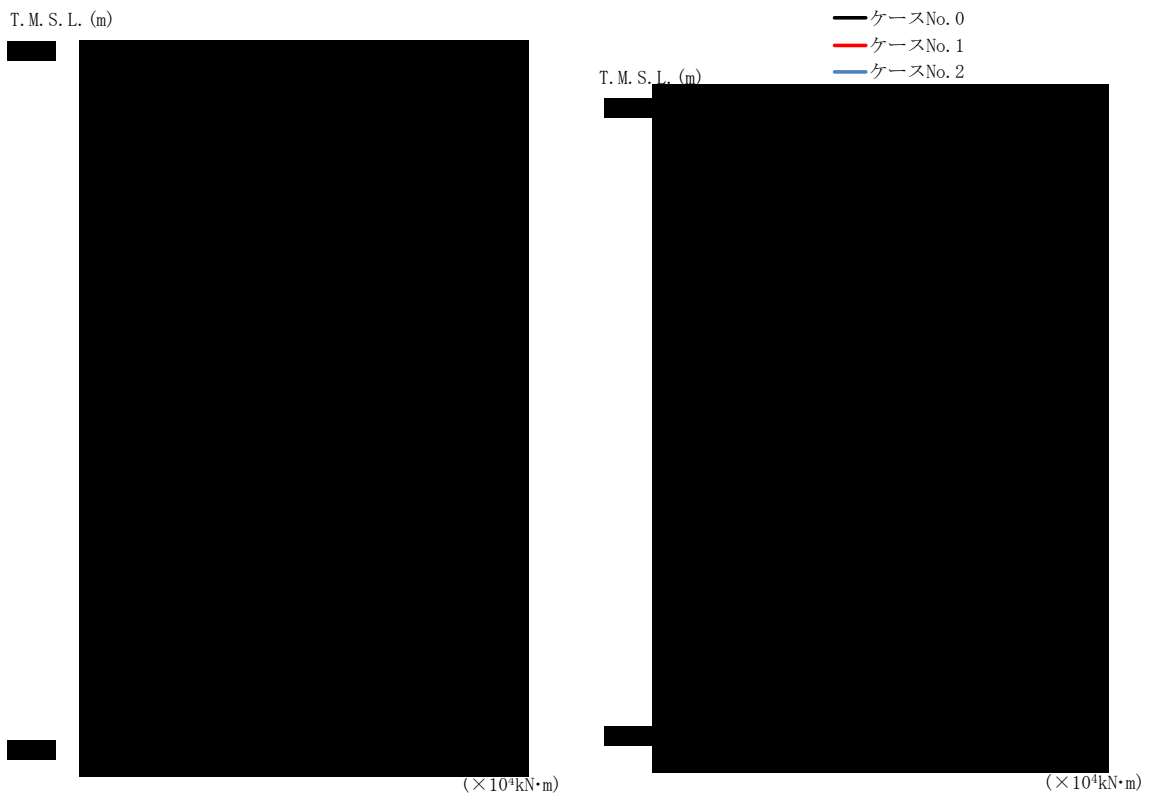


T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Ss-B4

第4.2-8図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (3/8)

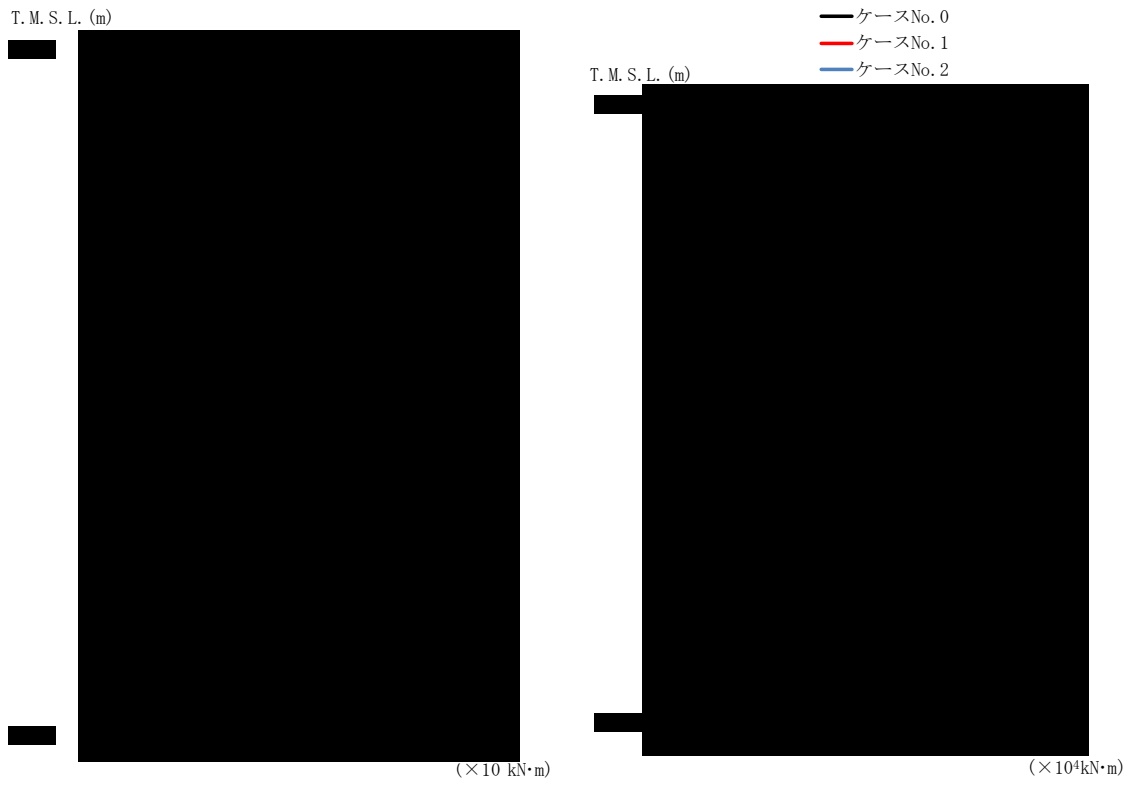




T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN・m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(d) Ss-C1

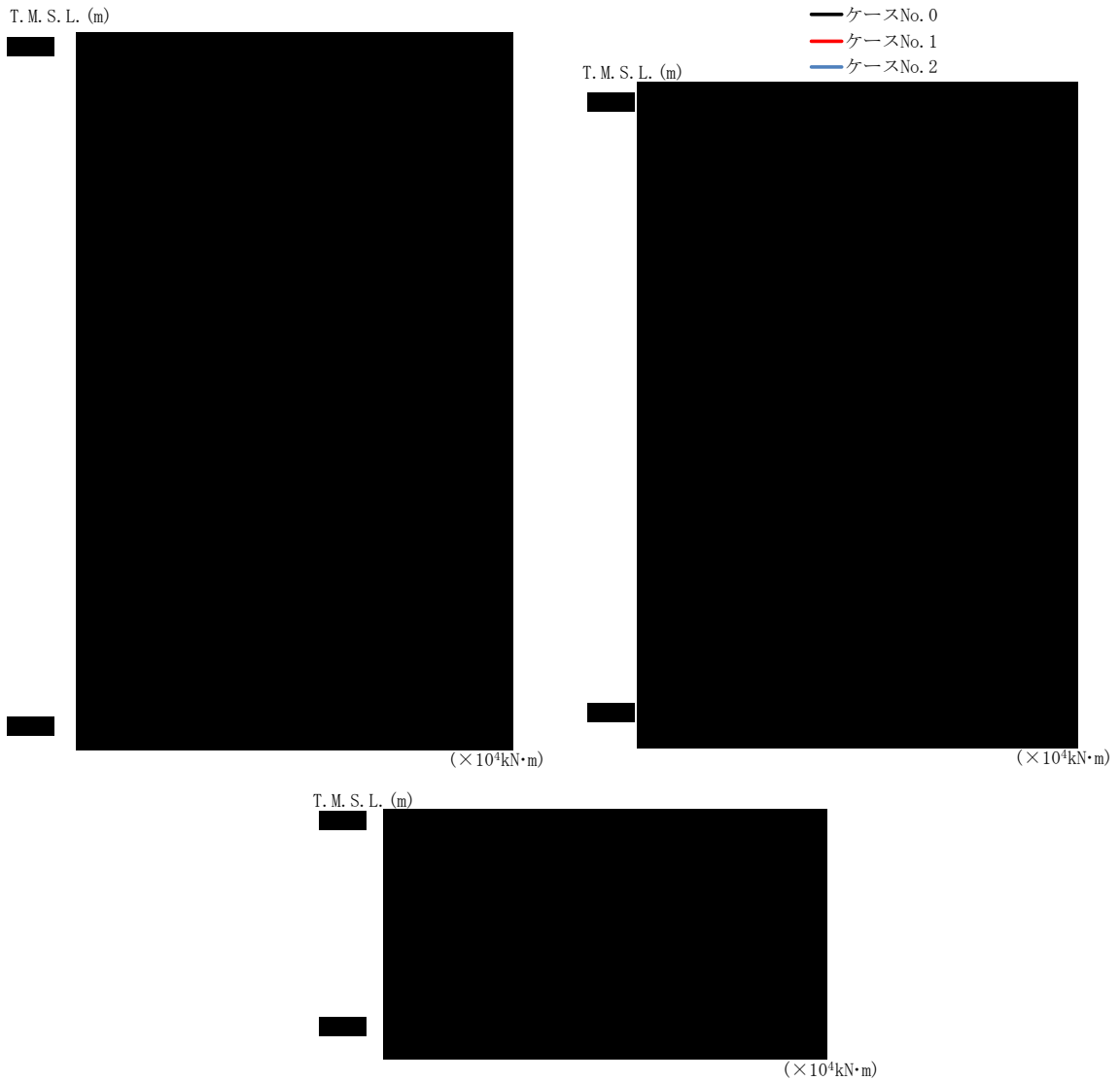
第4.2-8図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (4/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN・m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(e) Ss-C3(NS)

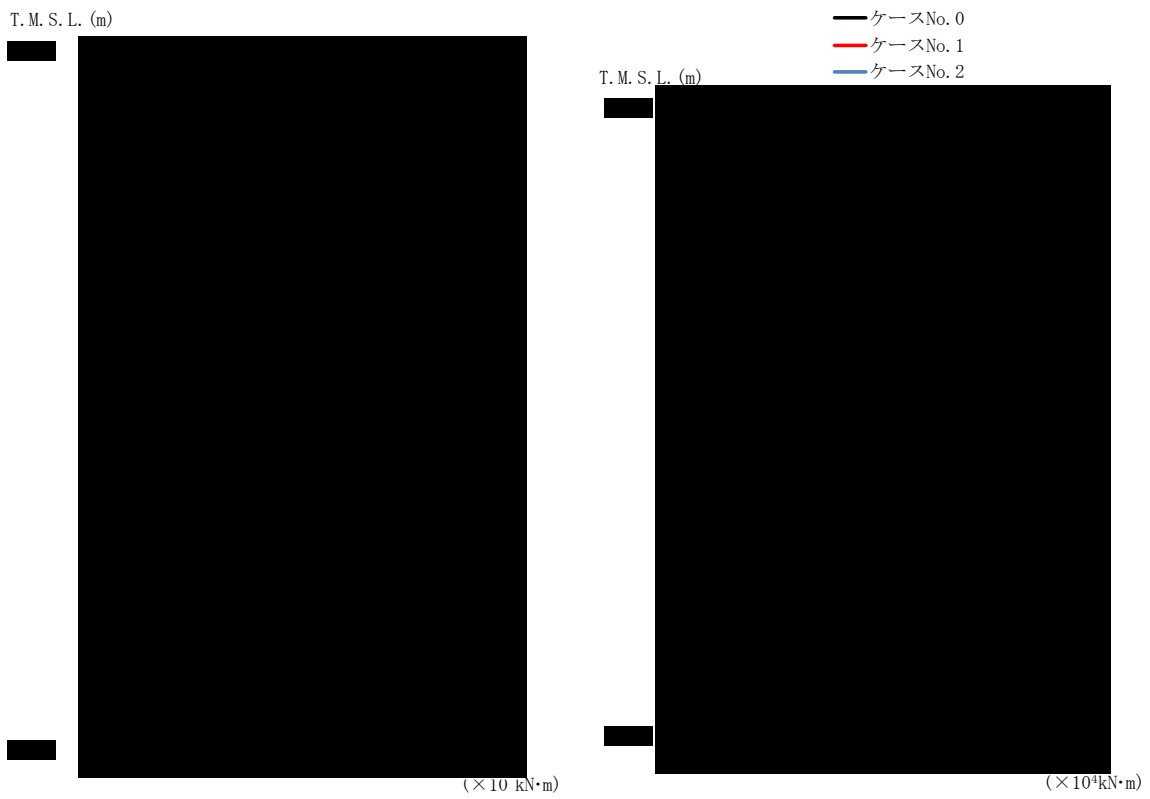
第4.2-8図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (5/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(f) Ss-C3 (EW)

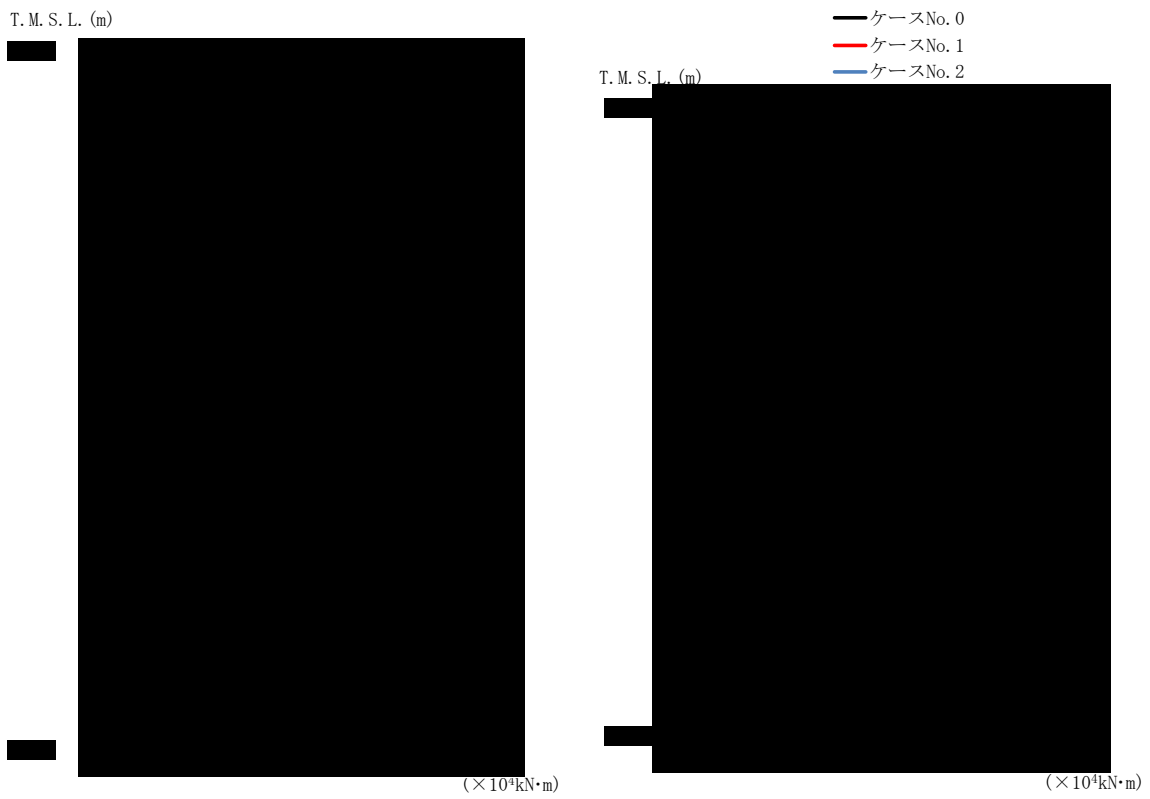
第 4.2-8 図 最大応答曲げモーメント (EW 方向) (6/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(g) Ss-C4(NS)

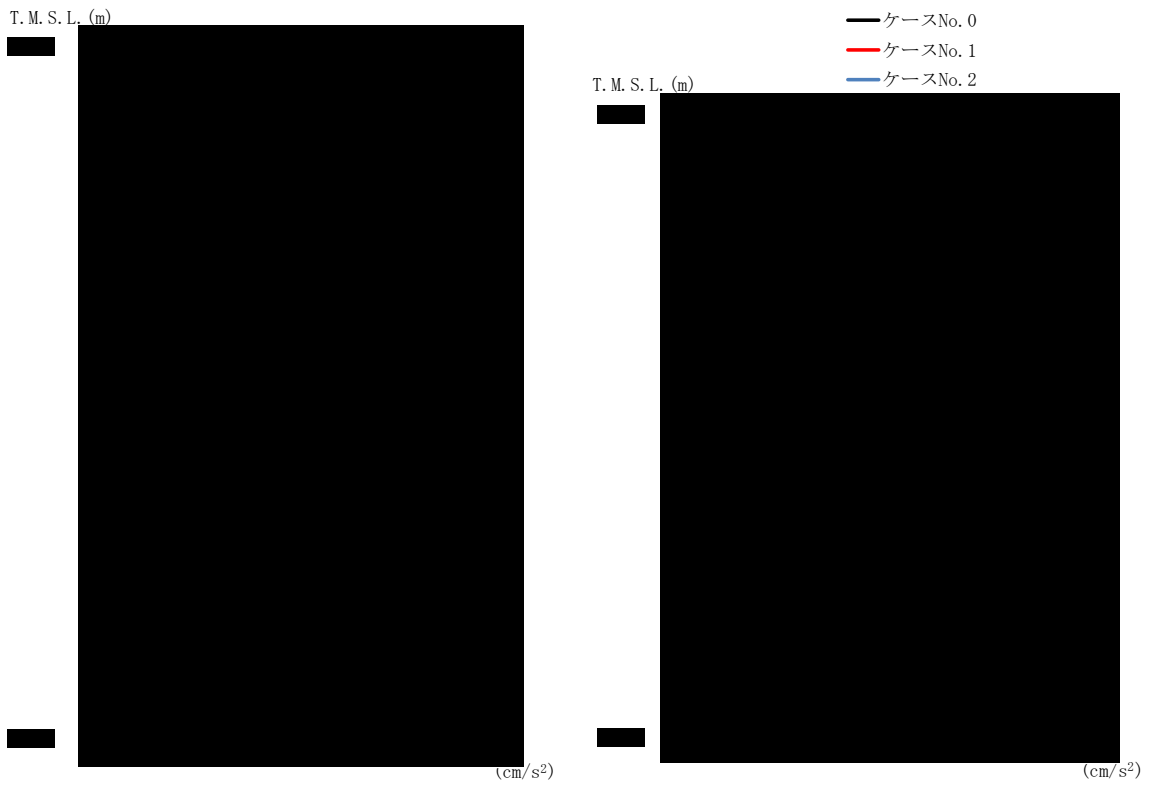
第4.2-8図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (7/8)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(h) Ss-C4 (EW)

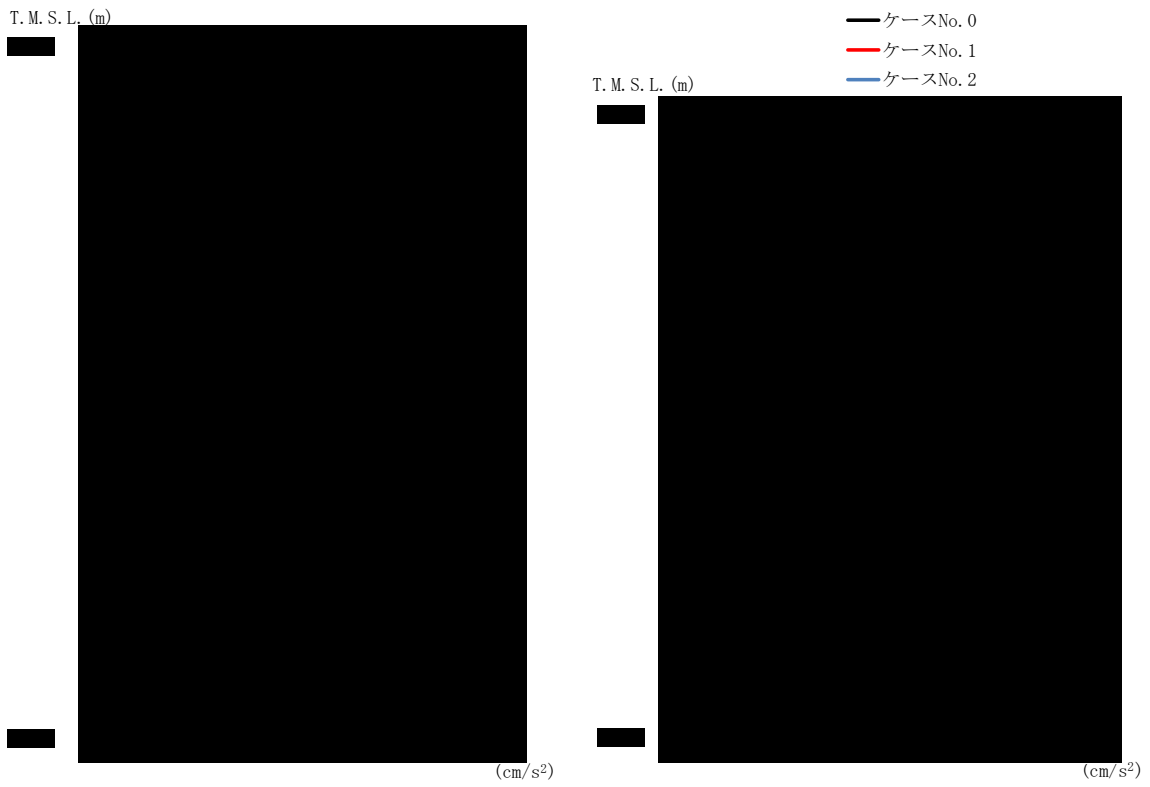
第 4.2-8 図 最大応答曲げモーメント (EW 方向) (8/8)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Ss-A

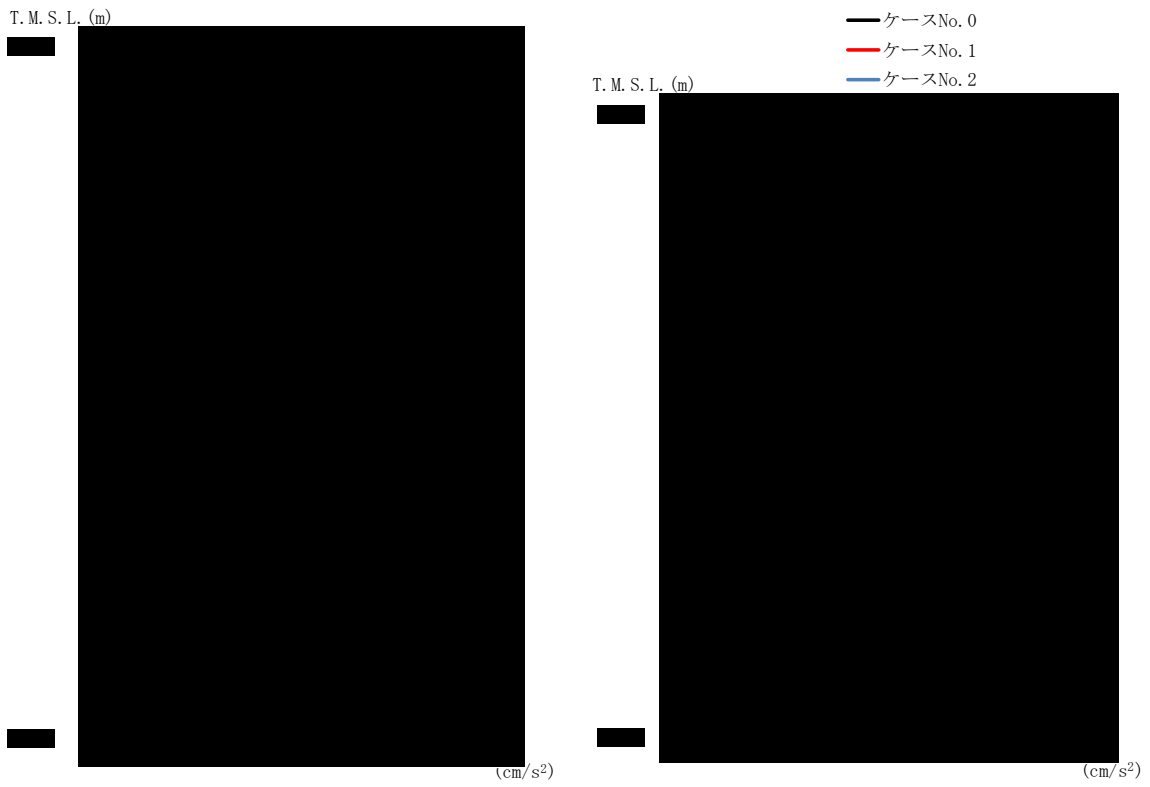
第4.2-9図 最大応答加速度 (鉛直方向) (1/5)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Ss-B3

第 4.2-9 図 最大応答加速度 (鉛直方向) (2/5)

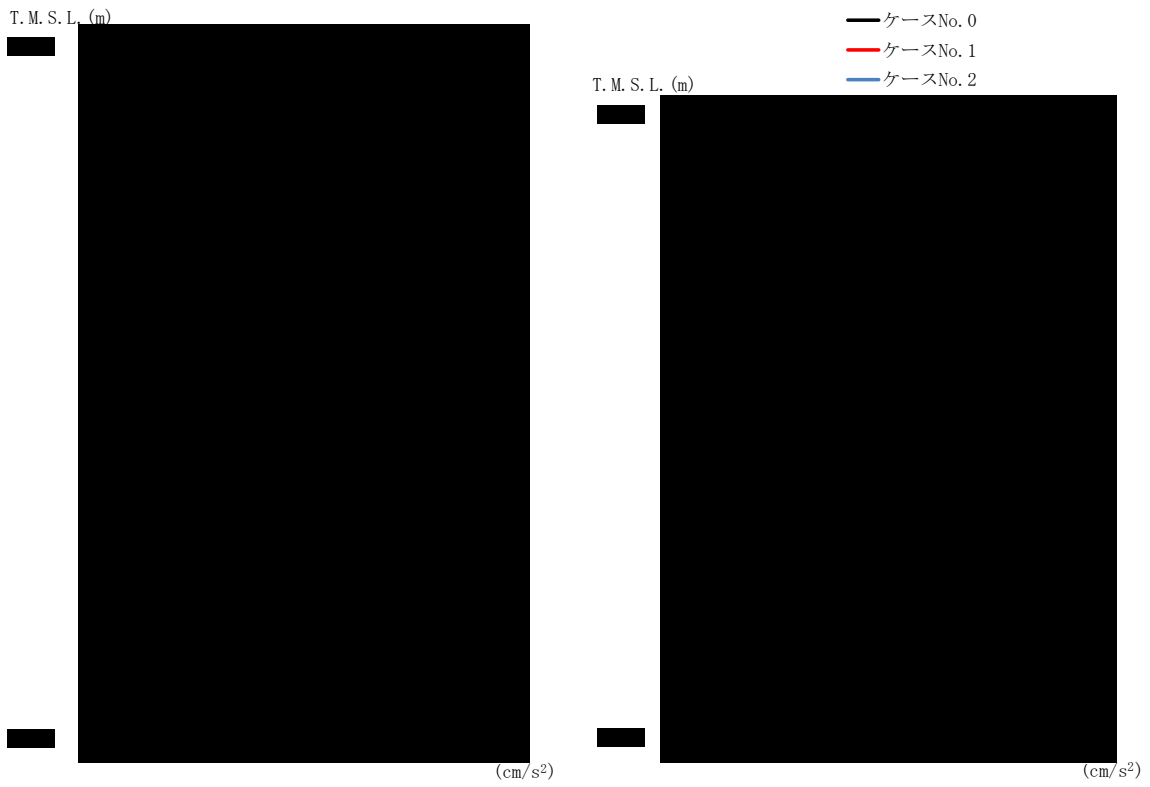


T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Ss-B4

第 4.2-9 図 最大応答加速度 (鉛直方向) (3/5)

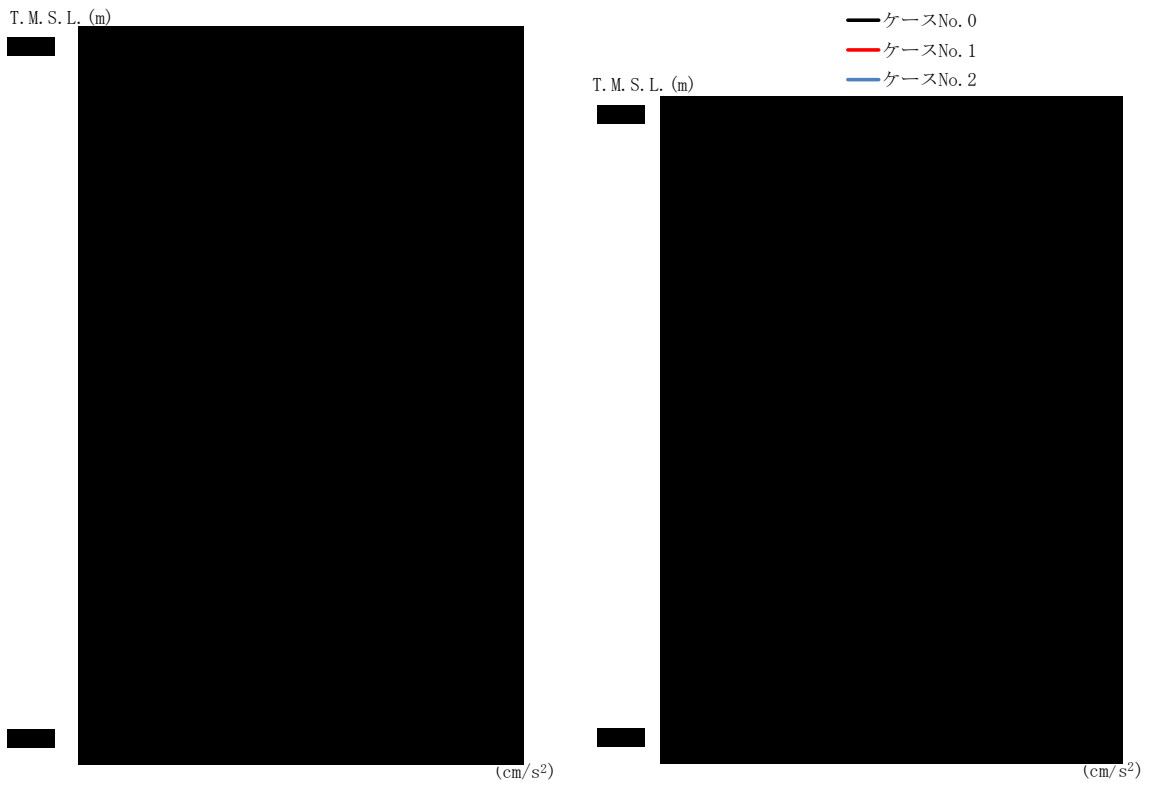




T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(d) Ss-C1

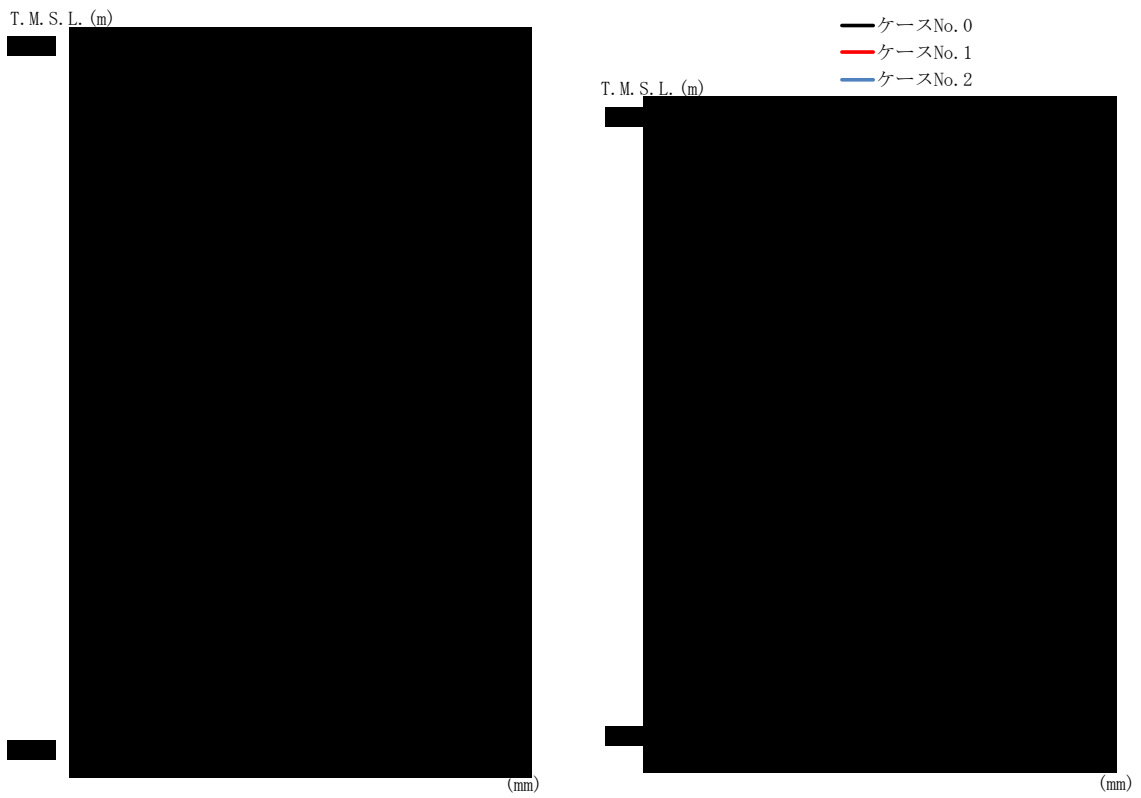
第4.2-9図 最大応答加速度 (鉛直方向) (4/5)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Ss-C3

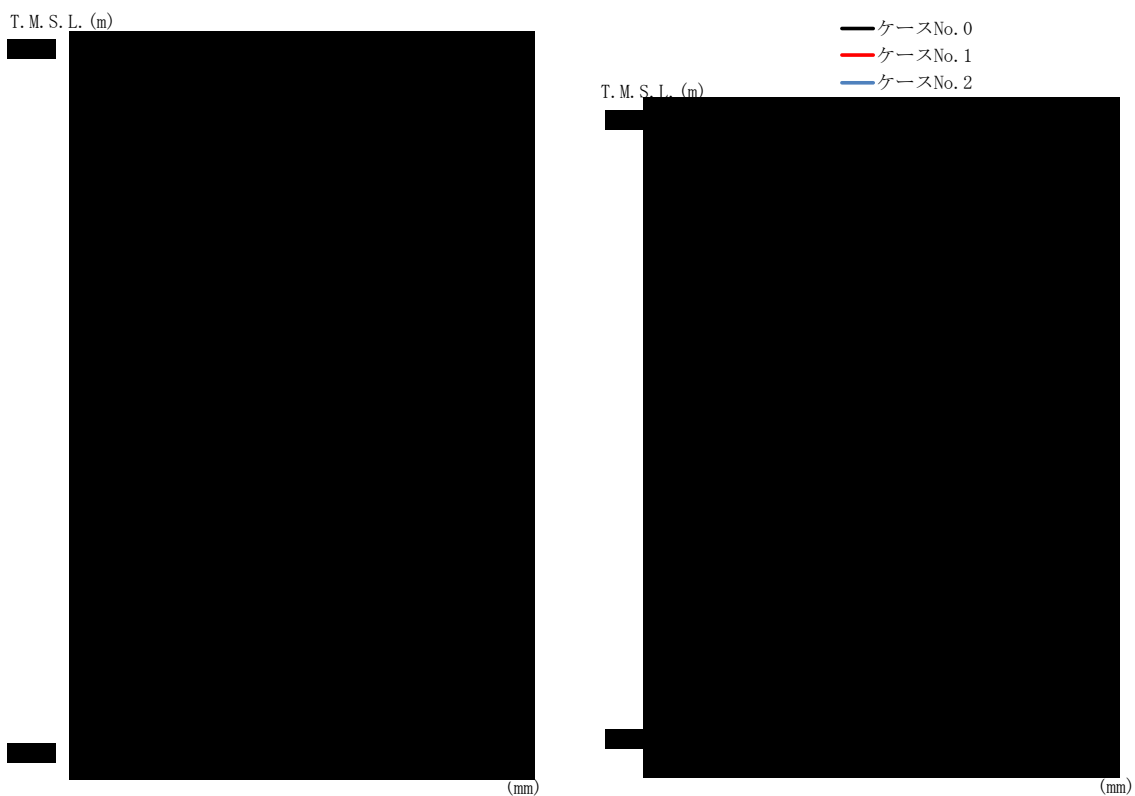
第 4.2-9 図 最大応答加速度 (鉛直方向) (5/5)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(a) Ss-A

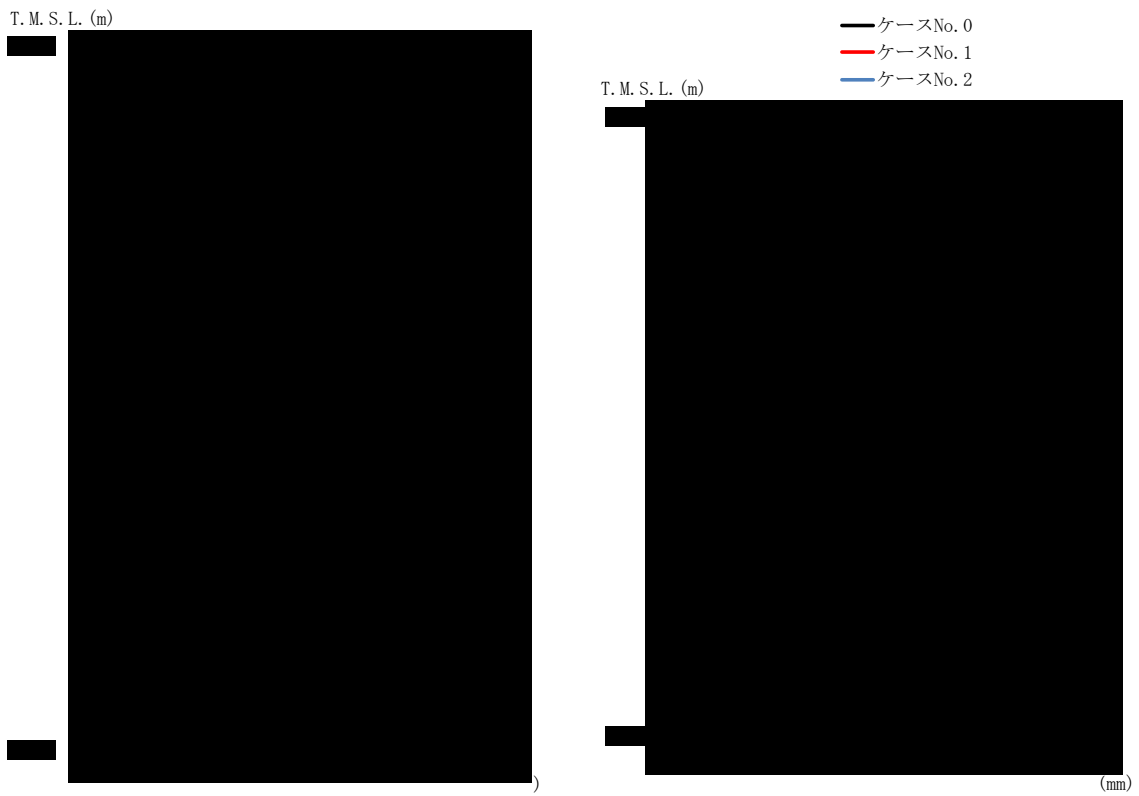
第 4.2-10 図 最大応答変位 (鉛直方向) (1/5)



T. M. S. L. (m)	質 点 番 号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(b) Ss-B3

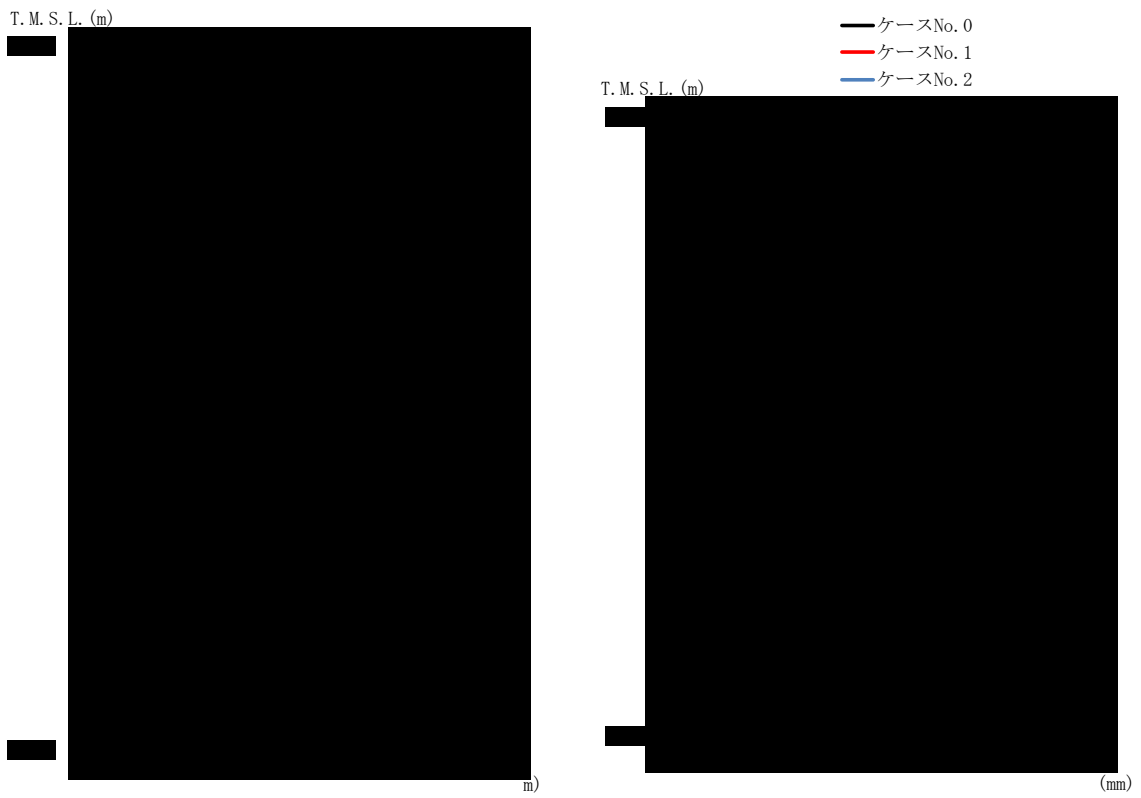
第 4.2-10 図 最大応答変位 (鉛直方向) (2/5)



T. M. S. L. (m)	質 点 番 号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted data]				

(c) Ss-B4

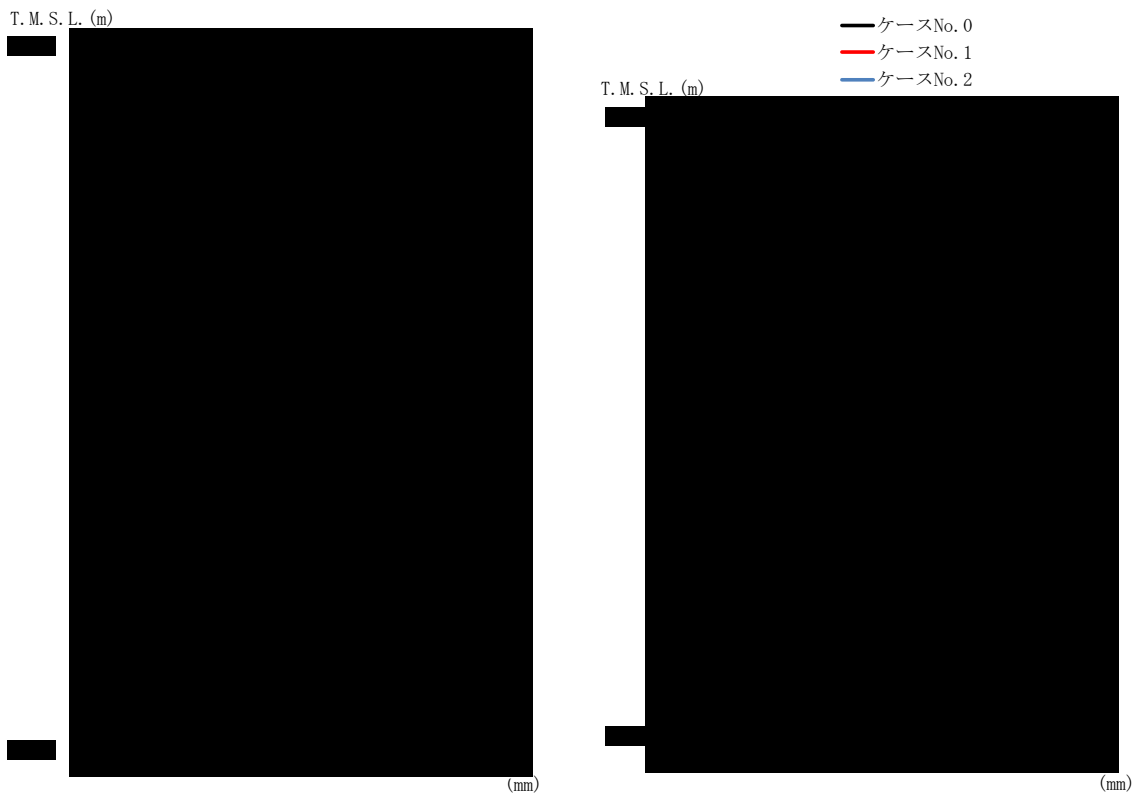
第 4.2-10 図 最大応答変位 (鉛直方向) (3/5)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(d) Ss-C1

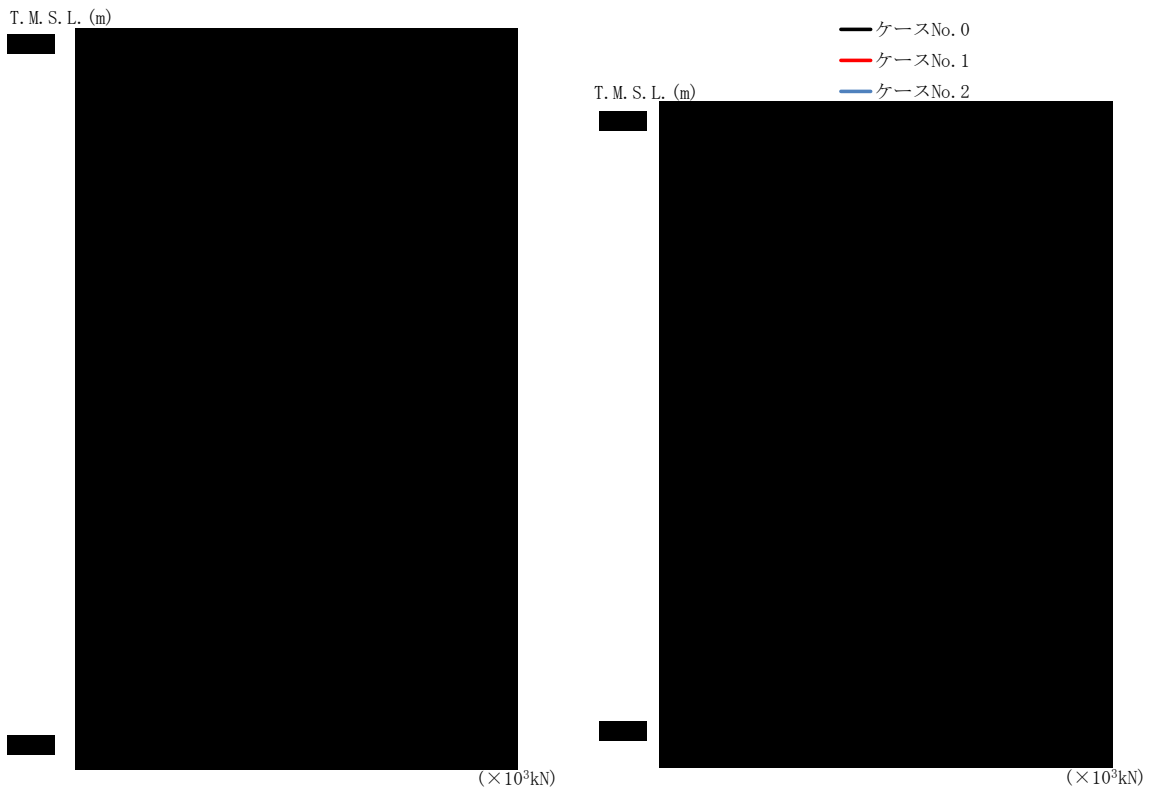
第 4.2-10 図 最大応答変位 (鉛直方向) (4/5)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Ss-C3

第 4.2-10 図 最大応答変位 (鉛直方向) (5/5)

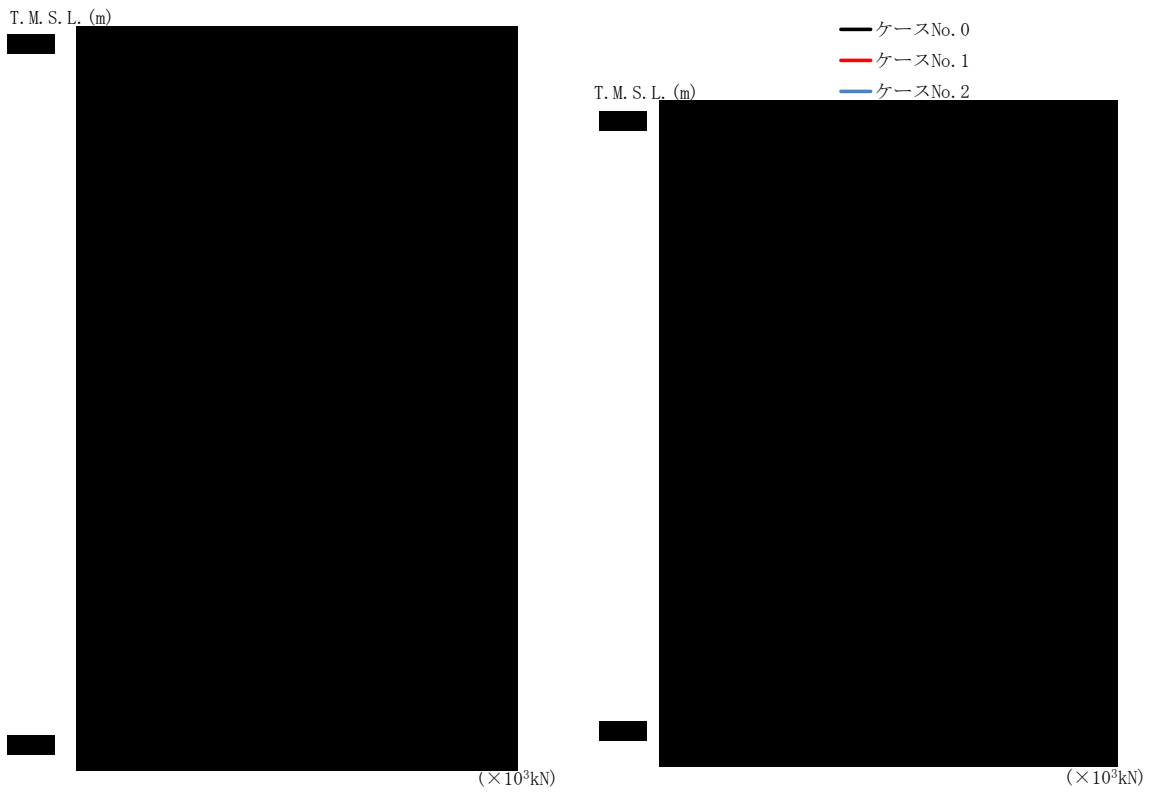


T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力 ( $\times 10^3 \text{kN}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Ss-A

第 4.2-11 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (1/5)

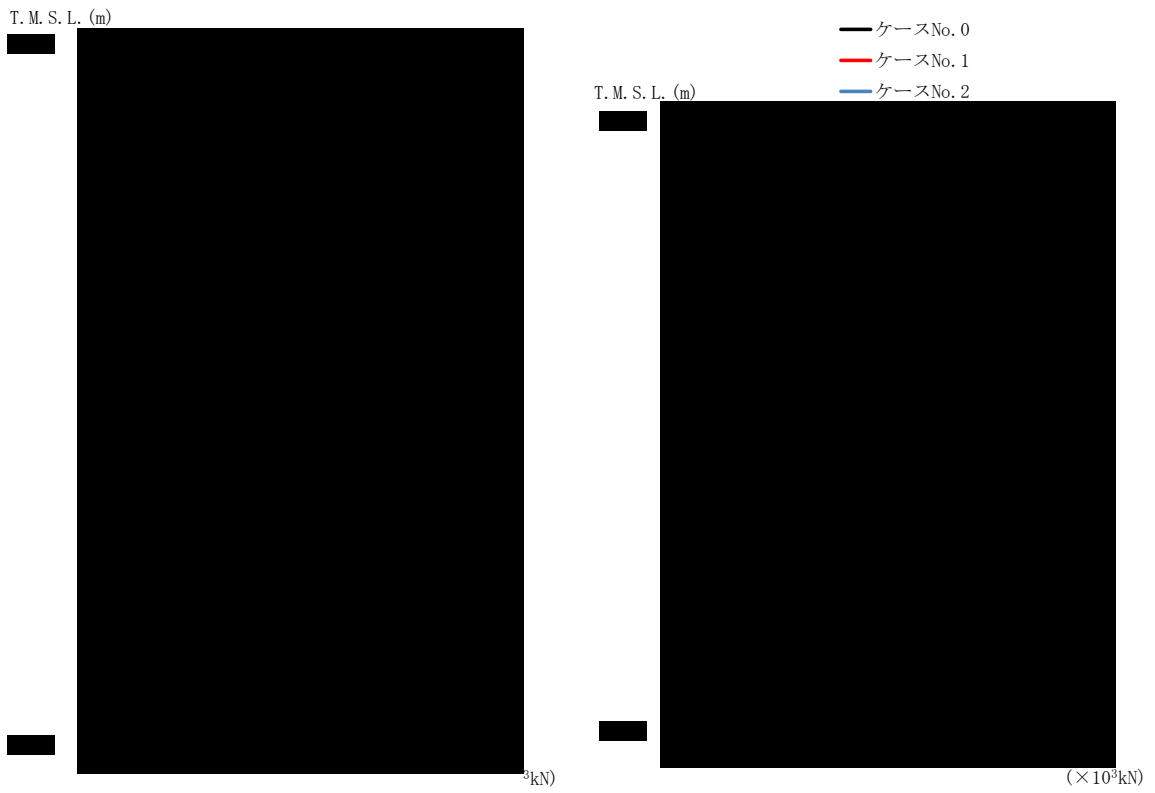




T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Ss-B3

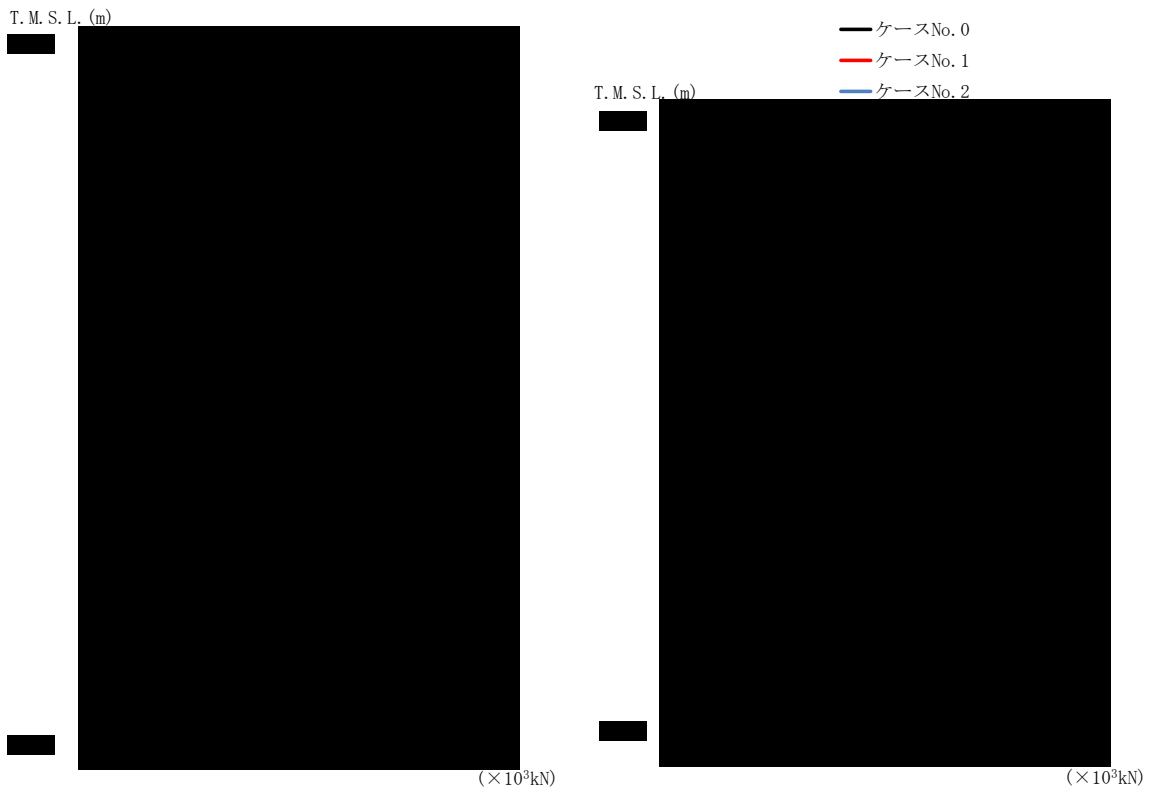
第 4. 2-11 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (2/5)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(c) Ss-B4

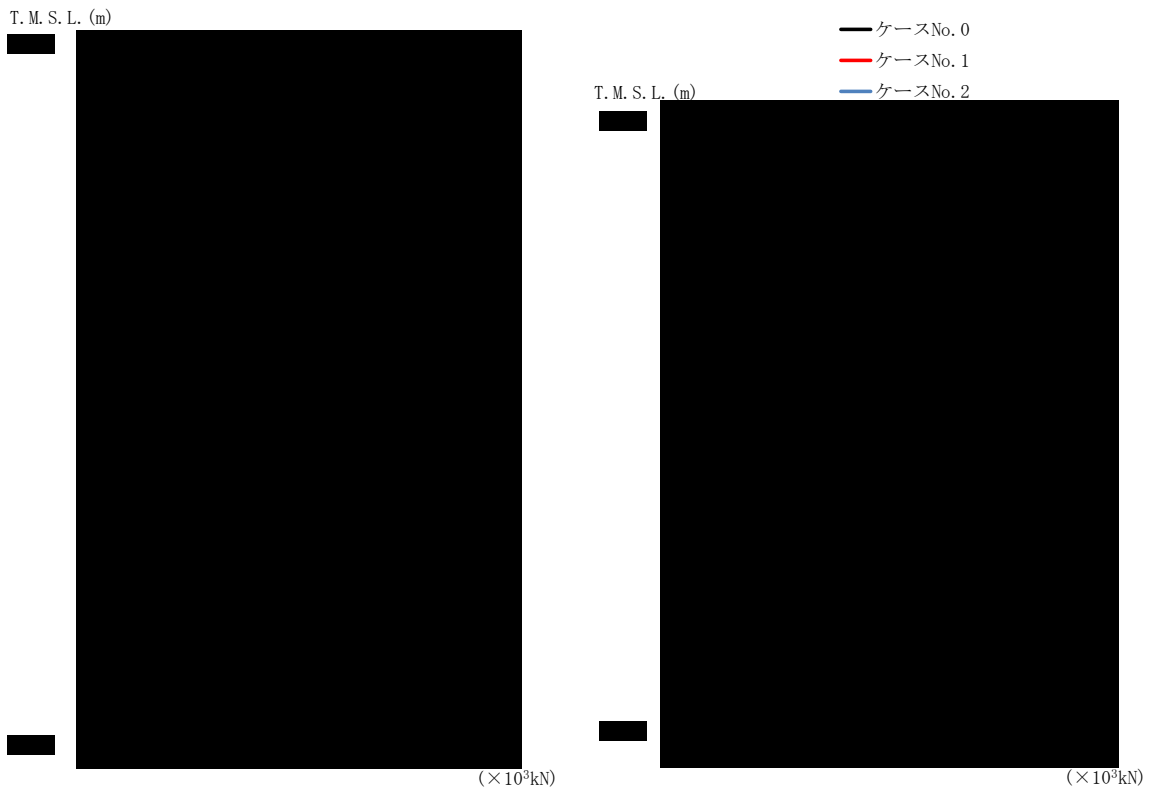
第 4. 2-11 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (3/5)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(d) Ss-C1

第 4. 2-11 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (4/5)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Ss-C3

第 4. 2-11 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (5/5)

第4.2-1表 浮上り検討（基準地震動Ss, ケースNo.0）

(a) NS方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)			
Ss-B1 (NS)			
Ss-B2 (NS)			
Ss-B3 (NS)			
Ss-B4 (NS)			
Ss-B5 (NS)			
Ss-C1 (NSEW)			
Ss-C2 (NS)			
Ss-C2 (EW)			
Ss-C3 (NS)			
Ss-C3 (EW)			
Ss-C4 (NS)			
Ss-C4 (EW)			

(b) EW方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)			
Ss-B1 (EW)			
Ss-B2 (EW)			
Ss-B3 (EW)			
Ss-B4 (EW)			
Ss-B5 (EW)			
Ss-C1 (NSEW)			
Ss-C2 (NS)			
Ss-C2 (EW)			
Ss-C3 (NS)			
Ss-C3 (EW)			
Ss-C4 (NS)			
Ss-C4 (EW)			

第4.2-2表 浮上り検討（基準地震動Ss, ケースNo.1）

(a) NS方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)			
Ss-B3 (NS)			
Ss-B4 (NS)			
Ss-C1 (NSEW)			
Ss-C3 (NS)			
Ss-C3 (EW)			
Ss-C4 (NS)			
Ss-C4 (EW)			

(b) EW方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)			
Ss-B3 (EW)			
Ss-B4 (EW)			
Ss-C1 (NSEW)			
Ss-C3 (NS)			
Ss-C3 (EW)			
Ss-C4 (NS)			
Ss-C4 (EW)			

第4.2-3表 浮上り検討（基準地震動Ss, ケースNo.2）

(a) NS方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)			
Ss-B3 (NS)			
Ss-B4 (NS)			
Ss-C1 (NSEW)			
Ss-C3 (NS)			
Ss-C3 (EW)			
Ss-C4 (NS)			
Ss-C4 (EW)			

(b) EW方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)			
Ss-B3 (EW)			
Ss-B4 (EW)			
Ss-C1 (NSEW)			
Ss-C3 (NS)			
Ss-C3 (EW)			
Ss-C4 (NS)			
Ss-C4 (EW)			

第4.2-4表 最大接地圧（基準地震動Ss, ケースNo.0）(1/2)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Ss-A	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-B1	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-B2	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-B3	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-B4	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-B5	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	



第4.2-4表 最大接地圧（基準地震動Ss, ケースNo.0）(2/2)

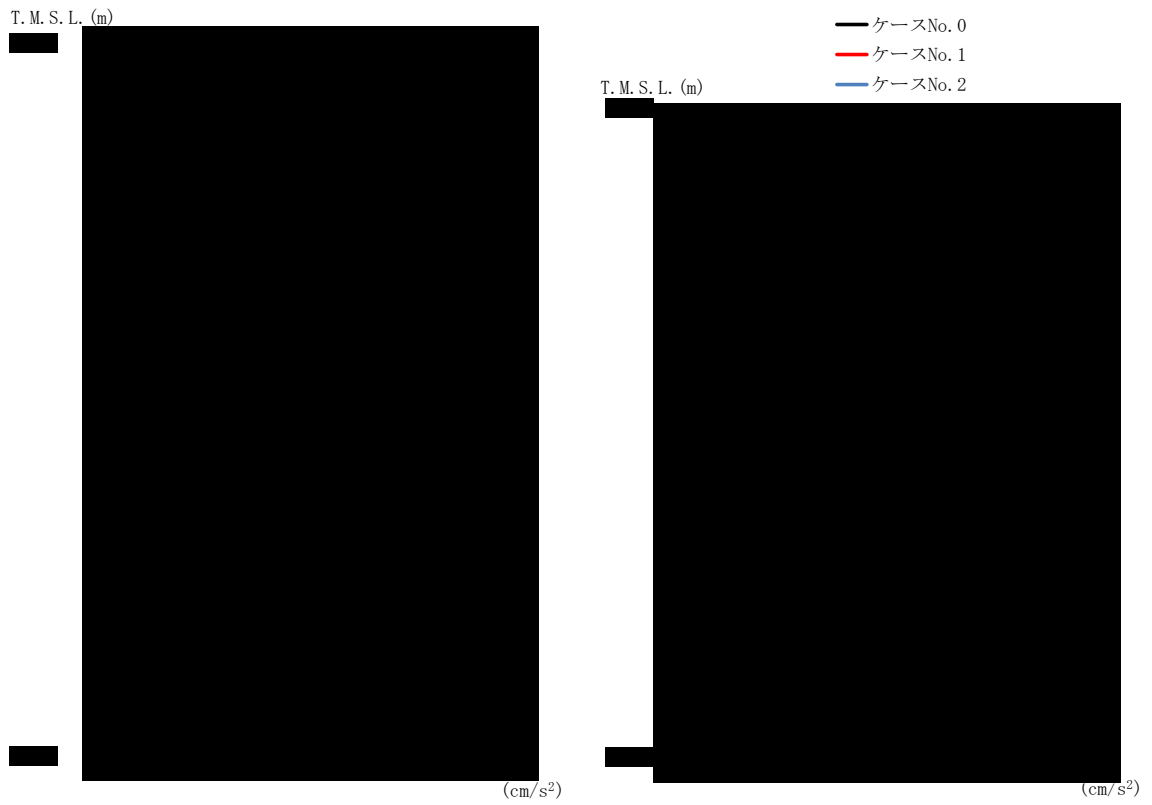
地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Ss-C1	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C2 (NS)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C2 (EW)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C3 (NS)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C3 (EW)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C4 (NS)	NS	—	
	EW	—	
Ss-C4 (EW)	NS	—	
	EW	—	

第4.2-5表 最大接地圧（基準地震動Ss, ケースNo.1）

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Ss-A	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-B3	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-B4	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C1	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C3 (NS)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C3 (EW)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C4 (NS)	NS	—	
	EW	—	
Ss-C4 (EW)	NS	—	
	EW	—	

第4.2-6表 最大接地圧 (基準地震動 Ss, ケース No. 2)

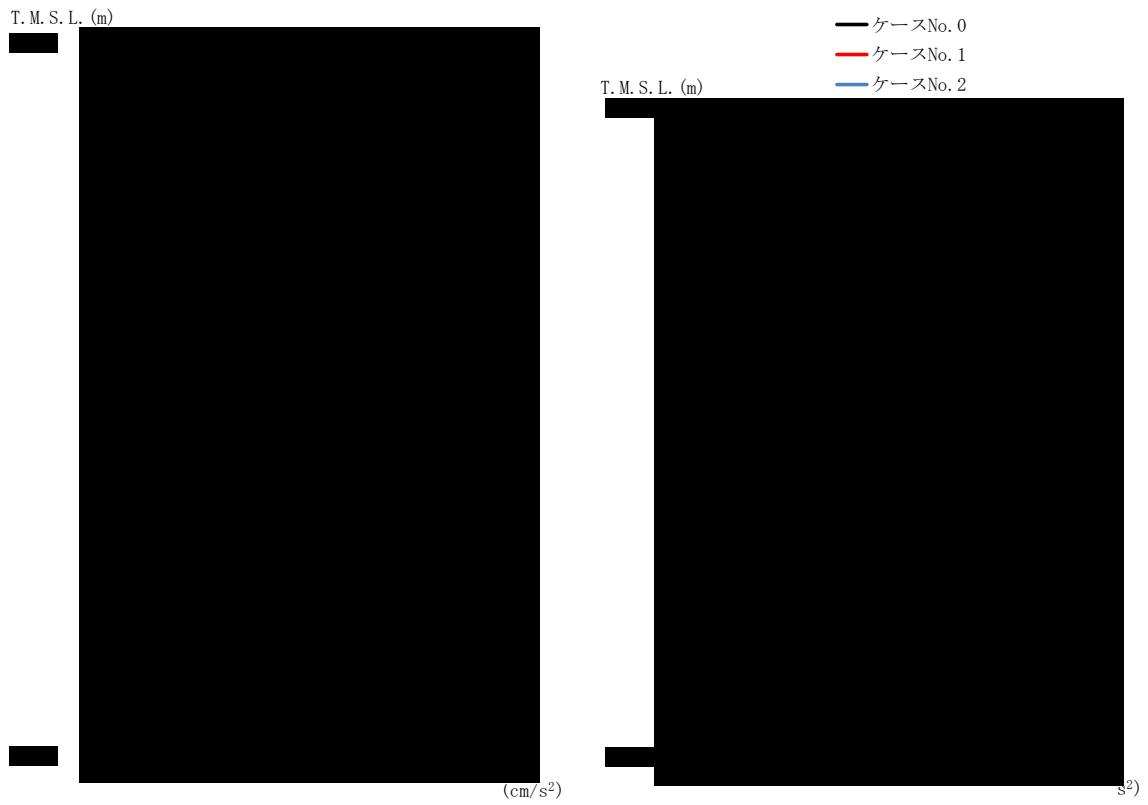
地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Ss-A	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-B3	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-B4	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C1	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C3 (NS)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C3 (EW)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Ss-C4 (NS)	NS	—	
	EW	—	
Ss-C4 (EW)	NS	—	
	EW	—	



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Sd-A

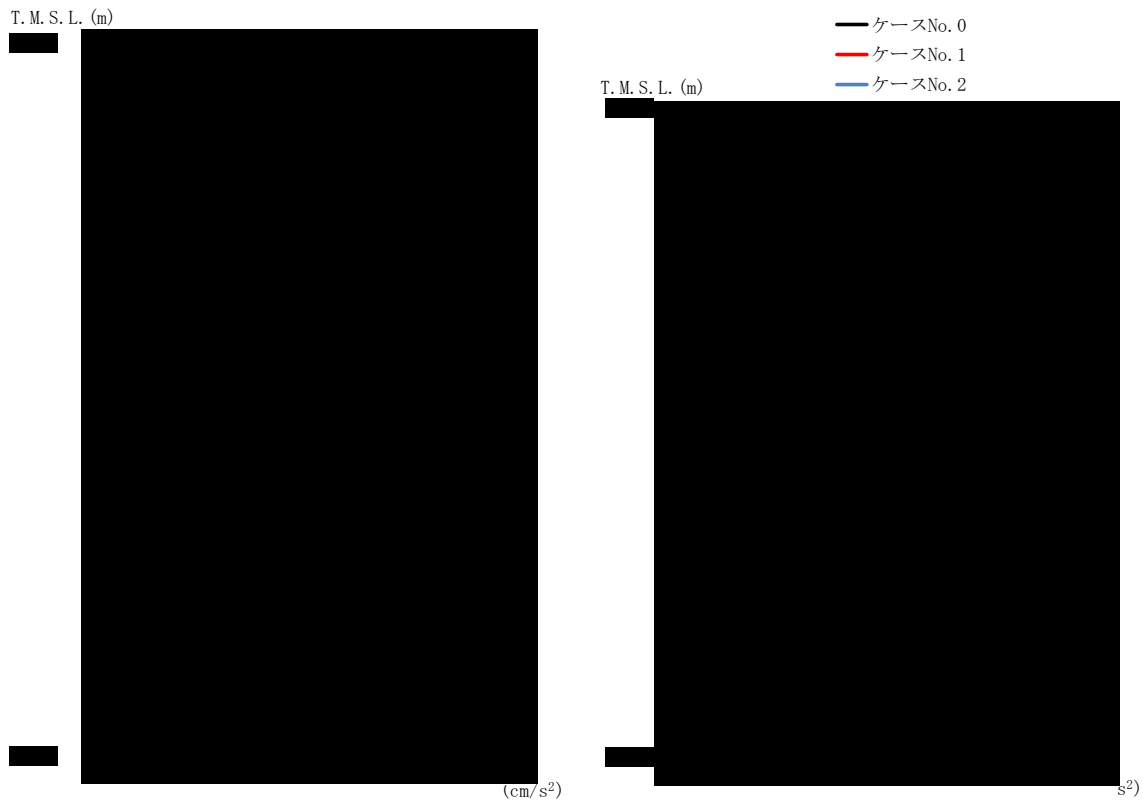
第 4. 2-12 図 最大応答加速度 (NS 方向) (1/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Sd-C1

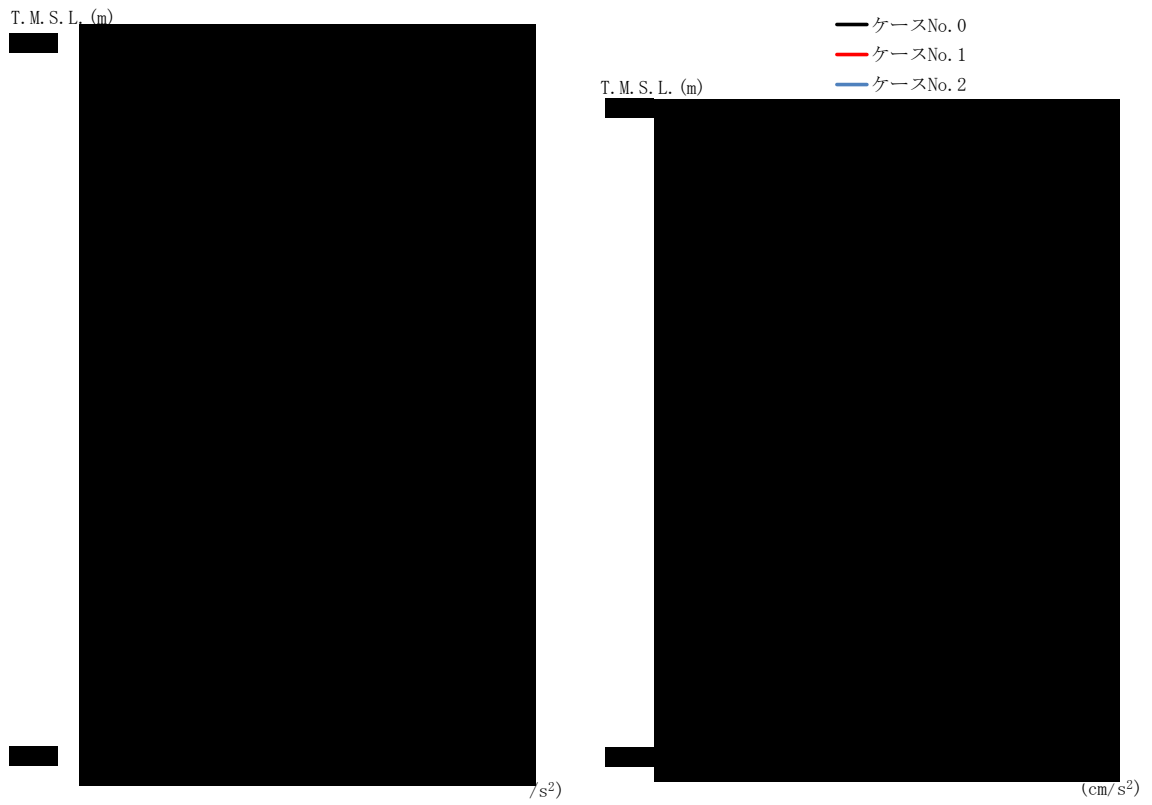
第 4. 2-12 図 最大応答加速度 (NS 方向) (2/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(c) Sd-C3 (NS)

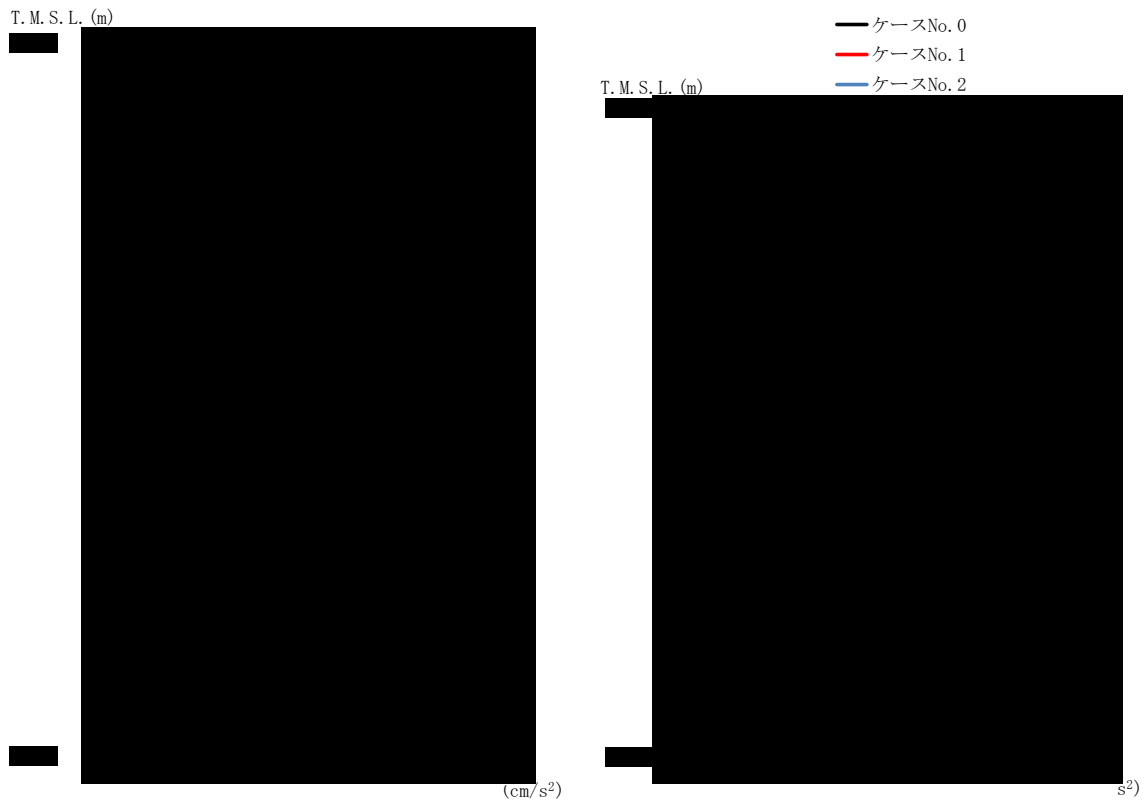
第 4. 2-12 図 最大応答加速度 (NS 方向) (3/6)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(d) Sd-C3 (EW)

第 4. 2-12 図 最大応答加速度 (NS 方向) (4/6)

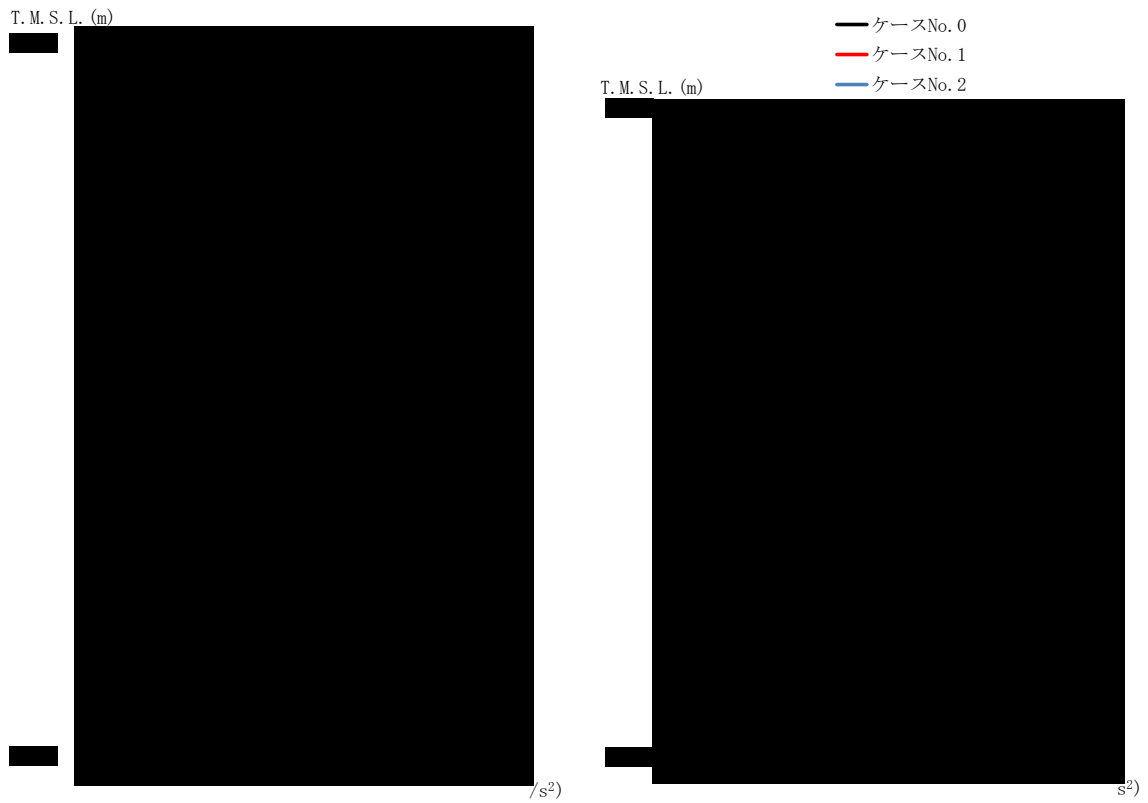


T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Sd-C4(NS)

第 4.2-12 図 最大応答加速度 (NS 方向) (5/6)

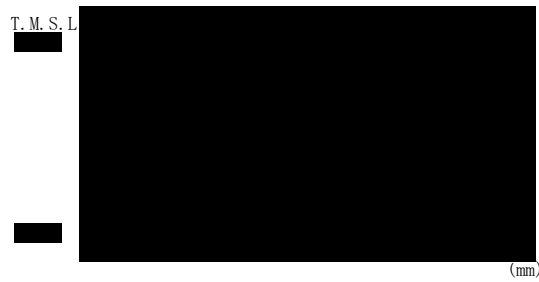




T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Sd-C4 (EW)

第 4. 2-12 図 最大応答加速度 (NS 方向) (6/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Sd-A

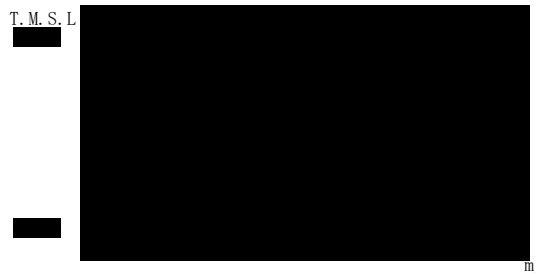
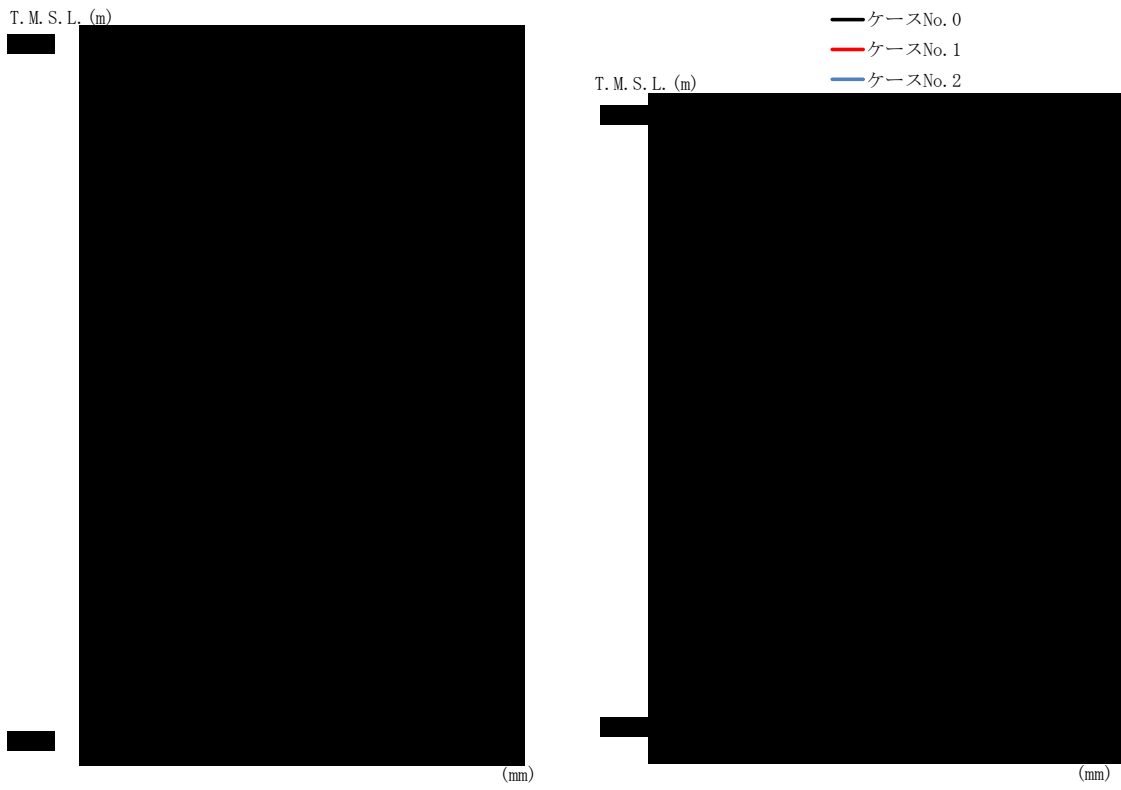
第 4.2-13 図 最大応答変位 (NS 方向) (1/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Sd-C1

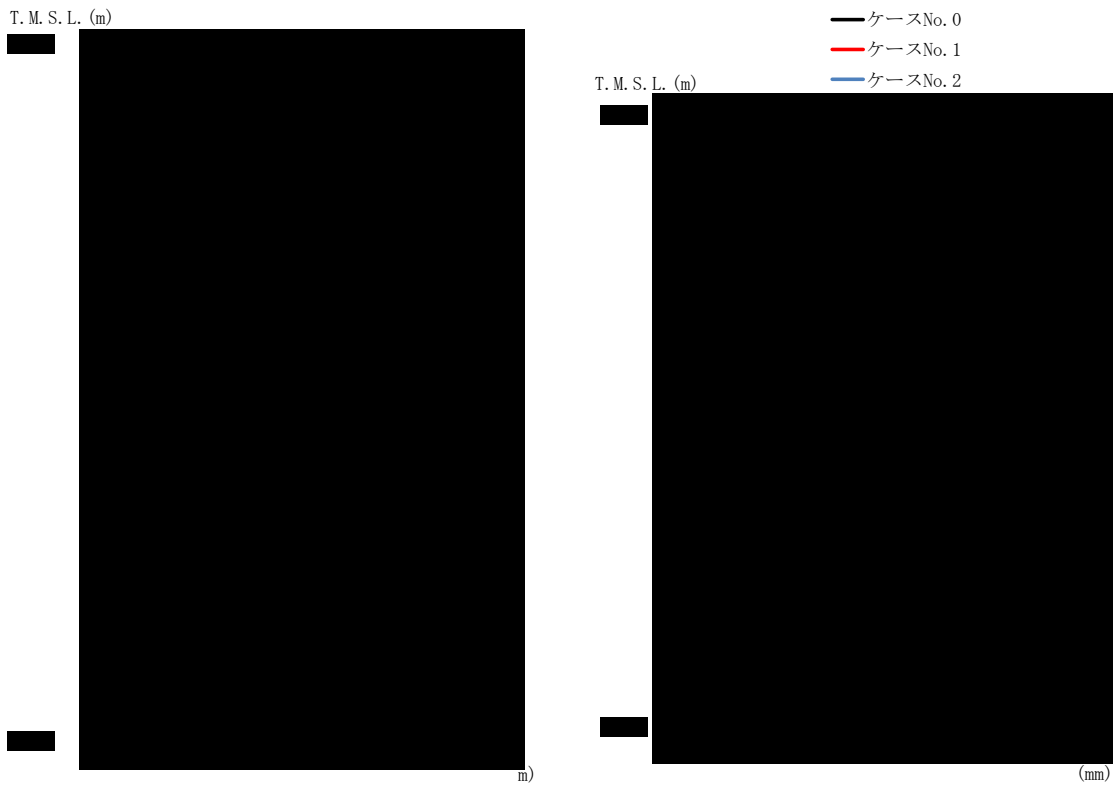
第 4.2-13 図 最大応答変位 (NS 方向) (2/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(c) Sd-C3 (NS)

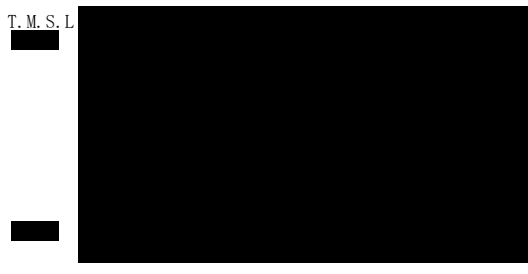
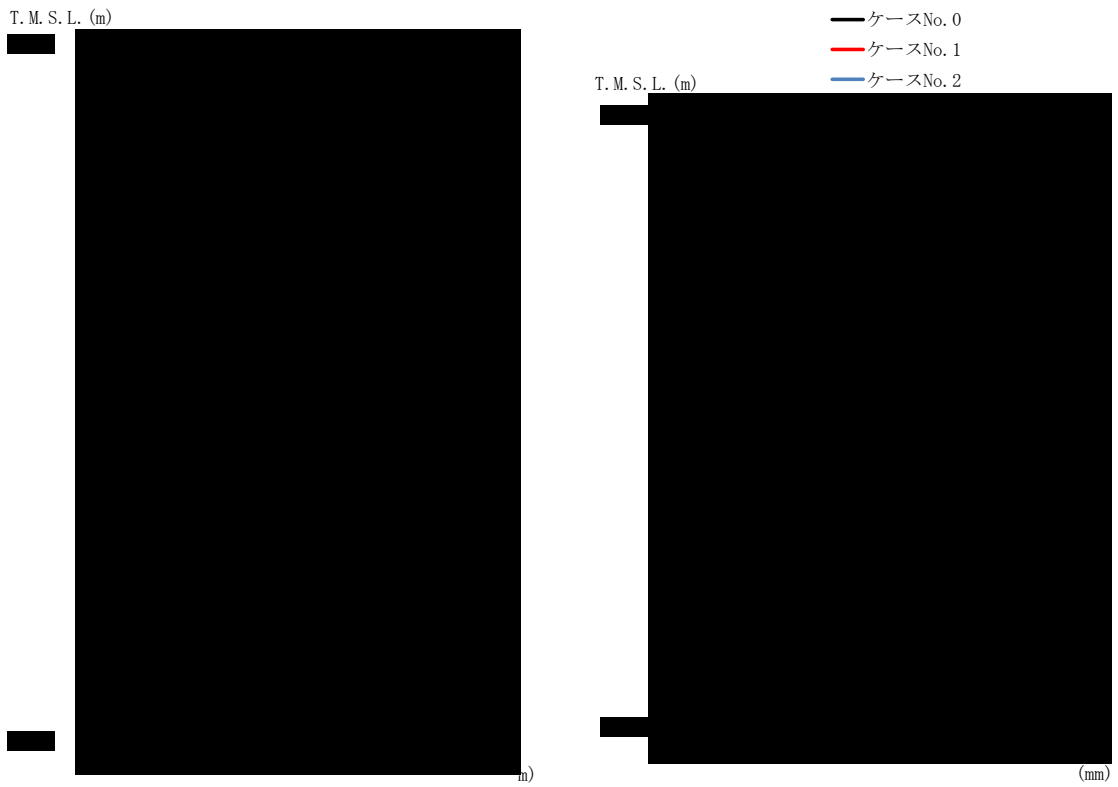
第 4.2-13 図 最大応答変位 (NS 方向) (3/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(d) Sd-C3 (EW)

第 4.2-13 図 最大応答変位 (NS 方向) (4/6)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Sd-C4(NS)

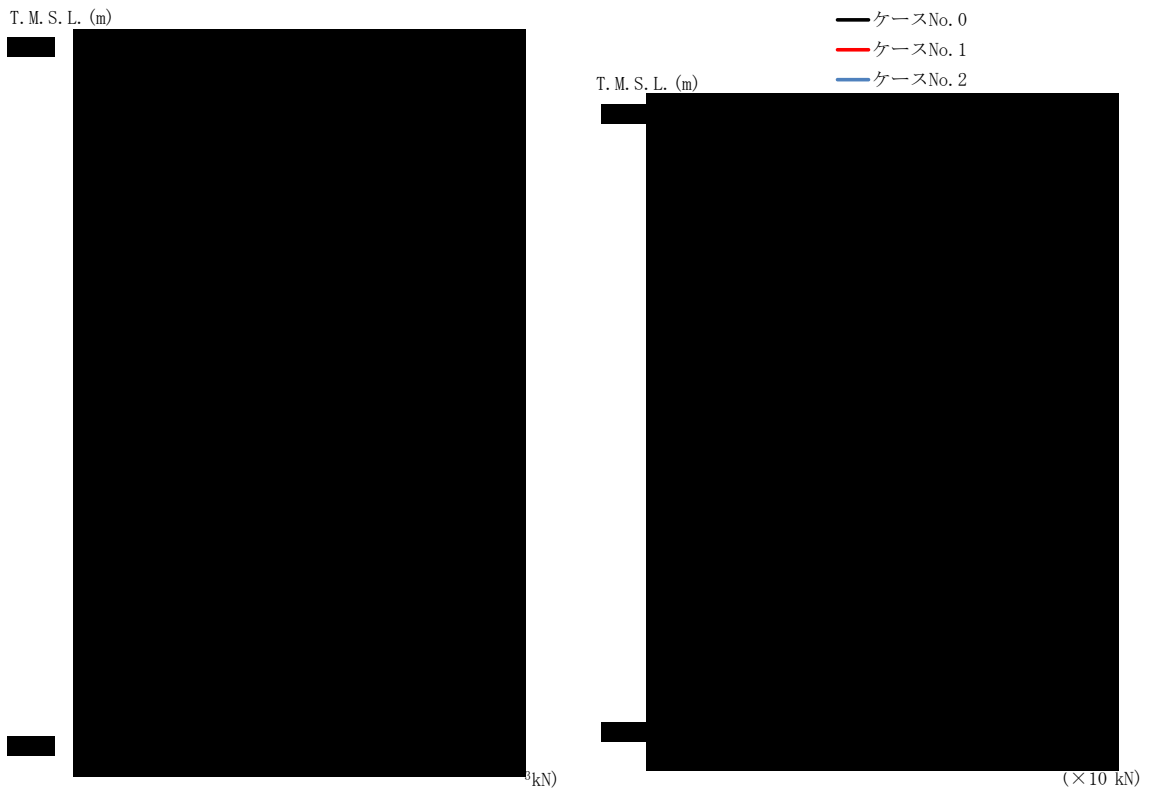
第4.2-13図 最大応答変位 (NS方向) (5/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Sd-C4 (EW)

第 4.2-13 図 最大応答変位 (NS 方向) (6/6)

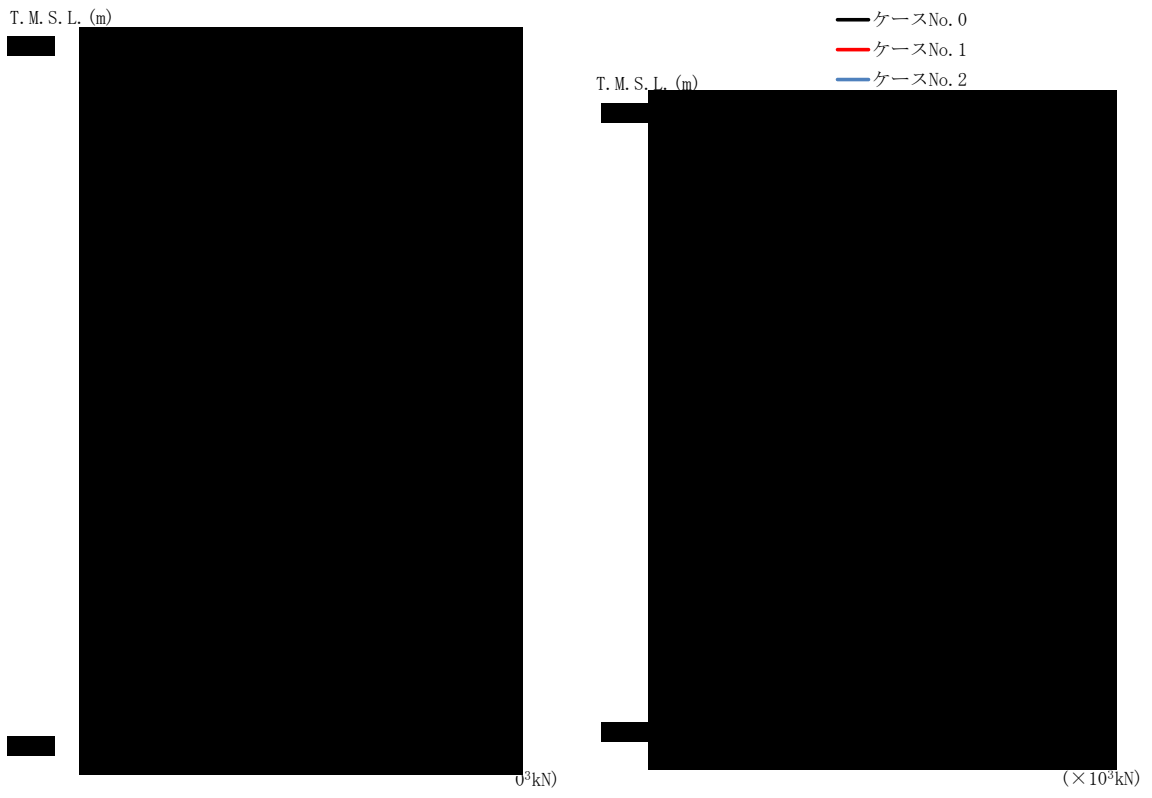


T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^3 \text{kN}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(a) Sd-A

第 4.2-14 図 最大応答せん断力 (NS 方向) (1/6)

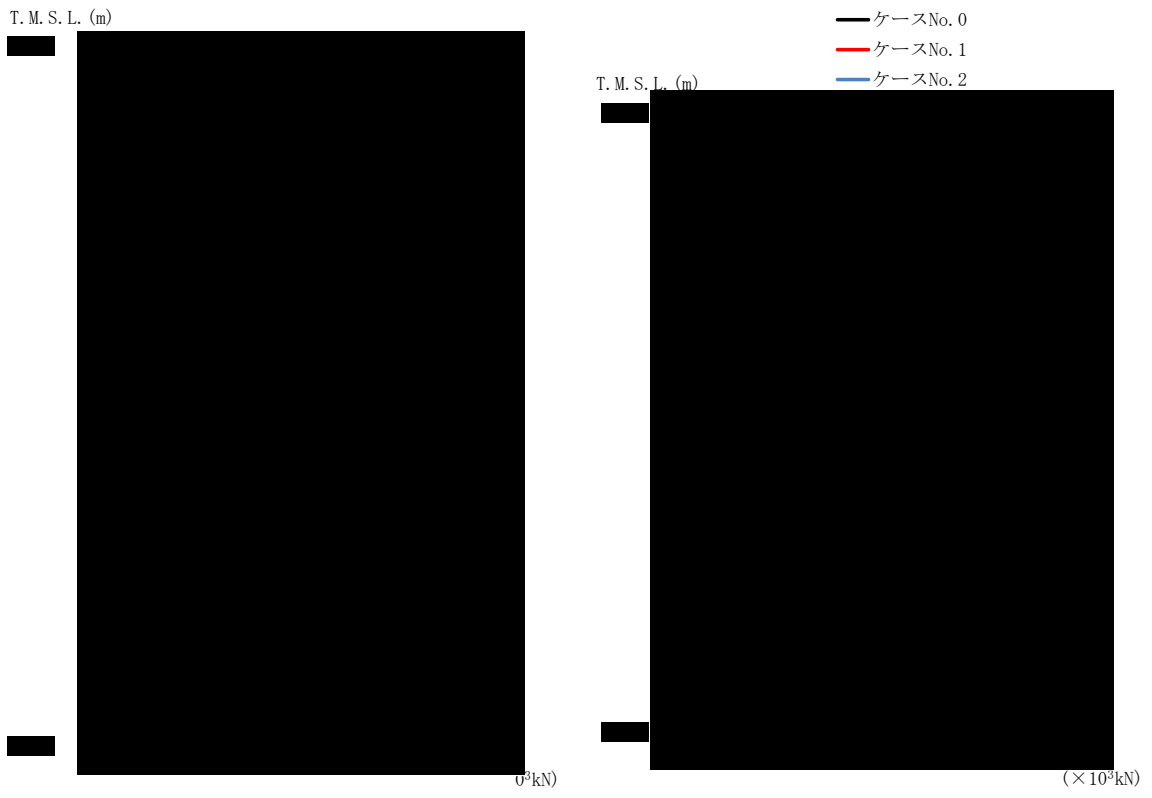




T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10³kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(b) Sd-C1

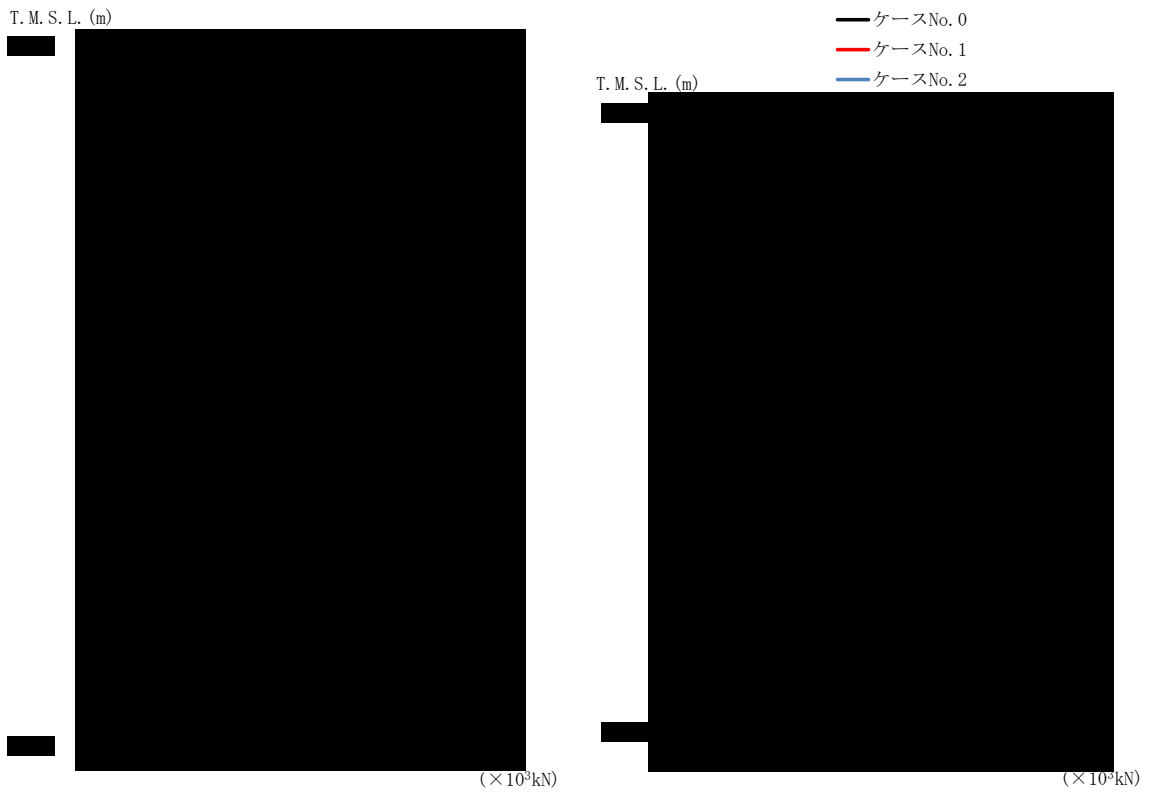
第 4.2-14 図 最大応答せん断力 (NS 方向) (2/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10³kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(c) Sd-C3(NS)

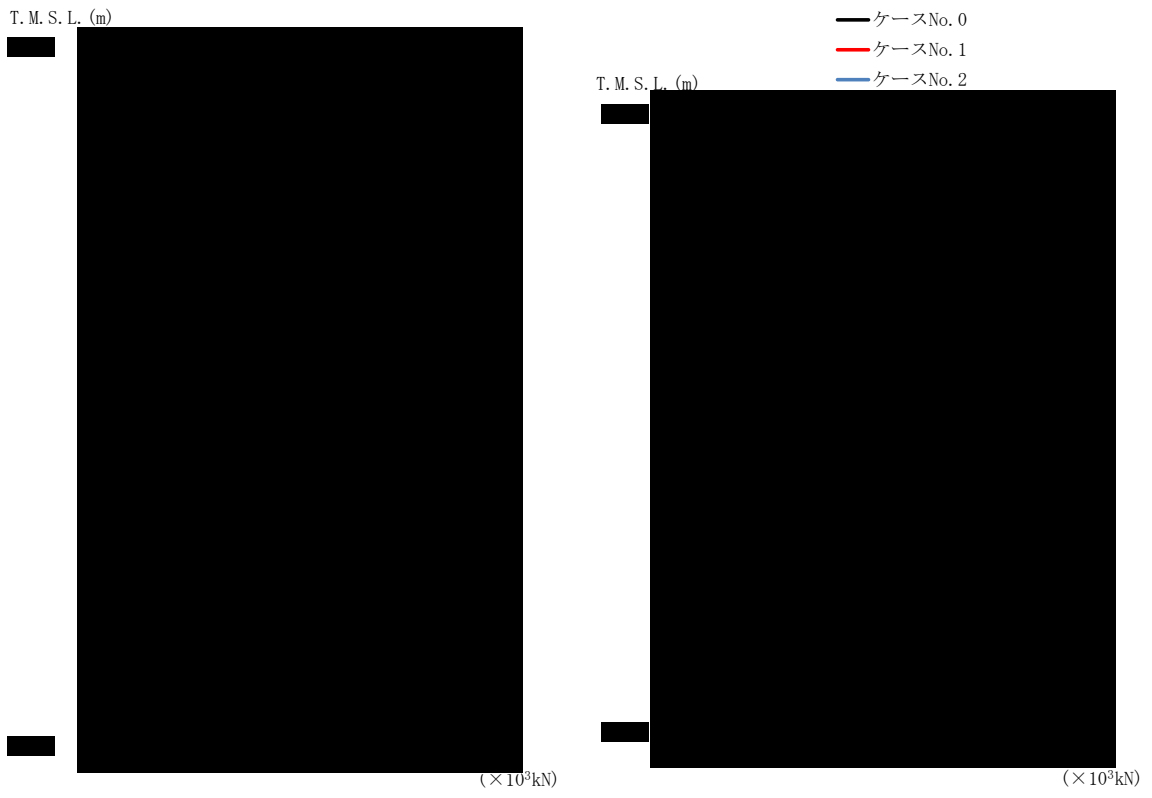
第4.2-14 図 最大応答せん断力 (NS 方向) (3/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(d) Sd-C3(EW)

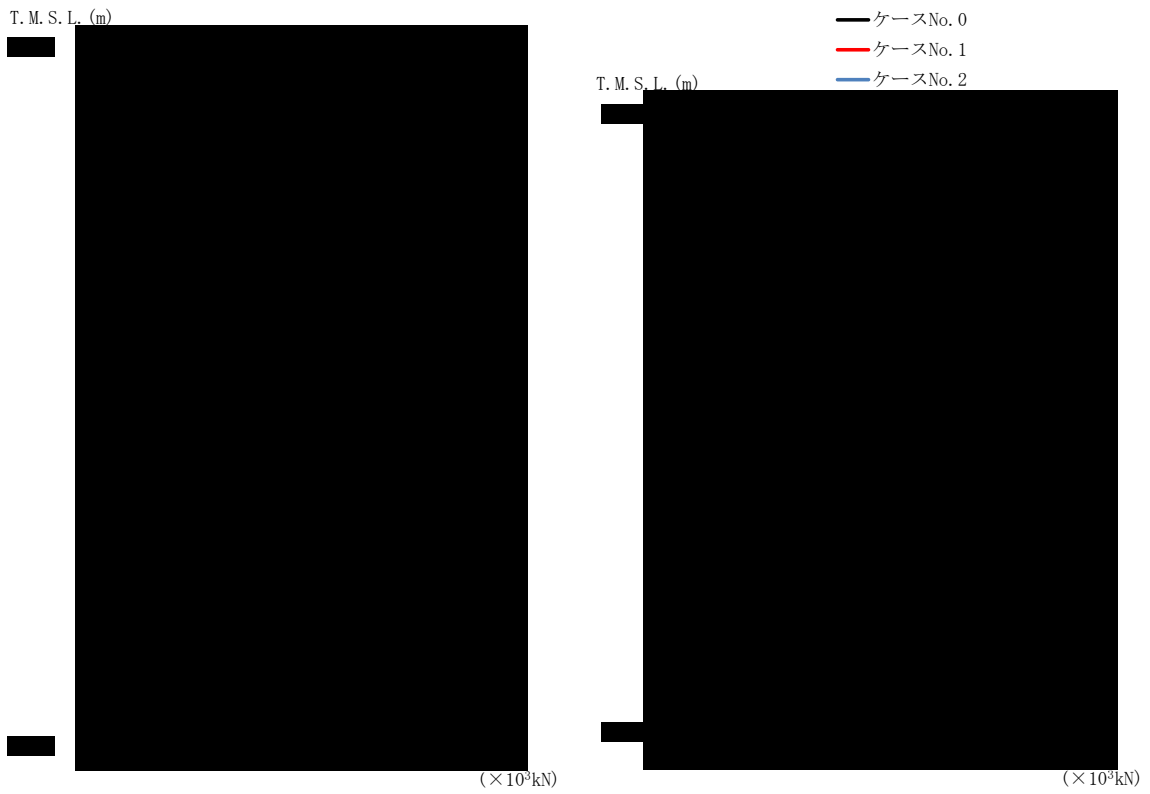
第 4.2-14 図 最大応答せん断力 (NS 方向) (4/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(e) Sd-C4 (NS)

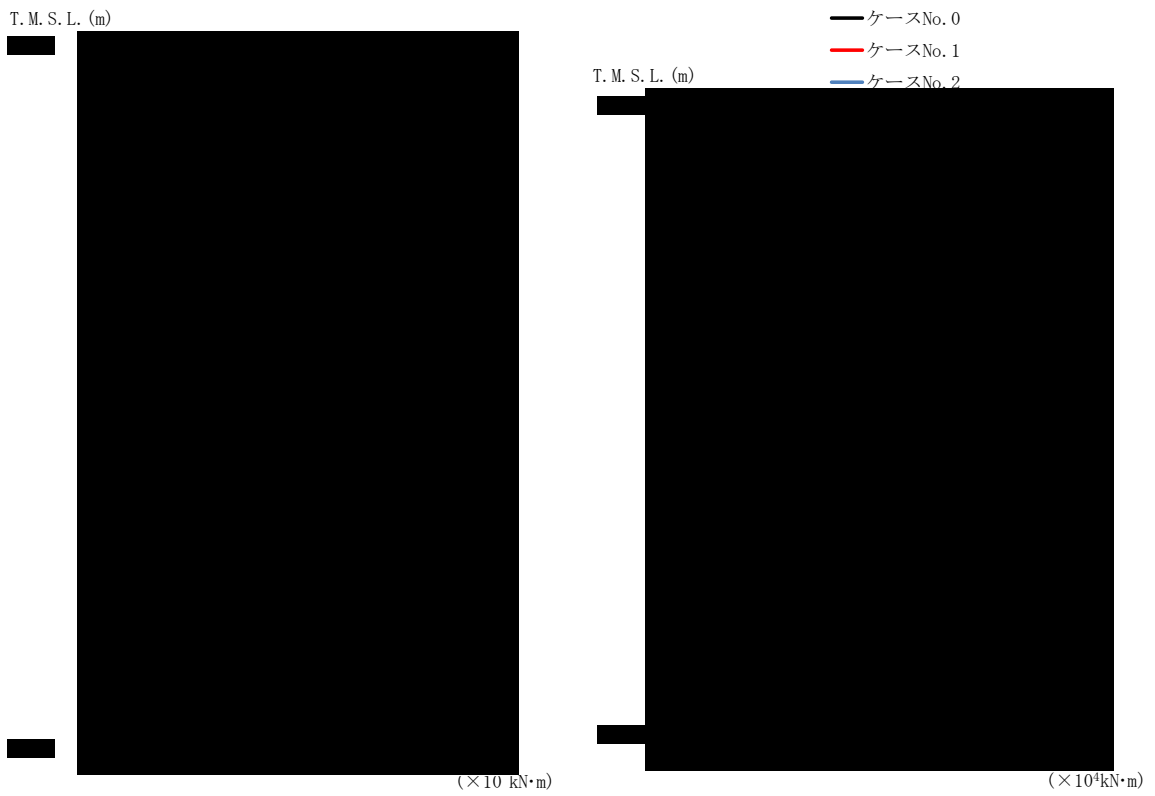
第 4.2-14 図 最大応答せん断力 (NS 方向) (5/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Sd-C4(EW)

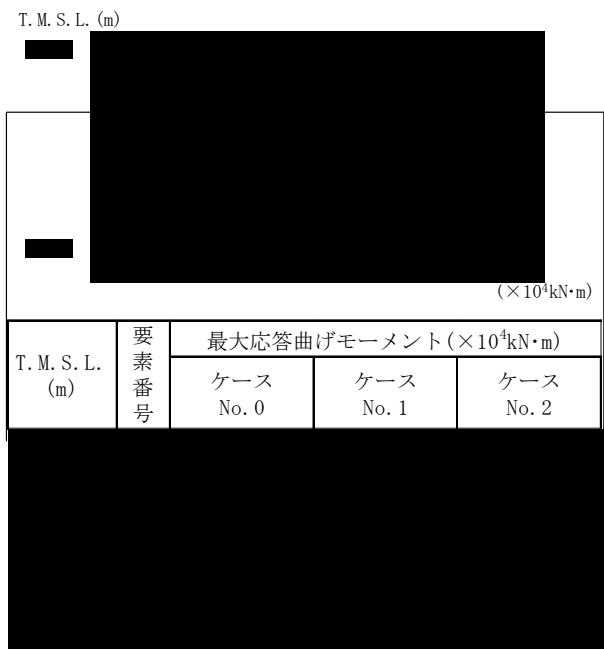
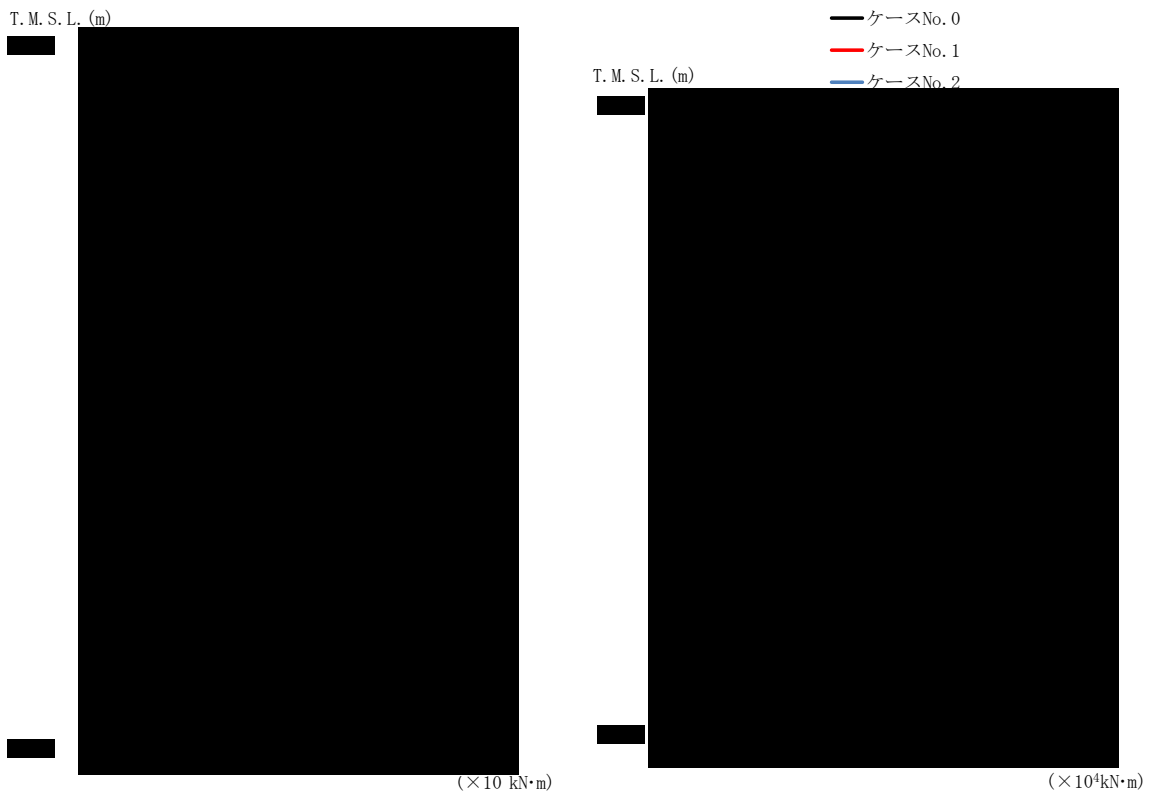
第 4.2-14 図 最大応答せん断力 (NS 方向) (6/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^4 \text{kN}\cdot\text{m}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

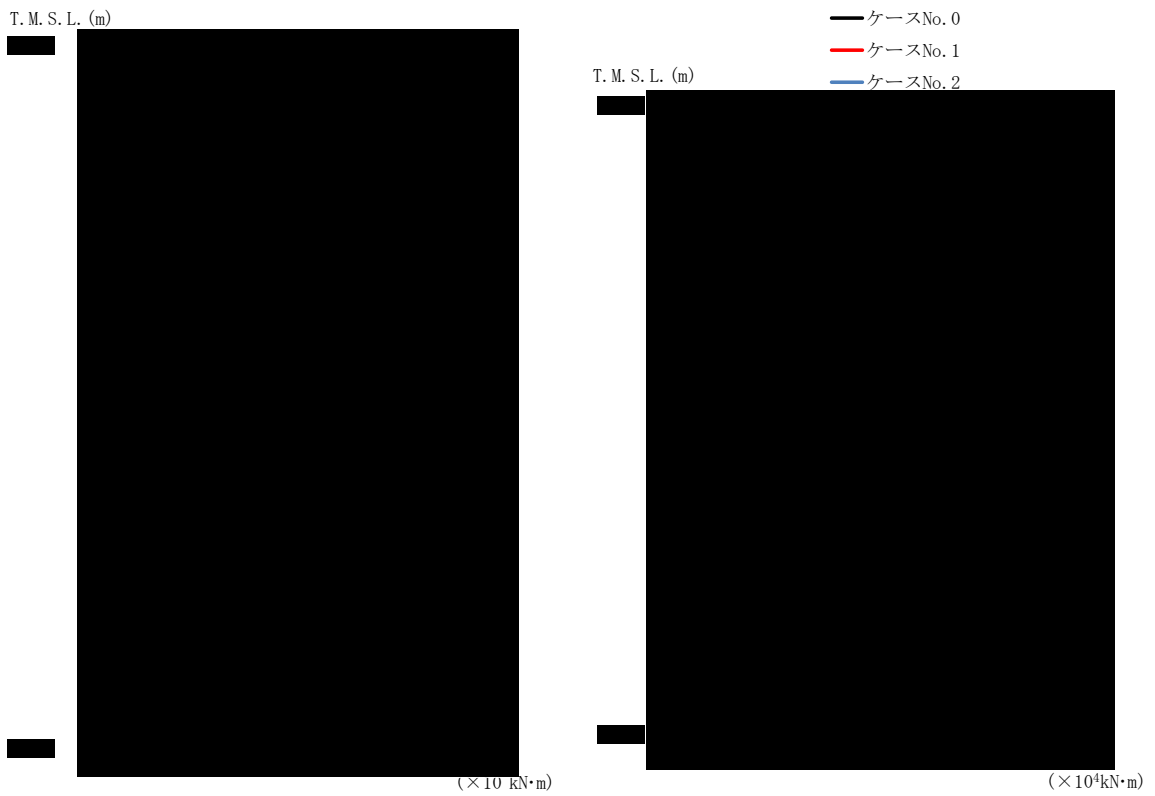
(a) Sd-A

第4.2-15図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (1/6)



(b) Sd-C1

第4.2-15図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (2/6)

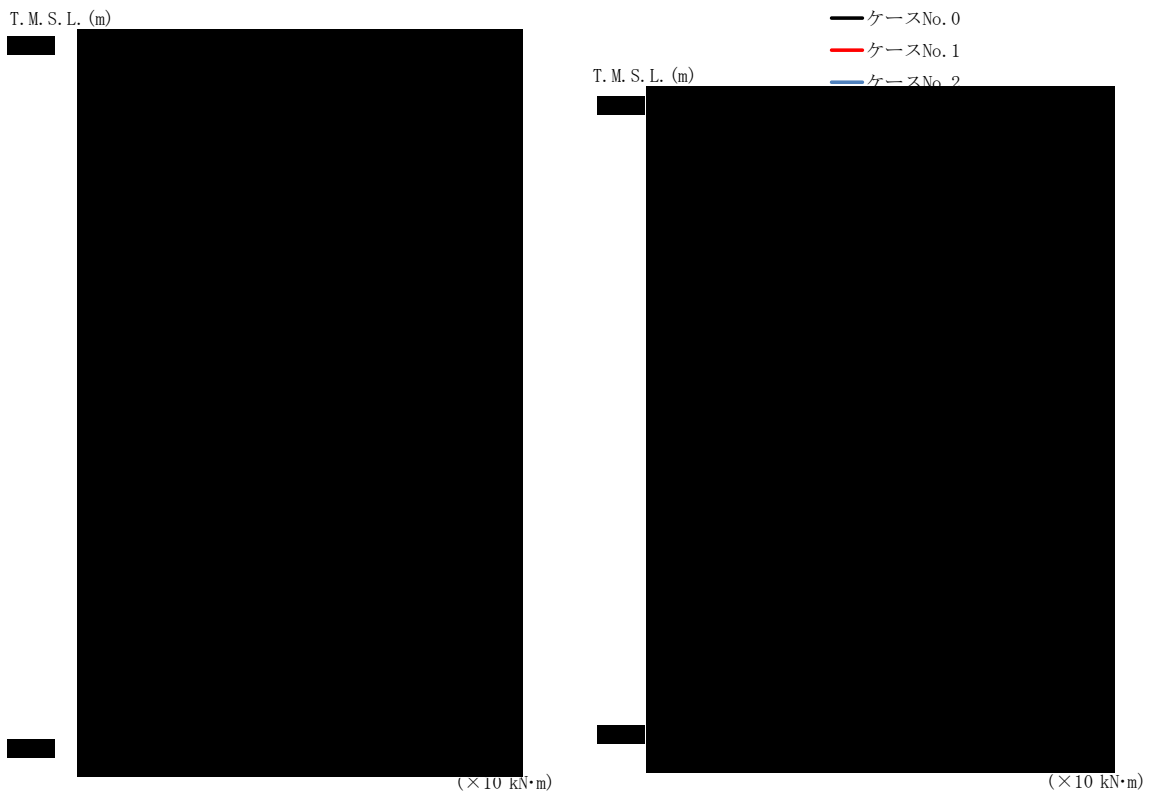


T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(c) Sd-C3(NS)

第4.2-15図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (3/6)

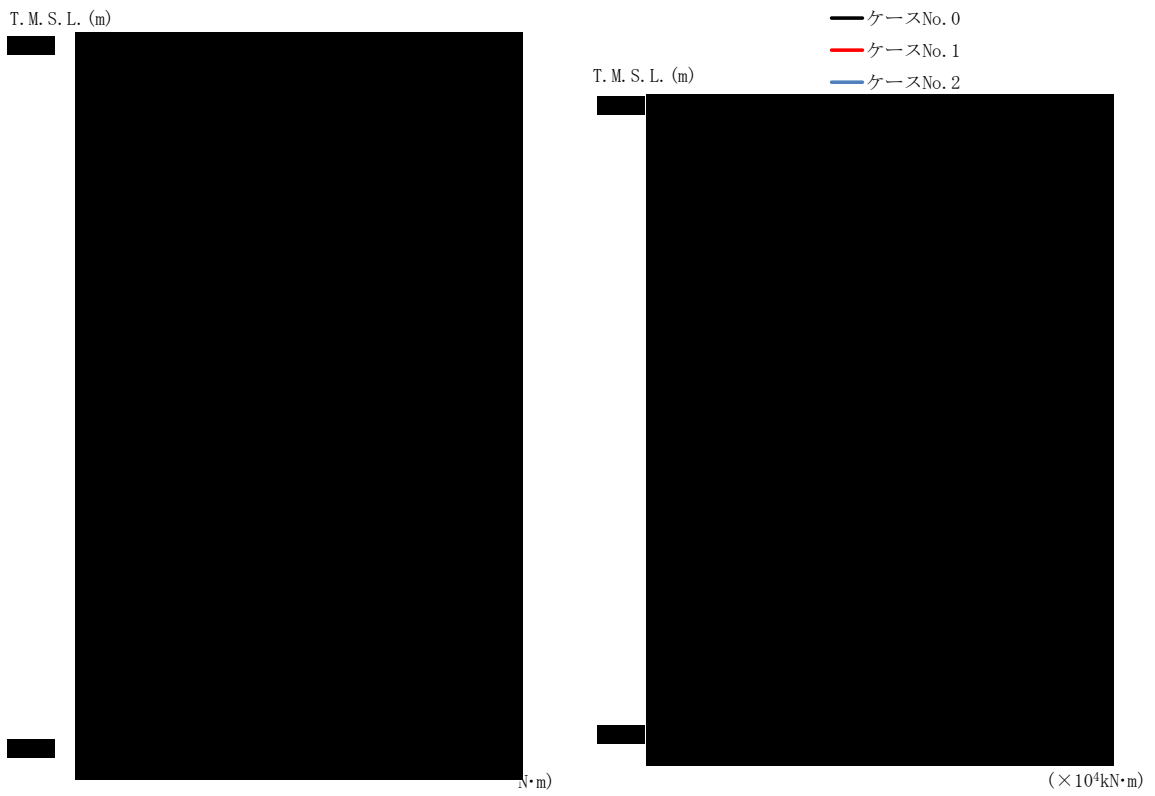




T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted data]				

(d) Sd-C3(EW)

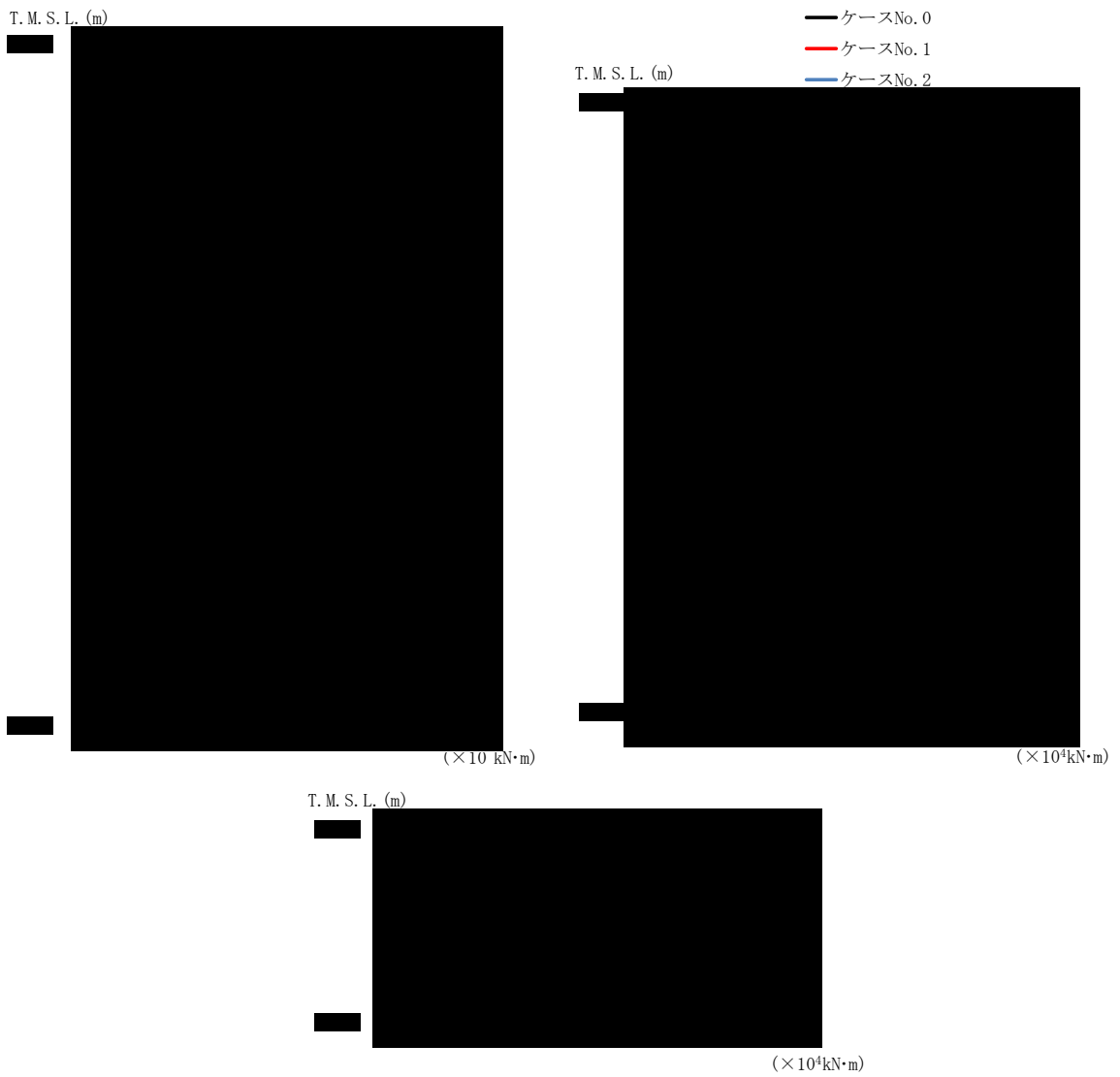
第4.2-15図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (4/6)



T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Sd-C4(NS)

第4.2-15図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (5/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(f) Sd-C4(EW)

第4.2-15図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (6/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(a) Sd-A

第 4.2-16 図 最大応答加速度 (EW 方向) (1/6)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Sd-C1

第 4.2-16 図 最大応答加速度 (EW 方向) (2/6)



T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Sd-C3 (NS)

第 4.2-16 図 最大応答加速度 (EW 方向) (3/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(d) Sd-C3 (EW)

第 4.2-16 図 最大応答加速度 (EW 方向) (4/6)

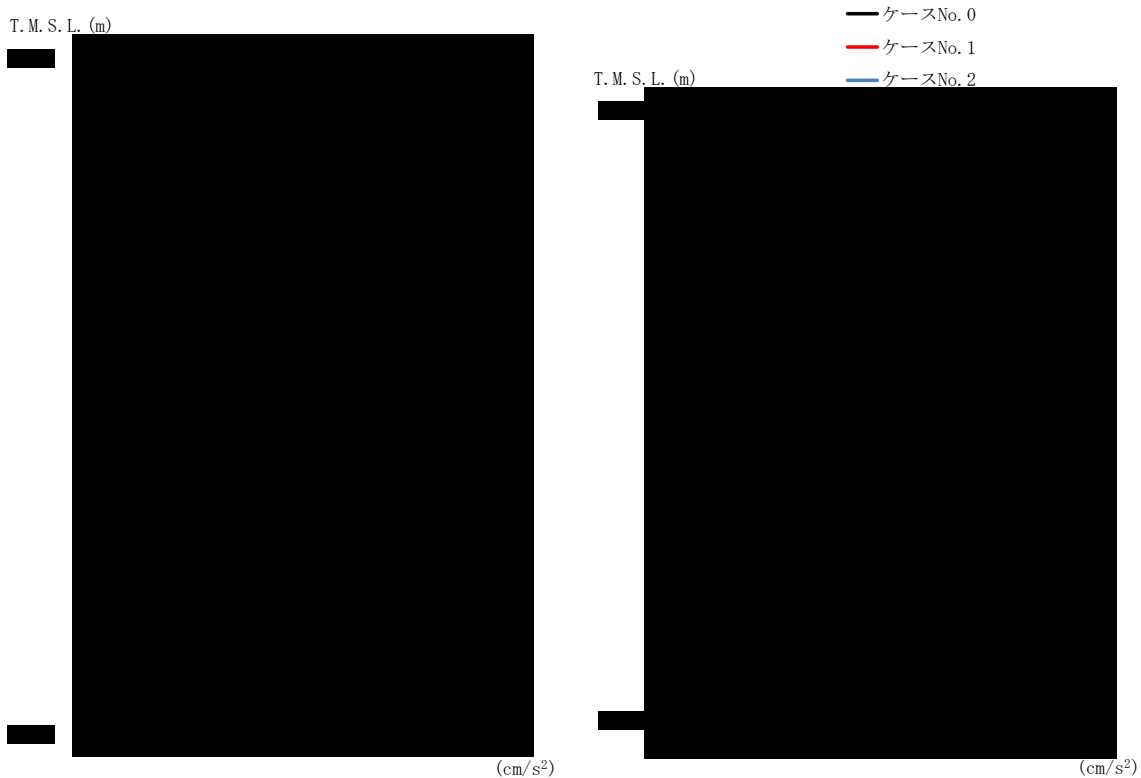


T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Sd-C4(NS)

第 4.2-16 図 最大応答加速度 (EW 方向) (5/6)

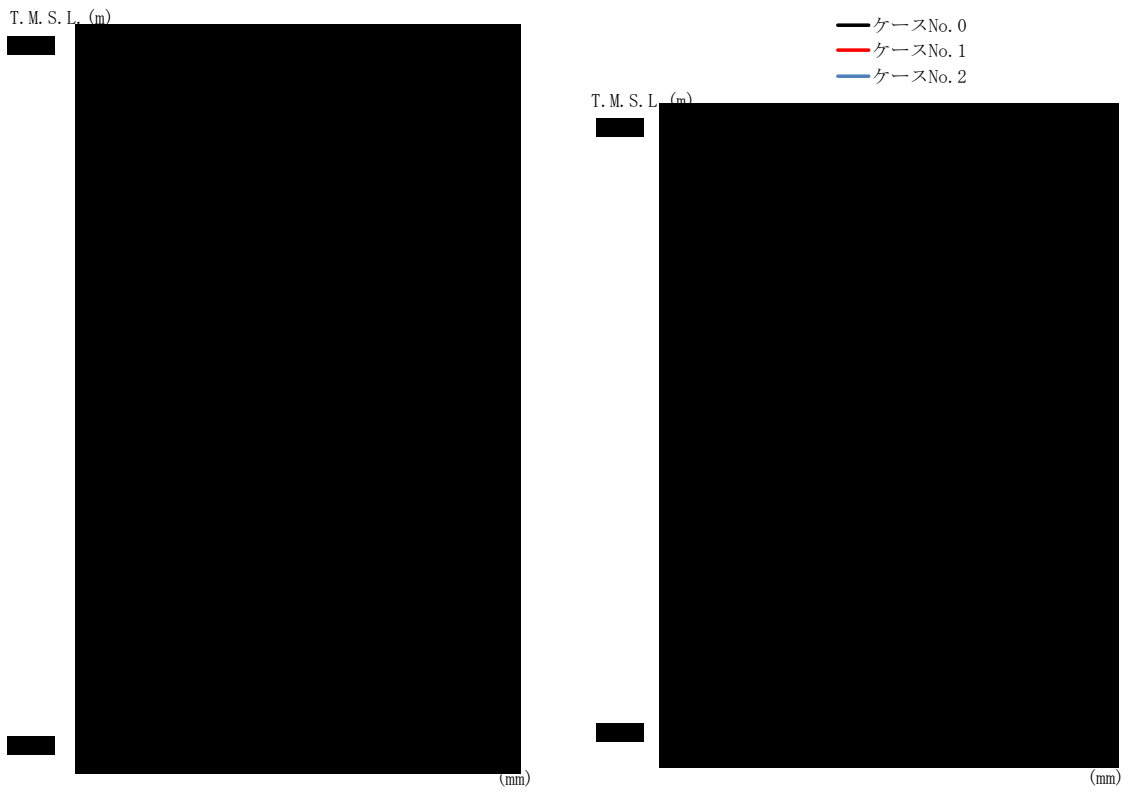




T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Sd-C4 (EW)

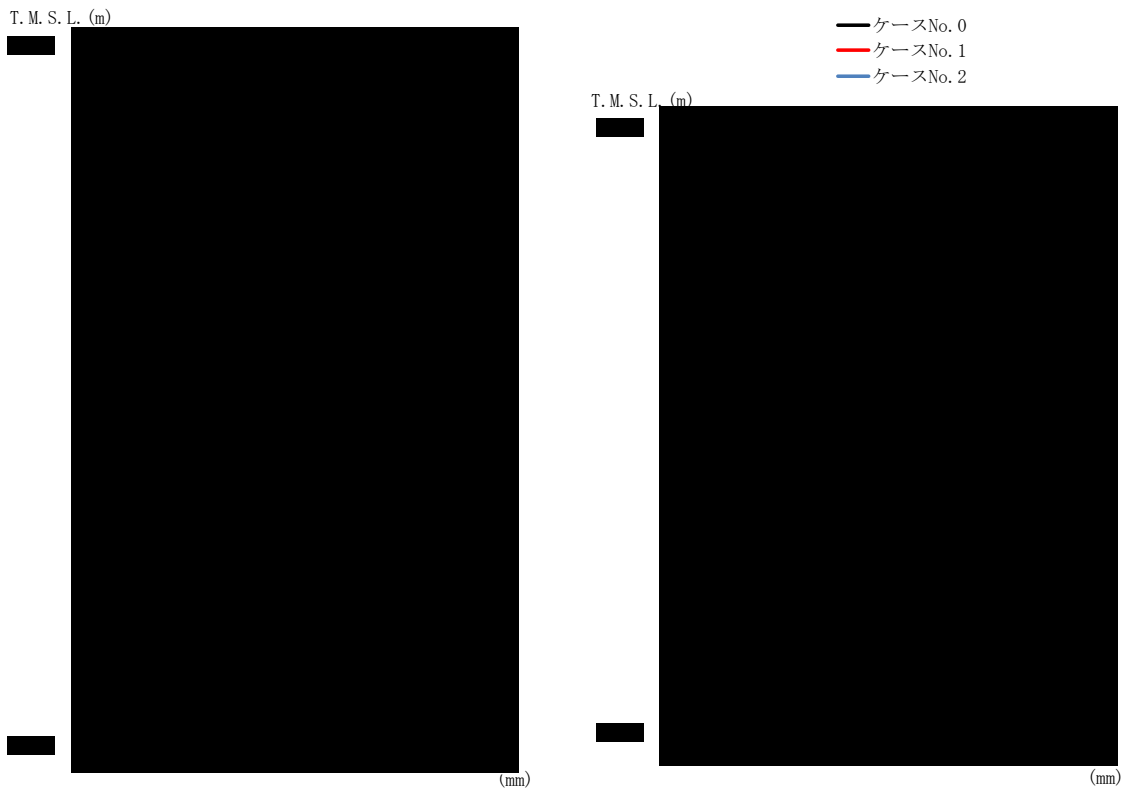
第 4.2-16 図 最大応答加速度 (EW 方向) (6/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Sd-A

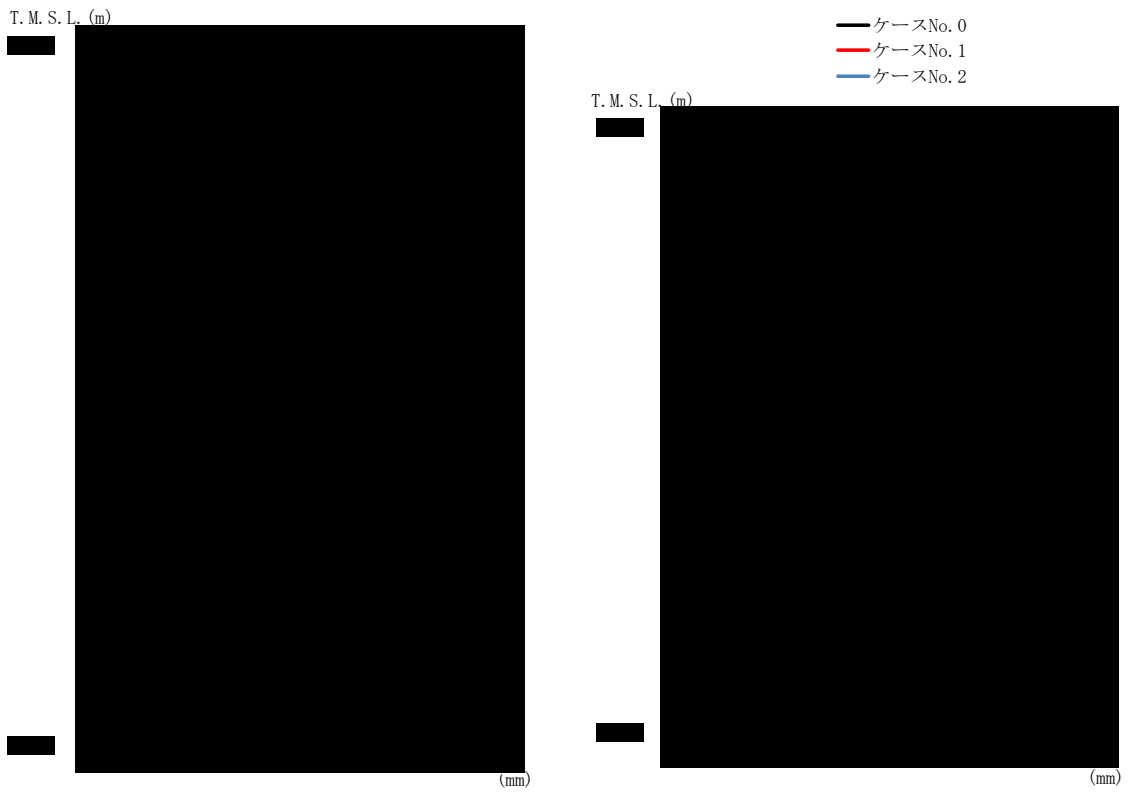
第 4.2-17 図 最大応答変位 (EW 方向) (1/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Sd-C1

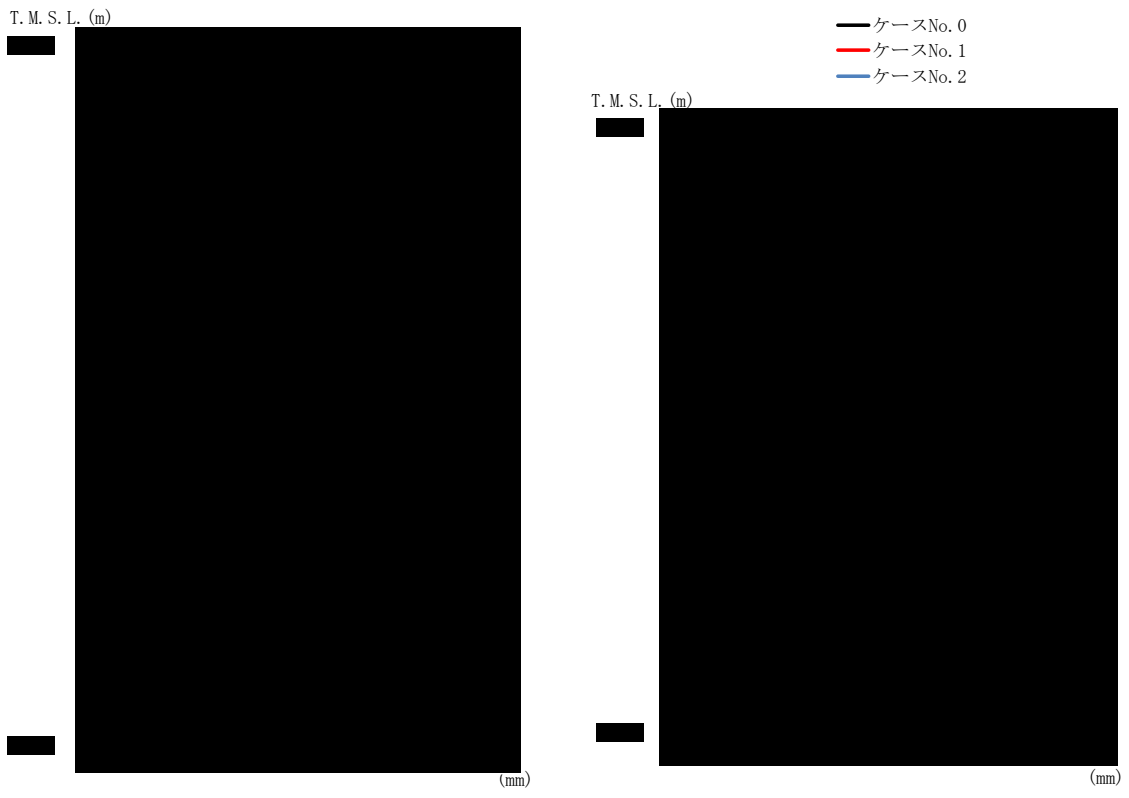
第 4.2-17 図 最大応答変位 (EW 方向) (2/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Sd-C3 (NS)

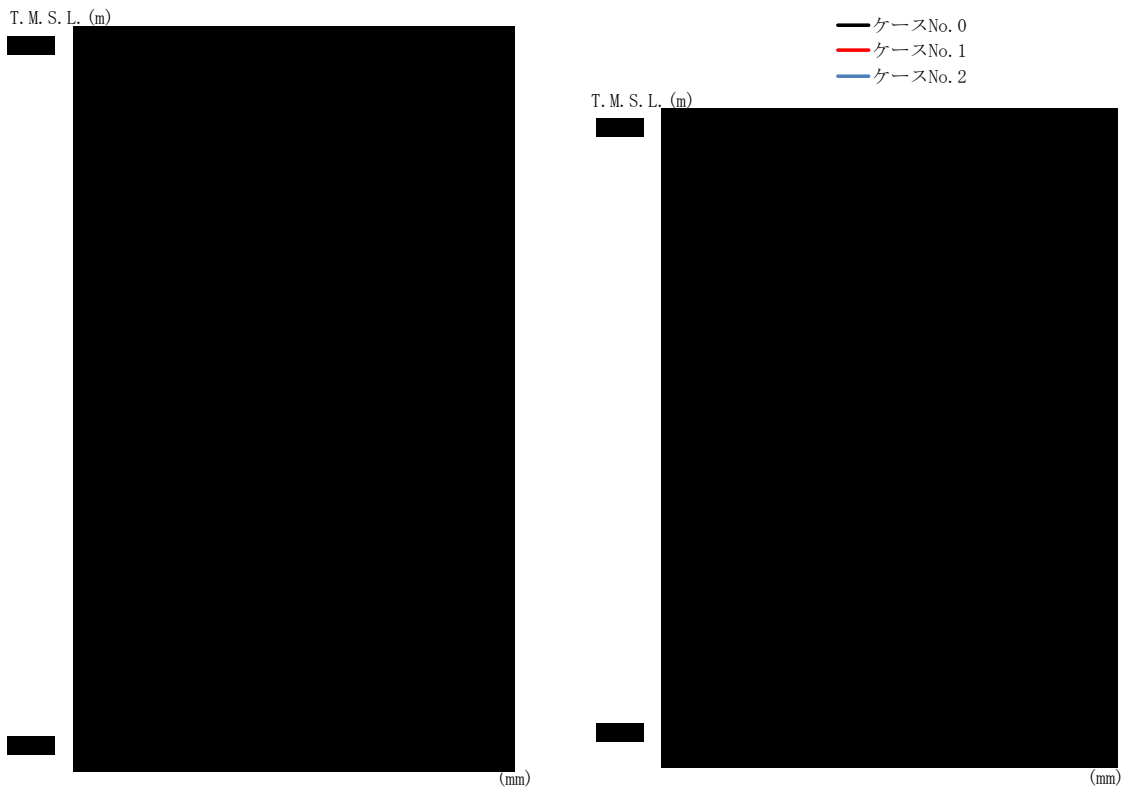
第 4.2-17 図 最大応答変位 (EW 方向) (3/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(d) Sd-C3 (EW)

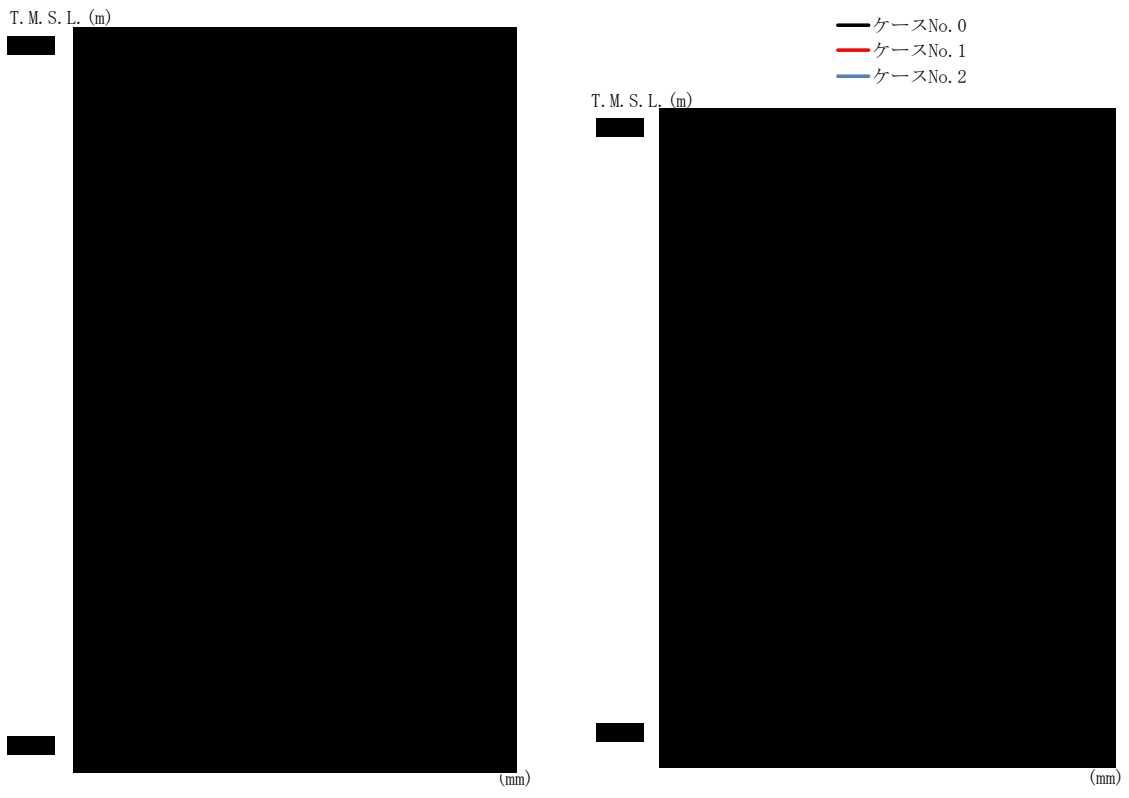
第 4.2-17 図 最大応答変位 (EW 方向) (4/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Sd-C4(NS)

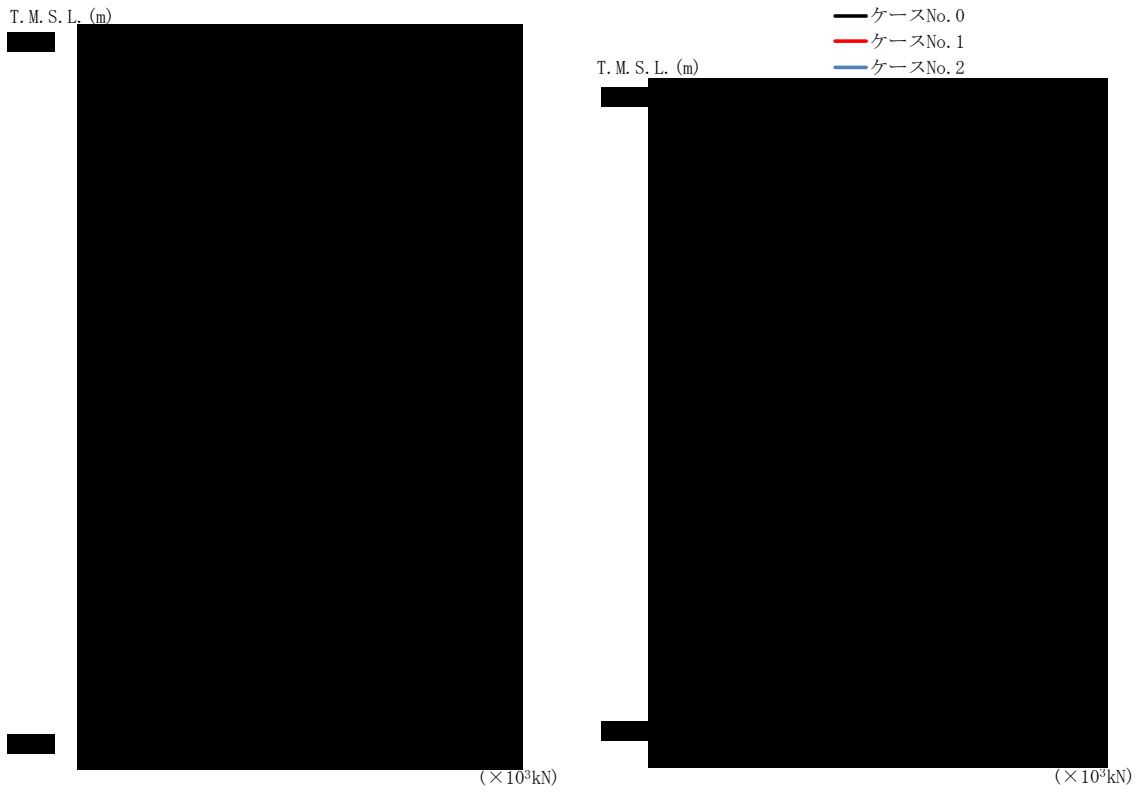
第 4.2-17 図 最大応答変位 (EW 方向) (5/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(f) Sd-C4 (EW)

第 4.2-17 図 最大応答変位 (EW 方向) (6/6)

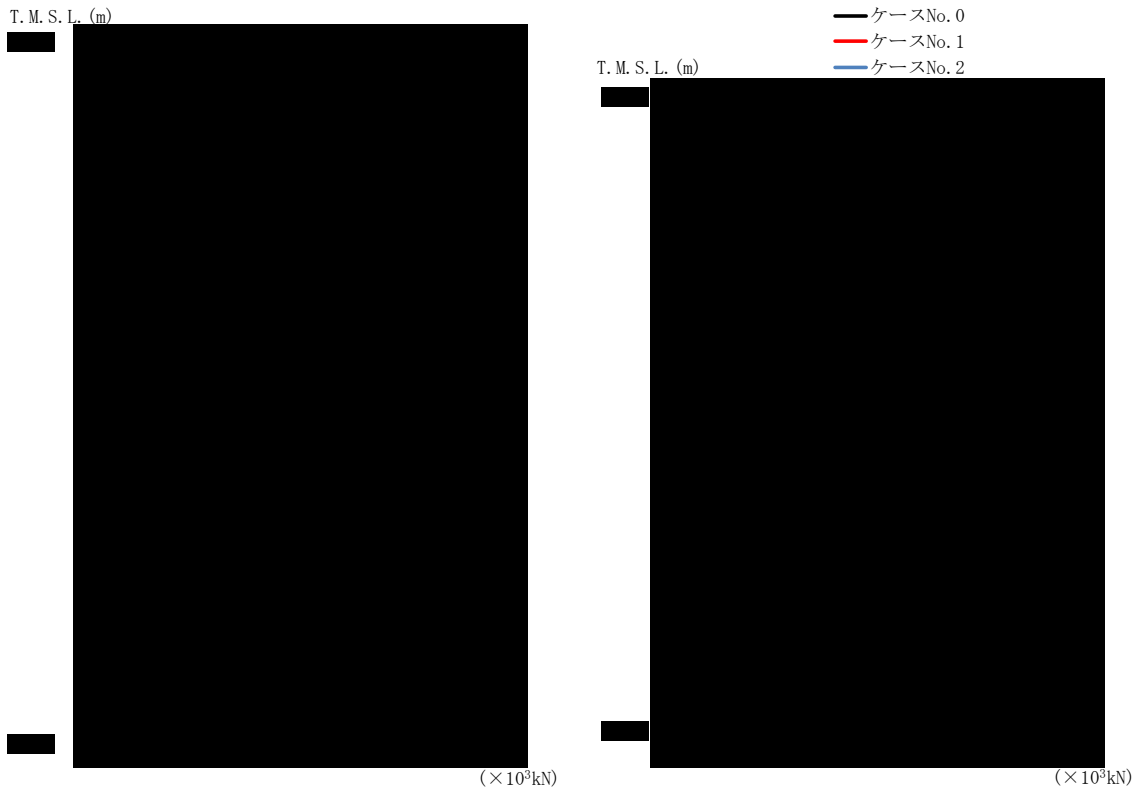


T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (x10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(a) Sd-A

第4.2-18 図 最大応答せん断力 (EW 方向) (1/6)

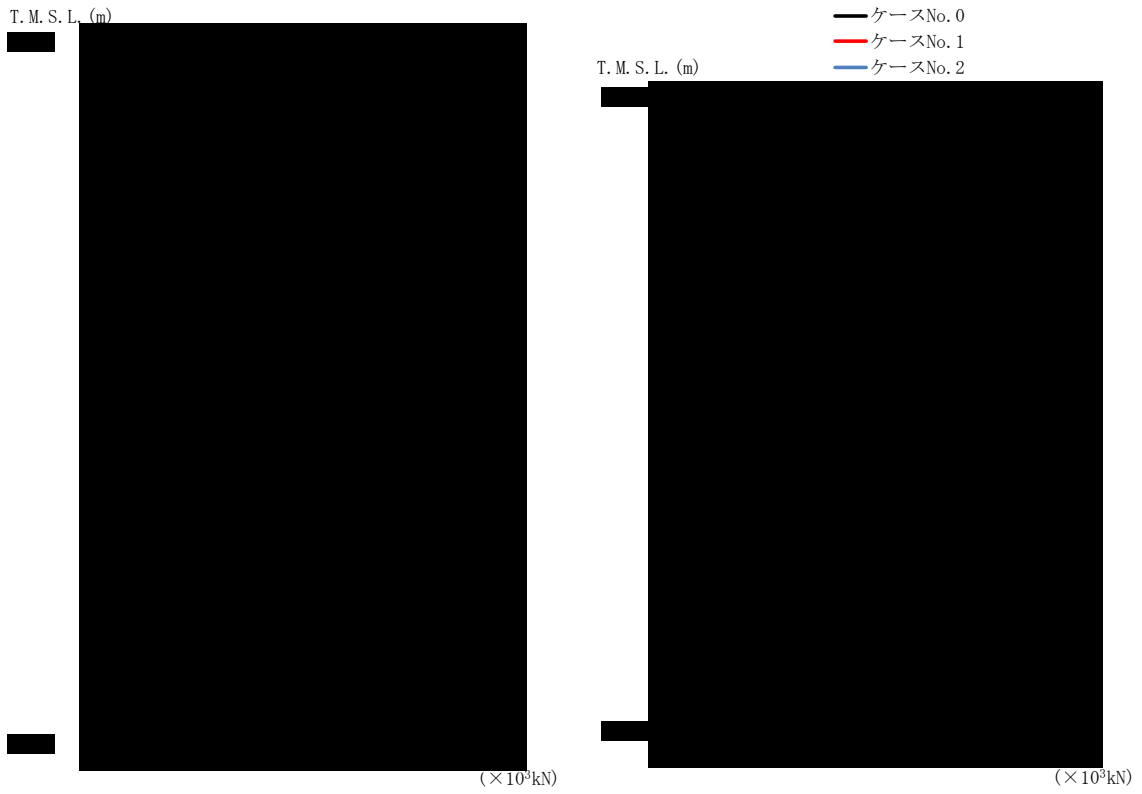




T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (x10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(b) Sd-C1

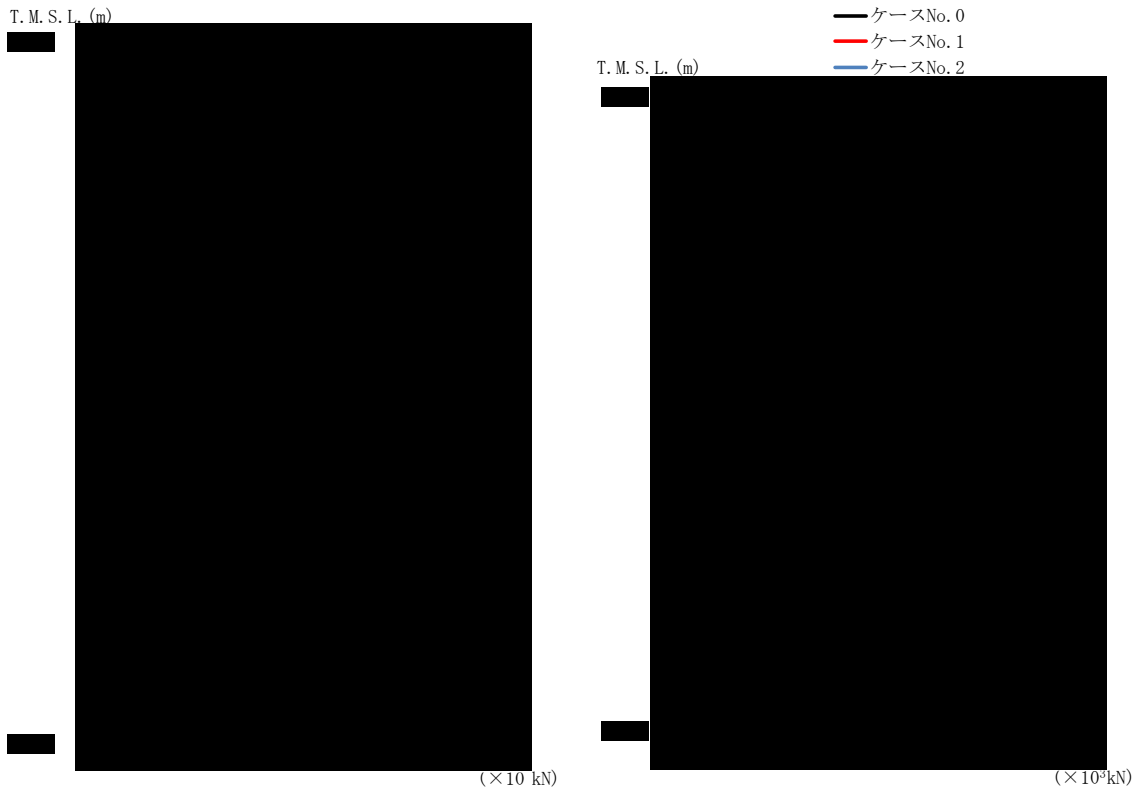
第4.2-18 図 最大応答せん断力 (EW 方向) (2/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (x10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Sd-C3(NS)

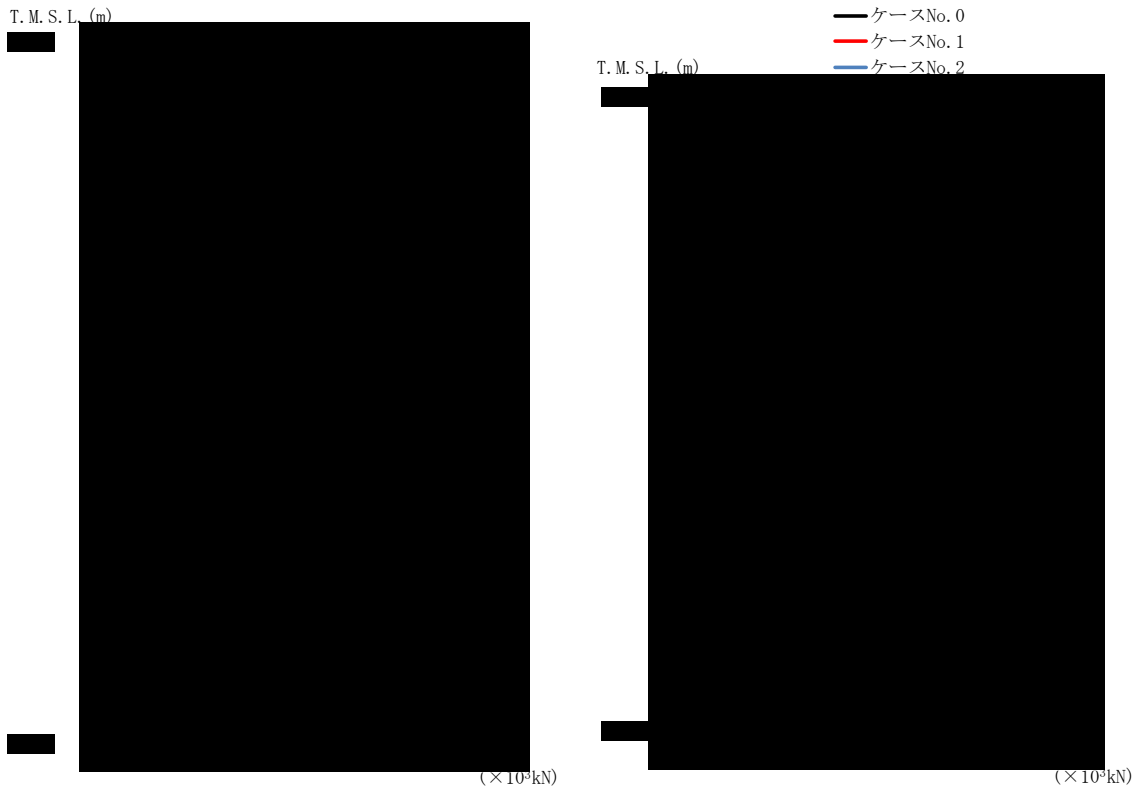
第4.2-18 図 最大応答せん断力 (EW 方向) (3/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (x10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(d) Sd-C3 (EW)

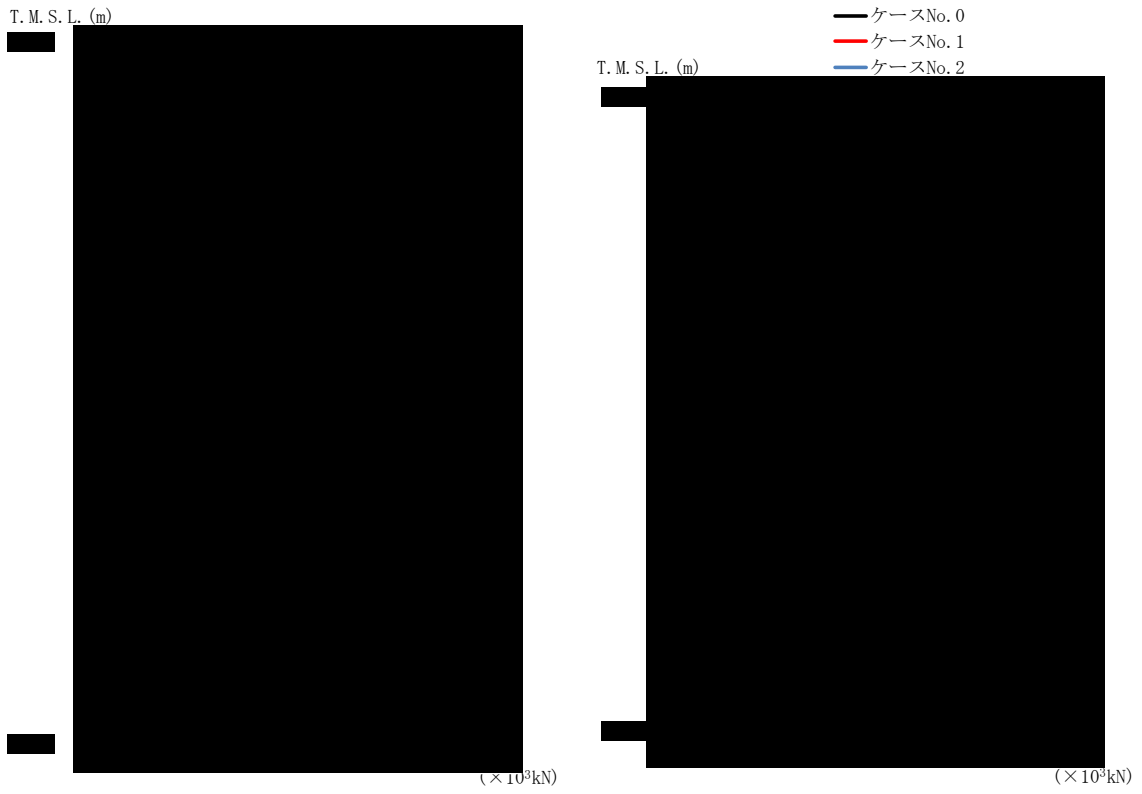
第4.2-18 図 最大応答せん断力 (EW 方向) (4/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (x10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(e) Sd-C4(NS)

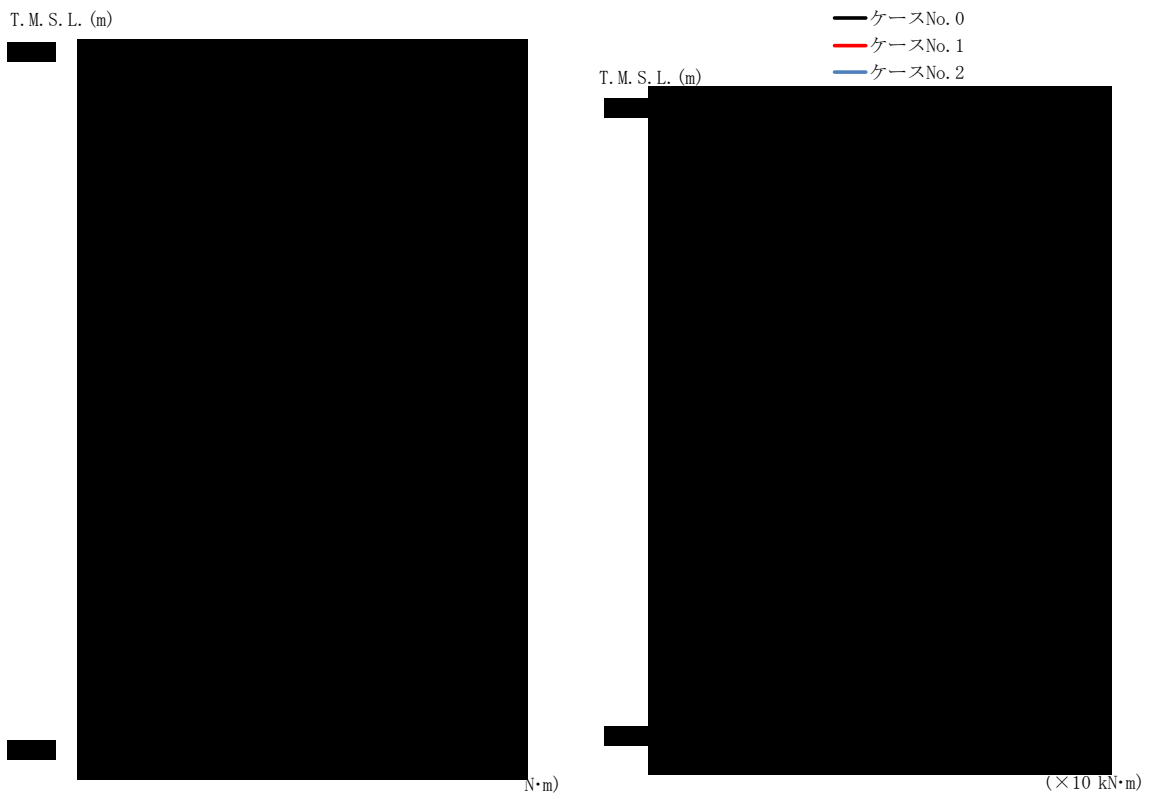
第4.2-18 図 最大応答せん断力 (EW 方向) (5/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (x 10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(f) Sd-C4 (EW)

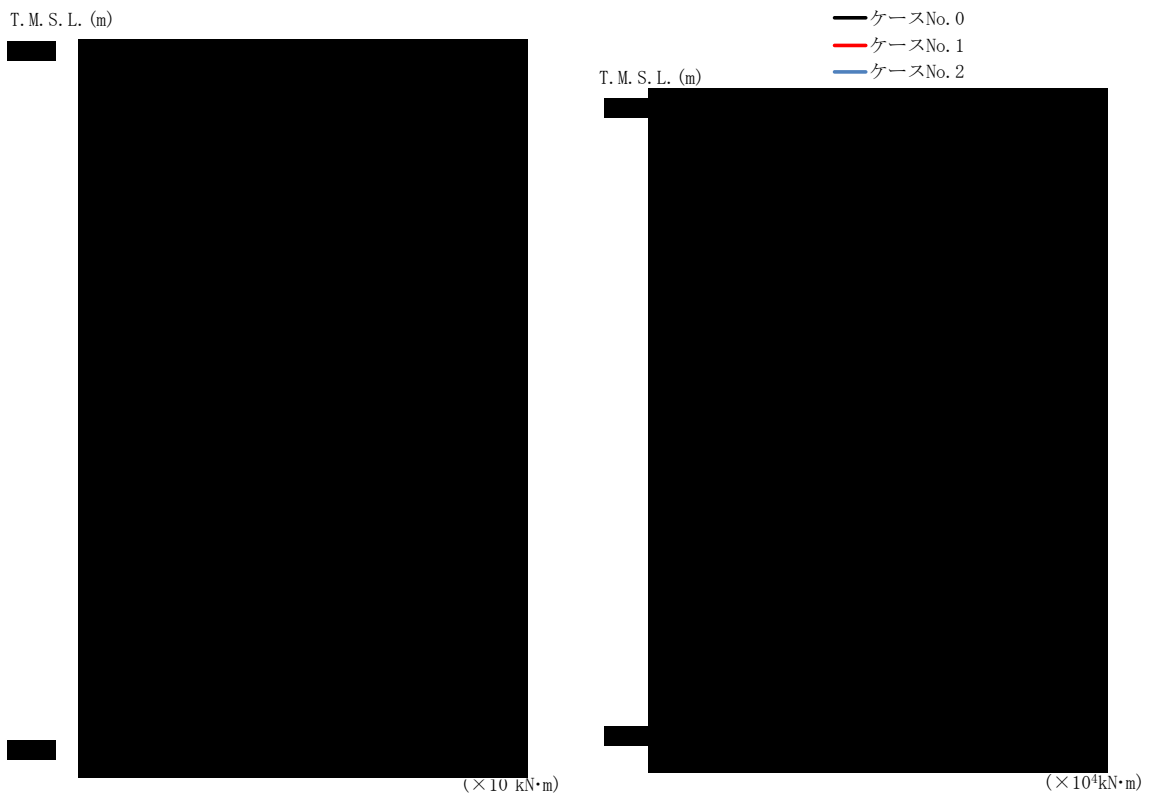
第4.2-18 図 最大応答せん断力 (EW 方向) (6/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(a) Sd-A

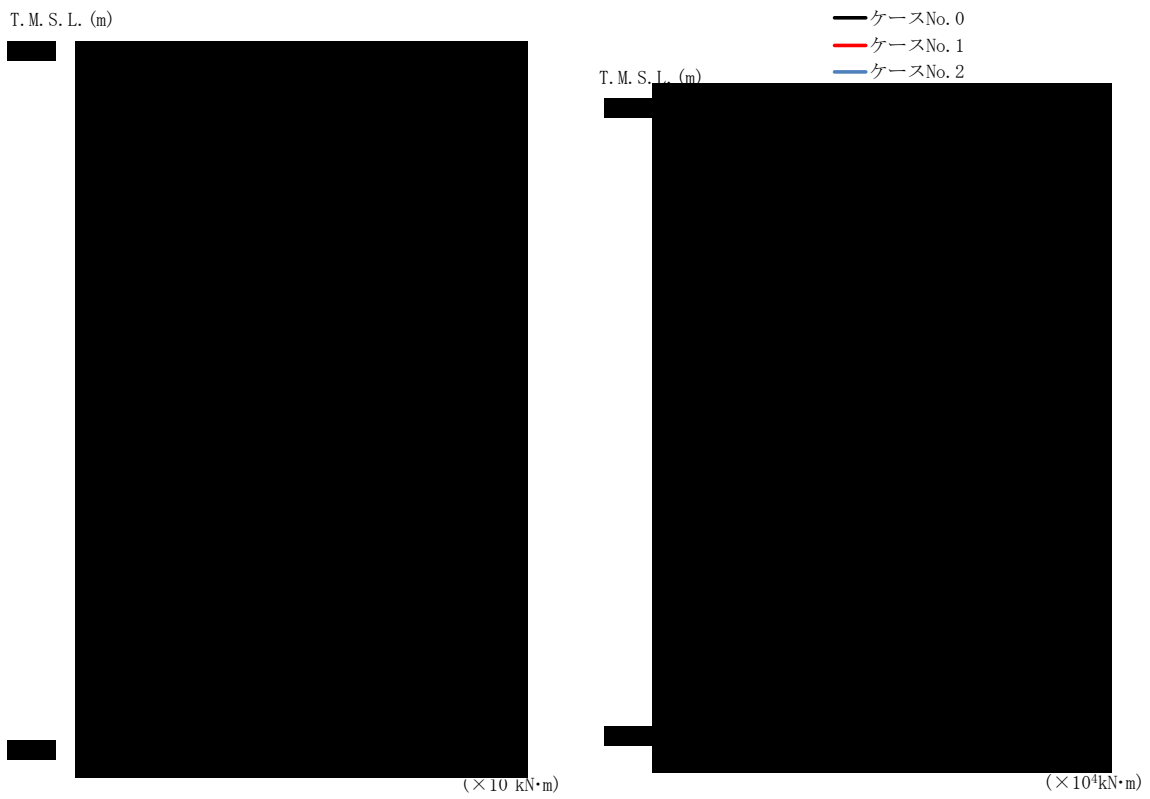
第4.2-19図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (1/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN・m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(b) Sd-C1

第4.2-19図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (2/6)

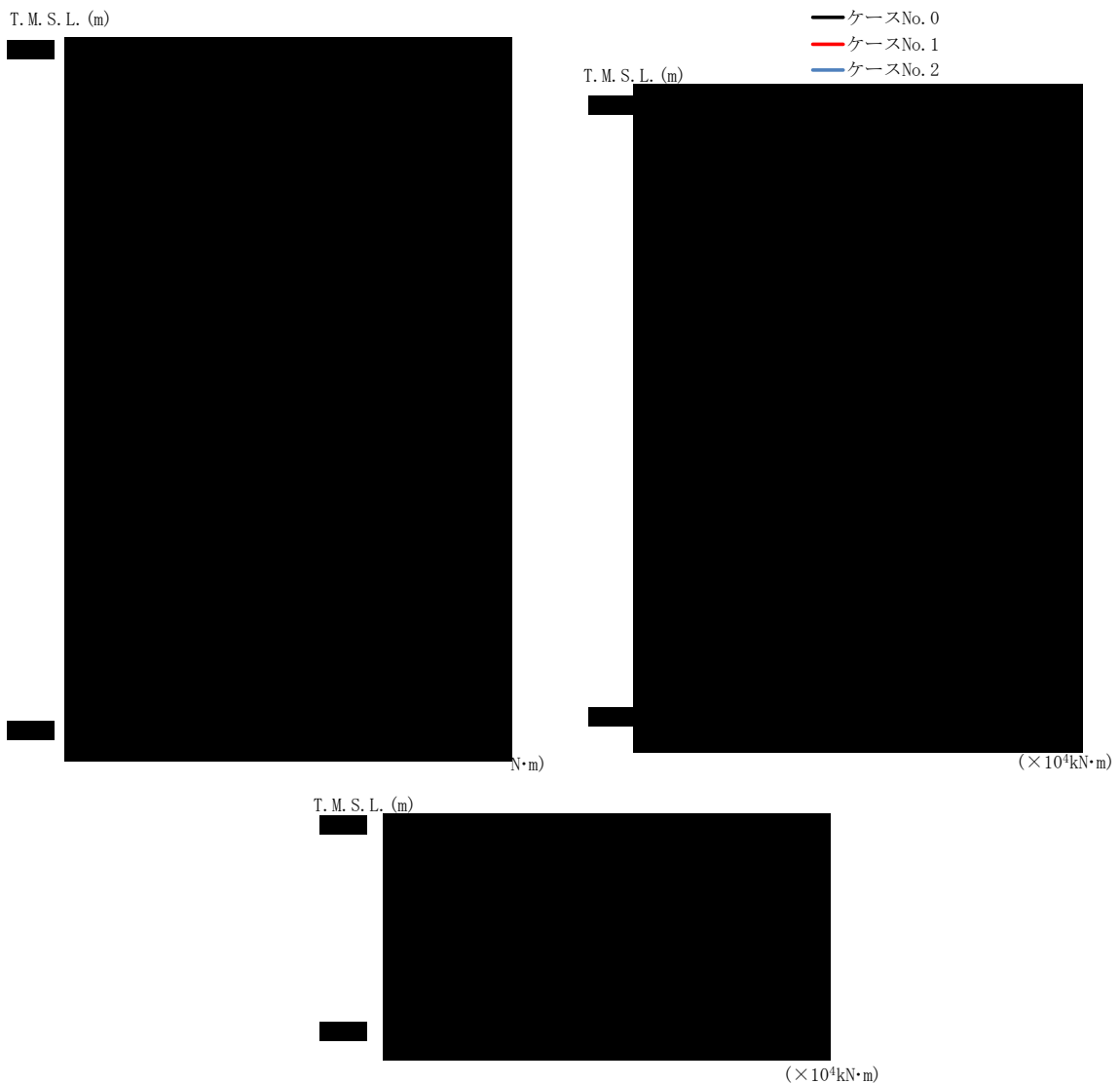


T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Sd-C3(NS)

第4.2-19図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (3/6)

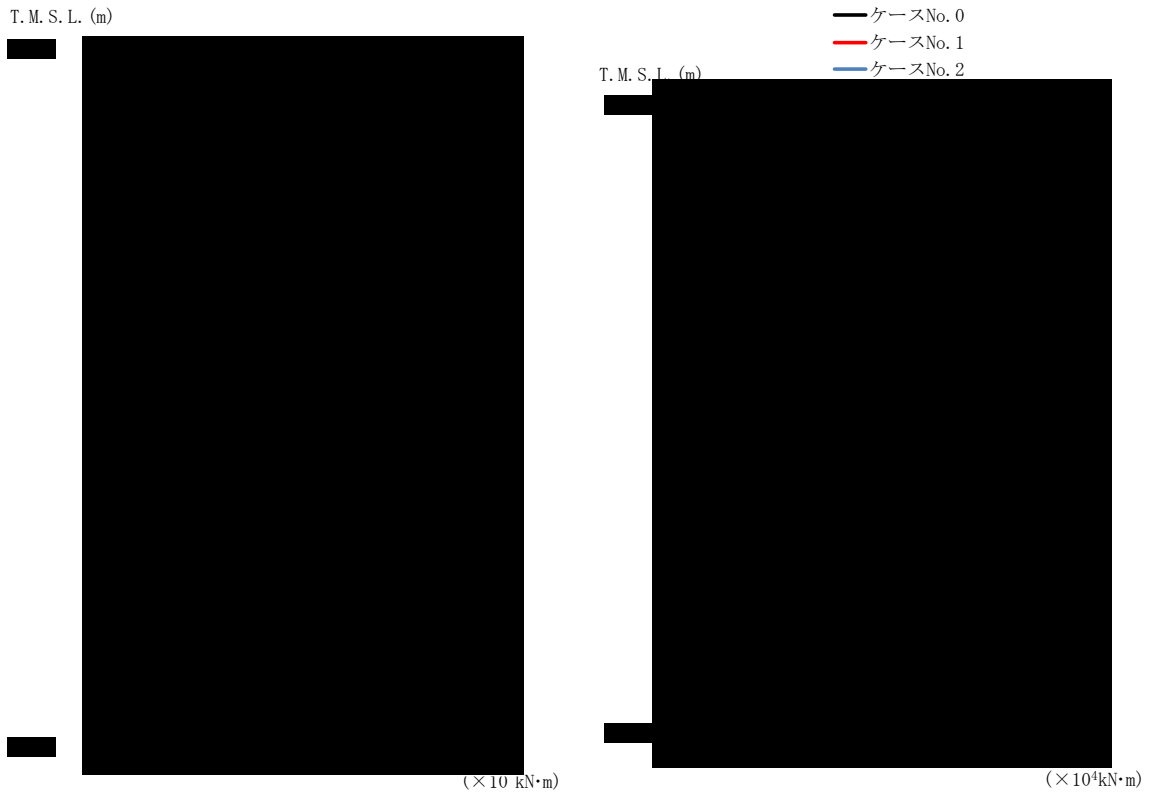




T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (x 10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(d) Sd-C3 (EW)

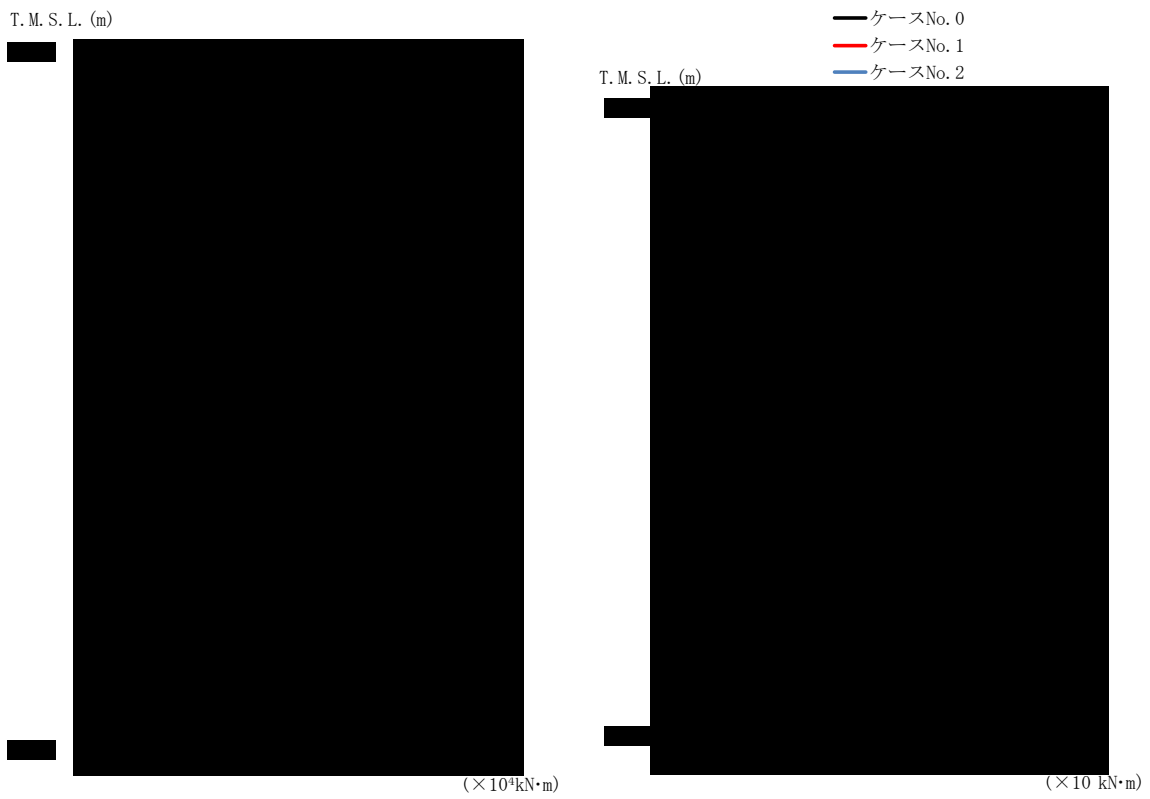
第 4.2-19 図 最大応答曲げモーメント (EW 方向) (4/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN・m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(e) Sd-C4(NS)

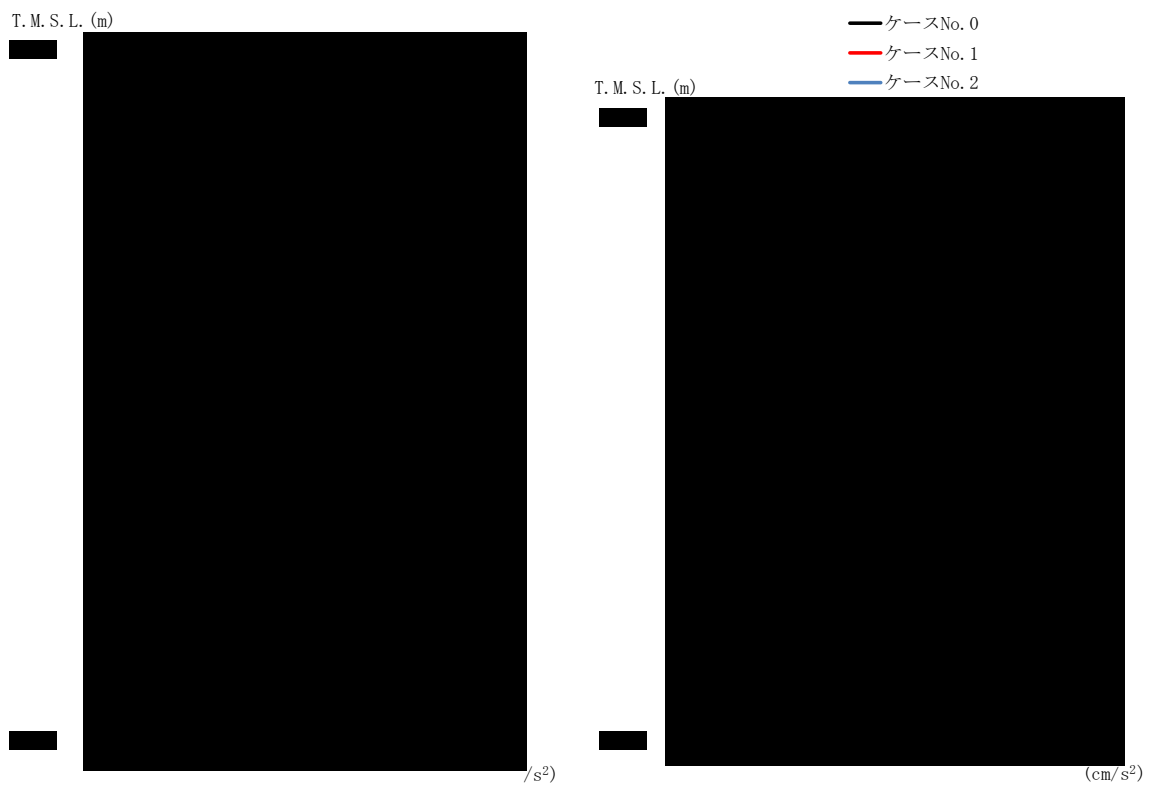
第4.2-19図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (5/6)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>4</sup> kN·m)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(f) Sd-C4 (EW)

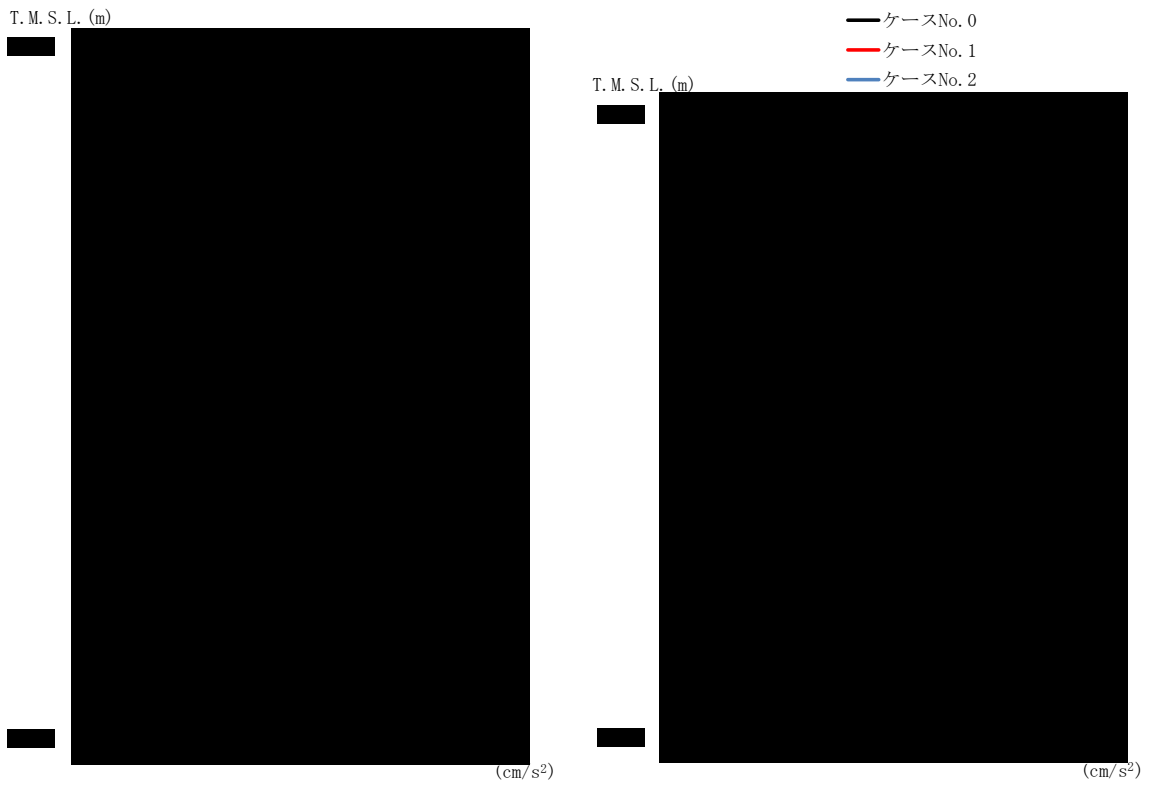
第4.2-19図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (6/6)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(a) Sd-A

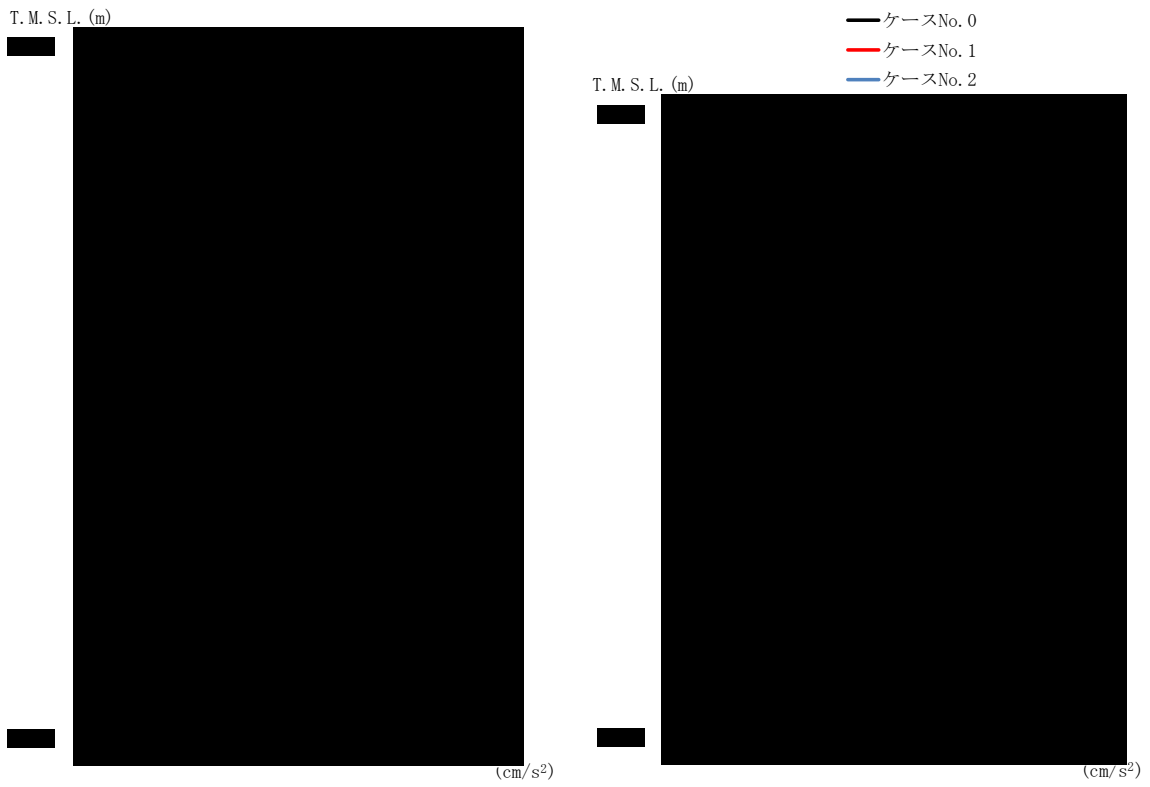
第 4. 2-20 図 最大応答加速度 (鉛直方向) (1/3)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Sd-C1

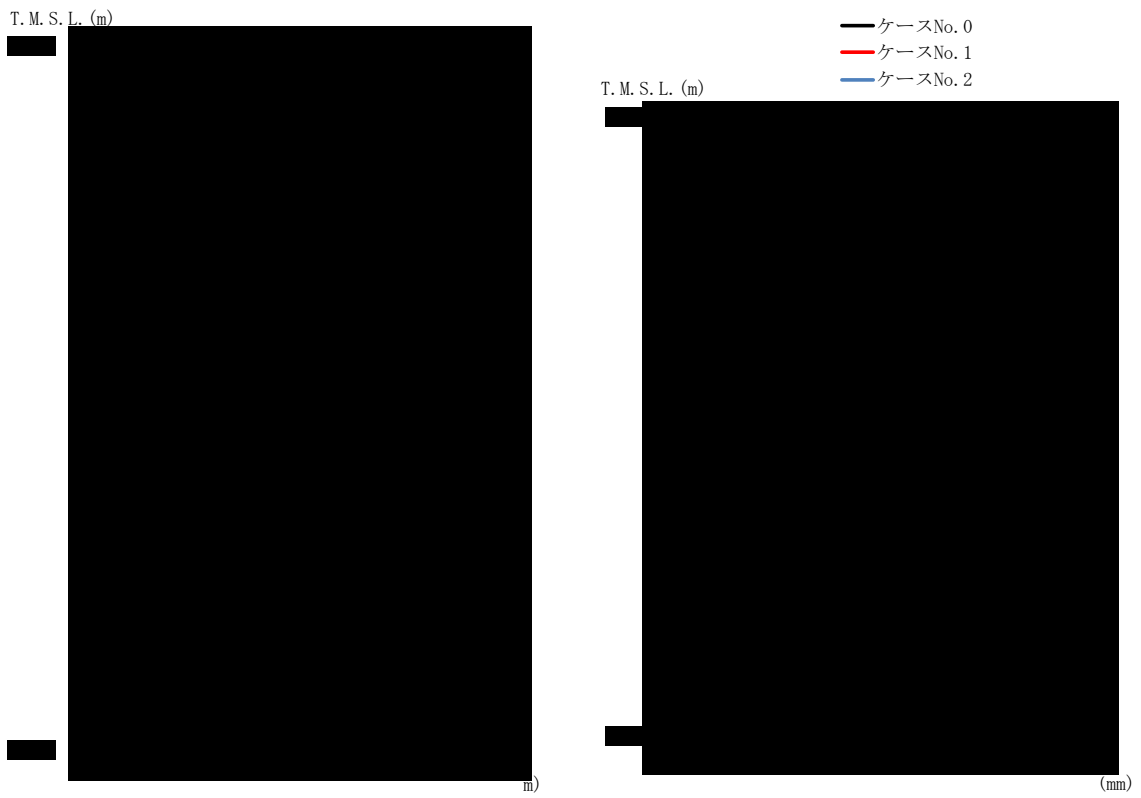
第 4. 2-20 図 最大応答加速度 (鉛直方向) (2/3)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Sd-C3

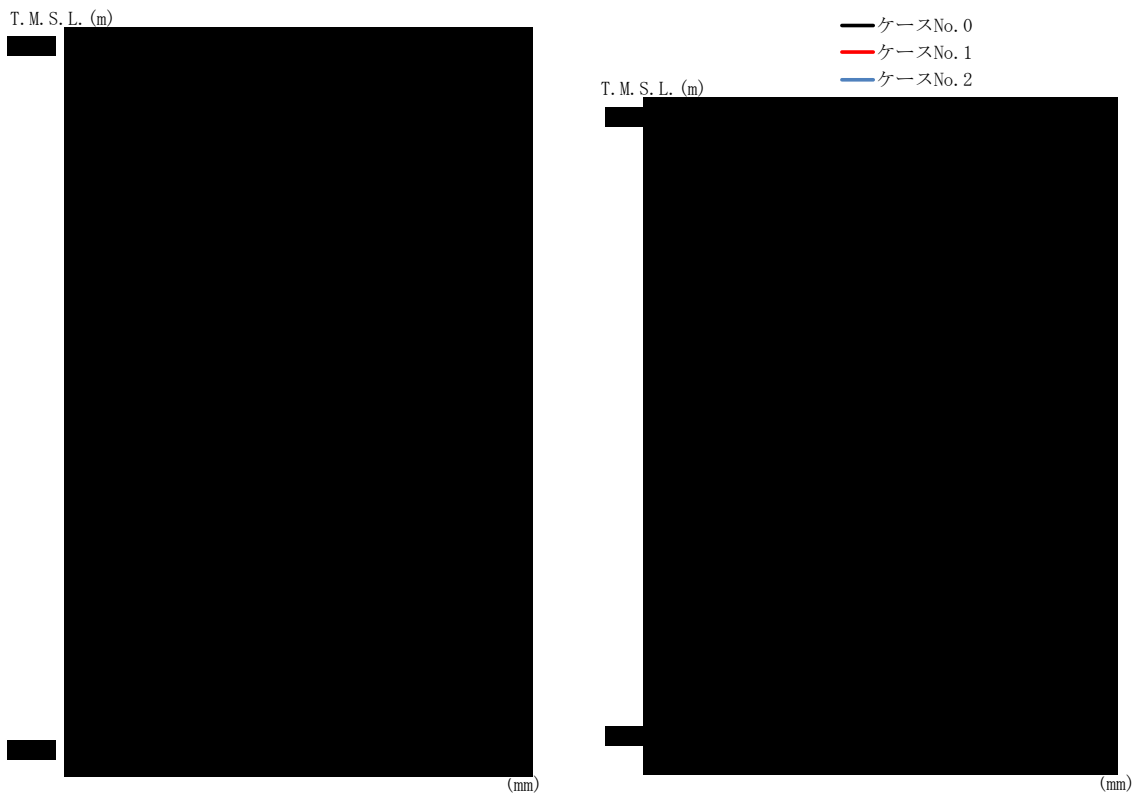
第 4.2-20 図 最大応答加速度 (鉛直方向) (3/3)



T. M. S. L. (m)	質 点 番 号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(a) Sd-A

第 4.2-21 図 最大応答変位 (鉛直方向) (1/3)

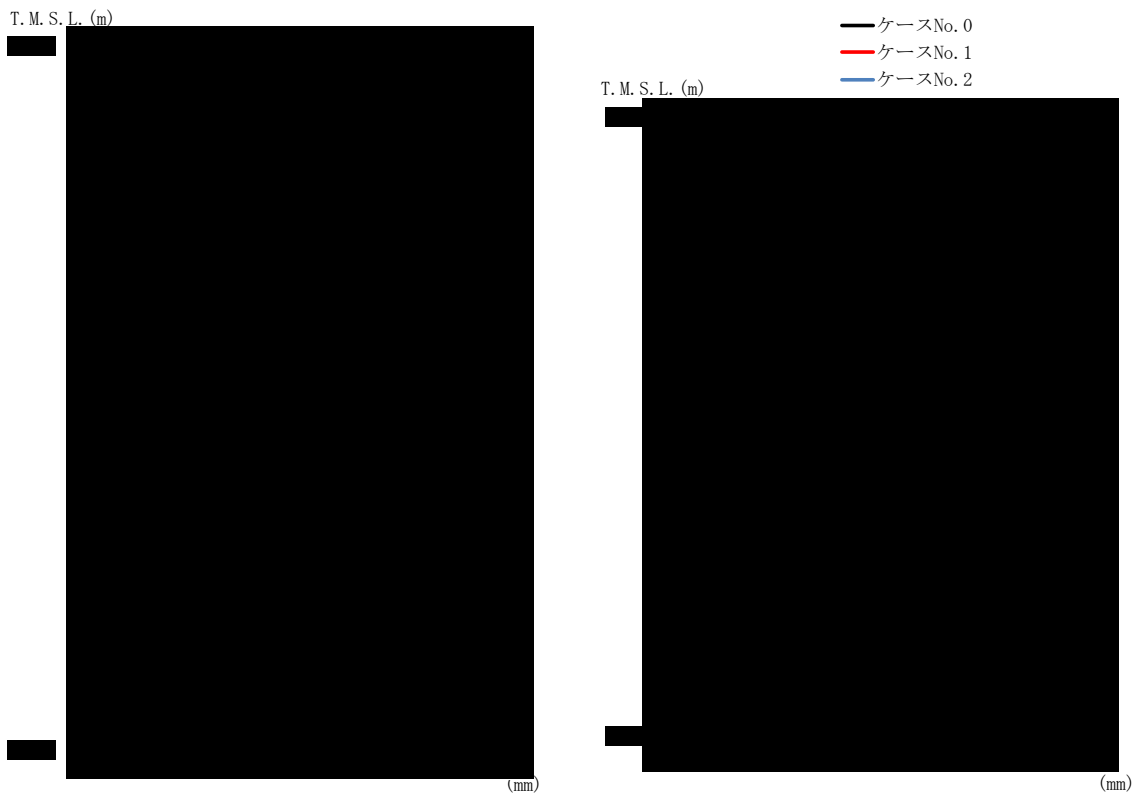


T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(b) Sd-C1

第 4.2-21 図 最大応答変位 (鉛直方向) (2/3)

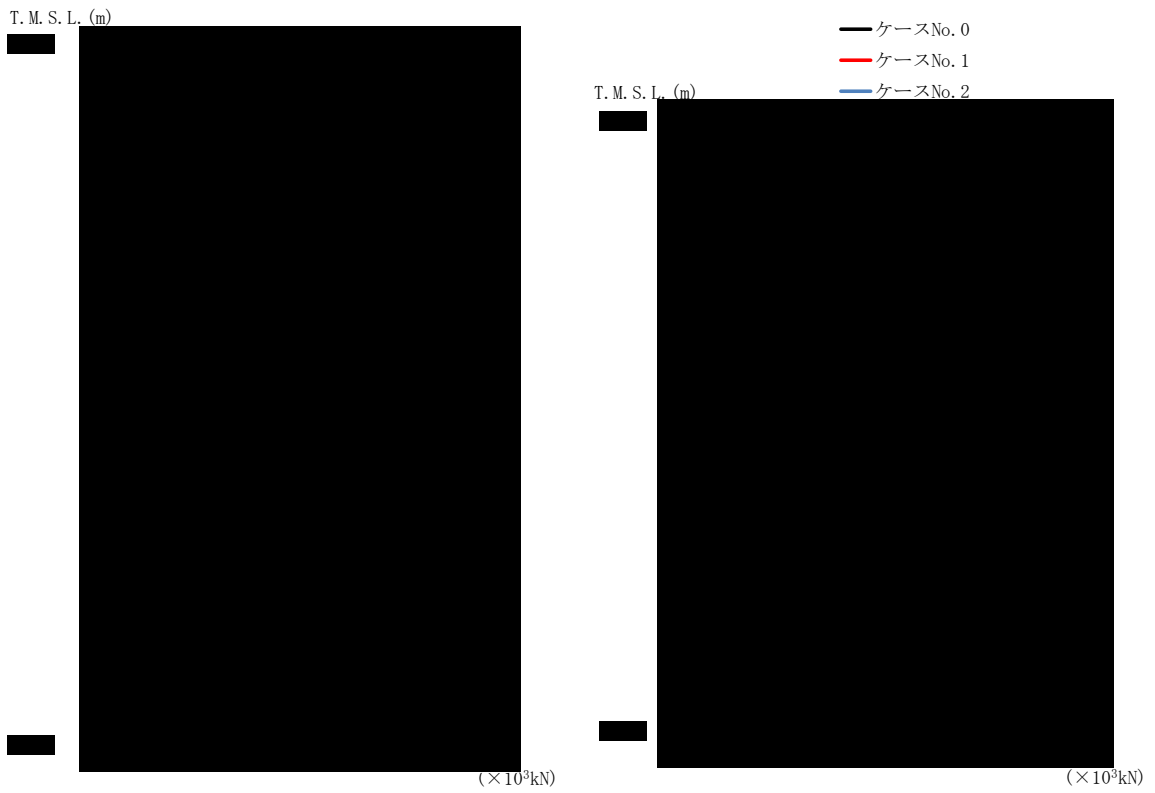




T.M.S.L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2

(c) Sd-C3

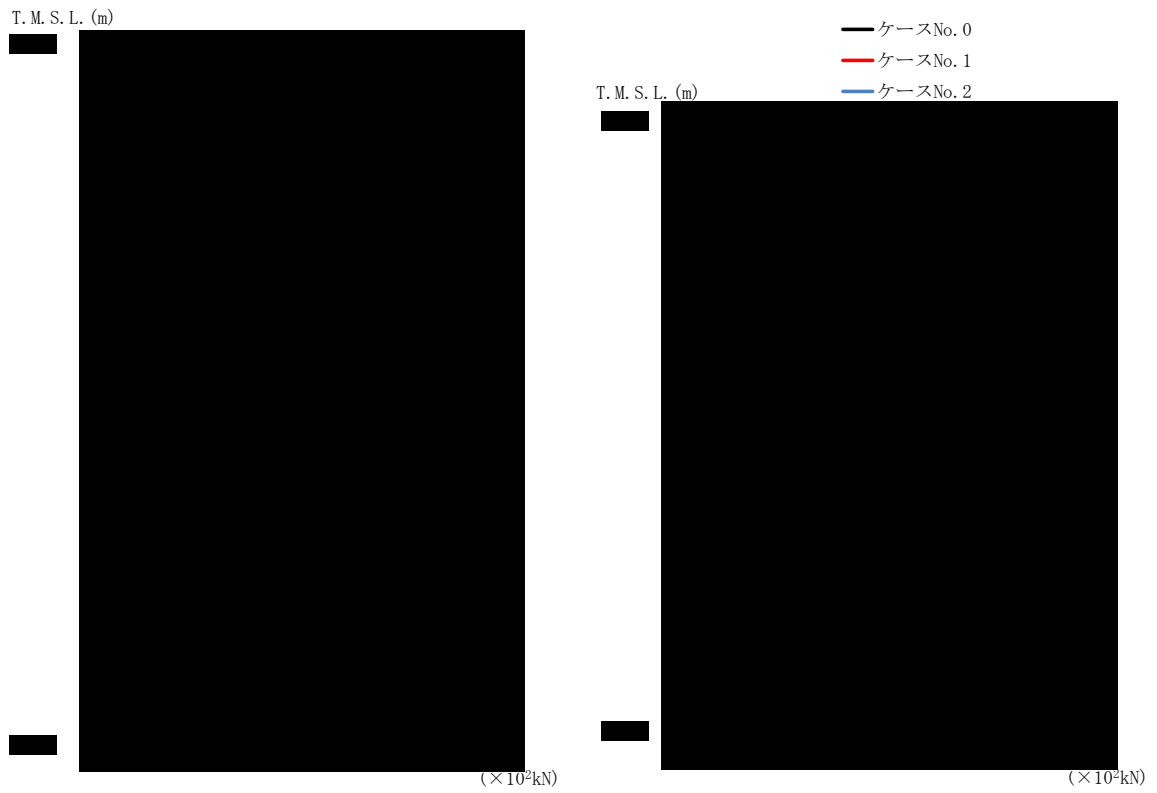
第 4.2-21 図 最大応答変位 (鉛直方向) (3/3)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(a) Sd-A

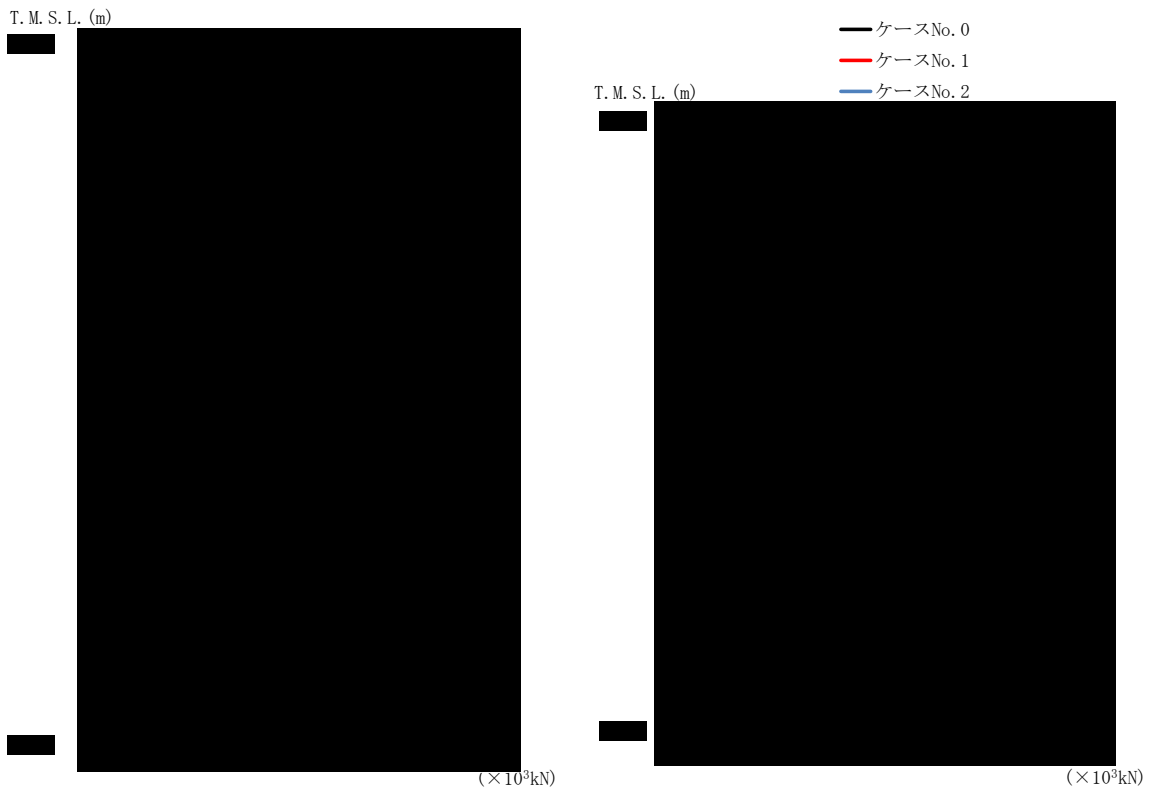
第 4. 2-22 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (1/3)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 <sup>2</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(b) Sd-C1

第 4. 2-22 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (2/3)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 <sup>3</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
[Redacted Data]				

(c) Sd-C3

第 4. 2-22 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (3/3)

第4.2-7表 浮上り検討 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 0)

(a) NS 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A (H)			
Sd-B1 (NS)			
Sd-B2 (NS)			
Sd-B3 (NS)			
Sd-B4 (NS)			
Sd-B5 (NS)			
Sd-C1 (NSEW)			
Sd-C2 (NS)			
Sd-C2 (EW)			
Sd-C3 (NS)			
Sd-C3 (EW)			
Sd-C4 (NS)			
Sd-C4 (EW)			

(b) EW 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A (H)			
Sd-B1 (EW)			
Sd-B2 (EW)			
Sd-B3 (EW)			
Sd-B4 (EW)			
Sd-B5 (EW)			
Sd-C1 (NSEW)			
Sd-C2 (NS)			
Sd-C2 (EW)			
Sd-C3 (NS)			
Sd-C3 (EW)			
Sd-C4 (NS)			
Sd-C4 (EW)			

第4.2-8表 浮上り検討 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 1)

(a) NS 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A (H)			
Sd-C1 (NSEW)			
Sd-C3 (NS)			
Sd-C3 (EW)			
Sd-C4 (NS)			
Sd-C4 (EW)			

(b) EW 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A (H)			
Sd-C1 (NSEW)			
Sd-C3 (NS)			
Sd-C3 (EW)			
Sd-C4 (NS)			
Sd-C4 (EW)			

第4.2-9表 浮上り検討 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No.2)

(a) NS 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A (H)			
Sd-C1 (NSEW)			
Sd-C3 (NS)			
Sd-C3 (EW)			
Sd-C4 (NS)			
Sd-C4 (EW)			

(b) EW 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A (H)			
Sd-C1 (NSEW)			
Sd-C3 (NS)			
Sd-C3 (EW)			
Sd-C4 (NS)			
Sd-C4 (EW)			

第 4. 2-10 表 最大接地圧 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 0) (1/2)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Sd-A	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-B1	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-B2	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-B3	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-B4	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-B5	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	



第 4. 2-10 表 最大接地圧 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 0) (2/2)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Sd-C1	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C2 (NS)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C2 (EW)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C3 (NS)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C3 (EW)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C4 (NS)	NS	—	
	EW	—	
Sd-C4 (EW)	NS	—	
	EW	—	

第 4. 2-11 表 最大接地圧 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 1)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Sd-A	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C1	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C3 (NS)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C3 (EW)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C4 (NS)	NS	—	
	EW	—	
Sd-C4 (NS)	NS	—	
	EW	—	

第 4. 2-12 表 最大接地圧 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 2)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Sd-A	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C1	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C3 (NS)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C3 (EW)	NS	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
	EW	鉛直上向き	
		鉛直下向き	
Sd-C4 (NS)	NS	—	
	EW	—	
Sd-C4 (EW)	NS	—	
	EW	—	

## 参考資料

安全冷却水 B 冷却塔における  
建屋物性のばらつきによる  
建屋応答への影響に関する考察

## 目 次

1.	概要 .....	参考-1
2.	建屋物性のばらつきの設定 .....	参考-2
2.1	コンクリート強度による建屋物性のばらつきの設定 .....	参考-2
3.	地震応答解析による建屋物性のばらつきの影響検討 .....	参考-3
3.1	固有値解析結果 .....	参考-4
3.2	地震応答解析結果 .....	参考-8

## 1. 概要

本資料は、別紙1の参考資料として、安全冷却水B冷却塔における建屋物性のばらつきによる建屋応答への影響について説明するものである。

建屋物性のばらつきについては、基礎スラブのコンクリート強度を実強度とすることが考えられるが、建物・構築物の耐力及び剛性が向上することから、添付書類「Ⅲ-2-1-1-1 安全冷却水B冷却塔の地震応答計算書」の基本ケース（ケース No.0）（以下、「基本ケース」という。）の地震応答解析結果に比べ、応答せん断ひずみ度は小さくなると考えられる。なお、上部構造はファン駆動部、管束、ルーバを支持する鉄骨造の支持架構であるため、鉄筋コンクリート造の耐震壁及び補助壁は存在しない。

このことから、建屋物性のばらつきを考慮したケースに比べ、基本ケースは保守的な評価であるため、建屋物性のばらつきは考慮しないこととしている。

上記を踏まえ、建屋物性のばらつきを考慮した場合の建屋応答に及ぼす影響について、基本ケースの地震応答解析結果との比較により確認する。

## 2. 建屋物性のばらつきの設定

### 2.1 コンクリート強度による建屋物性のばらつきの設定

建屋物性のばらつきとして考慮するコンクリートの実強度については、本文「2.1.2 建屋物性のばらつきの設定条件」に基づき、既認可での使用前検査の実績である材齢 28 日におけるコンクリートの圧縮強度試験結果の平均値を用いる。

建設時コンクリートの 28 日強度データの統計値を第 2.1-1 表に、コンクリート強度のばらつきの設定結果を第 2.1-2 表に示す。

第 2.1-1 表 建設時コンクリートの 28 日強度データの統計値

打設箇所	平均値 (N/mm <sup>2</sup> )	標準偏差 (N/mm <sup>2</sup> )	最大値 (N/mm <sup>2</sup> )	最小値 (N/mm <sup>2</sup> )	中央値 (N/mm <sup>2</sup> )	データ数 (個)
基礎	43.5	2.20	46.3	38.6	43.8	36
全体	同上	同上	同上	同上	同上	同上

第 2.1-2 表 コンクリート強度のばらつきの設定結果

	コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> )	ヤング係数 (N/mm <sup>2</sup> )
基本ケース (設計基準強度)	23.5	2.25×10 <sup>4</sup>
実強度	43.5 (1.85)	2.76×10 <sup>4</sup> (1.23)

注記：( ) 内は、基本ケースに対する比率を示す。

3. 地震応答解析による建屋物性のばらつきの影響検討

評価ケースを第 3.-1 表に示す。

第 3.-1 表 評価ケース

評価ケース	コンクリート強度
基本ケース	設計基準強度
建屋物性のばらつきを 考慮したケース	実強度



### 3.1 固有値解析結果

固有値解析結果を第 3.1-1 表，刺激関数図を第 3.1-1 図～第 3.1-3 図に示す。

第 3.1-1 表 固有値解析結果

(単位 : Hz)

次数	NS 方向	
	基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
1		
2		

次数	EW 方向	
	基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
1		
2		

次数	UD 方向	
	基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
1		
2		

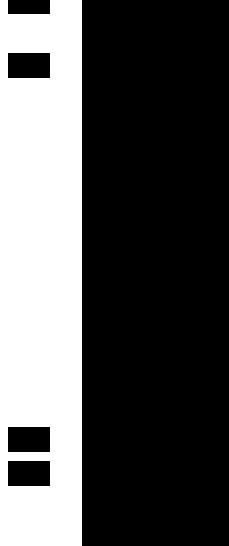
1 次モード

固有周期  $T_1 =$  [redacted] (s)  
固有振動数  $f_1 =$  [redacted] (Hz)  
刺激係数  $\beta_1 =$  [redacted]

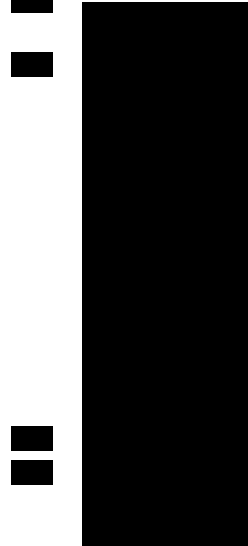
2 次モード

固有周期  $T_2 =$  [redacted] (s)  
固有振動数  $f_2 =$  [redacted] (Hz)  
刺激係数  $\beta_2 =$  [redacted]

T.M.S.L.(m)



S.L.(m)



第 3. 1-1 図 建屋物性のばらつきを考慮したケースの刺激関数図 (NS 方向)

1 次モード

固有周期  $T_1 =$  [redacted] (s)  
固有振動数  $f_1 =$  [redacted] (Hz)  
刺激係数  $\beta_1 =$  [redacted]



2 次モード

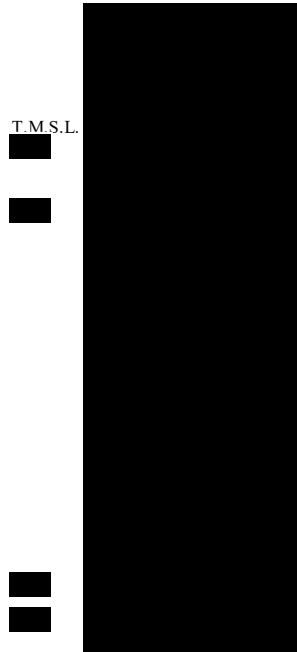
固有周期  $T_2 =$  [redacted] (s)  
固有振動数  $f_2 =$  [redacted] (Hz)  
刺激係数  $\beta_2 =$  [redacted]



第 3.1-2 図 建屋物性のばらつきを考慮したケースの刺激関数図 (EW 方向)

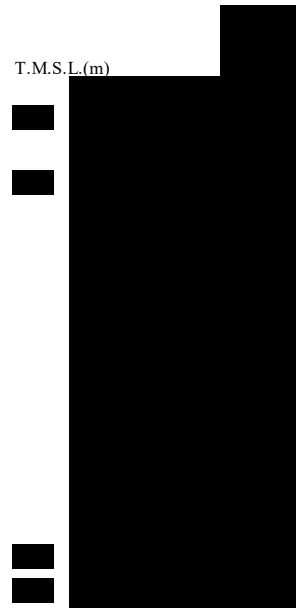
1 次モード

固有周期  $T_1 =$  [redacted] (s)  
 固有振動数  $f_1 =$  [redacted] (Hz)  
 刺激係数  $\beta_1 =$  [redacted]



2 次モード

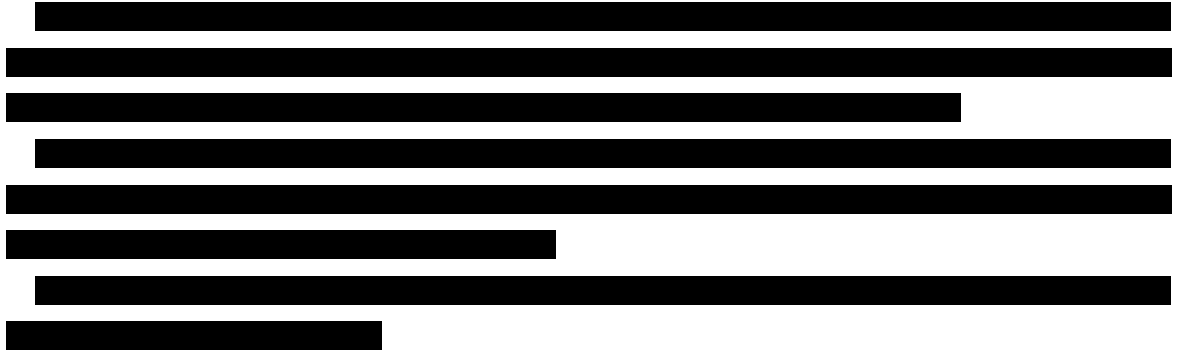
固有周期  $T_2 =$  [redacted] (s)  
 固有振動数  $f_2 =$  [redacted] (Hz)  
 刺激係数  $\beta_2 =$  [redacted]



第 3.1-3 図 建屋物性のばらつきを考慮したケースの刺激関数図 (鉛直方向)

### 3.2 地震応答解析結果

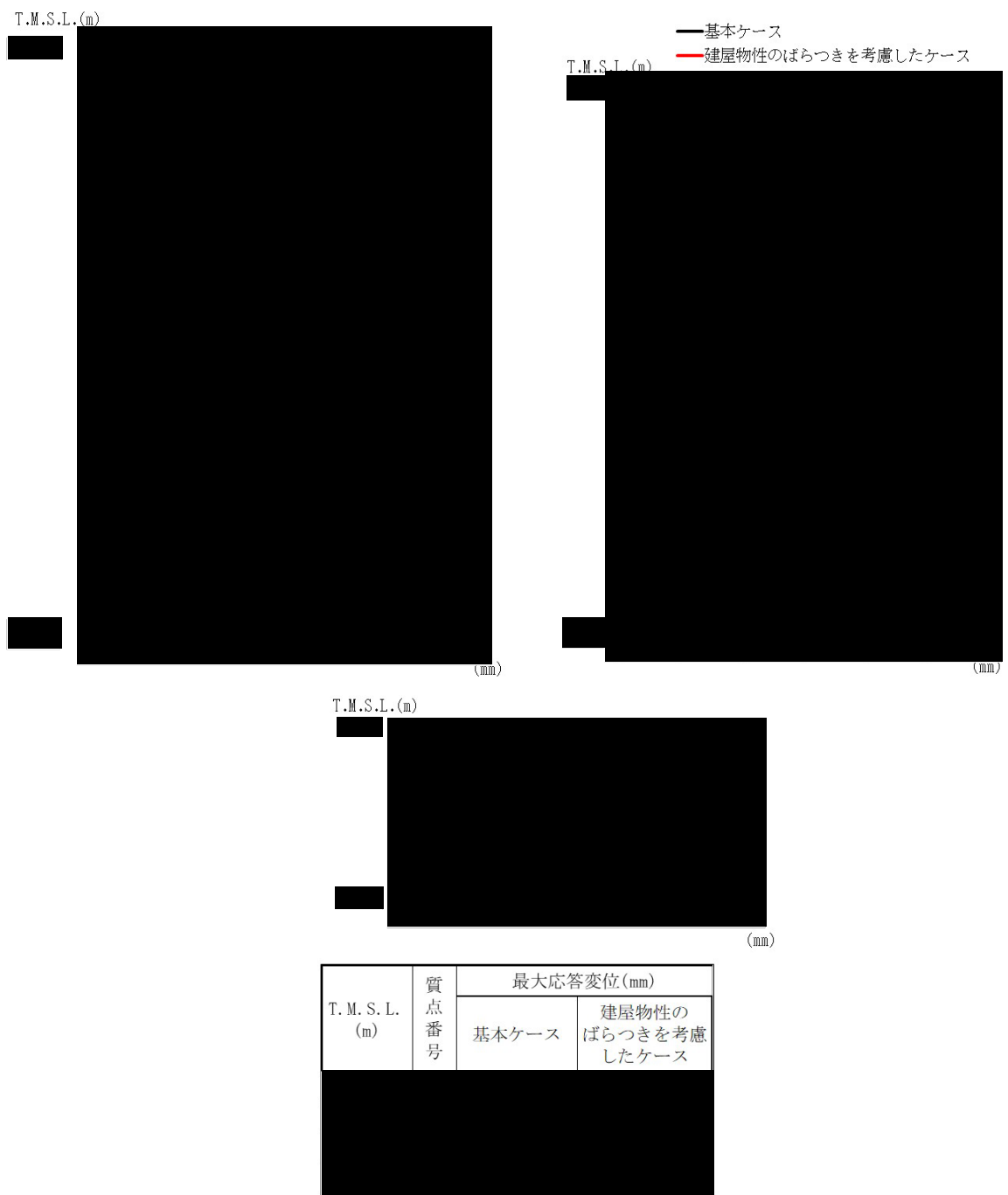
最大応答値を第 3.2-1 図～第 3.2-11 図に示す。





T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース
[Redacted Data]			

第3.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位(mm)	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース
[Redacted Data]			

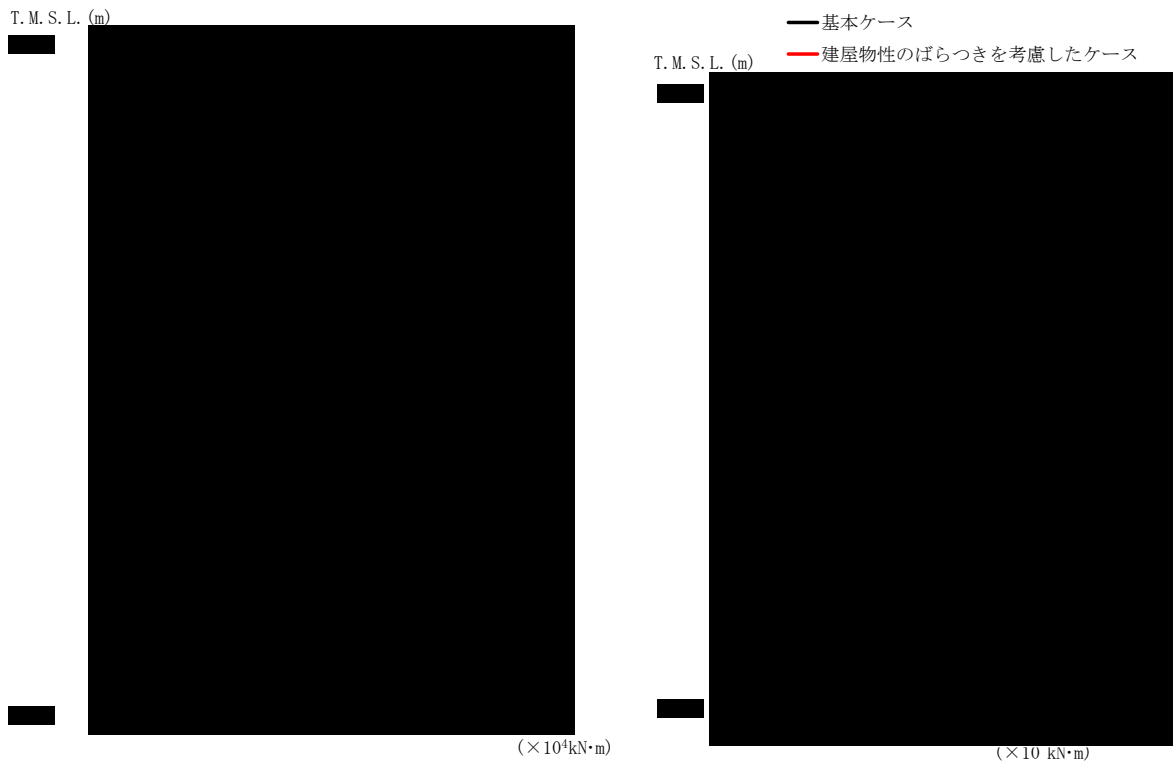
第3.2-2図 最大応答変位 (NS 方向)



T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース
[redacted]			

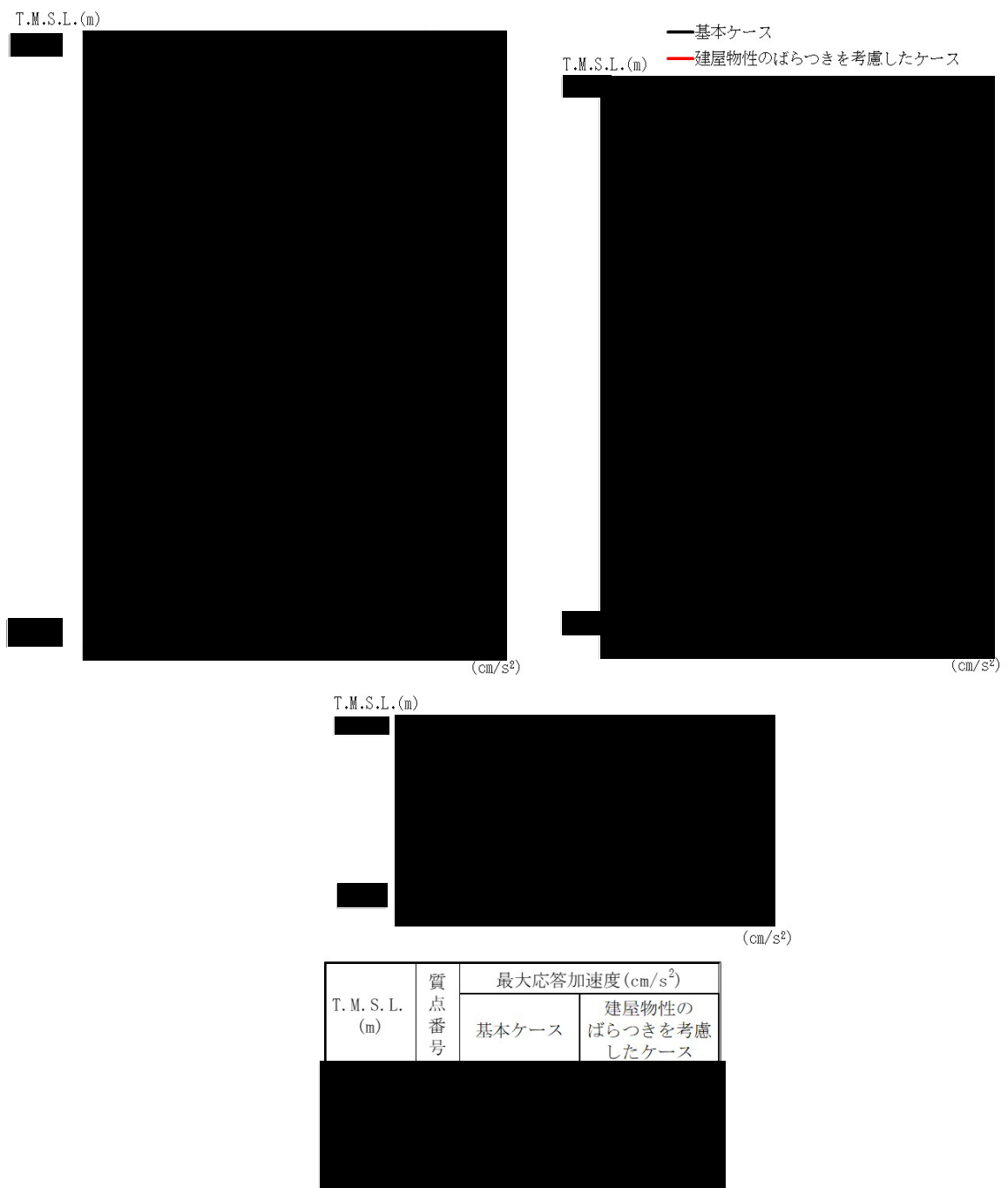
第3.2-3図 最大応答せん断力 (NS 方向)



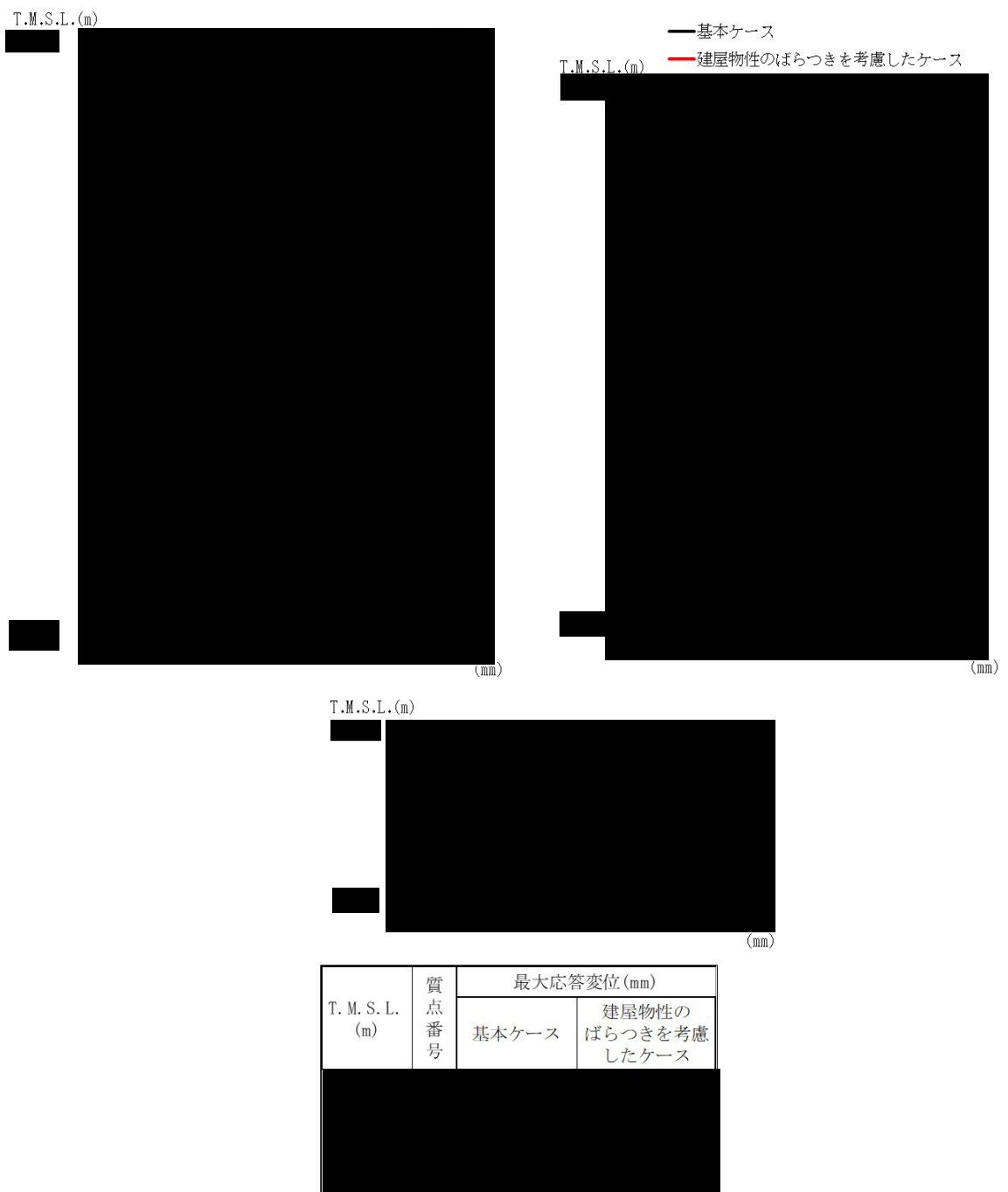


T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 <sup>4</sup> kN·m)	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース
[Redacted Data]			

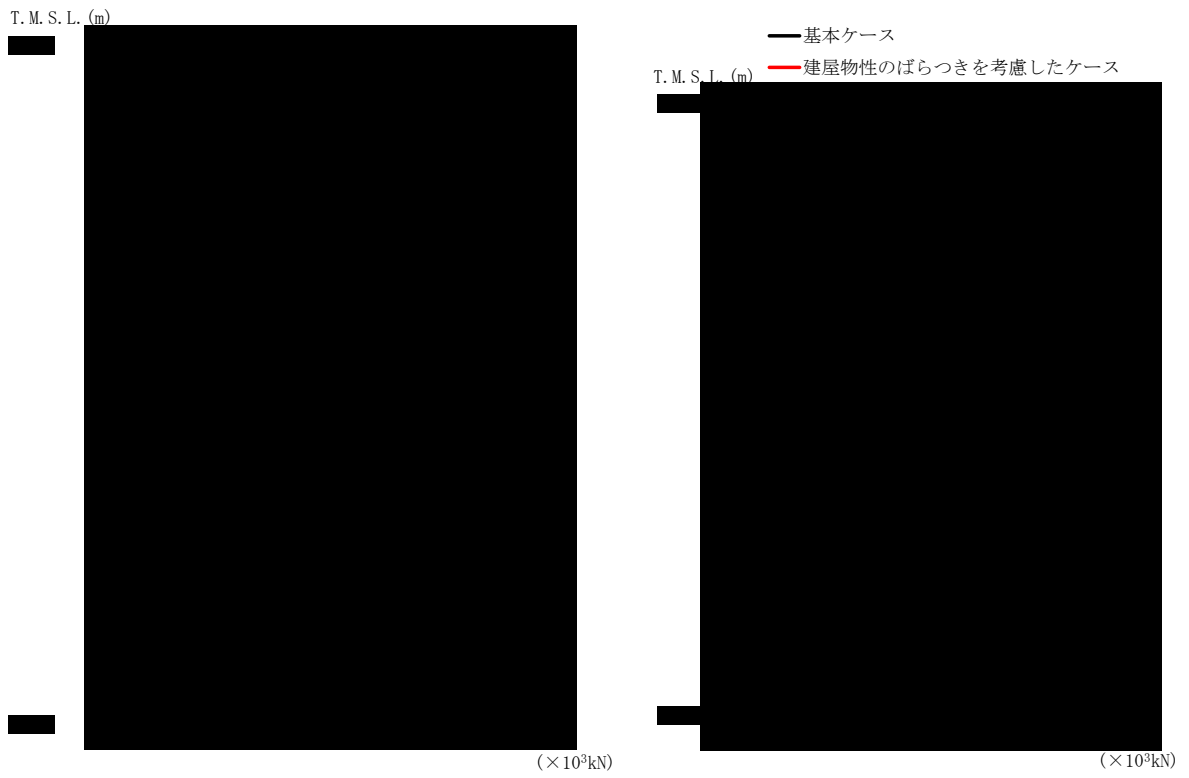
第3.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向)



第3.2-5図 最大応答加速度 (EW 方向)

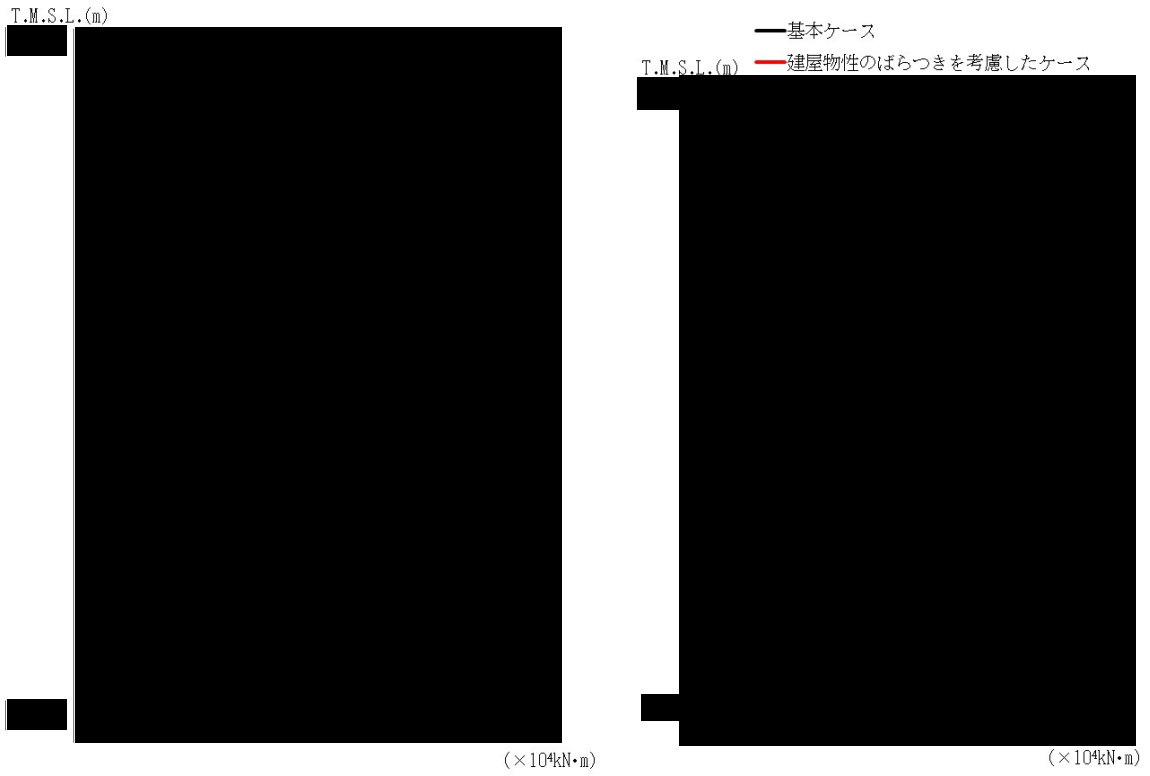


第3.2-6図 最大応答変位 (EW 方向)



T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>3</sup> kN)	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース
[Redacted Data]			

第3.2-7図 最大応答せん断力 (EW 方向)

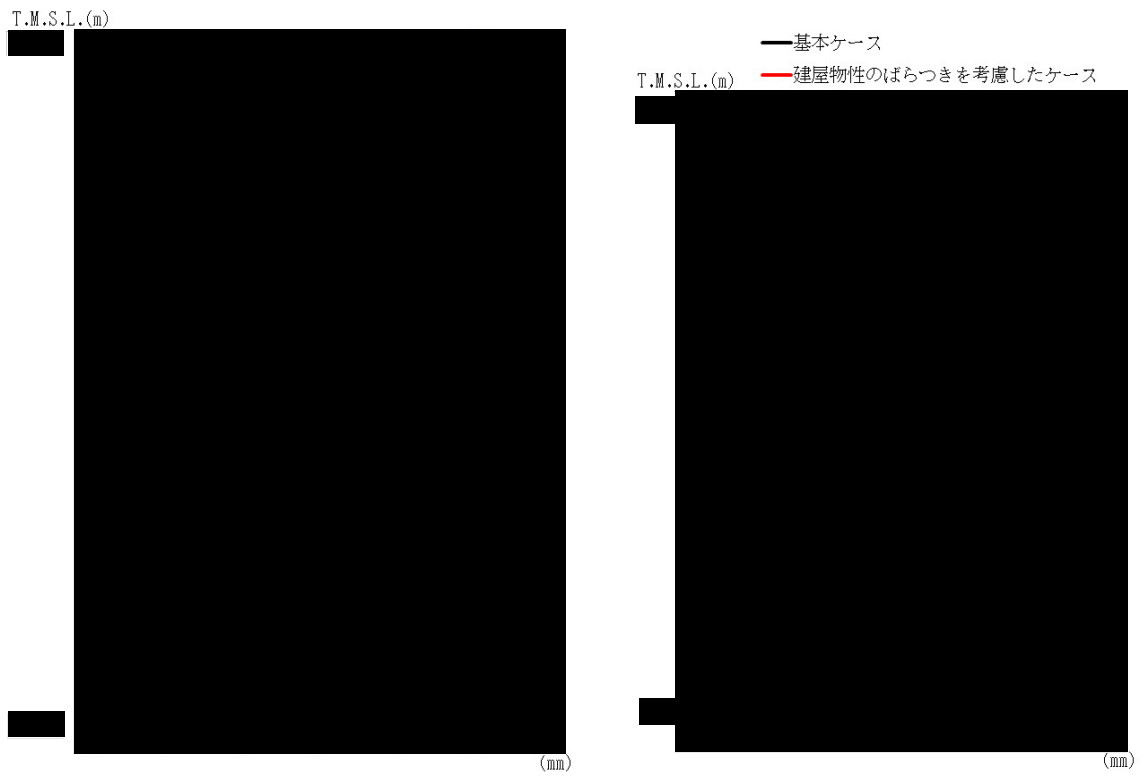


T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 <sup>4</sup> kN·m)	
		基本ケース	建物物性の ばらつきを考慮 したケース
[Redacted data]			

第3.2-8図 最大応答曲げモーメント (EW方向)

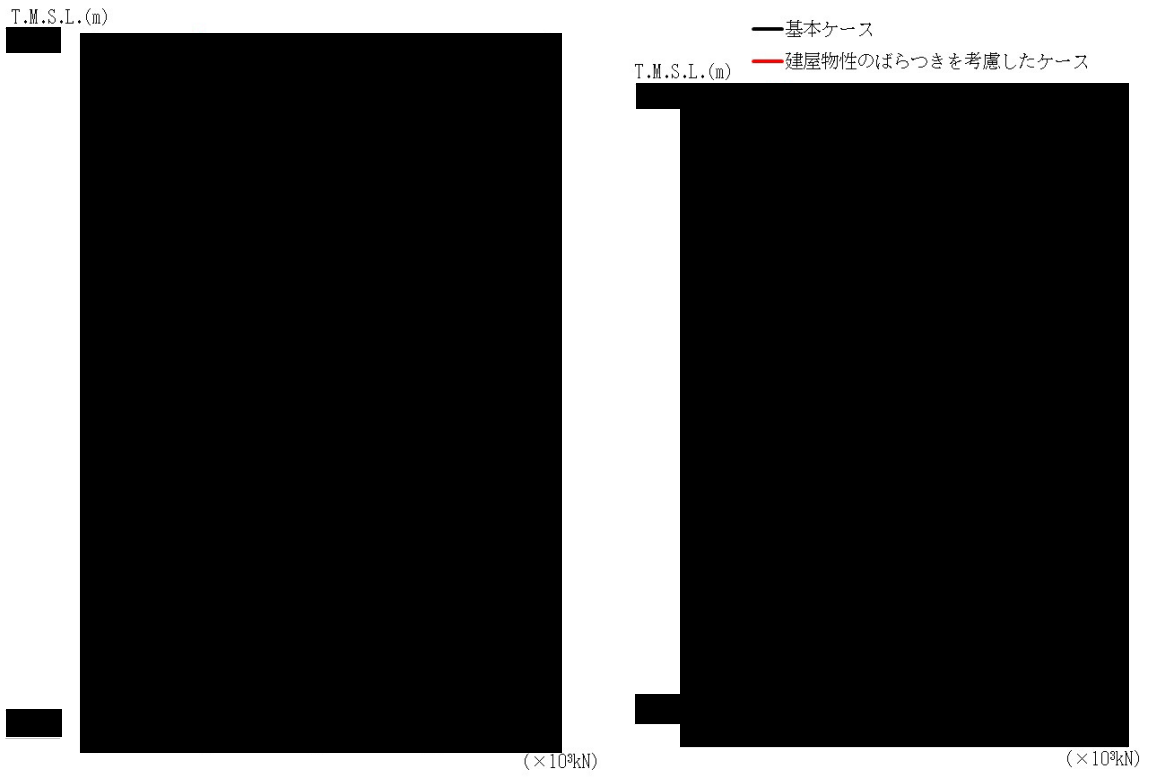


第 3. 2-9 図 最大応答加速度 (鉛直方向)



T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース

第 3. 2-10 図 最大応答変位 (鉛直方向)



T.M.S.L. (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 <sup>3</sup> kN)	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース
[Redacted Data]			

第 3. 2-11 図 最大応答軸力 (鉛直方向)



## 別紙 2

燃料加工建屋における  
材料物性のばらつきを考慮した  
地震応答解析結果

## 目 次

1. 概要 ..... 別紙 2-1
2. 地盤物性のばらつきの設定 ..... 別紙 2-2
3. 地震動の選定 ..... 別紙 2-10
4. 材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果 ..... 別紙 2-24
  - 4.1 材料物性のばらつきの設定 ..... 別紙 2-24
  - 4.2 地震応答解析結果 ..... 別紙 2-27

参考資料 燃料加工建屋における建屋物性のばらつきによる建屋応答への影響に関する考察

## 1. 概要

本資料は、燃料加工建屋における建物・構築物及び機器・配管系の設計用地震力の設定根拠として、建物・構築物の材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果を示すものである。

本資料では、まず、本文「第3.-1 図 材料物性のばらつきを考慮した検討に用いる地震動の選定方法のフロー」に基づき、材料物性のばらつきによる検討に用いる地震動を選定する。

次に、建物・構築物及び機器・配管系の設計用地震力の設定根拠となる地盤物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果について示す。

なお、参考として、建屋物性のばらつきによる建屋応答への影響に関する考察を参考資料に示す。

2. 地盤物性のばらつきの設定

地盤物性のばらつきの影響評価においては、「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」に示すとおり設定する。基本ケース及び地盤のばらつきを考慮したケースの地盤モデルを第 2. -1 表～第 2. -3 表に、ひずみ依存特性を第 2. -1 図～第 2. -3 図に示す。

第 2. -1 表 燃料加工建屋の地盤モデル (基本ケース)

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-1 第 4. -1 表の再掲)

標高 T. M. S. L. (m)	岩種	単位体積重量 $\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	S波速度 $V_s$ (m/s)	P波速度 $V_p$ (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$
▽地表面						
55.0	造成盛土	15.7	160	580	*1	
46.0	六ヶ所層	16.5	320	980	*2	
35.0						
▽基礎スラブ底面						
31.53	軽石凝灰岩	15.3	660	1860	*3	
9.0		15.6	810	1920		
-28.0	軽石質砂岩	18.2	1090	2260	*4	
-49.0	細粒砂岩				*5	
▽解放基礎表面						
-70.0	細粒砂岩	18.2	1090	2260	—	

\*1：第 2. -4 図に示す造成盛土のひずみ依存特性を設定する。

\*2：第 2. -5 図に示す六ヶ所層のひずみ依存特性を設定する。

\*3：第 2. -1 図に示す軽石凝灰岩のひずみ依存特性を設定する。

\*4：第 2. -2 図に示す軽石質砂岩のひずみ依存特性を設定する。

\*5：第 2. -3 図に示す細粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。

第 2.-2 表 燃料加工建屋の地盤モデル (+1σ)

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-1 第 4.-2 表の再掲)

標高 T. M. S. L. (m)	岩種	単位体積重量 $\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	S波速度 $V_s$ (m/s)	P波速度 $V_p$ (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$
▽地表面						
55.0	造成盛土	15.7	180	770		*1
46.0	六ヶ所層	16.5	440	1400		*2
35.0						
▽基礎スラブ底面						
31.53	軽石凝灰岩	15.3	710	1930		*3
9.0		15.6	900	2010		
-28.0	軽石質砂岩	18.2	1180	2340		*4
-49.0	細粒砂岩					*5
▽解放基礎表面						
-70.0	細粒砂岩	18.2	1180	2340		—

\*1：第 2.-4 図に示す造成盛土のひずみ依存特性を設定する。

\*2：第 2.-5 図に示す六ヶ所層のひずみ依存特性を設定する。

\*3：第 2.-1 図に示す軽石凝灰岩のひずみ依存特性を設定する。

\*4：第 2.-2 図に示す軽石質砂岩のひずみ依存特性を設定する。

\*5：第 2.-3 図に示す細粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。

第 2.-3 表 燃料加工建屋の地盤モデル (-1σ)

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-1 第 4.-3 表の再掲)

標高 T. M. S. L. (m)	岩種	単位体積重量 $\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	S波速度 $V_s$ (m/s)	P波速度 $V_p$ (m/s)	剛性低下率 $G/G_0-\gamma$	減衰定数 $h-\gamma$
▽地表面						
55.0	造成盛土	15.7	140	390		*1
46.0	六ヶ所層	16.5	200	560		*2
35.0						
▽基礎スラブ底面						
31.53	軽石凝灰岩	15.3	610	1790		*3
9.0		15.6	720	1830		
-28.0	軽石質砂岩	18.2	1000	2180		*4
-49.0	細粒砂岩					*5
▽解放基礎表面						
-70.0	細粒砂岩	18.2	1000	2180		—

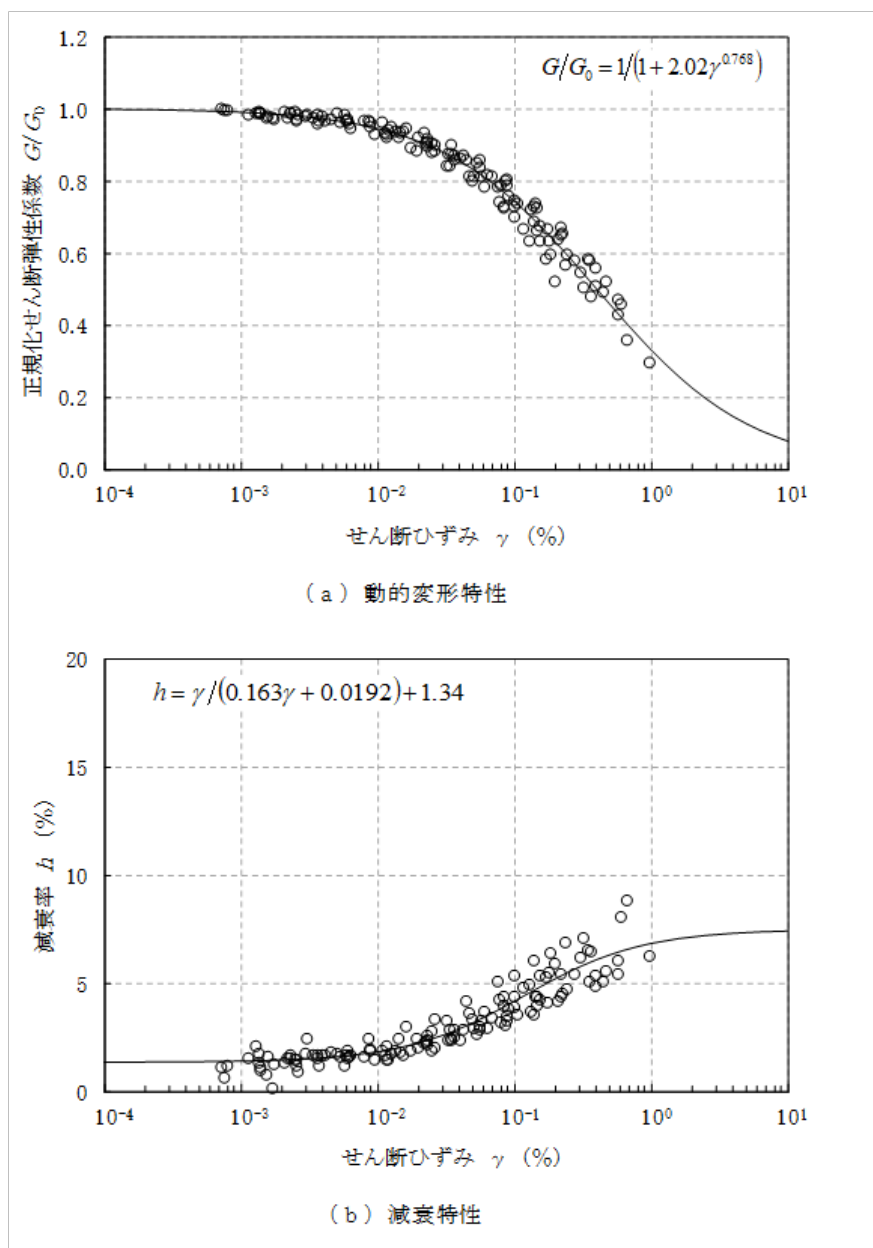
\*1：第 2.-4 図に示す造成盛土のひずみ依存特性を設定する。

\*2：第 2.-5 図に示す六ヶ所層のひずみ依存特性を設定する。

\*3：第 2.-1 図に示す軽石凝灰岩のひずみ依存特性を設定する。

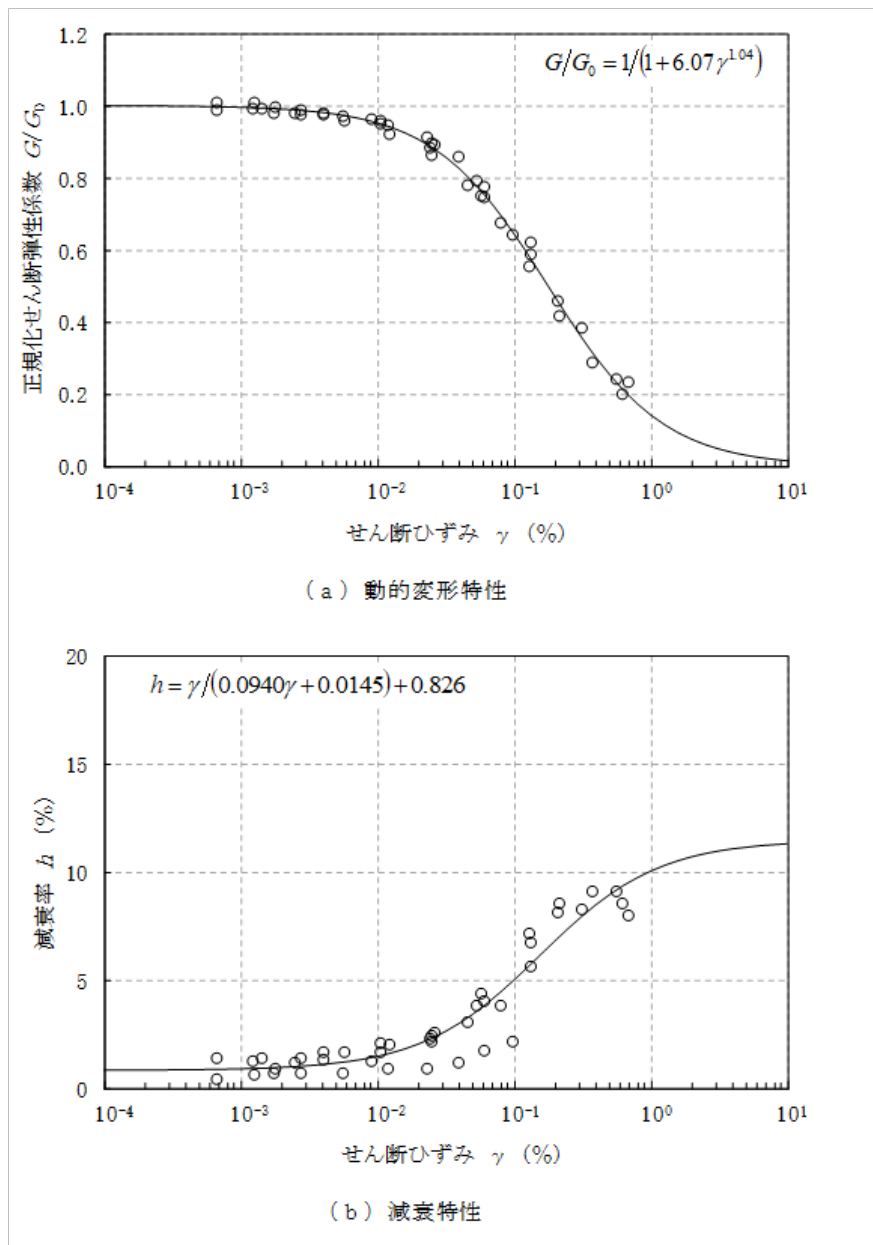
\*4：第 2.-2 図に示す軽石質砂岩のひずみ依存特性を設定する。

\*5：第 2.-3 図に示す細粒砂岩のひずみ依存特性を設定する。



第 2. -1 図 軽石凝灰岩のひずみ依存特性

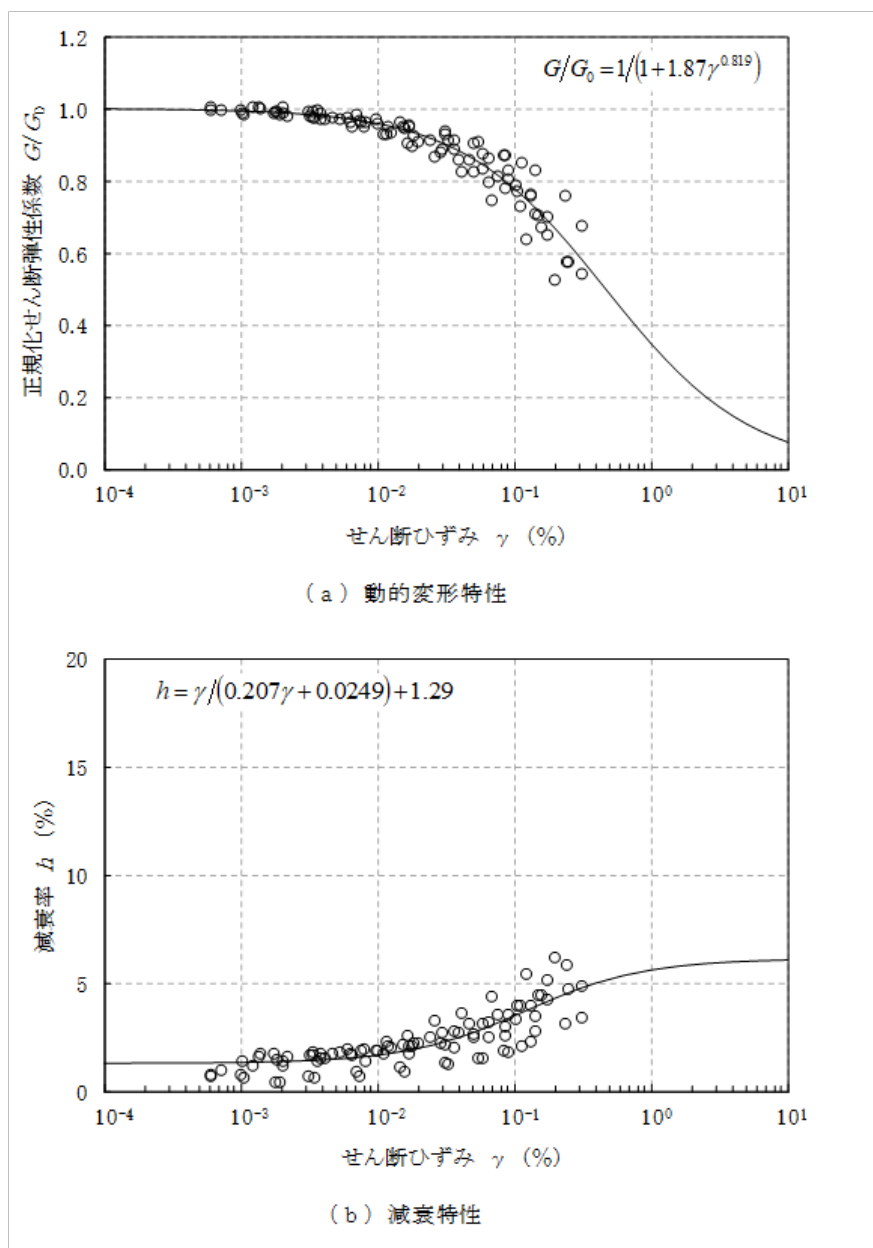
(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-1 第 2. 1. 2-1 図の再掲)



第 2.-2 図 軽石質砂岩のひずみ依存特性

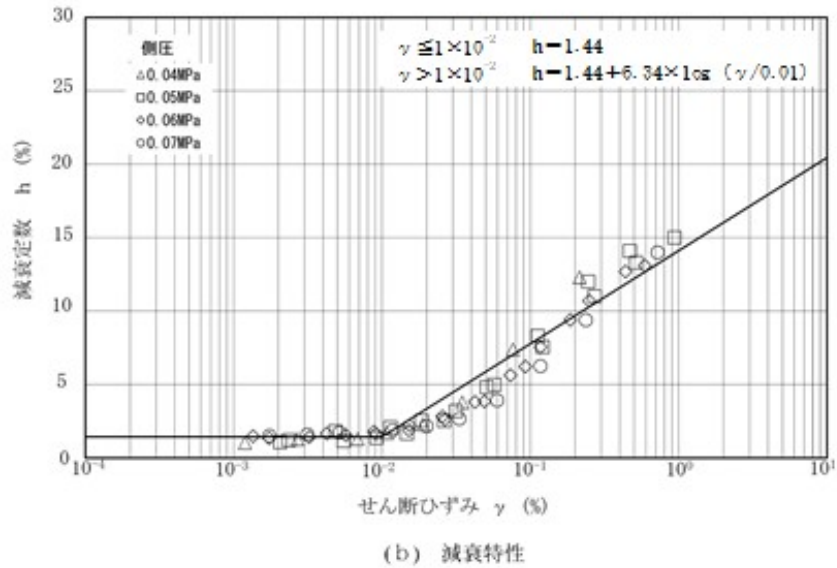
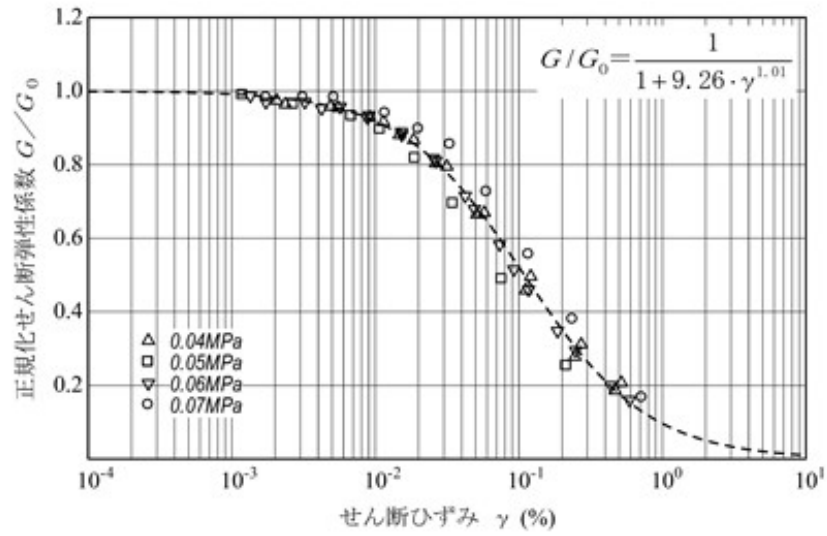
(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-1 第 2.1.2-2 図の再掲)





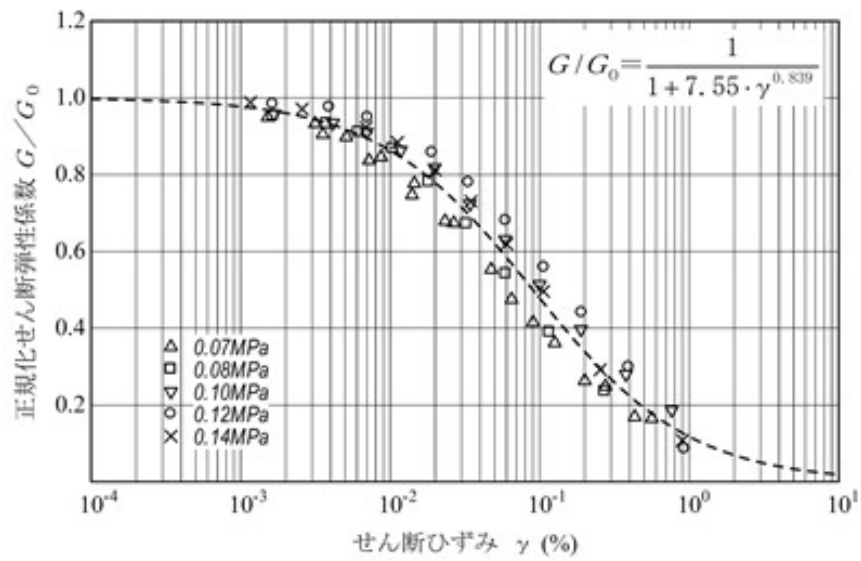
第 2.-3 図 細粒砂岩のひずみ依存特性

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-1 第 2.1.2-3 図の再掲)

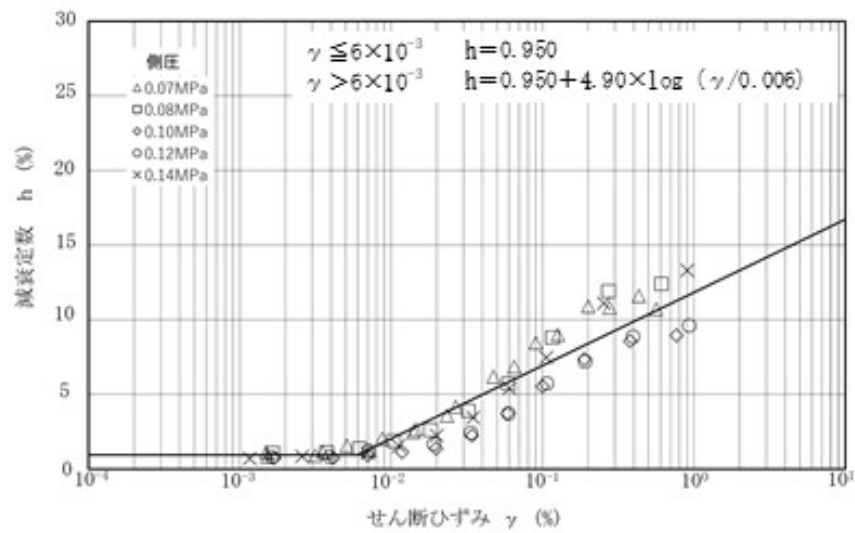


第 2. -4 図 造成盛土のひずみ依存特性

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-1 第 2.2.2-1 図の再掲)



(a) 動的変形特性



(b) 減衰特性

第 2.-5 図 六ヶ所層のひずみ依存特性

(「耐震建物 08 地盤の支持性能に係る基本方針に関する地震応答解析における地盤モデル及び物性値の設定について」の別紙 1-1 第 2.2.2-2 図の再掲)

### 3. 地震動の選定

本文「第 3. -1 図 材料物性のばらつきを考慮した検討に用いる地震動の選定方法のフロー」に基づき、材料物性のばらつきを考慮した検討に用いる地震動を選定する。

基本ケースによる基準地震動  $S_s$  に対する応答を第 3. -1 表～第 3. -11 表に、基本ケースによる弾性設計用地震動  $S_d$  に対する応答を第 3. -12 表～第 3. -22 表に示す。

第 3. -23 表に示す地震動をばらつき検討に用いる地震動とする。

第 3.-1 表 最大応答加速度一覧表（基準地震動 Ss, NS 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )												
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)
77.50	1	1140	775	981	830	893	780	1385	661	751	774	927	856	949
70.20	2	904	606	784	744	737	668	1117	521	597	607	729	662	835
62.80	3	822	530	677	673	751	589	1020	456	515	533	609	575	709
56.80	4	766	463	587	614	738	523	982	422	463	476	538	519	660
50.30	5	726	405	507	551	690	516	973	408	449	436	509	502	655
43.20	6	664	398	435	477	611	513	866	389	454	406	477	462	641
35.00	7	633	409	408	409	564	495	841	344	408	370	431	394	598
34.23	8	632	411	407	410	563	494	830	343	407	372	431	396	599
31.53	9	631	419	405	414	561	492	822	339	406	381	432	406	602

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-2 表 最大応答変位一覧表（基準地震動 Ss, NS 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)												
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)
77.50	1	21.8	12.8	17.2	15.5	16.7	13.5	31.9	10.9	9.44	11.2	14.4	12.6	17.1
70.20	2	19.2	11.2	15.1	13.5	14.8	11.9	28.1	9.60	8.21	9.60	12.3	10.6	14.8
62.80	3	16.6	9.77	13.0	11.5	13.0	10.4	24.3	8.27	7.15	8.05	10.4	8.90	12.5
56.80	4	14.3	8.49	11.1	9.85	11.3	9.16	20.9	7.11	6.47	6.69	8.82	7.41	10.7
50.30	5	11.9	7.14	9.13	8.02	9.57	7.86	17.3	5.88	5.68	5.61	7.49	5.85	8.92
43.20	6	9.16	5.71	6.98	6.80	7.59	6.50	13.0	4.60	4.73	4.63	6.02	4.35	6.88
35.00	7	6.40	4.35	4.72	5.47	5.26	5.10	8.08	3.40	3.53	3.43	4.28	3.31	4.62
34.23	8	6.30	4.29	4.61	5.41	5.15	5.03	7.87	3.34	3.47	3.37	4.19	3.26	4.51
31.53	9	6.04	4.11	4.28	5.25	4.83	4.84	7.29	3.15	3.33	3.22	3.96	3.14	4.24

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-3 表 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 Ss, NS 方向）

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5$ kN)												
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)
77.50	1	2.02	1.37	1.75	1.47	1.57	1.38	2.45	1.18	1.34	1.37	1.65	1.52	1.68
70.20	2	4.95	3.38	4.39	3.96	3.98	3.61	5.89	2.91	3.07	3.25	4.06	3.74	4.47
62.80	3	8.08	5.25	6.86	6.60	6.57	5.92	9.54	4.56	4.97	5.18	6.40	5.82	7.24
56.80	4	11.31	7.00	9.25	9.29	9.60	8.21	13.44	6.25	6.77	7.03	8.59	7.97	9.81
50.30	5	14.62	8.81	11.79	12.04	13.05	10.48	17.67	8.14	8.46	8.84	10.66	10.14	12.30
43.20	6	18.91	10.50	14.01	14.13	17.39	12.85	22.36	10.40	10.15	10.46	12.13	11.75	16.08
35.00	7	20.57	11.05	14.97	15.27	18.86	14.43	23.93	11.04	11.03	11.19	13.52	12.13	17.70
34.23	8	21.52	11.74	15.49	16.07	19.85	15.43	24.98	11.37	11.53	11.62	14.39	12.40	18.72
31.53														

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-4 表 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 Ss, NS 方向）

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)												
		Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B2 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-B4 (NS)	Ss-B5 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)
77.50	1	17.79	12.34	15.61	12.61	12.71	12.17	21.34	10.71	12.18	13.30	14.29	13.94	14.40
70.20	2	84.78	61.00	74.91	64.35	63.80	60.68	90.68	55.44	53.41	71.34	65.72	69.93	75.61
62.80	3	163.56	117.79	147.05	125.78	119.08	119.99	170.17	107.94	98.98	138.13	126.80	134.63	146.84
56.80	4	260.03	186.95	235.83	200.52	180.38	196.21	275.68	171.26	151.61	215.30	204.11	212.40	230.57
50.30	5	370.83	268.53	339.82	296.62	262.96	291.07	414.19	245.21	213.39	300.89	299.49	303.77	325.10
43.20	6	507.79	356.50	461.83	411.26	385.47	391.25	607.35	313.97	270.26	373.19	401.02	395.64	470.30
35.00	7	528.71	375.67	483.45	433.38	406.94	413.12	637.64	331.38	286.48	396.86	419.53	416.69	489.49
34.23	8	579.12	405.55	525.15	481.65	454.92	453.78	711.01	355.50	310.61	420.84	454.77	449.51	532.67
31.53														

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-5 表 最大応答加速度一覧表（基準地震動 Ss, EW 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )												
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)
77.50	1	993	893	814	783	667	904	1193	590	685	677	844	763	879
70.20	2	915	792	704	702	604	834	1103	497	584	595	735	676	775
62.80	3	843	671	636	591	509	757	1021	459	511	526	607	577	686
56.80	4	767	565	599	521	469	692	1019	432	466	467	547	510	651
50.30	5	700	491	559	473	444	616	974	392	409	430	516	476	650
43.20	6	651	440	513	431	413	530	848	359	437	402	461	435	634
35.00	7	632	405	452	391	376	458	816	345	432	366	442	382	608
34.23	8	632	407	451	389	376	457	809	344	432	369	442	384	609
31.53	9	632	414	450	384	376	454	805	344	430	377	444	394	612

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-6 表 最大応答変位一覧表（基準地震動 Ss, EW 方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)												
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)
77.50	1	19.2	15.0	14.5	14.1	10.5	16.1	28.6	9.80	8.59	10.4	13.1	11.4	15.6
70.20	2	17.4	13.3	13.0	12.7	9.59	14.4	25.7	8.87	7.75	9.28	11.7	10.2	13.9
62.80	3	15.2	11.2	11.3	11.0	8.49	12.4	22.4	7.74	6.76	7.87	9.91	8.62	11.8
56.80	4	13.3	9.36	9.75	9.47	7.49	10.6	19.5	6.72	6.15	6.62	8.63	7.24	9.97
50.30	5	11.1	7.48	8.01	7.80	6.37	8.58	16.2	5.59	5.39	5.43	7.34	5.71	8.33
43.20	6	8.73	6.08	6.33	6.07	5.17	6.51	12.3	4.45	4.52	4.52	5.92	4.20	6.56
35.00	7	6.26	4.58	4.53	4.29	4.08	5.23	8.41	3.38	3.46	3.44	4.29	3.27	4.58
34.23	8	6.18	4.50	4.44	4.29	4.03	5.18	8.22	3.32	3.41	3.39	4.20	3.23	4.48
31.53	9	5.92	4.27	4.17	4.32	3.89	5.01	7.63	3.15	3.29	3.24	3.97	3.11	4.19

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-7 表 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 Ss, EW 方向）

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力(×10 <sup>5</sup> kN)												
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)
77.50	1	1.76	1.59	1.44	1.39	1.19	1.61	2.11	1.05	1.22	1.20	1.50	1.36	1.56
70.20	2	4.73	4.25	3.80	3.75	3.22	4.40	5.82	2.72	3.16	3.21	3.97	3.59	4.15
62.80	3	8.05	6.80	6.16	6.07	5.15	7.36	9.70	4.30	4.99	5.08	6.35	5.85	6.81
56.80	4	11.23	9.21	8.67	8.21	6.97	10.34	13.68	6.18	6.73	6.98	8.56	8.04	9.41
50.30	5	14.49	11.40	11.41	10.07	9.01	13.42	18.26	8.11	8.50	8.79	10.59	10.14	12.05
43.20	6	18.68	13.89	15.66	12.76	10.88	15.43	22.93	10.32	9.73	10.38	12.20	11.72	15.89
35.00	7	20.34	14.87	17.02	13.95	11.87	16.35	24.79	10.86	10.64	11.08	13.51	12.21	17.54
34.23	8	21.30	15.46	17.86	14.72	12.47	16.87	26.04	11.17	11.17	11.54	14.34	12.52	18.58
31.53														

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-8 表 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 Ss, EW 方向）

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント(×10 <sup>5</sup> kNm)												
		Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B2 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-B4 (EW)	Ss-B5 (EW)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-C2 (NS)	Ss-C2 (EW)	Ss-C3 (NS)	Ss-C3 (EW)	Ss-C4 (NS)	Ss-C4 (EW)
77.50	1	32.82	31.63	24.66	23.56	24.36	25.65	35.16	20.71	21.12	26.61	21.36	24.90	27.36
70.20	2	96.95	97.84	79.14	73.77	73.96	81.87	101.82	63.19	61.28	81.34	69.26	77.51	85.19
62.80	3	169.02	175.52	145.54	133.11	131.97	149.89	174.31	113.24	103.66	145.21	127.77	139.34	152.89
56.80	4	254.17	268.47	230.03	205.46	201.41	236.54	278.03	174.33	156.27	220.98	203.60	214.72	233.59
50.30	5	361.47	373.74	333.42	293.38	281.92	342.92	418.26	245.70	215.12	306.31	298.74	304.28	344.67
43.20	6	512.56	475.67	443.16	400.04	356.19	470.79	622.37	311.97	268.64	378.76	400.59	395.08	480.50
35.00	7	538.63	506.07	469.26	421.39	377.75	495.17	652.12	329.05	285.69	402.70	419.73	416.61	509.30
34.23	8	592.99	548.52	507.61	463.35	408.41	543.52	727.62	352.85	310.97	426.99	455.32	449.78	560.90
31.53														

注記：網掛けは最大値を示す。



第 3.-9 表 最大応答加速度一覧表（基準地震動 Ss, 鉛直方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )								
		Ss-A (V)	Ss-B1 (UD)	Ss-B2 (UD)	Ss-B3 (UD)	Ss-B4 (UD)	Ss-B5 (UD)	Ss-C1 (UD)	Ss-C2 (UD)	Ss-C3 (UD)
77.50	1	609	468	567	513	500	459	477	451	492
70.20	2	571	448	528	507	451	449	440	403	454
62.80	3	526	424	478	498	400	439	386	350	409
56.80	4	473	397	420	488	369	426	360	311	365
50.30	5	430	380	367	476	349	413	327	295	322
43.20	6	425	370	333	460	325	403	289	302	302
35.00	7	417	359	311	438	310	391	283	319	282
34.23	8	416	358	311	437	311	390	283	320	281
31.53	9	414	357	310	435	312	389	282	320	279

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-10 表 最大応答変位一覧表（基準地震動 Ss, 鉛直方向）

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)								
		Ss-A (V)	Ss-B1 (UD)	Ss-B2 (UD)	Ss-B3 (UD)	Ss-B4 (UD)	Ss-B5 (UD)	Ss-C1 (UD)	Ss-C2 (UD)	Ss-C3 (UD)
77.50	1	1.80	1.48	1.33	1.46	1.51	1.31	1.16	1.08	1.04
70.20	2	1.73	1.46	1.26	1.42	1.46	1.26	1.11	1.04	1.00
62.80	3	1.63	1.42	1.18	1.35	1.38	1.19	1.03	0.974	0.929
56.80	4	1.51	1.37	1.09	1.28	1.29	1.12	0.977	0.902	0.872
50.30	5	1.37	1.31	0.980	1.19	1.19	1.05	0.923	0.815	0.804
43.20	6	1.23	1.23	0.899	1.07	1.06	0.985	0.854	0.711	0.719
35.00	7	1.10	1.13	0.802	0.928	0.986	0.902	0.760	0.638	0.620
34.23	8	1.09	1.13	0.797	0.923	0.985	0.898	0.756	0.636	0.617
31.53	9	1.08	1.12	0.789	0.911	0.983	0.890	0.747	0.631	0.610

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-11 表 最大応答軸力一覧表（基準地震動 Ss, 鉛直方向）

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 <sup>4</sup> kN)								
		Ss-A (V)	Ss-B1 (UD)	Ss-B2 (UD)	Ss-B3 (UD)	Ss-B4 (UD)	Ss-B5 (UD)	Ss-C1 (UD)	Ss-C2 (UD)	Ss-C3 (UD)
77.50	1	10.82	8.35	10.12	9.21	8.82	8.23	8.46	7.97	8.81
70.20	2	30.04	23.48	27.95	26.27	23.87	23.43	23.21	21.46	24.17
62.80	3	50.75	40.21	46.83	45.96	39.48	40.80	38.34	35.23	40.33
56.80	4	71.51	57.66	65.32	67.42	54.70	59.55	53.00	48.09	56.40
50.30	5	92.53	76.19	83.44	91.32	69.54	80.30	68.76	59.89	72.54
43.20	6	112.80	94.57	99.96	116.00	87.03	101.92	84.16	74.53	87.87
35.00	7	125.90	106.58	109.54	132.81	98.46	116.86	93.44	84.53	97.55
34.23	8	135.25	115.79	116.34	144.80	106.61	127.54	100.03	91.66	104.45

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-12 表 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, NS 方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )												
		Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B2 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-B4 (NS)	Sd-B5 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)
77.50	1	629	403	462	415	446	407	680	355	395	478	395	448	542
70.20	2	517	318	395	370	354	352	632	264	312	358	295	352	477
62.80	3	463	276	333	333	359	298	566	211	287	278	288	303	397
56.80	4	414	241	278	303	352	260	519	204	268	260	272	268	346
50.30	5	369	201	222	269	326	243	477	193	249	224	266	249	283
43.20	6	351	171	199	232	288	251	420	177	216	189	246	229	267
35.00	7	334	162	174	209	267	239	369	153	211	160	209	178	252
34.23	8	335	163	173	209	266	239	367	152	211	159	208	179	252
31.53	9	335	166	170	208	265	239	359	150	210	160	206	183	255

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-13 表 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, NS 方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)												
		Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B2 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-B4 (NS)	Sd-B5 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)
77.50	1	10.7	5.84	7.46	7.89	7.61	6.84	14.0	5.28	4.86	5.95	6.76	6.49	8.92
70.20	2	9.35	4.98	6.36	6.89	6.68	5.97	12.3	4.57	4.16	5.09	5.89	5.46	7.63
62.80	3	7.96	4.20	5.37	5.91	5.81	5.17	10.7	4.04	3.57	4.29	5.08	4.50	6.38
56.80	4	6.75	3.53	4.61	5.05	5.03	4.47	9.19	3.58	3.20	3.65	4.41	3.71	5.29
50.30	5	5.61	2.89	3.80	4.13	4.18	3.78	7.63	3.07	2.79	3.13	3.73	3.11	4.13
43.20	6	4.48	2.26	3.03	3.14	3.21	3.04	5.94	2.51	2.28	2.55	3.03	2.57	3.36
35.00	7	3.15	1.83	2.17	2.41	2.45	2.34	4.11	1.82	1.55	1.83	2.27	1.97	2.41
34.23	8	3.08	1.81	2.13	2.38	2.42	2.32	4.02	1.79	1.51	1.79	2.23	1.94	2.39
31.53	9	2.90	1.76	2.01	2.28	2.32	2.28	3.76	1.72	1.43	1.70	2.11	1.86	2.35

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-14 表 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, NS 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )												
		Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B2 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-B4 (NS)	Sd-B5 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)
77.50	1	1.12	0.72	0.82	0.74	0.79	0.72	1.20	0.63	0.70	0.85	0.70	0.80	0.96
70.20	2	2.72	1.74	2.15	1.98	1.94	1.90	3.29	1.45	1.56	2.01	1.65	1.94	2.56
62.80	3	4.52	2.71	3.46	3.29	3.17	3.07	5.52	2.25	2.64	3.01	2.53	3.08	4.05
56.80	4	6.27	3.65	4.66	4.61	4.59	4.16	7.71	2.93	3.66	3.78	3.69	4.24	5.51
50.30	5	8.00	4.57	5.73	5.96	6.22	5.18	10.03	3.61	4.76	4.71	4.94	5.35	6.90
43.20	6	9.29	5.61	6.31	7.44	8.92	6.53	12.41	5.22	5.57	5.50	6.86	6.21	7.79
35.00	7	10.10	5.86	6.78	7.94	9.73	7.38	13.17	5.63	6.13	5.85	7.18	6.50	8.62
34.23	8	10.63	6.09	7.07	8.24	10.34	7.95	13.59	5.88	6.49	6.07	7.35	6.69	9.16
31.53														

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-15 表 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, NS 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5 \text{kNm}$ )												
		Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B2 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-B4 (NS)	Sd-B5 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)
77.50	1	9.79	6.46	7.08	6.33	6.33	6.25	9.74	5.57	6.55	7.97	6.09	7.14	8.11
70.20	2	45.34	31.91	35.52	32.56	31.84	31.17	43.71	27.24	31.31	40.63	28.57	36.00	40.46
62.80	3	87.18	61.58	69.38	63.45	59.07	61.57	87.77	52.95	59.51	79.14	54.39	69.21	80.35
56.80	4	139.93	97.56	111.28	100.77	90.32	101.16	150.22	84.15	91.26	124.75	85.35	108.52	132.38
50.30	5	208.07	139.62	165.46	146.37	132.89	151.17	234.92	121.60	125.94	176.63	121.55	154.00	197.87
43.20	6	297.46	183.17	221.21	209.99	197.08	205.15	349.96	158.59	152.78	220.66	169.11	200.75	273.16
35.00	7	313.31	192.84	232.06	220.52	208.17	216.09	367.82	167.05	160.14	233.19	177.86	211.63	287.39
34.23	8	344.92	207.15	249.88	245.91	232.88	234.62	410.02	179.18	168.47	247.80	194.46	228.11	314.42
31.53														

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-16 表 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )												
		Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B2 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-B4 (EW)	Sd-B5 (EW)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)
77.50	1	552	479	409	436	352	467	634	290	349	413	348	404	494
70.20	2	487	424	356	394	317	434	603	252	306	343	300	360	431
62.80	3	452	362	329	337	274	394	562	217	278	276	277	304	372
56.80	4	411	308	311	289	254	358	517	188	264	251	273	262	331
50.30	5	363	267	292	233	227	319	461	186	234	223	259	231	286
43.20	6	342	243	268	214	201	275	417	173	223	192	235	212	267
35.00	7	333	218	237	197	183	235	379	151	212	160	211	175	257
34.23	8	334	218	236	196	182	234	377	150	211	159	210	175	257
31.53	9	334	218	235	195	181	233	369	150	209	158	208	179	259

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-17 表 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)												
		Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B2 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-B4 (EW)	Sd-B5 (EW)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)
77.50	1	9.78	7.46	6.72	6.26	5.81	8.48	12.9	4.77	4.47	5.42	6.27	5.88	8.10
70.20	2	8.77	6.55	6.02	5.54	5.18	7.63	11.7	4.29	3.95	4.84	5.67	5.19	7.17
62.80	3	7.55	5.56	5.17	4.75	4.44	6.60	10.2	3.83	3.33	4.13	4.95	4.35	6.05
56.80	4	6.46	4.78	4.42	4.12	3.80	5.69	8.89	3.41	3.01	3.50	4.33	3.63	5.06
50.30	5	5.42	3.94	3.74	3.41	3.12	4.67	7.38	2.93	2.62	3.00	3.67	3.06	4.00
43.20	6	4.36	3.13	3.06	2.71	2.47	3.60	5.78	2.41	2.17	2.46	3.00	2.55	3.29
35.00	7	3.14	2.44	2.36	2.06	1.82	2.57	4.11	1.80	1.53	1.81	2.29	1.99	2.37
34.23	8	3.08	2.41	2.32	2.03	1.79	2.54	4.02	1.78	1.50	1.78	2.25	1.96	2.36
31.53	9	2.90	2.30	2.21	1.97	1.70	2.47	3.76	1.71	1.42	1.69	2.14	1.89	2.32

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-18 表 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )												
		Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B2 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-B4 (EW)	Sd-B5 (EW)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)
77.50	1	0.98	0.85	0.73	0.77	0.63	0.83	1.13	0.52	0.62	0.73	0.62	0.71	0.88
70.20	2	2.60	2.28	1.92	2.10	1.70	2.28	3.15	1.36	1.65	1.88	1.62	1.92	2.32
62.80	3	4.31	3.64	3.07	3.43	2.74	3.83	5.34	2.16	2.63	2.91	2.55	3.11	3.78
56.80	4	6.04	4.96	4.41	4.67	3.72	5.40	7.60	2.82	3.66	3.75	3.58	4.26	5.22
50.30	5	7.84	6.14	5.86	5.80	4.85	6.97	9.87	3.44	4.72	4.66	4.86	5.34	6.64
43.20	6	9.25	7.23	7.87	6.20	5.55	8.14	12.25	5.01	5.34	5.44	6.80	6.22	7.79
35.00	7	10.06	7.54	8.56	6.77	6.11	8.60	13.05	5.45	5.90	5.78	7.12	6.54	8.66
34.23	8	10.59	7.76	9.01	7.14	6.47	8.86	13.50	5.72	6.32	6.00	7.29	6.75	9.21
31.53														

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-19 表 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, EW 方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5 \text{kNm}$ )												
		Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B2 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-B4 (EW)	Sd-B5 (EW)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-C2 (NS)	Sd-C2 (EW)	Sd-C3 (NS)	Sd-C3 (EW)	Sd-C4 (NS)	Sd-C4 (EW)
77.50	1	16.10	16.09	12.58	12.24	12.92	12.99	13.88	9.82	11.45	15.16	9.49	12.89	13.67
70.20	2	47.98	49.75	39.17	38.62	39.09	41.52	47.01	30.78	34.83	47.05	30.27	39.76	44.18
62.80	3	87.55	89.27	72.17	70.01	69.60	75.77	89.82	55.31	61.14	84.39	54.89	71.11	81.76
56.80	4	139.47	136.89	114.29	108.77	105.71	119.44	151.40	84.68	92.63	129.13	85.66	108.83	131.27
50.30	5	204.93	192.47	165.94	161.49	147.07	173.78	234.61	120.95	128.41	180.62	122.74	153.13	194.99
43.20	6	292.33	257.83	219.80	219.69	185.40	244.37	347.63	157.02	156.82	225.77	169.13	199.73	270.60
35.00	7	308.34	272.40	232.35	230.92	195.62	256.32	364.85	165.71	164.63	237.82	177.08	210.32	285.71
34.23	8	339.89	297.36	250.57	250.76	211.47	284.05	406.44	178.02	173.40	252.37	192.76	227.12	313.56
31.53														

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-20 表 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, 鉛直方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )								
		Sd-A (V)	Sd-B1 (UD)	Sd-B2 (UD)	Sd-B3 (UD)	Sd-B4 (UD)	Sd-B5 (UD)	Sd-C1 (UD)	Sd-C2 (UD)	Sd-C3 (UD)
77.50	1	307	229	263	245	236	244	256	236	253
70.20	2	288	215	244	243	221	237	237	203	234
62.80	3	264	201	220	239	204	230	212	174	214
56.80	4	237	193	192	234	185	222	184	157	195
50.30	5	232	190	176	228	166	214	170	148	174
43.20	6	224	186	166	220	152	208	153	150	150
35.00	7	218	181	158	210	150	201	144	160	139
34.23	8	218	181	158	210	150	200	144	161	139
31.53	9	217	181	157	209	149	200	144	161	138

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-21 表 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, 鉛直方向)

T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)								
		Sd-A (V)	Sd-B1 (UD)	Sd-B2 (UD)	Sd-B3 (UD)	Sd-B4 (UD)	Sd-B5 (UD)	Sd-C1 (UD)	Sd-C2 (UD)	Sd-C3 (UD)
77.50	1	0.858	0.491	0.624	0.573	0.667	0.594	0.601	0.425	0.598
70.20	2	0.819	0.462	0.591	0.554	0.647	0.575	0.575	0.405	0.566
62.80	3	0.759	0.417	0.539	0.521	0.614	0.548	0.550	0.373	0.516
56.80	4	0.693	0.370	0.483	0.484	0.579	0.517	0.520	0.336	0.462
50.30	5	0.643	0.336	0.417	0.437	0.537	0.478	0.481	0.291	0.398
43.20	6	0.580	0.297	0.341	0.378	0.489	0.428	0.435	0.254	0.326
35.00	7	0.499	0.249	0.251	0.304	0.451	0.365	0.392	0.217	0.274
34.23	8	0.495	0.246	0.248	0.301	0.450	0.362	0.390	0.215	0.272
31.53	9	0.487	0.242	0.241	0.294	0.447	0.356	0.386	0.212	0.268

注記：網掛けは最大値を示す。

第 3.-22 表 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 Sd, 鉛直方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4 \text{kN}$ )								
		Sd-A (V)	Sd-B1 (UD)	Sd-B2 (UD)	Sd-B3 (UD)	Sd-B4 (UD)	Sd-B5 (UD)	Sd-C1 (UD)	Sd-C2 (UD)	Sd-C3 (UD)
77.50	1	5.48	4.08	4.71	4.38	4.22	4.37	4.57	4.12	4.56
70.20	2	15.20	11.32	12.96	12.60	11.67	12.40	12.55	10.83	12.51
62.80										
56.80	3	25.63	19.08	21.67	22.03	19.72	21.51	20.86	17.71	20.88
50.30	4	36.03	27.32	30.11	32.31	27.85	31.28	28.91	24.08	29.15
43.20	5	46.60	36.22	38.32	43.77	36.20	42.05	36.64	29.97	37.50
35.00	6	56.85	45.97	45.73	55.60	44.23	53.20	43.29	37.52	45.59
34.23	7	63.48	52.85	50.06	63.65	49.23	60.87	47.86	42.59	50.42
31.53	8	68.21	57.78	54.17	69.40	52.78	66.35	51.43	46.22	53.97

注記：網掛けは最大値を示す。



第 3.-23 表 材料物性のばらつき検討に用いる地震動

建屋	基準地震動 S <sub>s</sub>	弾性設計用地震動 S <sub>d</sub>
燃料加工建屋	S <sub>s</sub> -A	S <sub>d</sub> -A
	S <sub>s</sub> -B1	S <sub>d</sub> -B1
	S <sub>s</sub> -B3	S <sub>d</sub> -B3
	S <sub>s</sub> -C1	S <sub>d</sub> -C1

#### 4. 材料物性のばらつきを考慮した地震応答解析結果

##### 4.1 材料物性のばらつきの設定

材料物性のばらつきとして、地盤物性のばらつきを考慮したケースは、補足説明資料「地震応答解析における地盤モデル及び地盤物性値の設定について」に示す通り、ボーリング調査孔の PS 検層結果や湿潤密度試験結果に基づき算出した基本ケースの値に対する標準偏差 ( $\pm 1\sigma$ ) を設定している。

材料物性のばらつきを考慮する解析ケースを第 4.1-1 表に、地震応答解析に採用した解析モデルの一覧を第 4.1-2 表～第 4.1-5 表に示す。

第 4.1-1 表 材料物性のばらつきを考慮する解析ケース

ケース No.	解析ケース	基準地震動 Ss	弾性設計用地震動 Sd
0	基本ケース	全波	全波
1	材料物性のばらつきを考慮したケース ( $+1\sigma$ )	Ss-A, Ss-B1, Ss-B3, Ss-C1	Sd-A, Sd-B1, Sd-B3, Sd-C1
2	材料物性のばらつきを考慮したケース ( $-1\sigma$ )	Ss-A, Ss-B1, Ss-B3, Ss-C1	Sd-A, Sd-B1, Sd-B3, Sd-C1

第 4.1-2 表 地震応答解析に採用した解析モデル（基準地震動 Ss，ケース No.1）

(a) 水平方向

NS 方向				EW 方向			
Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-C1 (NSEW)
①	①	①	①	①	①	①	①

凡例

- ①：基礎浮上り非線形モデル
- ②：誘発上下動を考慮するモデル
- ③：地盤 3 次元 FEM モデル

(b) 鉛直方向

Ss-A (V)	Ss-B1 (UD)	Ss-B3 (UD)	Ss-C1 (UD)
①	①	①	①

凡例

- ①：鉛直ばねモデル
- ②：地盤 3 次元 FEM モデル

第 4.1-3 表 地震応答解析に採用した解析モデル（基準地震動 Ss，ケース No.2）

(a) 水平方向

NS 方向				EW 方向			
Ss-A (H)	Ss-B1 (NS)	Ss-B3 (NS)	Ss-C1 (NSEW)	Ss-A (H)	Ss-B1 (EW)	Ss-B3 (EW)	Ss-C1 (NSEW)
①	①	①	①	①	①	①	①

凡例

- ①：基礎浮上り非線形モデル
- ②：誘発上下動を考慮するモデル
- ③：地盤 3 次元 FEM モデル

(b) 鉛直方向

Ss-A (V)	Ss-B1 (UD)	Ss-B3 (UD)	Ss-C1 (UD)
①	①	①	①

凡例

- ①：鉛直ばねモデル
- ②：地盤 3 次元 FEM モデル

第 4.1-4 表 地震応答解析に採用した解析モデル（弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 1）

(a) 水平方向

NS 方向				EW 方向			
Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-C1 (NSEW)
①	①	①	①	①	①	①	①

凡例

- ①：基礎浮上り非線形モデル
- ②：誘発上下動を考慮するモデル
- ③：地盤 3 次元 FEM モデル

(b) 鉛直方向

Sd-A (V)	Sd-B1 (UD)	Sd-B3 (UD)	Sd-C1 (UD)
①	①	①	①

凡例

- ①：鉛直ばねモデル
- ②：地盤 3 次元 FEM モデル

第 4.1-5 表 地震応答解析に採用した解析モデル（弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 2）

(a) 水平方向

NS 方向				EW 方向			
Sd-A (H)	Sd-B1 (NS)	Sd-B3 (NS)	Sd-C1 (NSEW)	Sd-A (H)	Sd-B1 (EW)	Sd-B3 (EW)	Sd-C1 (NSEW)
①	①	①	①	①	①	①	①

凡例

- ①：基礎浮上り非線形モデル
- ②：誘発上下動を考慮するモデル
- ③：地盤 3 次元 FEM モデル

(b) 鉛直方向

Sd-A (V)	Sd-B1 (UD)	Sd-B3 (UD)	Sd-C1 (UD)
①	①	①	①

凡例

- ①：鉛直ばねモデル
- ②：地盤 3 次元 FEM モデル

## 4.2 地震応答解析結果

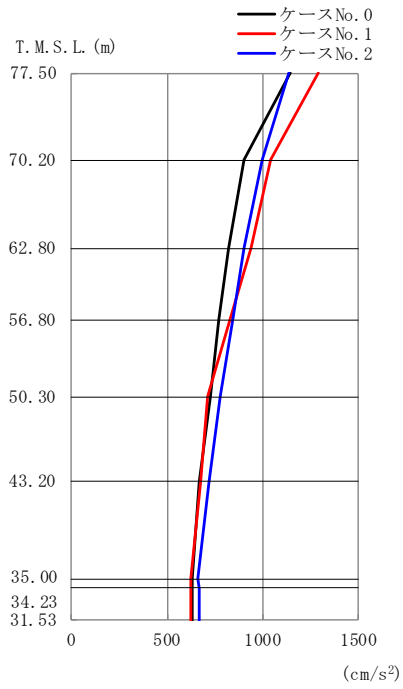
### (1) 基準地震動 $S_s$

基準地震動  $S_s$  による最大応答値を第 4.2-1 図～第 4.2-11 図に、 $\tau$ - $\gamma$  関係と最大応答値を第 4.2-12 図～第 4.2-19 図に示す。また、浮上り検討を第 4.2-9 表～第 4.2-11 表、最大接地圧を第 4.2-12 表～第 4.2-14 表に示す。

### (2) 弾性設計用地震動 $S_d$

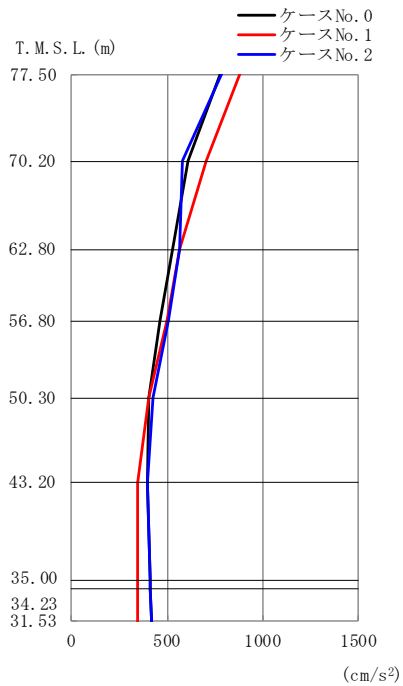
弾性設計用地震動  $S_d$  による最大応答値を第 4.2-20 図～第 4.2-30 図に、 $\tau$ - $\gamma$  関係と最大応答値を第 4.2-31 図～第 4.2-38 図に示す。また、浮上り検討を第 4.2-23 表～第 4.2-25 表、最大接地圧を第 4.2-26 表～第 4.2-28 表に示す。

なお、二重床の束壁部分（要素番号 7）は、他の層と比較してせん断断面積が非常に大きく、弾性範囲内に留まることから、線形部材としてスケルトンカーブは設定していない。そのため、地震応答計算書では、 $\tau$ - $\gamma$  関係及び最大応答せん断ひずみは示していないが、本資料では参考として二重床の束壁部分の最大応答せん断ひずみも示すこととする。



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1140	1286	1132
70.20	2	904	1039	993
62.80	3	822	940	901
56.80	4	766	830	846
50.30	5	726	711	773
43.20	6	664	677	715
35.00	7	633	624	656
34.23	8	632	623	670
31.53	9	631	621	670

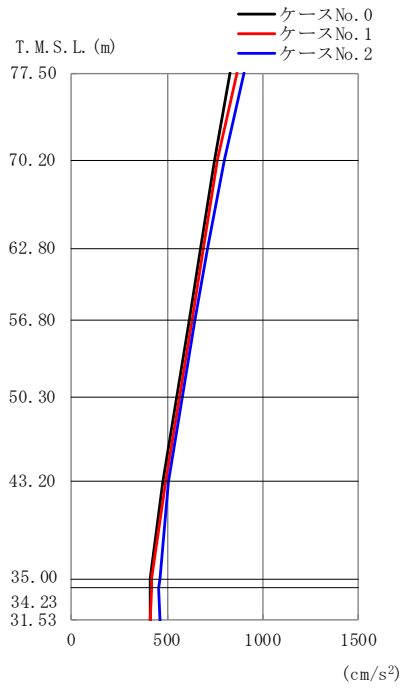
(a) Ss-A



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	775	878	781
70.20	2	606	706	579
62.80	3	530	561	565
56.80	4	463	498	506
50.30	5	405	406	423
43.20	6	398	349	397
35.00	7	409	343	410
34.23	8	411	343	411
31.53	9	419	347	419

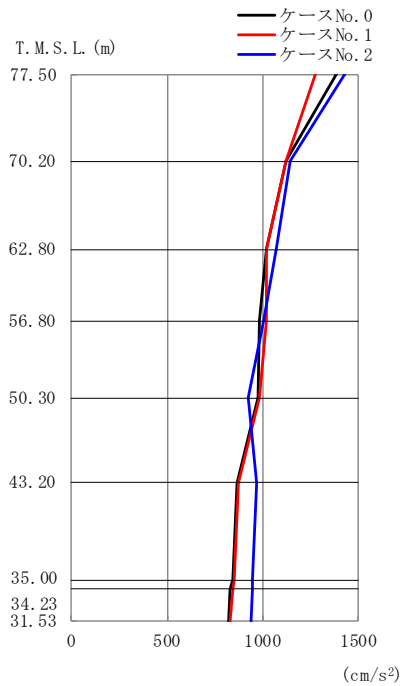
(b) Ss-B1

第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	830	864	904
70.20	2	744	759	800
62.80	3	673	690	707
56.80	4	614	629	643
50.30	5	551	565	576
43.20	6	477	493	503
35.00	7	409	421	459
34.23	8	410	417	458
31.53	9	414	408	465

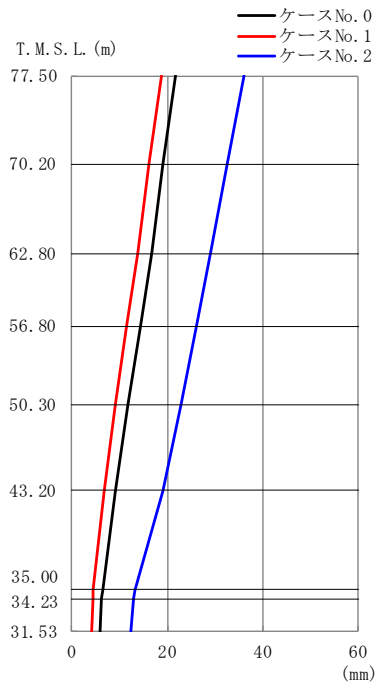
(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1385	1274	1426
70.20	2	1117	1122	1144
62.80	3	1020	1016	1068
56.80	4	982	1019	1007
50.30	5	973	981	925
43.20	6	866	874	965
35.00	7	841	851	948
34.23	8	830	845	947
31.53	9	822	831	939

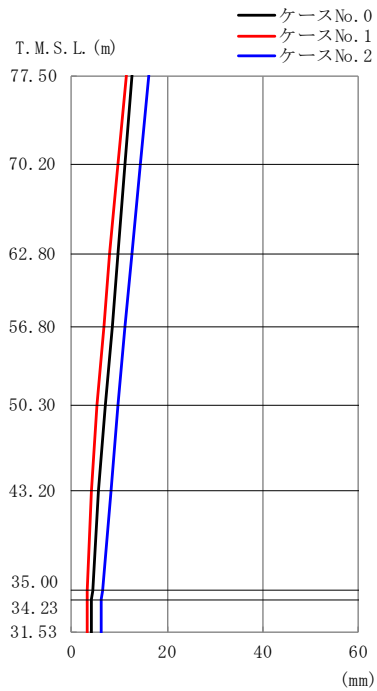
(d) Ss-C1

第 4.2-1 図 最大応答加速度 (NS 方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	21.8	18.8	36.0
70.20	2	19.2	16.3	32.7
62.80	3	16.6	13.7	29.2
56.80	4	14.3	11.4	26.1
50.30	5	11.9	9.16	22.8
43.20	6	9.16	6.72	19.2
35.00	7	6.40	4.45	13.1
34.23	8	6.30	4.38	12.9
31.53	9	6.04	4.17	12.3

(a) Ss-A

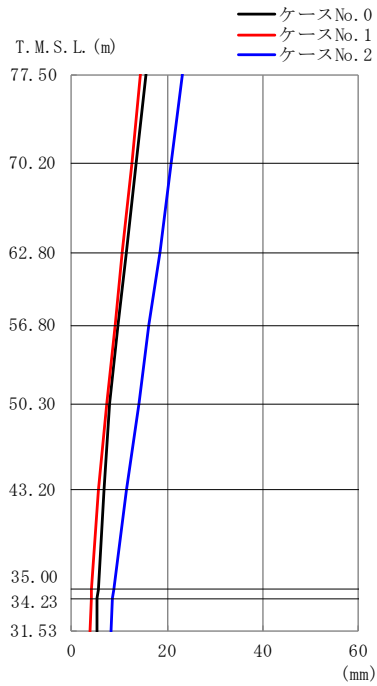


T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	12.8	11.4	16.2
70.20	2	11.2	9.71	14.3
62.80	3	9.77	8.09	12.7
56.80	4	8.49	6.68	11.2
50.30	5	7.14	5.25	9.73
43.20	6	5.71	4.01	8.17
35.00	7	4.35	3.26	6.41
34.23	8	4.29	3.23	6.31
31.53	9	4.11	3.15	6.06

(b) Ss-B1

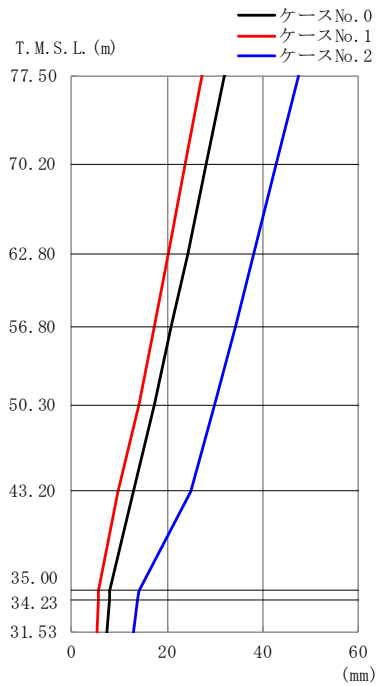
第4.2-2図 最大応答変位 (NS方向) (1/2)





T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	15.5	14.4	23.2
70.20	2	13.5	12.5	20.8
62.80	3	11.5	10.7	18.4
56.80	4	9.85	9.08	16.3
50.30	5	8.02	7.37	14.0
43.20	6	6.80	5.72	11.5
35.00	7	5.47	4.16	8.72
34.23	8	5.41	4.09	8.60
31.53	9	5.25	3.89	8.26

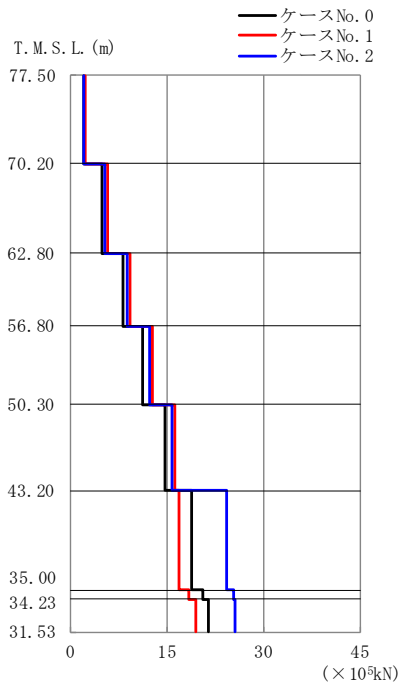
(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	31.9	27.2	47.6
70.20	2	28.1	23.8	42.8
62.80	3	24.3	20.3	38.1
56.80	4	20.9	17.3	34.2
50.30	5	17.3	14.0	30.0
43.20	6	13.0	9.86	25.1
35.00	7	8.08	5.75	14.1
34.23	8	7.87	5.58	13.8
31.53	9	7.29	5.35	13.0

(d) Ss-C1

第4.2-2図 最大応答変位 (NS方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 (× 10 <sup>5</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	2.02	2.29	2.01
70.20	2	4.95	5.66	5.34
62.80	3	8.08	9.27	8.86
56.80	4	11.31	12.78	12.32
50.30	5	14.62	16.15	15.69
43.20	6	18.91	16.98	24.22
35.00	7	20.57	18.38	25.34
34.23	8	21.52	19.40	25.68
31.53				

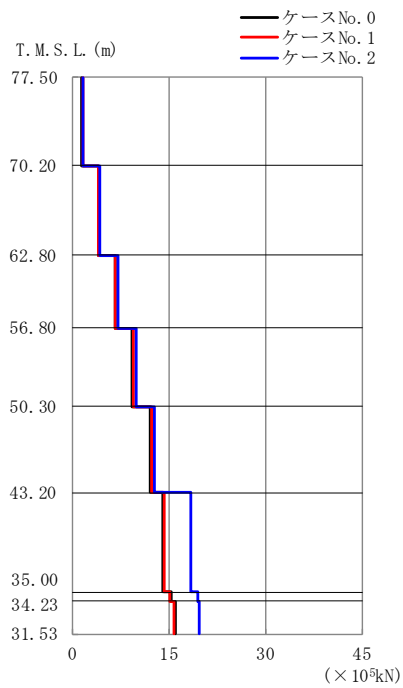
(a) Ss-A



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 (× 10 <sup>5</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.37	1.56	1.38
70.20	2	3.38	3.86	3.19
62.80	3	5.25	5.97	5.08
56.80	4	7.00	7.82	7.10
50.30	5	8.81	9.46	9.18
43.20	6	10.50	10.88	11.92
35.00	7	11.05	11.37	12.43
34.23	8	11.74	11.80	12.37
31.53				

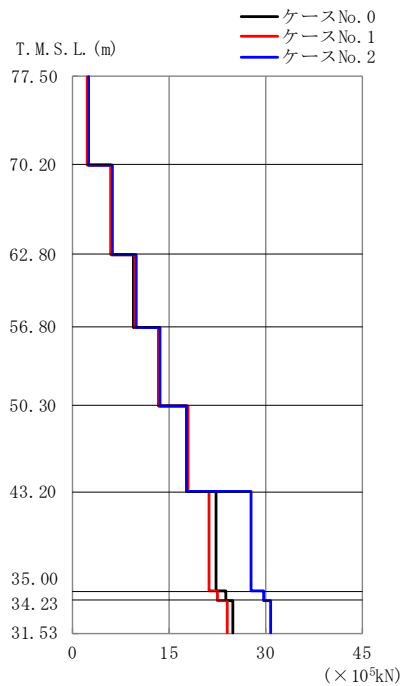
(b) Ss-B1

第4.2-3図 最大応答せん断力 (NS方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 (× 10 <sup>5</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.47	1.54	1.60
70.20	2	3.96	4.02	4.29
62.80	3	6.60	6.72	7.07
56.80	4	9.29	9.47	9.83
50.30	5	12.04	12.30	12.71
43.20	6	14.13	14.28	18.35
35.00	7	15.27	15.14	19.48
34.23	8	16.07	15.78	19.72
31.53				

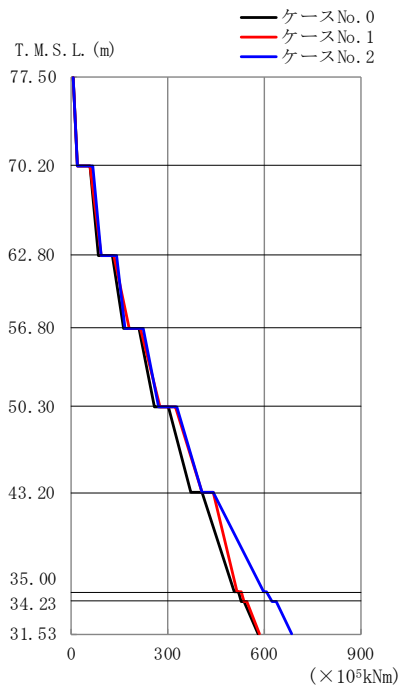
(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 (× 10 <sup>5</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	2.45	2.25	2.53
70.20	2	5.89	5.91	6.27
62.80	3	9.54	9.70	9.81
56.80	4	13.44	13.37	13.65
50.30	5	17.67	18.04	17.68
43.20	6	22.36	21.22	27.76
35.00	7	23.93	22.58	29.73
34.23	8	24.98	24.00	30.71
31.53				

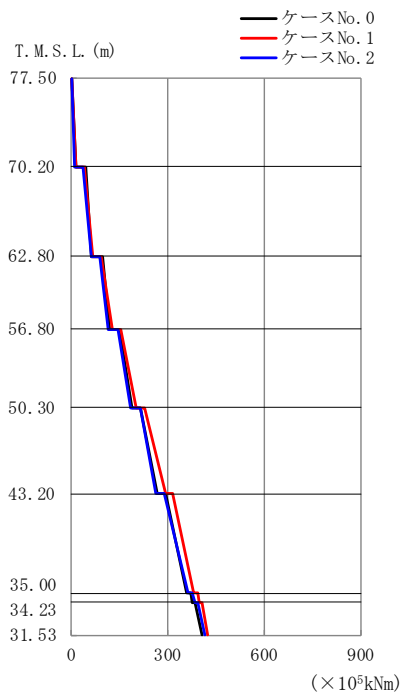
(d) Ss-C1

第4.2-3図 最大応答せん断力 (NS方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	17.79	19.22	17.27
70.20	2	84.78	92.11	91.94
62.80	3	163.56	177.59	167.34
56.80	4	260.03	275.97	272.45
50.30	5	370.83	404.82	403.83
43.20	6	507.79	516.52	597.23
35.00	7	528.71	536.33	623.08
34.23	8	579.12	585.04	684.41
31.53				

(a) Ss-A



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	12.34	13.67	12.22
70.20	2	61.00	65.62	60.30
62.80	3	117.79	126.79	116.35
56.80	4	186.95	202.49	184.32
50.30	5	268.53	292.88	264.01
43.20	6	356.50	379.08	361.92
35.00	7	375.67	397.15	382.85
34.23	8	405.55	424.44	415.04
31.53				

(b) Ss-B1

第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	12.61	13.39	12.95
70.20	2	64.35	67.21	60.73
62.80	3	125.78	130.81	118.21
56.80	4	200.52	208.25	195.44
50.30	5	296.62	306.42	294.71
43.20	6	411.26	414.39	462.51
35.00	7	433.38	435.02	483.44
34.23	8	481.65	480.87	541.74
31.53				

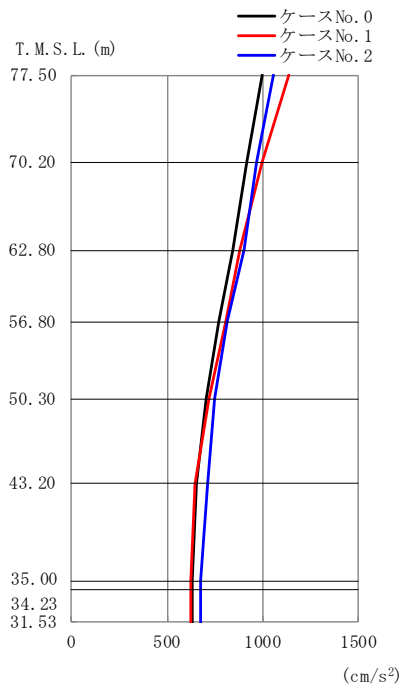
(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	21.34	23.79	24.62
70.20	2	90.68	95.20	89.59
62.80	3	170.17	170.21	161.41
56.80	4	275.68	267.76	266.88
50.30	5	414.19	413.65	408.09
43.20	6	607.35	596.94	653.15
35.00	7	637.64	624.74	689.63
34.23	8	711.01	694.92	782.38
31.53				

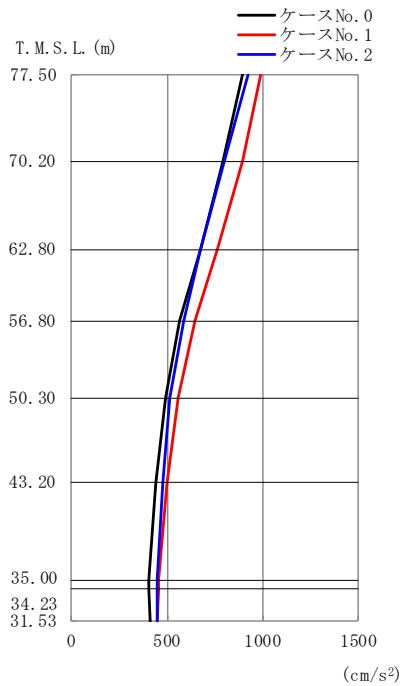
(d) Ss-C1

第4.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	993	1135	1051
70.20	2	915	999	968
62.80	3	843	876	899
56.80	4	767	803	811
50.30	5	700	720	750
43.20	6	651	642	714
35.00	7	632	621	671
34.23	8	632	621	675
31.53	9	632	622	672

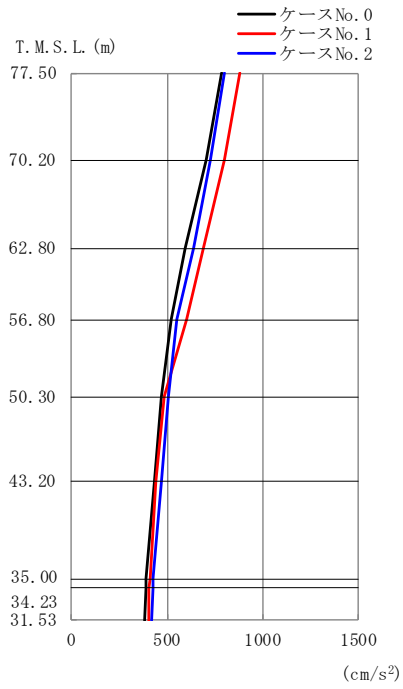
(a) Ss-A



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	893	992	922
70.20	2	792	890	795
62.80	3	671	760	676
56.80	4	565	642	584
50.30	5	491	555	514
43.20	6	440	496	477
35.00	7	405	455	444
34.23	8	407	453	445
31.53	9	414	449	449

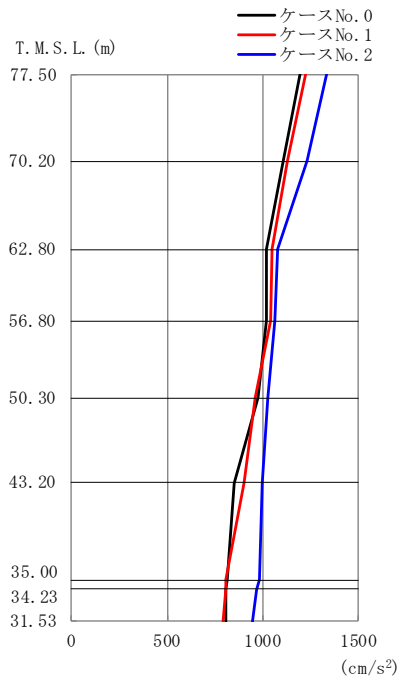
(b) Ss-B1

第 4.2-5 図 最大応答加速度 (EW 方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	783	877	801
70.20	2	702	797	727
62.80	3	591	689	637
56.80	4	521	598	552
50.30	5	473	486	507
43.20	6	431	439	468
35.00	7	391	408	424
34.23	8	389	406	422
31.53	9	384	403	417

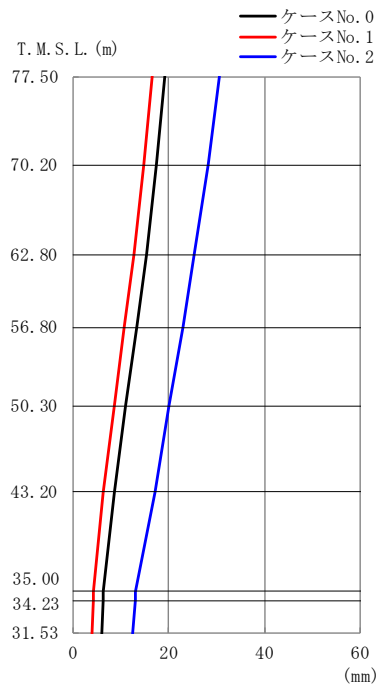
(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1193	1225	1329
70.20	2	1103	1129	1232
62.80	3	1021	1049	1080
56.80	4	1019	1040	1060
50.30	5	974	960	1022
43.20	6	848	903	994
35.00	7	816	808	978
34.23	8	809	804	967
31.53	9	805	792	942

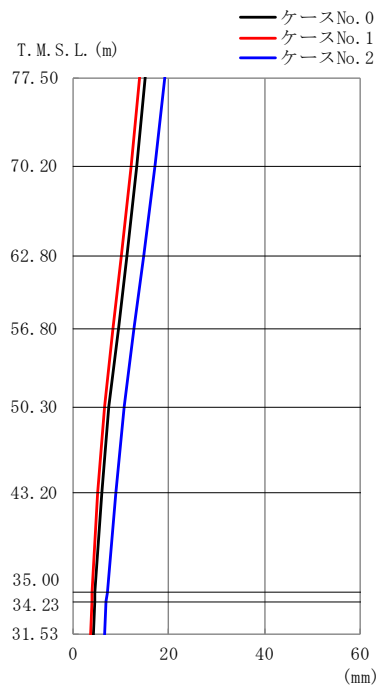
(d) Ss-C1

第4.2-5図 最大応答加速度 (EW方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	19.2	16.6	30.5
70.20	2	17.4	14.8	28.1
62.80	3	15.2	12.6	25.4
56.80	4	13.3	10.6	22.9
50.30	5	11.1	8.49	20.1
43.20	6	8.73	6.36	17.1
35.00	7	6.26	4.30	13.1
34.23	8	6.18	4.24	12.9
31.53	9	5.92	4.05	12.4

(a) Ss-A

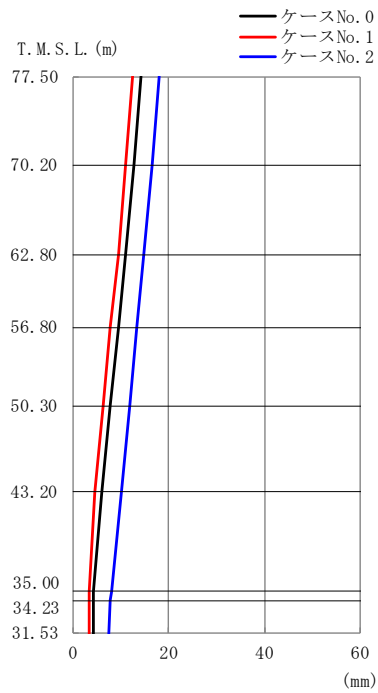


T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	15.0	13.8	19.0
70.20	2	13.3	12.1	17.1
62.80	3	11.2	10.0	14.8
56.80	4	9.36	8.18	12.9
50.30	5	7.48	6.47	10.8
43.20	6	6.08	5.10	8.89
35.00	7	4.58	3.93	7.09
34.23	8	4.50	3.88	7.00
31.53	9	4.27	3.73	6.70

(b) Ss-B1

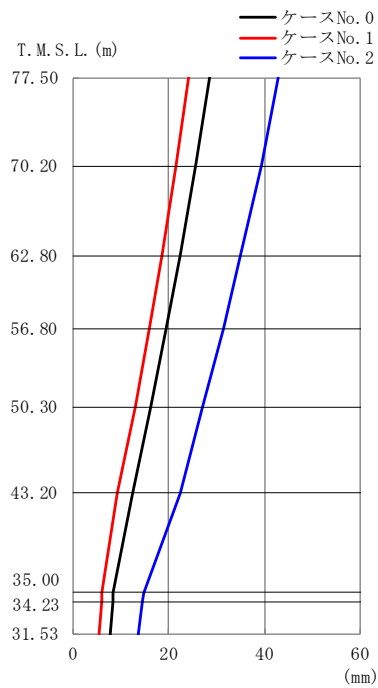
第4.2-6図 最大応答変位 (EW方向) (1/2)





T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	14.1	12.4	17.9
70.20	2	12.7	11.0	16.5
62.80	3	11.0	9.37	14.8
56.80	4	9.47	7.88	13.4
50.30	5	7.80	6.21	11.7
43.20	6	6.07	4.47	9.94
35.00	7	4.29	3.34	7.89
34.23	8	4.29	3.32	7.77
31.53	9	4.32	3.22	7.44

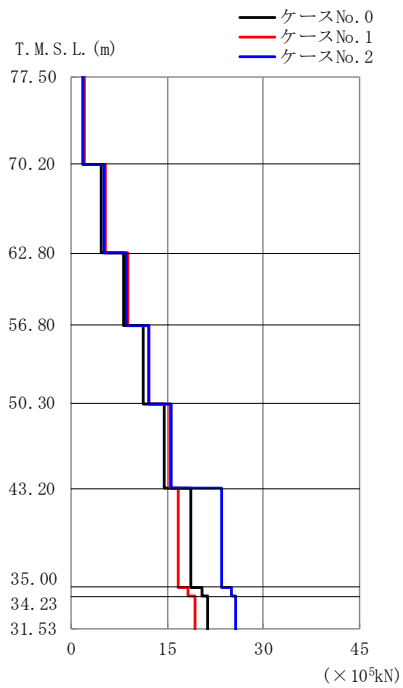
(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	28.6	24.2	42.9
70.20	2	25.7	21.6	39.3
62.80	3	22.4	18.6	35.0
56.80	4	19.5	16.0	31.3
50.30	5	16.2	13.0	27.1
43.20	6	12.3	9.31	22.5
35.00	7	8.41	6.05	14.7
34.23	8	8.22	5.89	14.4
31.53	9	7.63	5.40	13.6

(d) Ss-C1

第4.2-6図 最大応答変位 (EW方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力(×10 <sup>5</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.76	2.01	1.87
70.20	2	4.73	5.31	5.05
62.80	3	8.05	8.69	8.55
56.80	4	11.23	11.98	12.03
50.30	5	14.49	15.41	15.57
43.20	6	18.68	16.75	23.40
35.00	7	20.34	18.16	25.01
34.23	8	21.30	19.21	25.59
31.53				

(a) Ss-A



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力(×10 <sup>5</sup> kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.59	1.76	1.64
70.20	2	4.25	4.76	4.30
62.80	3	6.80	7.63	6.87
56.80	4	9.21	10.41	9.31
50.30	5	11.40	12.94	11.47
43.20	6	13.89	13.89	14.89
35.00	7	14.87	14.53	15.37
34.23	8	15.46	15.05	15.17
31.53				

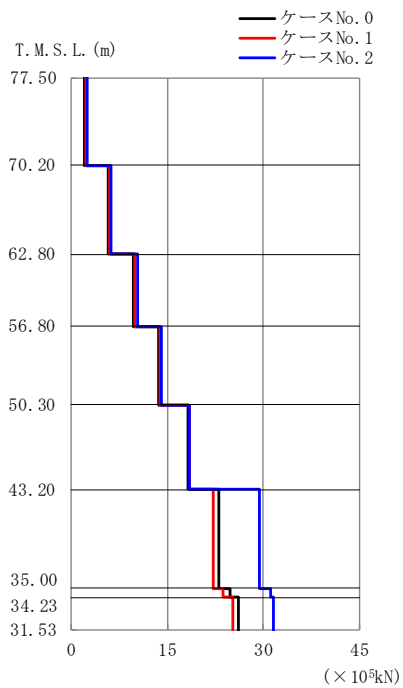
(b) Ss-B1

第4.2-7図 最大応答せん断力 (EW方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.39	1.56	1.42
70.20	2	3.75	4.24	3.86
62.80	3	6.07	6.94	6.37
56.80	4	8.21	9.49	8.76
50.30	5	10.07	11.90	10.98
43.20	6	12.76	12.28	15.21
35.00	7	13.95	12.73	16.37
34.23	8	14.72	13.51	16.79
31.53				

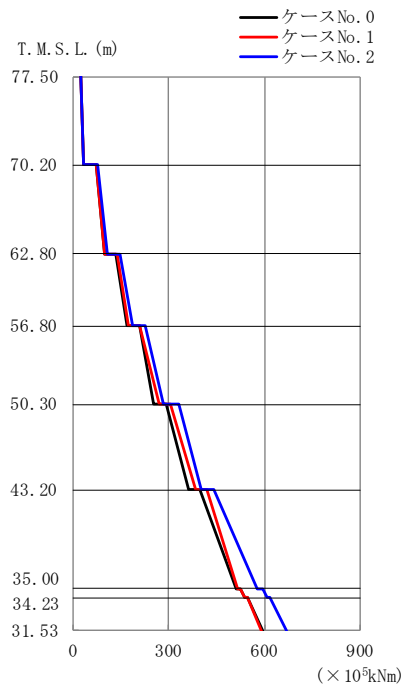
(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	2.11	2.17	2.36
70.20	2	5.82	5.95	6.22
62.80	3	9.70	9.86	10.31
56.80	4	13.68	13.75	14.11
50.30	5	18.26	18.51	18.44
43.20	6	22.93	22.04	29.37
35.00	7	24.79	23.74	31.04
34.23	8	26.04	25.14	31.50
31.53				

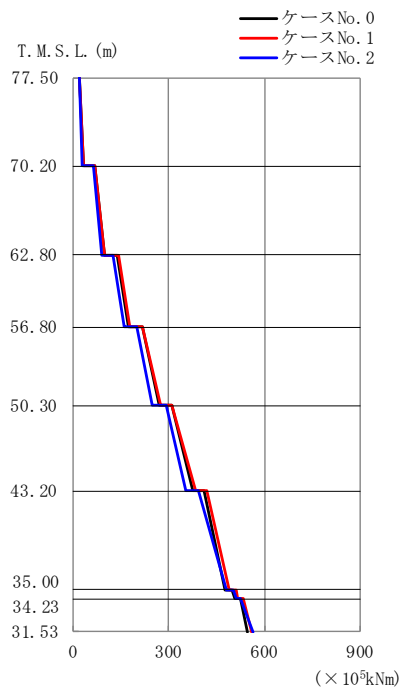
(d) Ss-C1

第4.2-7図 最大応答せん断力 (EW方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	32.82	32.33	34.55
70.20	2	96.95	98.04	107.38
62.80	3	169.02	171.49	187.08
56.80	4	254.17	268.59	283.45
50.30	5	361.47	385.72	401.21
43.20	6	512.56	514.04	577.95
35.00	7	538.63	537.43	607.06
34.23	8	592.99	591.17	669.93
31.53				

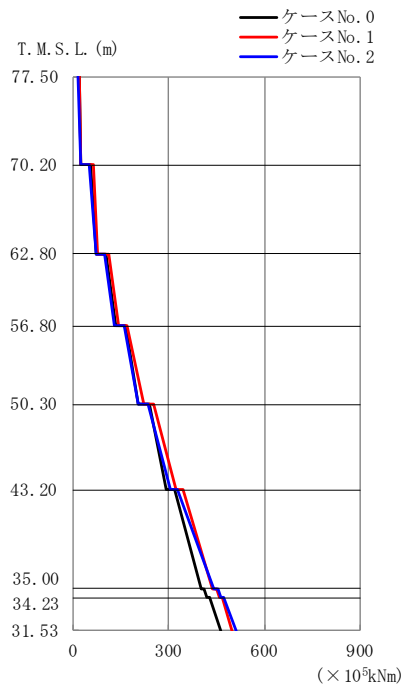
(a) Ss-A



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	31.63	32.32	28.54
70.20	2	97.84	100.28	88.88
62.80	3	175.52	179.51	160.63
56.80	4	268.47	272.94	248.62
50.30	5	373.74	383.27	353.55
43.20	6	475.67	491.27	481.68
35.00	7	506.07	517.94	511.83
34.23	8	548.52	561.57	564.37
31.53				

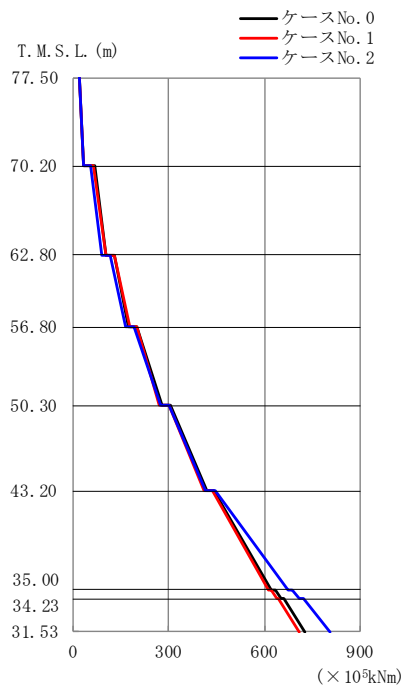
(b) Ss-B1

第4.2-8図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	23.56	25.37	22.77
70.20	2	73.77	77.49	71.71
62.80	3	133.11	140.97	130.31
56.80	4	205.46	220.14	205.99
50.30	5	293.38	321.40	303.15
43.20	6	400.04	437.83	439.67
35.00	7	421.39	459.37	463.55
34.23	8	463.35	498.59	512.83
31.53				

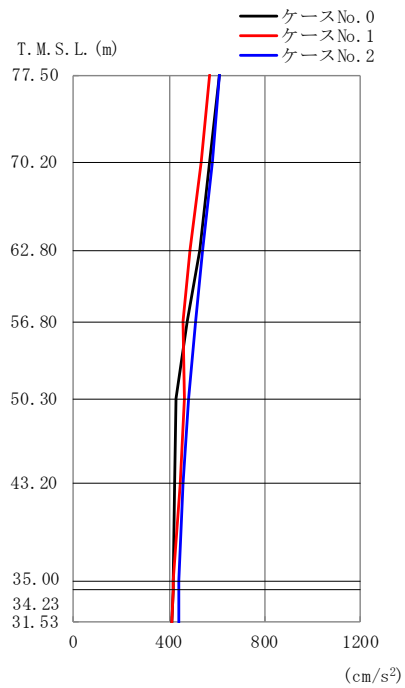
(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	35.16	33.51	31.55
70.20	2	101.82	101.19	89.29
62.80	3	174.31	177.00	165.47
56.80	4	278.03	268.95	275.16
50.30	5	418.26	411.37	416.52
43.20	6	622.37	612.25	673.40
35.00	7	652.12	638.72	708.95
34.23	8	727.62	709.98	804.52
31.53				

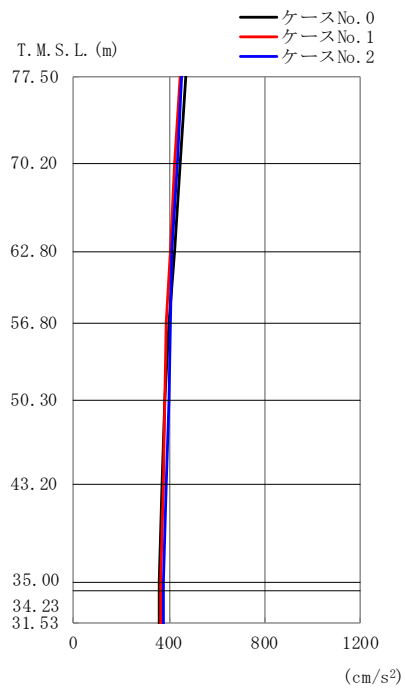
(d) Ss-C1

第4.2-8図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	609	568	608
70.20	2	571	536	579
62.80	3	526	490	538
56.80	4	473	460	509
50.30	5	430	463	479
43.20	6	425	449	458
35.00	7	417	417	441
34.23	8	416	415	441
31.53	9	414	411	443

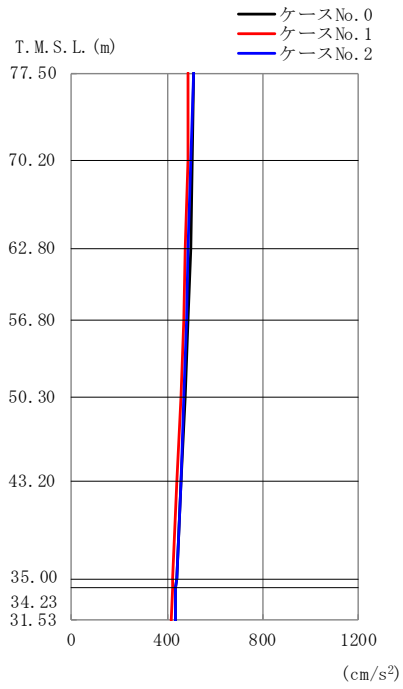
(a) Ss-A



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	468	447	453
70.20	2	448	425	436
62.80	3	424	405	412
56.80	4	397	388	407
50.30	5	380	382	399
43.20	6	370	373	390
35.00	7	359	363	376
34.23	8	358	363	376
31.53	9	357	362	374

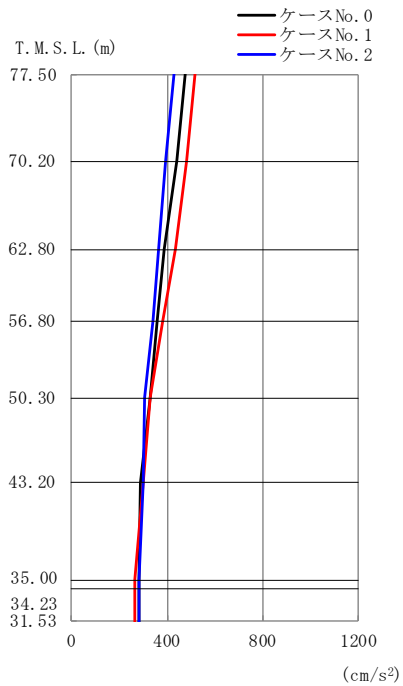
(b) Ss-B1

第4.2-9図 最大応答加速度 (鉛直方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	513	489	508
70.20	2	507	486	499
62.80	3	498	478	489
56.80	4	488	468	482
50.30	5	476	457	471
43.20	6	460	441	457
35.00	7	438	421	438
34.23	8	437	421	437
31.53	9	435	420	436

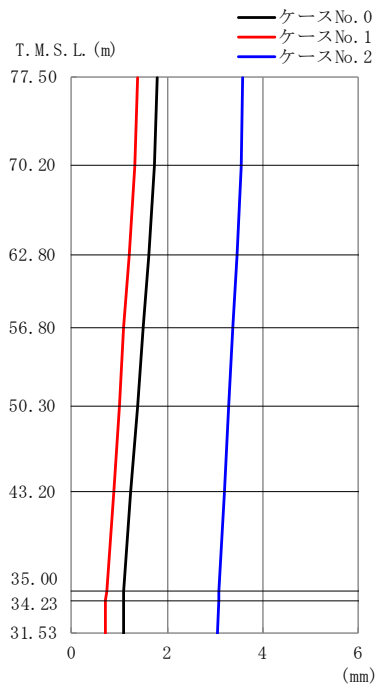
(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	477	515	427
70.20	2	440	479	394
62.80	3	386	433	366
56.80	4	360	380	340
50.30	5	327	330	307
43.20	6	289	301	299
35.00	7	283	266	285
34.23	8	283	266	284
31.53	9	282	265	282

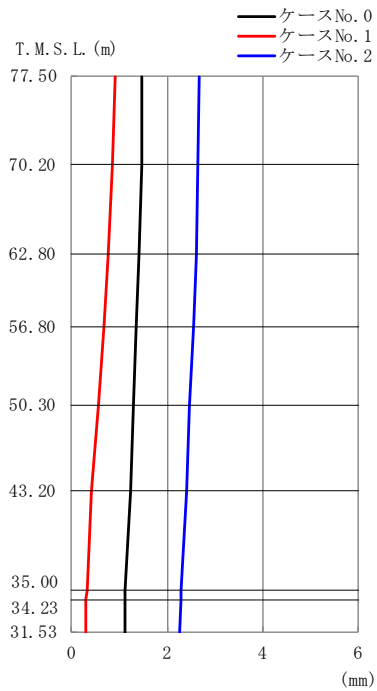
(d) Ss-C1

第4.2-9図 最大応答加速度 (鉛直方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.80	1.39	3.59
70.20	2	1.73	1.32	3.54
62.80	3	1.63	1.21	3.47
56.80	4	1.51	1.10	3.39
50.30	5	1.37	0.993	3.29
43.20	6	1.23	0.879	3.19
35.00	7	1.10	0.728	3.08
34.23	8	1.09	0.721	3.07
31.53	9	1.08	0.706	3.06

(a) Ss-A

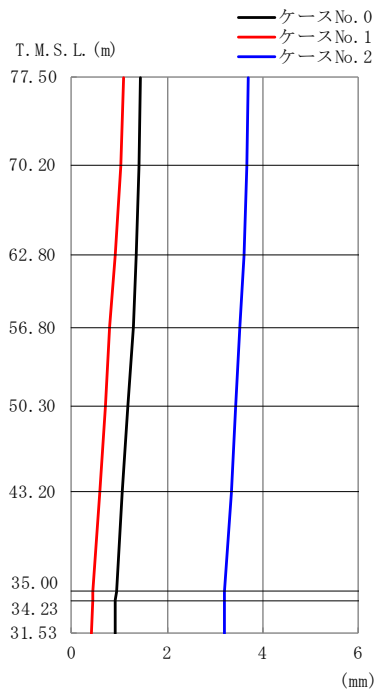


T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.48	0.918	2.68
70.20	2	1.46	0.863	2.65
62.80	3	1.42	0.778	2.60
56.80	4	1.37	0.685	2.55
50.30	5	1.31	0.568	2.48
43.20	6	1.23	0.426	2.40
35.00	7	1.13	0.313	2.29
34.23	8	1.13	0.309	2.29
31.53	9	1.12	0.300	2.28

(b) Ss-B1

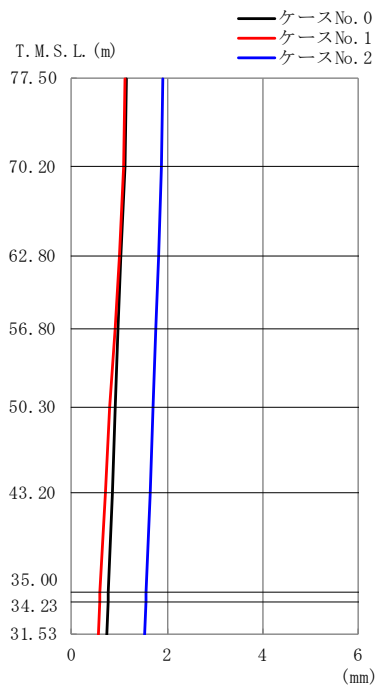
第4.2-10図 最大応答変位 (鉛直方向) (1/2)





T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.46	1.08	3.71
70.20	2	1.42	1.02	3.67
62.80	3	1.35	0.919	3.60
56.80	4	1.28	0.805	3.54
50.30	5	1.19	0.700	3.45
43.20	6	1.07	0.585	3.34
35.00	7	0.928	0.437	3.21
34.23	8	0.923	0.430	3.21
31.53	9	0.911	0.425	3.20

(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.16	1.13	1.90
70.20	2	1.11	1.08	1.87
62.80	3	1.03	1.00	1.83
56.80	4	0.977	0.916	1.77
50.30	5	0.923	0.806	1.72
43.20	6	0.854	0.695	1.64
35.00	7	0.760	0.583	1.55
34.23	8	0.756	0.578	1.54
31.53	9	0.747	0.568	1.54

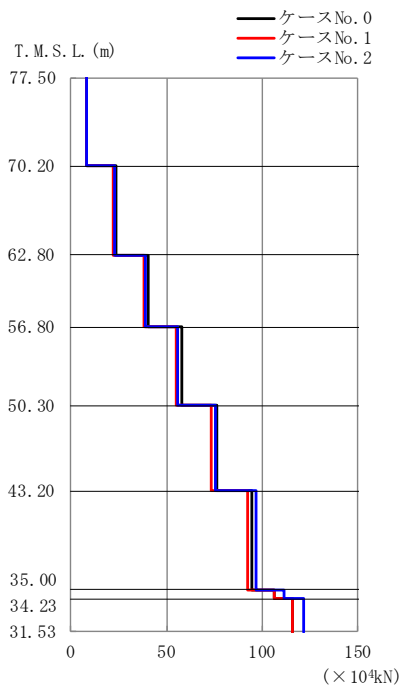
(d) Ss-C1

第4.2-10図 最大応答変位 (鉛直方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	10.82	10.16	10.91
70.20	2	30.04	28.20	30.53
62.80	3	50.75	47.46	51.73
56.80	4	71.51	66.81	74.06
50.30	5	92.53	86.90	98.10
43.20	6	112.80	106.60	121.80
35.00	7	125.90	119.40	136.94
34.23	8	135.25	130.01	147.74
31.53				

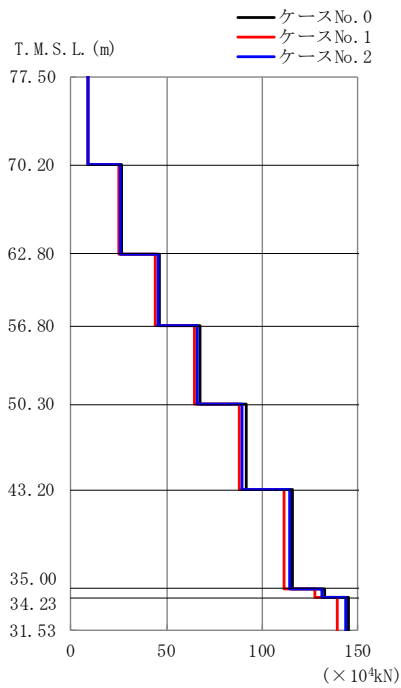
(a) Ss-A



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	8.35	7.99	8.06
70.20	2	23.48	22.23	22.72
62.80	3	40.21	37.94	38.90
56.80	4	57.66	54.85	55.91
50.30	5	76.19	73.23	75.76
43.20	6	94.57	92.19	96.70
35.00	7	106.58	105.97	111.18
34.23	8	115.79	115.82	121.52
31.53				

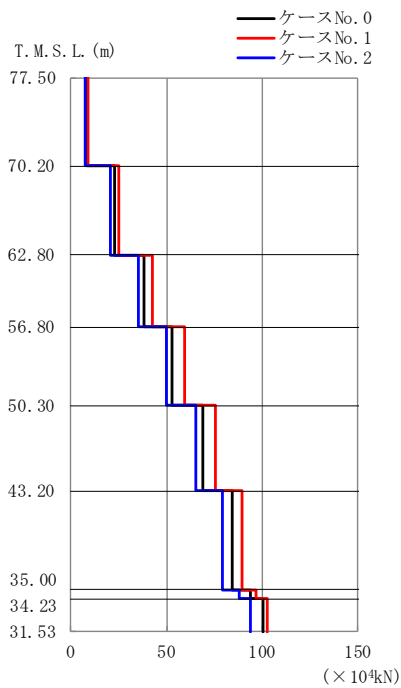
(b) Ss-B1

第 4.2-11 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	9.21	8.77	9.09
70.20	2	26.27	25.22	25.98
62.80	3	45.96	44.12	45.24
56.80	4	67.42	64.71	66.09
50.30	5	91.32	87.64	89.72
43.20	6	116.00	111.27	114.31
35.00	7	132.81	127.33	131.24
34.23	8	144.80	138.80	143.34
31.53				

(c) Ss-B3



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	8.46	9.22	7.62
70.20	2	23.21	25.42	20.93
62.80	3	38.34	42.50	35.03
56.80	4	53.00	59.15	49.92
50.30	5	68.76	75.39	65.19
43.20	6	84.16	89.54	79.42
35.00	7	93.44	97.05	87.95
34.23	8	100.03	102.35	94.00
31.53				

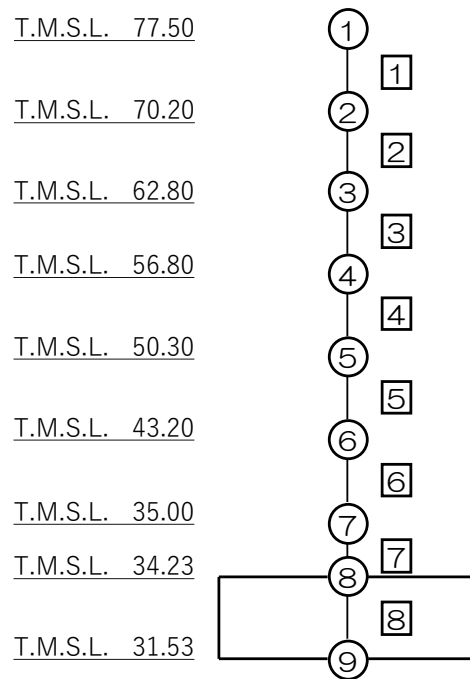
(d) Ss-C1

第 4.2-11 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (2/2)

第4.2-1表 最大応答せん断ひずみ度 (Ss-A, NS 方向)

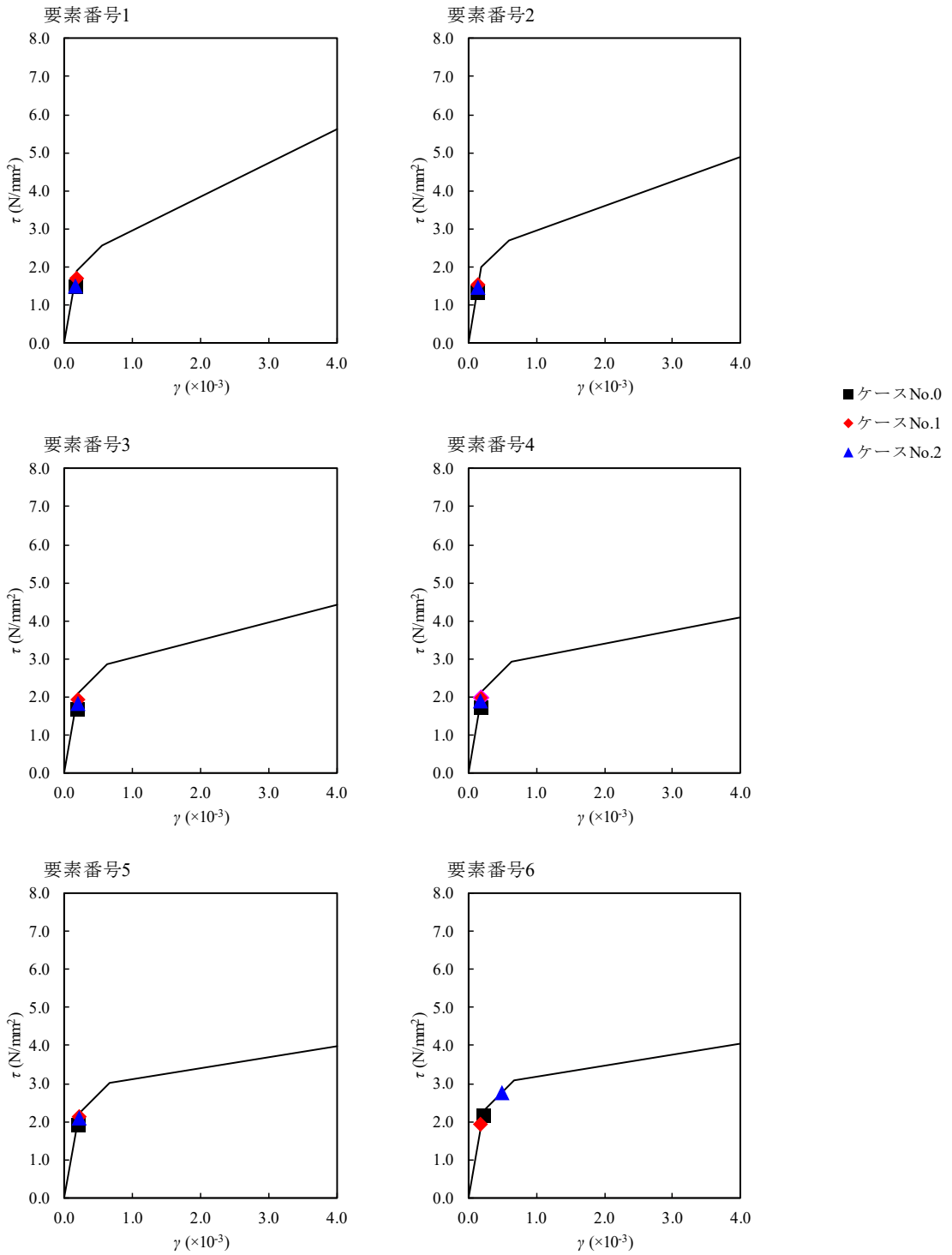
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度 ( $\times 10^{-3}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.149	0.169	0.149
70.20				
62.80	2	0.134	0.154	0.145
56.80				
50.30	3	0.168	0.192	0.184
43.20				
35.00	4	0.174	0.196	0.189
	5	0.192	0.212	0.206
	6	0.212	0.191	0.498

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。

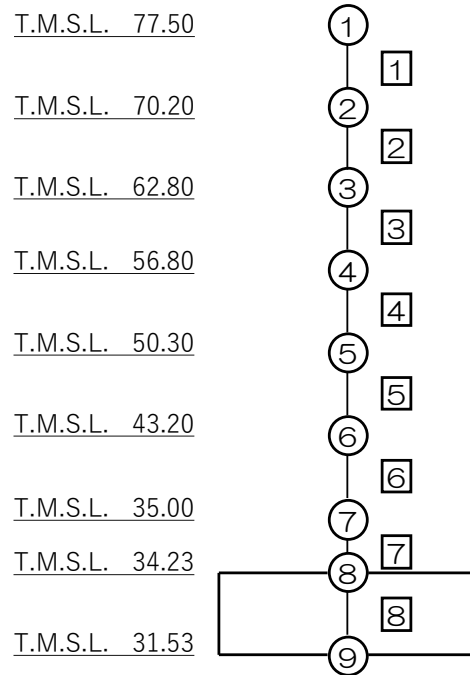


第4.2-12図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Ss-A, NS 方向)

第4.2-2表 最大応答せん断ひずみ度 (Ss-B1, NS方向)

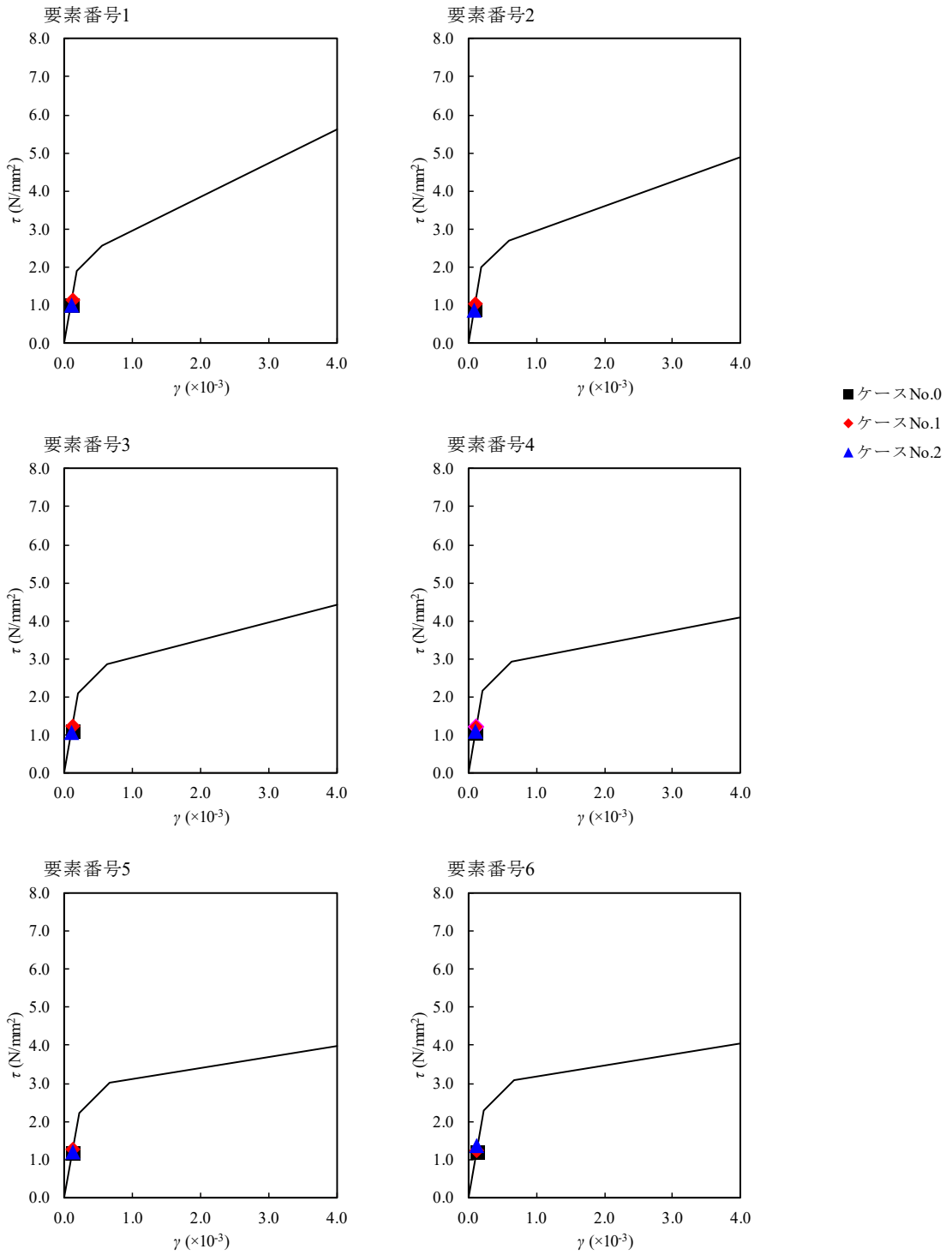
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 <sup>-3</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.101	0.115	0.101
70.20				
62.80	2	0.0916	0.105	0.0867
56.80	3	0.109	0.124	0.105
50.30				
43.20	4	0.107	0.120	0.109
35.00	5	0.116	0.124	0.120
	6	0.118	0.122	0.134

(単位：m)



注記1：○数字は質点番号を示す。

注記2：□数字は要素番号を示す。

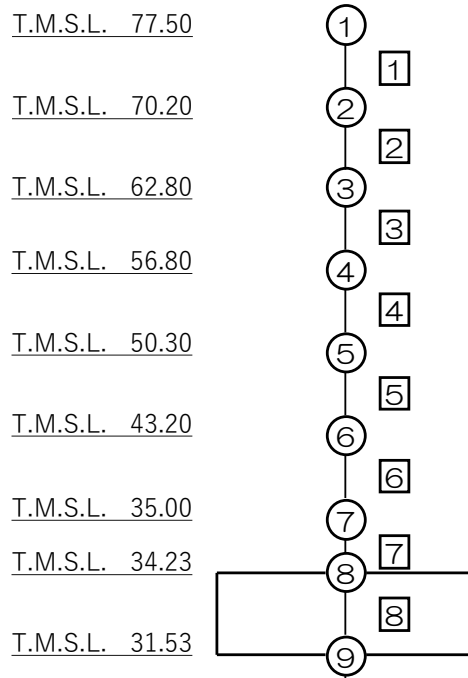


第 4.2-13 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Ss-B1, NS 方向)

第4.2-3表 最大応答せん断ひずみ度 (Ss-B3, NS方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 <sup>-3</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.108	0.113	0.118
70.20				
62.80	2	0.108	0.109	0.116
56.80				
50.30	3	0.137	0.139	0.147
43.20				
35.00	4	0.143	0.145	0.151
	5	0.158	0.161	0.167
35.00	6	0.159	0.160	0.206
	6	0.159	0.160	0.206

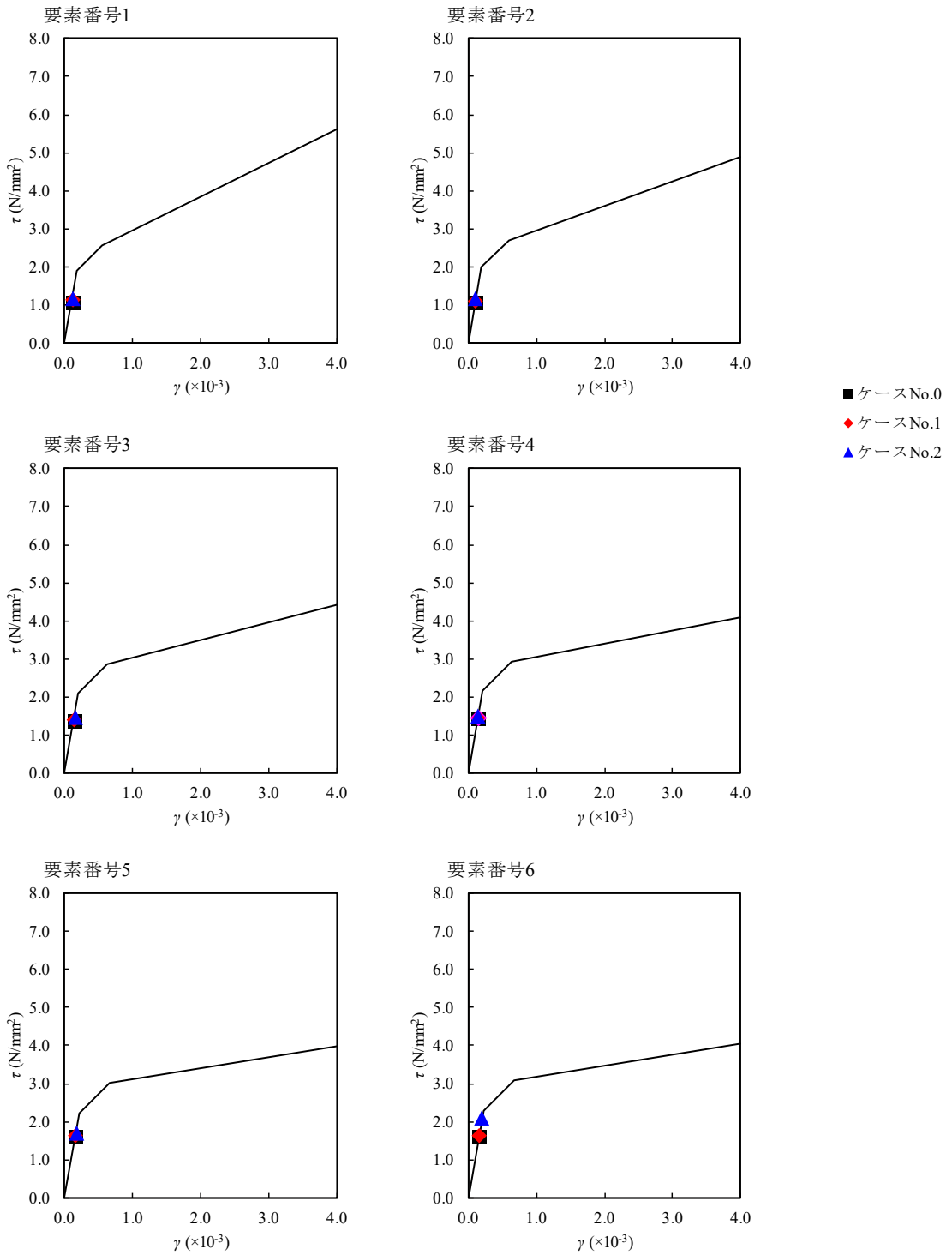
(単位：m)



注記1：○数字は質点番号を示す。

注記2：□数字は要素番号を示す。



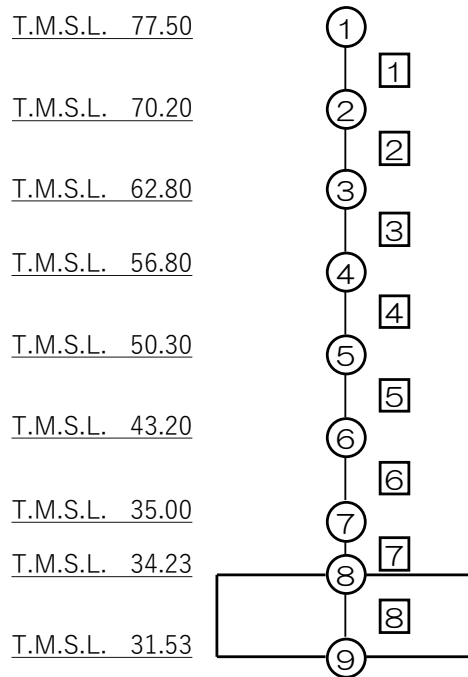


第 4.2-14 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Ss-B3, NS 方向)

第4.2-4表 最大応答せん断ひずみ度 (Ss-C1, NS方向)

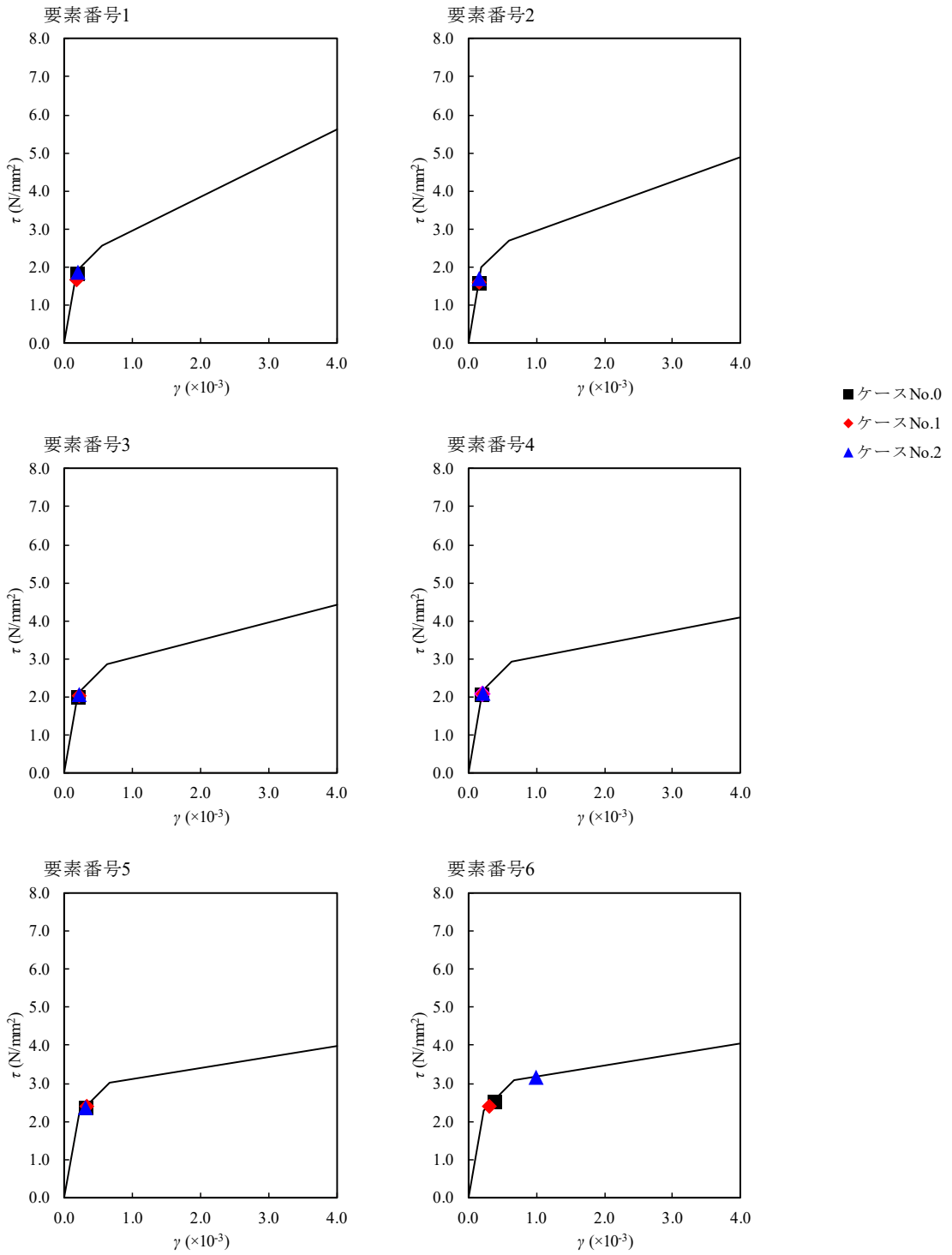
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 <sup>-3</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.181	0.166	0.189
70.20				
62.80	2	0.160	0.160	0.170
56.80				
50.30	3	0.198	0.201	0.203
43.20				
35.00	4	0.206	0.205	0.210
	5	0.293	0.320	0.294
	6	0.379	0.305	0.993

(単位：m)



注記1：○数字は質点番号を示す。

注記2：□数字は要素番号を示す。

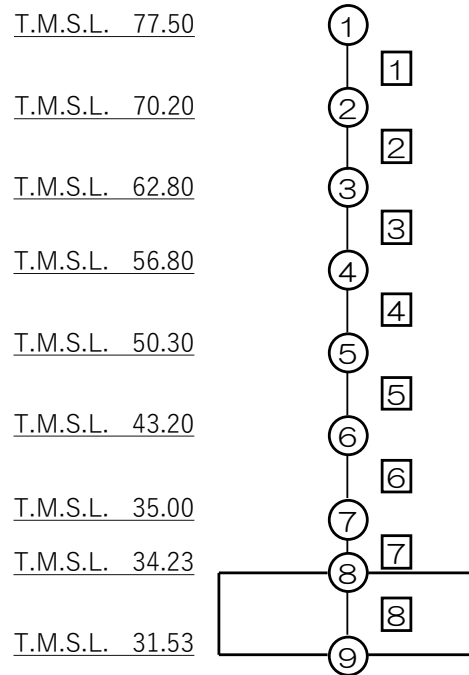


第 4.2-15 図  $\tau$ - $\gamma$  関係と最大応答値 (Ss-C1, NS 方向)

第4.2-5表 最大応答せん断ひずみ度 (Ss-A, EW 方向)

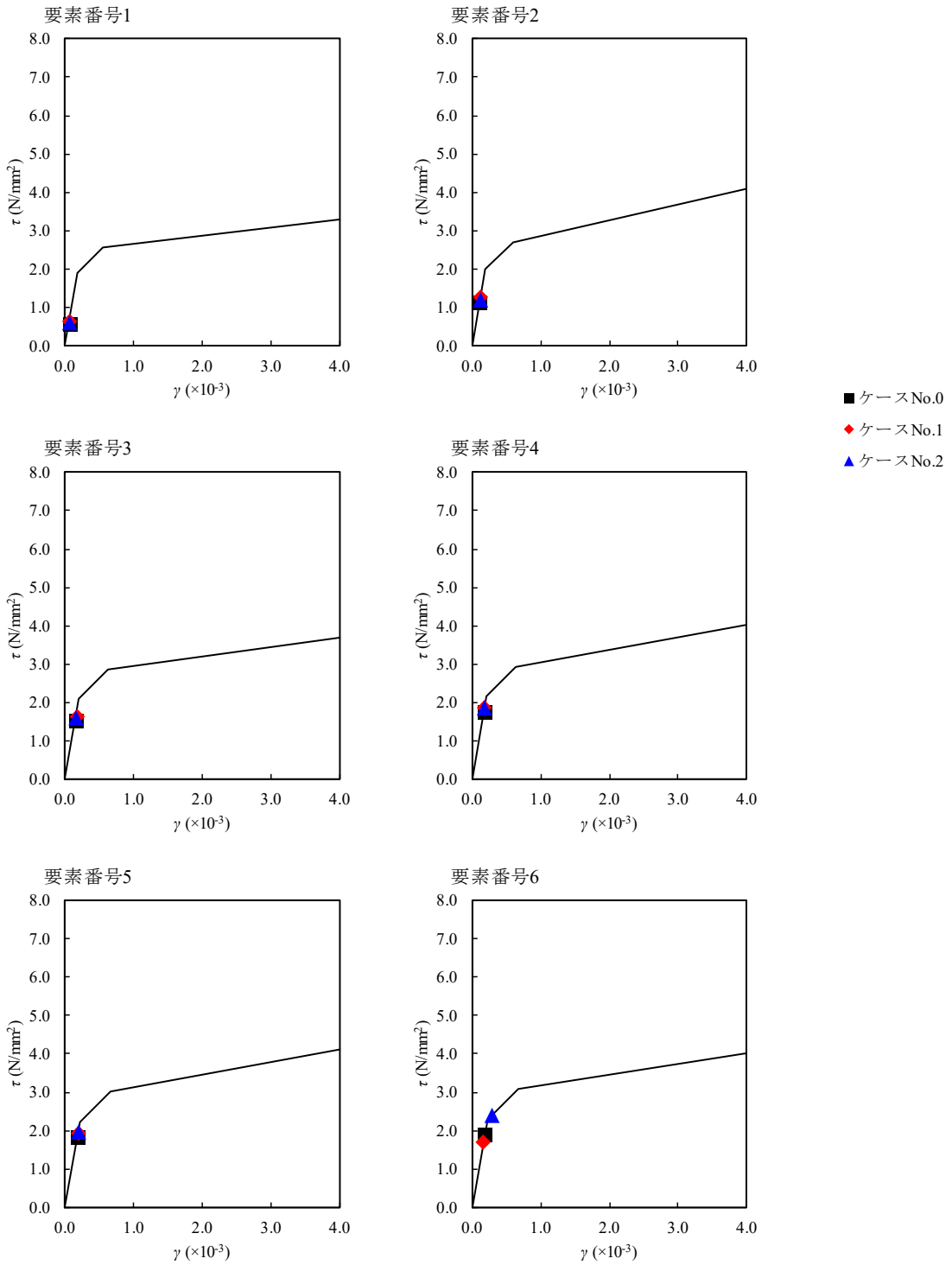
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度 ( $\times 10^{-3}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0576	0.0660	0.0611
70.20				
62.80	2	0.112	0.126	0.119
56.80				
50.30	3	0.151	0.163	0.161
43.20				
35.00	4	0.174	0.186	0.187
	5	0.180	0.192	0.194
	6	0.188	0.169	0.293

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。

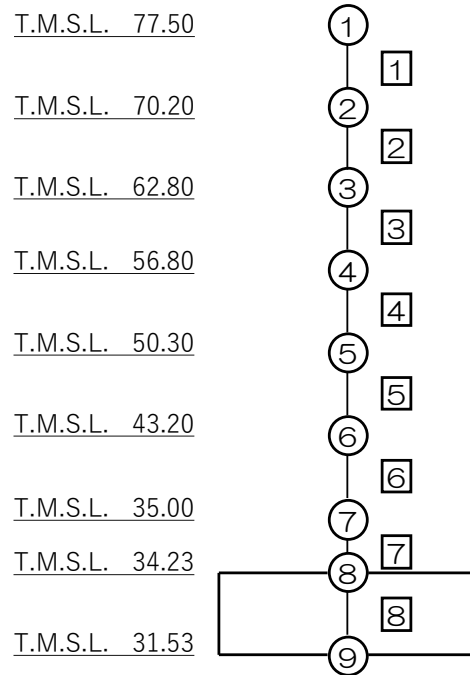


第4.2-16図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Ss-A, EW 方向)

第4.2-6表 最大応答せん断ひずみ度 (Ss-B1, EW方向)

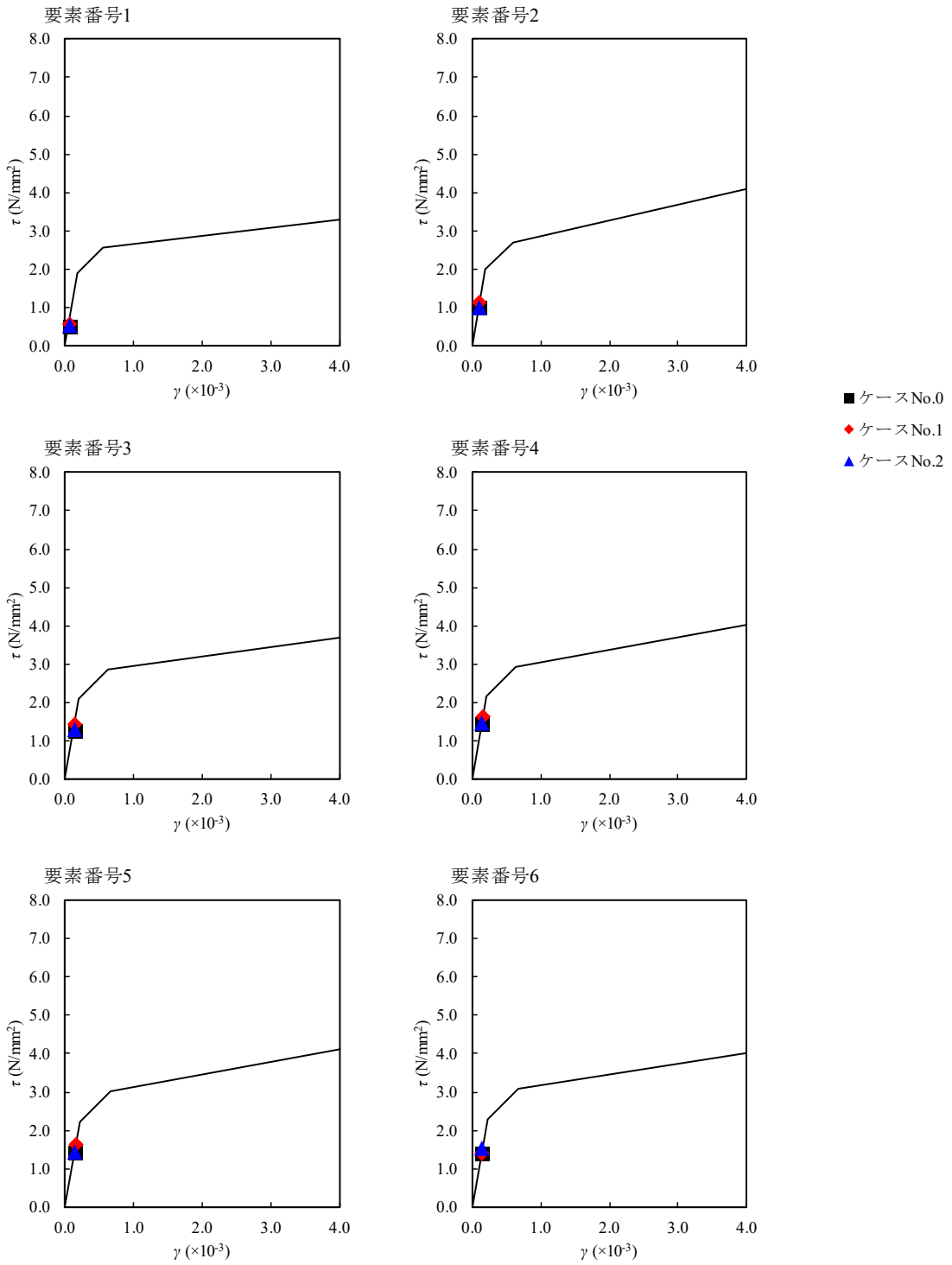
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 <sup>-3</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0520	0.0578	0.0538
70.20				
62.80	2	0.101	0.113	0.102
56.80				
50.30	3	0.128	0.144	0.129
43.20				
35.00	4	0.143	0.162	0.145
	5	0.142	0.161	0.143
35.00	6	0.140	0.140	0.150
	6	0.140	0.140	0.150

(単位：m)



注記1：○数字は質点番号を示す。

注記2：□数字は要素番号を示す。

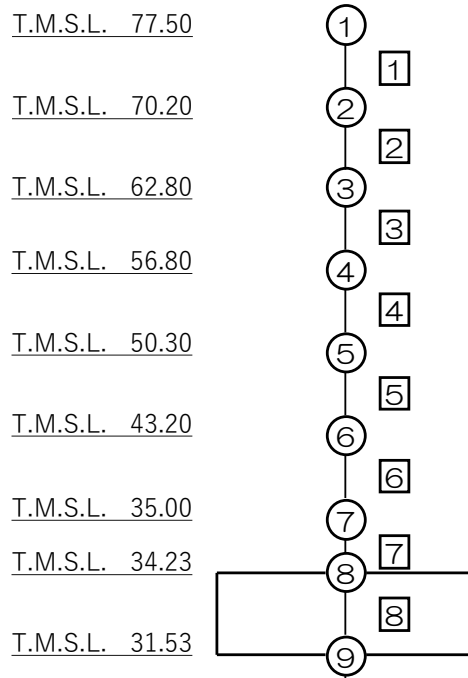


第 4.2-17 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Ss-B1, EW 方向)

第4.2-7表 最大応答せん断ひずみ度 (Ss-B3, EW方向)

T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 <sup>-3</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0456	0.0511	0.0466
70.20				
62.80	2	0.0887	0.100	0.0914
56.80				
50.30	3	0.114	0.131	0.120
43.20				
35.00	4	0.128	0.147	0.136
	5	0.125	0.148	0.136
35.00	6	0.129	0.124	0.153
	6	0.129	0.124	0.153

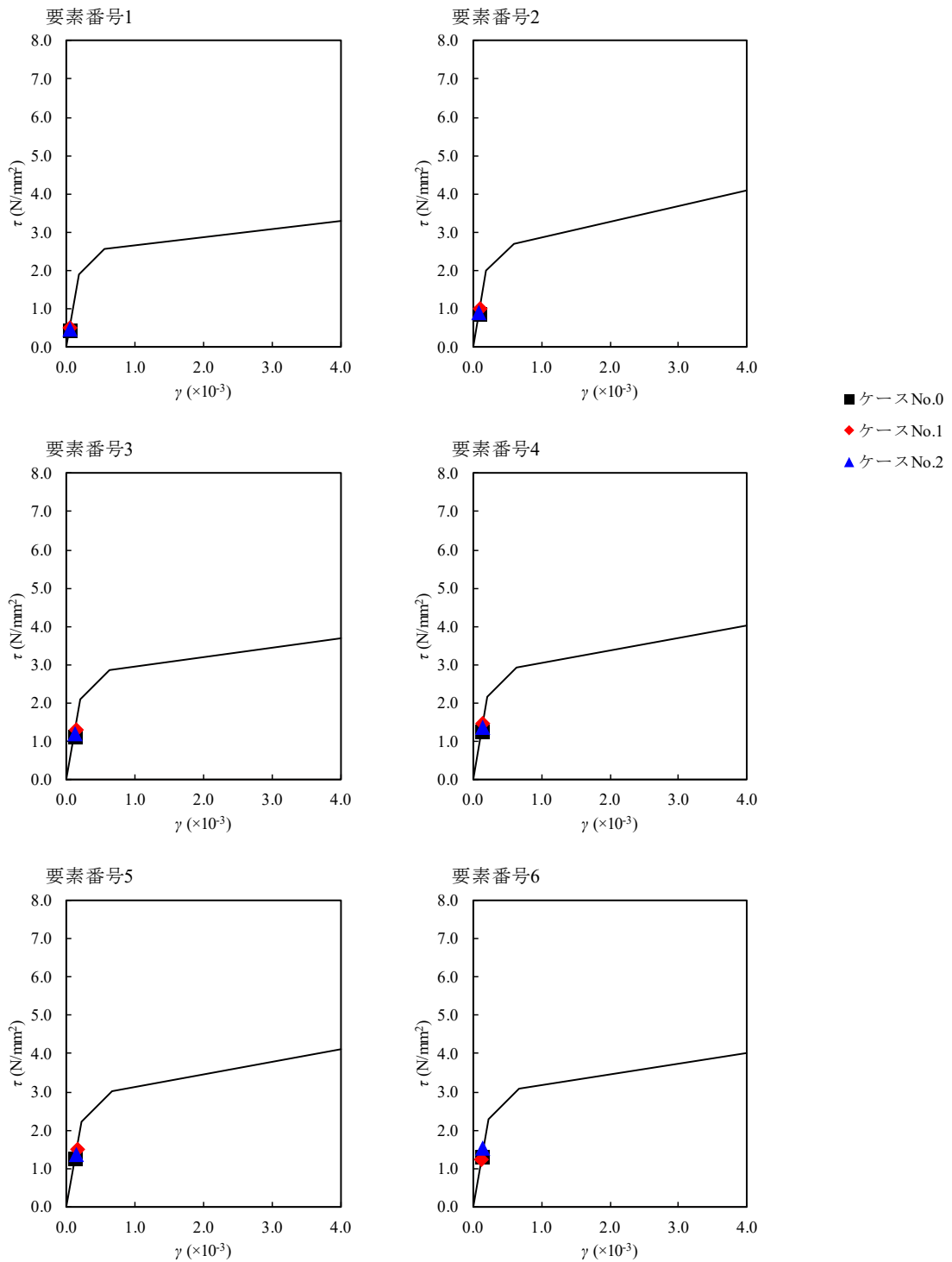
(単位：m)



注記1：○数字は質点番号を示す。

注記2：□数字は要素番号を示す。



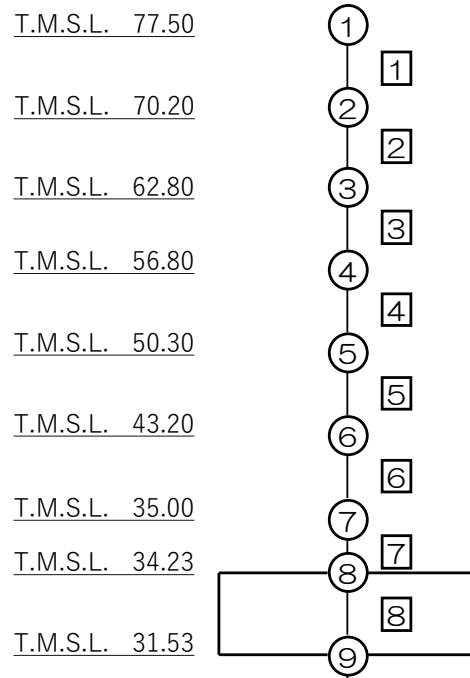


第 4.2-18 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Ss-B3, EW 方向)

第4.2-8表 最大応答せん断ひずみ度 (Ss-C1, EW方向)

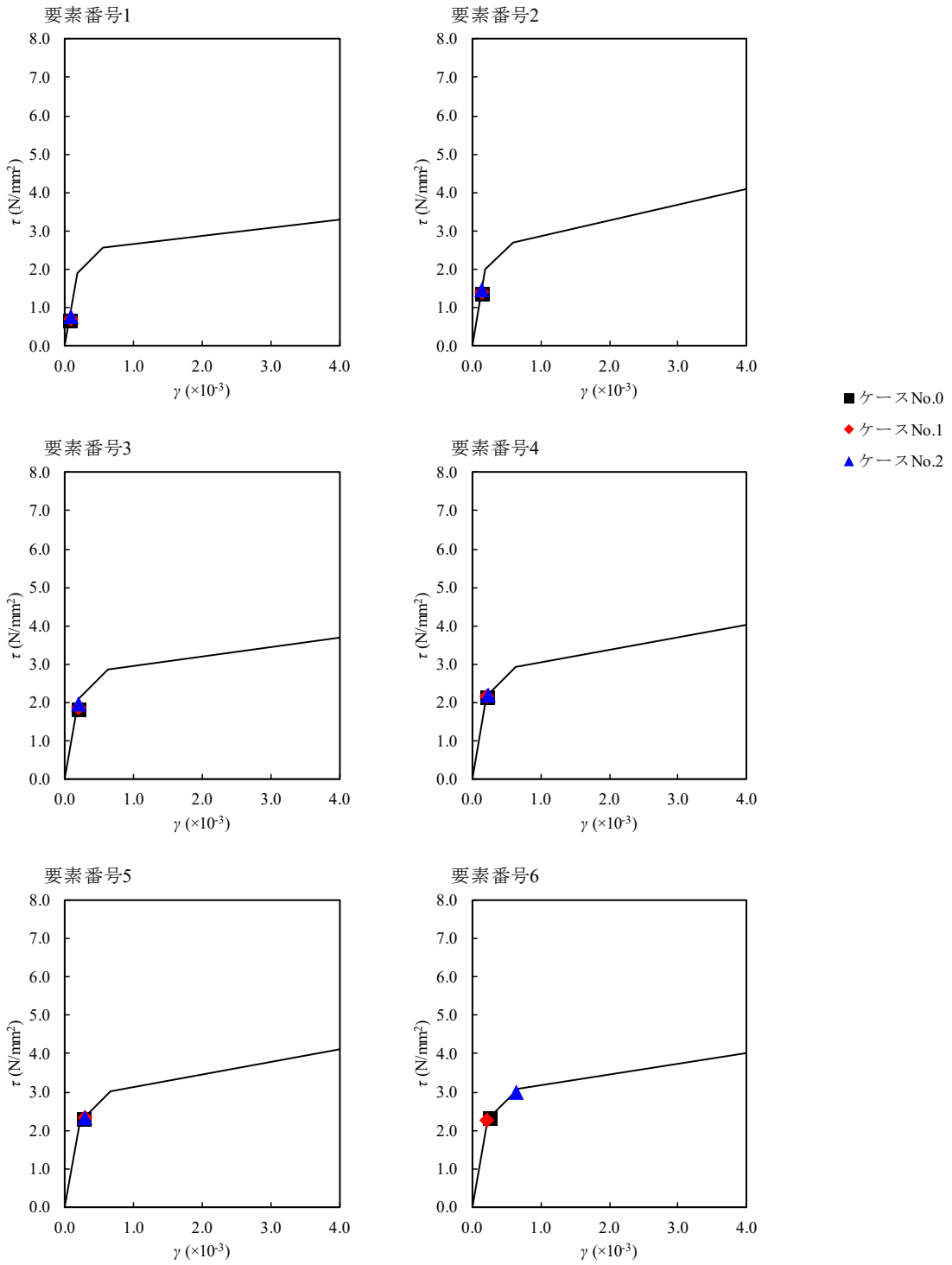
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 <sup>-3</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0692	0.0710	0.0774
70.20				
62.80	2	0.138	0.141	0.147
56.80				
50.30	3	0.182	0.185	0.194
43.20				
35.00	4	0.212	0.214	0.243
	5	0.265	0.282	0.278
	6	0.264	0.222	0.641

(単位：m)



注記1：○数字は質点番号を示す。

注記2：□数字は要素番号を示す。



第 4.2-19 図  $\tau$ - $\gamma$  関係と最大応答値 (Ss-C1, EW 方向)

第4.2-9表 浮上り検討（基準地震動Ss, ケースNo.0）

(a) NS方向

地震動	浮上り限界転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)	4.48	5.78	89.5
Ss-B1 (NS)		4.01	100
Ss-B2 (NS)		5.24	95.2
Ss-B3 (NS)		4.78	100
Ss-B4 (NS)		4.51	100
Ss-B5 (NS)		4.49	100
Ss-C1 (NSEW)		7.15	75.2
Ss-C2 (NS)		3.51	100
Ss-C2 (EW)		3.06	100
Ss-C3 (NS)		4.14	100
Ss-C3 (EW)		4.51	100
Ss-C4 (NS)		4.44	100
Ss-C4 (EW)		5.32	94.4

(b) EW方向

地震動	浮上り限界転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)	4.53	5.94	88.6
Ss-B1 (EW)		5.46	93.6
Ss-B2 (EW)		5.00	98.3
Ss-B3 (EW)		4.58	100
Ss-B4 (EW)		4.03	100
Ss-B5 (EW)		5.40	94.1
Ss-C1 (NSEW)		7.29	74.5
Ss-C2 (NS)		3.48	100
Ss-C2 (EW)		3.06	100
Ss-C3 (NS)		4.19	100
Ss-C3 (EW)		4.51	100
Ss-C4 (NS)		4.44	100
Ss-C4 (EW)		5.59	92.2

第4.2-10表 浮上り検討（基準地震動 Ss, ケース No. 1）

(a) NS 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)	4.48	5.84	88.9
Ss-B1 (NS)		4.21	100
Ss-B3 (NS)		4.77	100
Ss-C1 (NSEW)		6.98	77.0

(b) EW 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Ss-A (H)	4.53	5.92	88.8
Ss-B1 (EW)		5.59	92.2
Ss-B3 (EW)		4.94	98.9
Ss-C1 (NSEW)		7.11	76.4

第4.2-11表 浮上り検討（基準地震動 S<sub>s</sub>, ケース No.2）

(a) NS 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
S <sub>s</sub> -A (H)	4.48	6.86	78.2
S <sub>s</sub> -B1 (NS)		4.10	100
S <sub>s</sub> -B3 (NS)		5.41	93.4
S <sub>s</sub> -C1 (NSEW)		7.89	67.5

(b) EW 方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
S <sub>s</sub> -A (H)	4.53	6.69	80.8
S <sub>s</sub> -B1 (EW)		5.57	92.4
S <sub>s</sub> -B3 (EW)		5.09	97.4
S <sub>s</sub> -C1 (NSEW)		8.10	66.2

第 4.2-12 表 最大接地圧 (基準地震動 Ss, ケース No.0) (1/2)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Ss-A	NS	鉛直上向き	927
		鉛直下向き	1023
	EW	鉛直上向き	947
		鉛直下向き	1034
Ss-B1	NS	鉛直上向き	731
		鉛直下向き	861
	EW	鉛直上向き	887
		鉛直下向き	986
Ss-B2	NS	鉛直上向き	870
		鉛直下向き	973
	EW	鉛直上向き	836
		鉛直下向き	949
Ss-B3	NS	鉛直上向き	797
		鉛直下向き	945
	EW	鉛直上向き	769
		鉛直下向き	923
Ss-B4	NS	鉛直上向き	782
		鉛直下向き	898
	EW	鉛直上向き	735
		鉛直下向き	854
Ss-B5	NS	鉛直上向き	771
		鉛直下向き	909
	EW	鉛直上向き	874
		鉛直下向き	986

第 4.2-12 表 最大接地圧 (基準地震動 Ss, ケース No.0) (2/2)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Ss-C1	NS	鉛直上向き	1172
		鉛直下向き	1157
	EW	鉛直上向き	1189
		鉛直下向き	1167
Ss-C2 (NS)	NS	鉛直上向き	700
		鉛直下向き	802
	EW	鉛直上向き	694
		鉛直下向き	797
Ss-C2 (EW)	NS	鉛直上向き	659
		鉛直下向き	761
	EW	鉛直上向き	657
		鉛直下向き	759
Ss-C3 (NS)	NS	鉛直上向き	757
		鉛直下向き	872
	EW	鉛直上向き	758
		鉛直下向き	873
Ss-C3 (EW)	NS	鉛直上向き	784
		鉛直下向き	896
	EW	鉛直上向き	779
		鉛直下向き	893
Ss-C4 (NS)	NS	—	836
	EW	—	832
Ss-C4 (EW)	NS	—	913
	EW	—	940

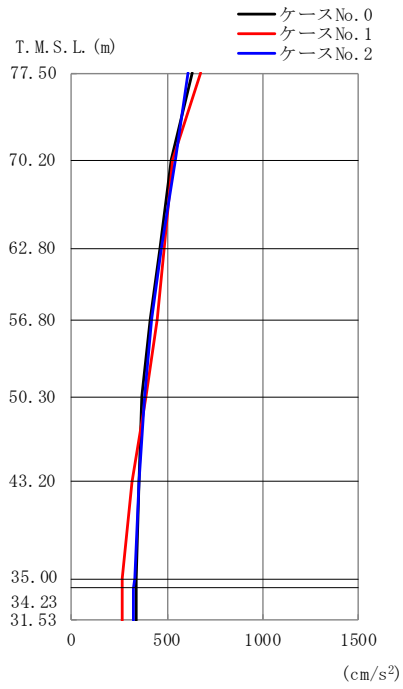


第 4.2-13 表 最大接地圧 (基準地震動 S<sub>s</sub>, ケース No. 1)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
S <sub>s</sub> -A	NS	鉛直上向き	938
		鉛直下向き	1028
	EW	鉛直上向き	942
		鉛直下向き	1030
S <sub>s</sub> -B1	NS	鉛直上向き	749
		鉛直下向き	878
	EW	鉛直上向き	905
		鉛直下向き	998
S <sub>s</sub> -B3	NS	鉛直上向き	799
		鉛直下向き	941
	EW	鉛直上向き	812
		鉛直下向き	951
S <sub>s</sub> -C1	NS	鉛直上向き	1135
		鉛直下向き	1135
	EW	鉛直上向き	1146
		鉛直下向き	1141

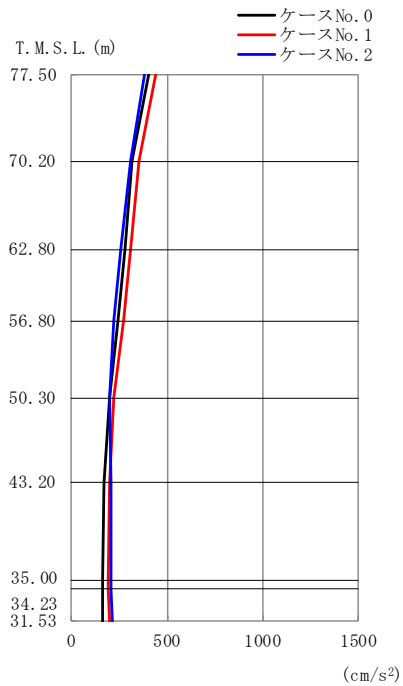
第 4.2-14 表 最大接地圧 (基準地震動 Ss, ケース No. 2)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Ss-A	NS	鉛直上向き	1159
		鉛直下向き	1146
	EW	鉛直上向き	1095
		鉛直下向き	1116
Ss-B1	NS	鉛直上向き	738
		鉛直下向き	874
	EW	鉛直上向き	908
		鉛直下向き	1004
Ss-B3	NS	鉛直上向き	870
		鉛直下向き	994
	EW	鉛直上向き	830
		鉛直下向き	967
Ss-C1	NS	鉛直上向き	1349
		鉛直下向き	1257
	EW	鉛直上向き	1399
		鉛直下向き	1284



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	629	674	606
70.20	2	517	530	539
62.80	3	463	487	471
56.80	4	414	446	417
50.30	5	369	390	384
43.20	6	351	314	351
35.00	7	334	267	328
34.23	8	335	266	326
31.53	9	335	264	321

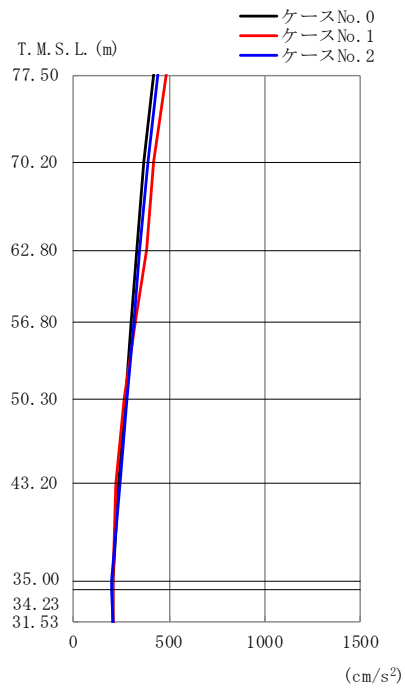
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	403	437	379
70.20	2	318	354	307
62.80	3	276	305	254
56.80	4	241	271	222
50.30	5	201	219	200
43.20	6	171	202	205
35.00	7	162	195	206
34.23	8	163	195	206
31.53	9	166	198	210

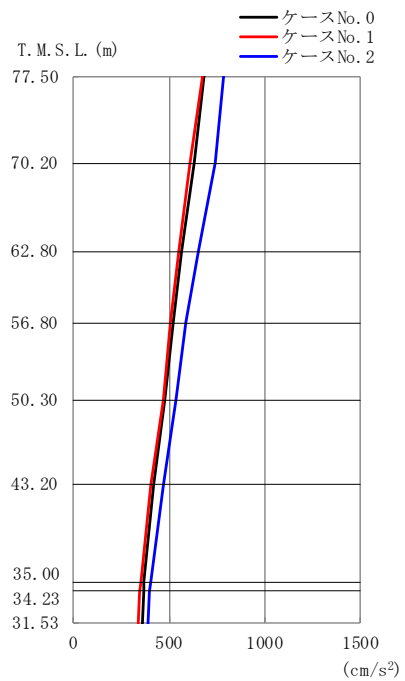
(b) Sd-B1

第 4.2-20 図 最大応答加速度 (NS 方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	415	485	437
70.20	2	370	416	388
62.80	3	333	379	349
56.80	4	303	325	314
50.30	5	269	261	280
43.20	6	232	222	241
35.00	7	209	208	201
34.23	8	209	207	201
31.53	9	208	207	203

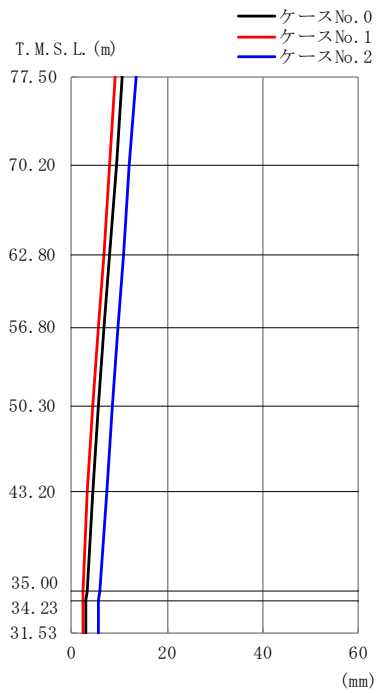
(c) Sd-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	680	676	785
70.20	2	632	609	738
62.80	3	566	552	650
56.80	4	519	510	583
50.30	5	477	468	533
43.20	6	420	406	469
35.00	7	369	351	400
34.23	8	367	349	397
31.53	9	359	341	390

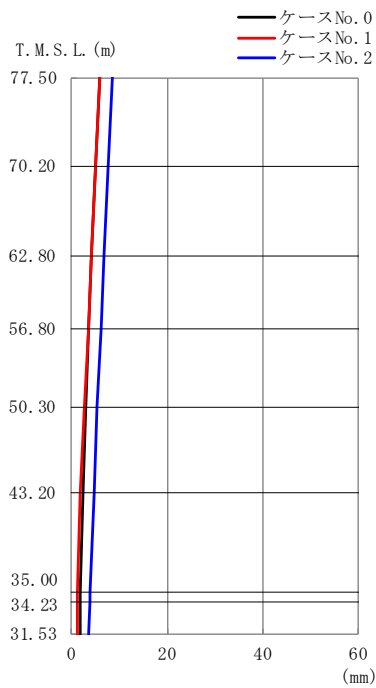
(d) Sd-C1

第 4.2-20 図 最大応答加速度 (NS 方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	10.7	9.21	13.5
70.20	2	9.35	7.83	12.1
62.80	3	7.96	6.68	10.8
56.80	4	6.75	5.65	9.71
50.30	5	5.61	4.55	8.55
43.20	6	4.48	3.38	7.30
35.00	7	3.15	2.42	5.81
34.23	8	3.08	2.39	5.73
31.53	9	2.90	2.31	5.50

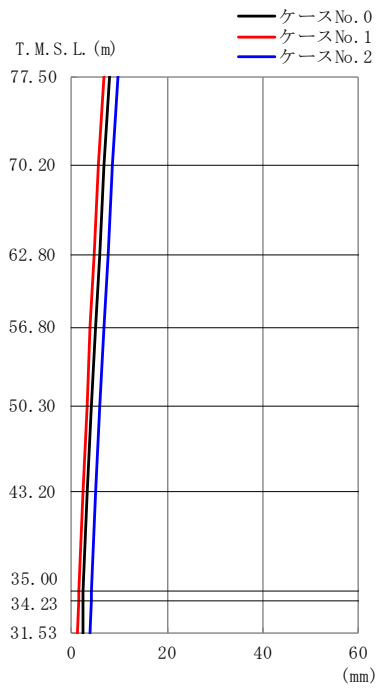
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	5.84	5.84	8.42
70.20	2	4.98	4.96	7.54
62.80	3	4.20	4.14	6.77
56.80	4	3.53	3.42	6.11
50.30	5	2.89	2.67	5.41
43.20	6	2.26	1.91	4.68
35.00	7	1.83	1.15	3.83
34.23	8	1.81	1.13	3.78
31.53	9	1.76	1.07	3.65

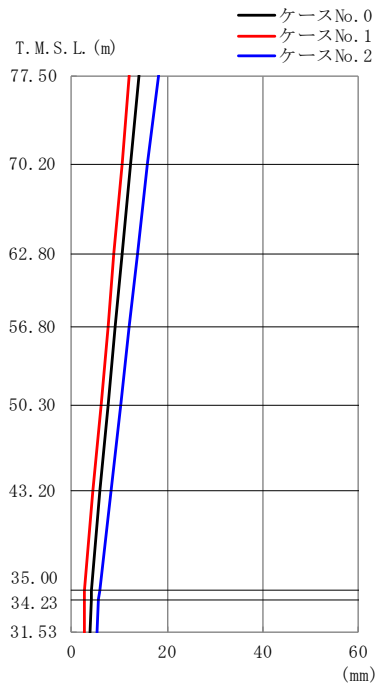
(b) Sd-B1

第4.2-21図 最大応答変位 (NS方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	7.89	6.69	9.82
70.20	2	6.89	5.69	8.68
62.80	3	5.91	4.78	7.56
56.80	4	5.05	3.98	6.67
50.30	5	4.13	3.14	5.93
43.20	6	3.14	2.24	5.11
35.00	7	2.41	1.41	4.08
34.23	8	2.38	1.38	4.02
31.53	9	2.28	1.31	3.87

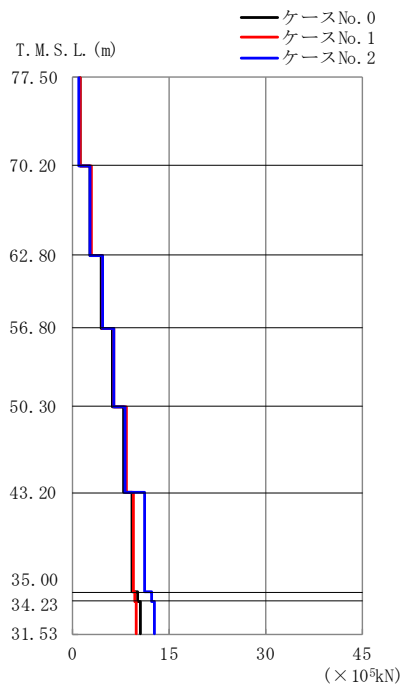
(c) Sd-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	14.0	12.0	18.1
70.20	2	12.3	10.4	16.0
62.80	3	10.7	8.91	13.9
56.80	4	9.19	7.54	12.1
50.30	5	7.63	6.08	10.2
43.20	6	5.94	4.47	8.12
35.00	7	4.11	2.72	5.87
34.23	8	4.02	2.69	5.74
31.53	9	3.76	2.65	5.38

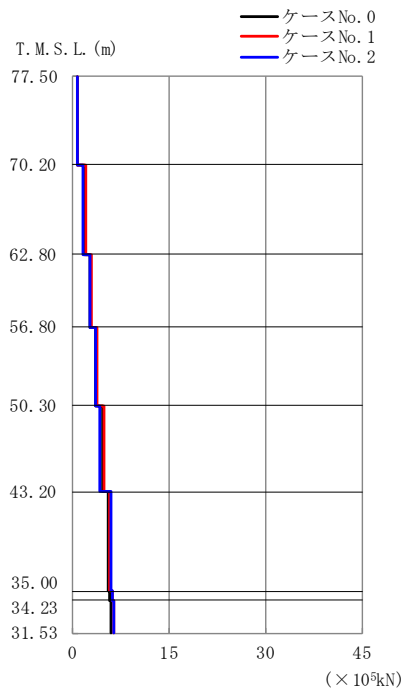
(d) Sd-C1

第4.2-21図 最大応答変位 (NS方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.12	1.20	1.08
70.20	2	2.72	2.96	2.76
62.80	3	4.52	4.63	4.57
56.80	4	6.27	6.41	6.34
50.30	5	8.00	8.30	8.07
43.20	6	9.29	9.43	11.31
35.00	7	10.10	9.66	12.28
34.23	8	10.63	9.89	12.71
31.53				

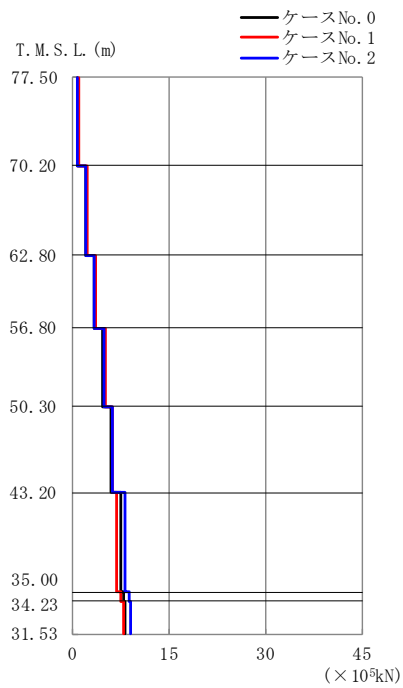
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.72	0.77	0.67
70.20	2	1.74	1.96	1.69
62.80	3	2.71	2.99	2.64
56.80	4	3.65	3.89	3.50
50.30	5	4.57	4.83	4.24
43.20	6	5.61	5.85	5.87
35.00	7	5.86	6.14	6.19
34.23	8	6.09	6.36	6.33
31.53				

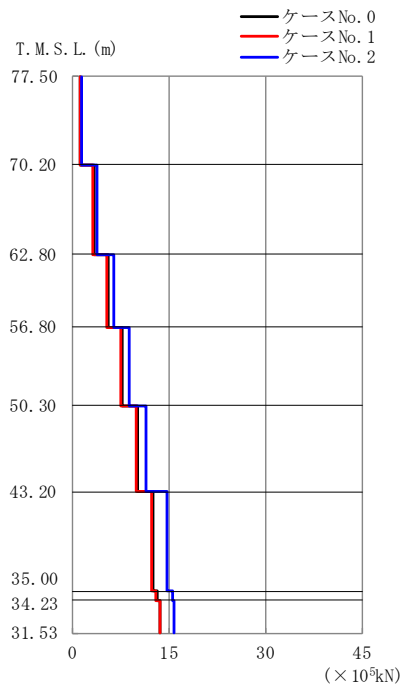
(b) Sd-B1

第4.2-22 図 最大応答せん断力 (NS 方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.74	0.86	0.78
70.20	2	1.98	2.18	2.08
62.80	3	3.29	3.61	3.45
56.80	4	4.61	5.01	4.82
50.30	5	5.96	6.30	6.21
43.20	6	7.44	6.92	8.22
35.00	7	7.94	7.53	8.79
34.23	8	8.24	7.95	9.03
31.53				

(c) Sd-B3

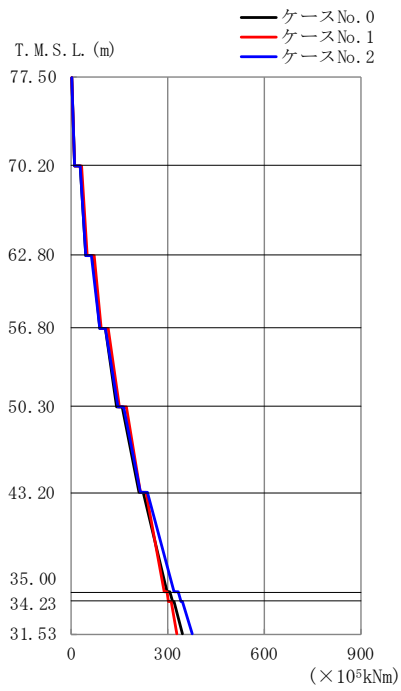


T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.20	1.19	1.39
70.20	2	3.29	3.20	3.87
62.80	3	5.52	5.36	6.40
56.80	4	7.71	7.58	8.88
50.30	5	10.03	9.84	11.40
43.20	6	12.41	12.23	14.61
35.00	7	13.17	13.00	15.52
34.23	8	13.59	13.53	15.84
31.53				

(d) Sd-C1

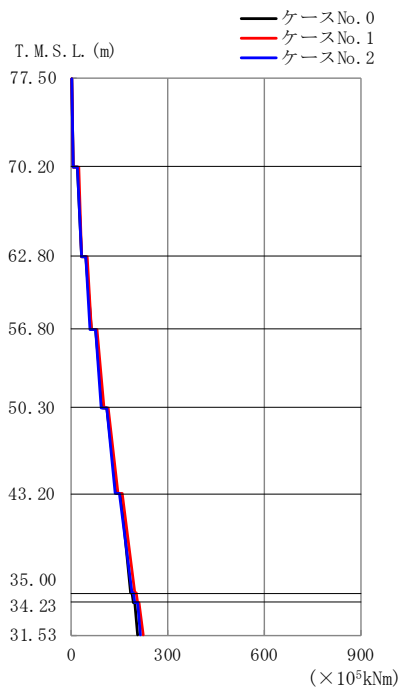
第4.2-22図 最大応答せん断力 (NS方向) (2/2)





T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	9.79	10.44	9.16
70.20	2	45.34	48.73	43.85
62.80	3	87.18	94.16	86.70
56.80	4	139.93	149.94	143.24
50.30	5	208.07	215.80	216.40
43.20	6	297.46	289.91	319.23
35.00	7	313.31	303.21	338.90
34.23	8	344.92	329.46	375.56
31.53				

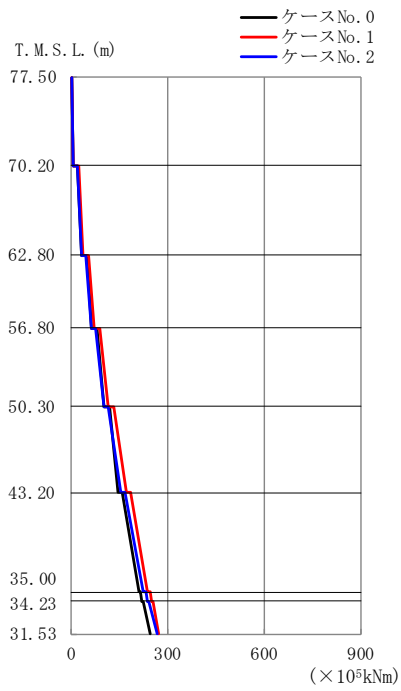
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5$ kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	6.46	6.86	6.16
70.20	2	31.91	33.09	30.77
62.80	3	61.58	63.59	59.49
56.80	4	97.56	101.58	94.23
50.30	5	139.62	147.02	134.76
43.20	6	183.17	196.86	186.99
35.00	7	192.84	206.92	198.22
34.23	8	207.15	223.24	215.65
31.53				

(b) Sd-B1

第4.2-23図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 <sup>5</sup> kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	6.33	7.40	6.38
70.20	2	32.56	36.50	30.68
62.80	3	63.45	71.38	60.36
56.80	4	100.77	114.71	100.77
50.30	5	146.37	169.40	152.84
43.20	6	209.99	235.95	225.14
35.00	7	220.52	248.71	236.94
34.23	8	245.91	272.74	264.89
31.53				

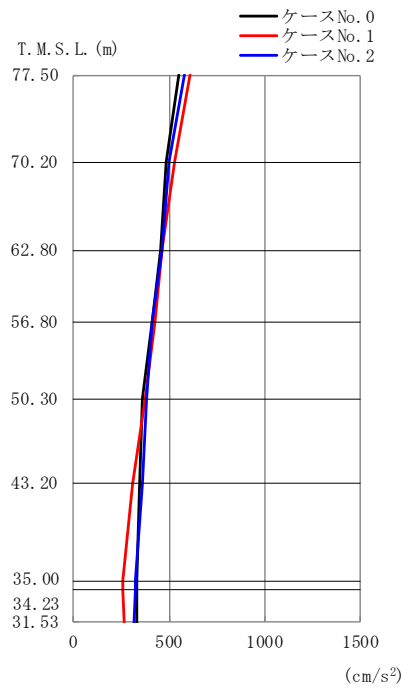
(c) Sd-B3



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 <sup>5</sup> kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	9.74	9.73	11.39
70.20	2	43.71	44.56	53.07
62.80	3	87.77	88.88	105.96
56.80	4	150.22	150.61	179.47
50.30	5	234.92	233.88	275.76
43.20	6	349.96	347.24	409.47
35.00	7	367.82	365.10	431.31
34.23	8	410.02	407.22	481.14
31.53				

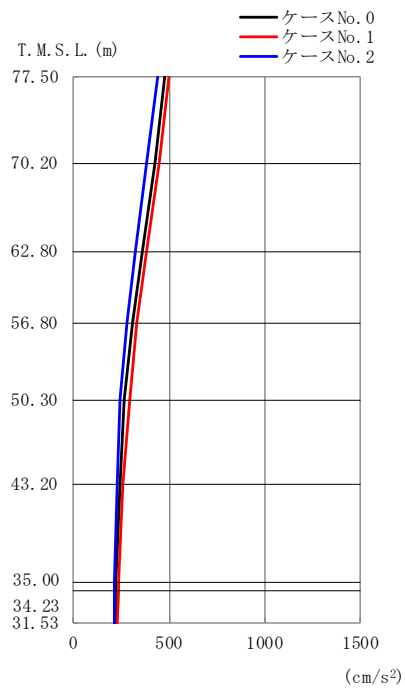
(d) Sd-C1

第4.2-23図 最大応答曲げモーメント (NS方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	552	609	583
70.20	2	487	530	499
62.80	3	452	464	462
56.80	4	411	429	411
50.30	5	363	372	383
43.20	6	342	308	357
35.00	7	333	260	322
34.23	8	334	260	321
31.53	9	334	262	316

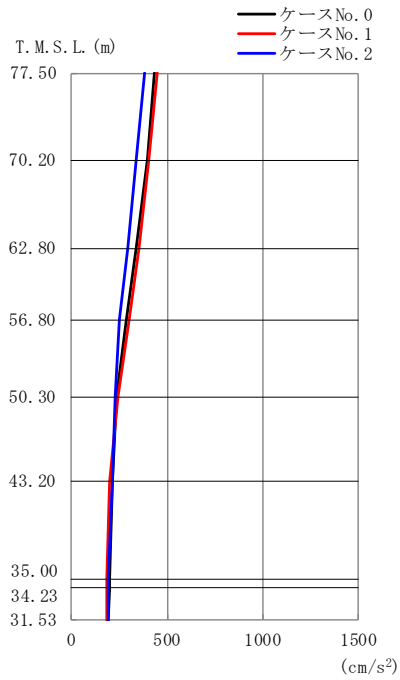
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	479	496	441
70.20	2	424	448	384
62.80	3	362	383	321
56.80	4	308	330	276
50.30	5	267	292	244
43.20	6	243	260	227
35.00	7	218	237	210
34.23	8	218	235	211
31.53	9	218	231	214

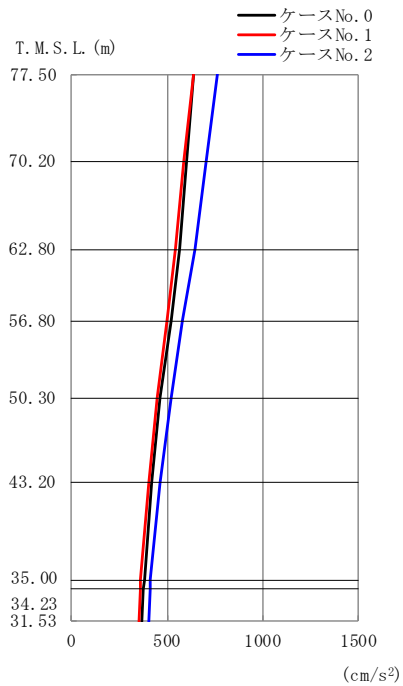
(b) Sd-B1

第 4.2-24 図 最大応答加速度 (EW 方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	436	449	382
70.20	2	394	403	341
62.80	3	337	349	295
56.80	4	289	301	253
50.30	5	233	243	231
43.20	6	214	197	210
35.00	7	197	187	190
34.23	8	196	186	189
31.53	9	195	185	192

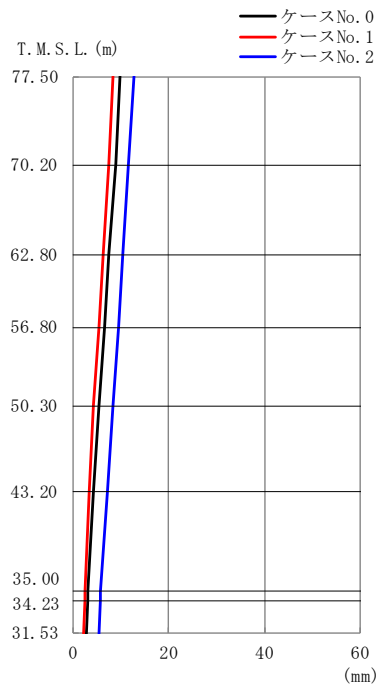
(c) Sd-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	634	639	763
70.20	2	603	590	705
62.80	3	562	546	647
56.80	4	517	499	583
50.30	5	461	447	517
43.20	6	417	404	466
35.00	7	379	362	412
34.23	8	377	360	409
31.53	9	369	351	401

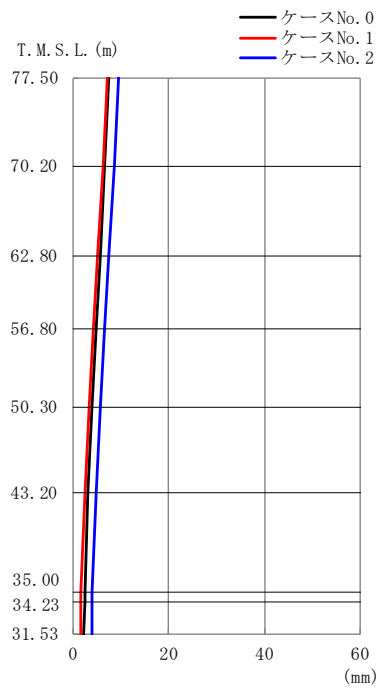
(d) Sd-C1

第 4.2-24 図 最大応答加速度 (EW 方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	9.78	8.19	12.6
70.20	2	8.77	7.30	11.6
62.80	3	7.55	6.28	10.4
56.80	4	6.46	5.36	9.42
50.30	5	5.42	4.32	8.31
43.20	6	4.36	3.23	7.15
35.00	7	3.14	2.36	5.77
34.23	8	3.08	2.34	5.70
31.53	9	2.90	2.26	5.48

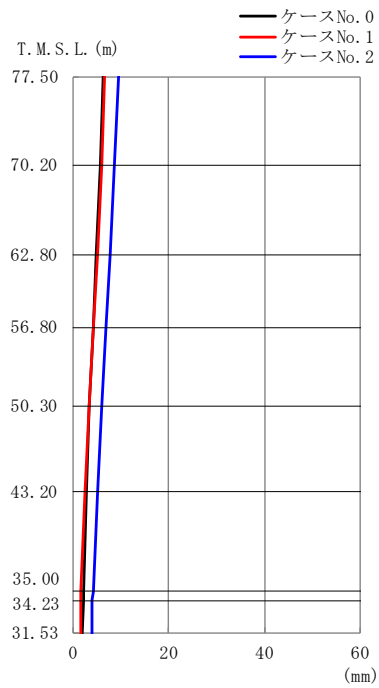
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	7.46	7.12	9.44
70.20	2	6.55	6.26	8.50
62.80	3	5.56	5.20	7.40
56.80	4	4.78	4.27	6.47
50.30	5	3.94	3.23	5.63
43.20	6	3.13	2.45	4.89
35.00	7	2.44	1.70	4.02
34.23	8	2.41	1.66	3.97
31.53	9	2.30	1.54	3.83

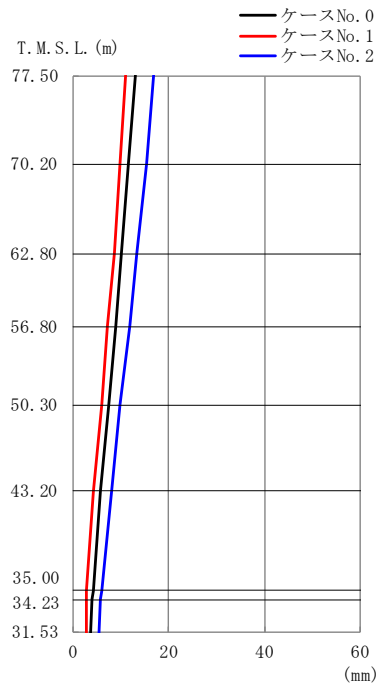
(b) Sd-B1

第4.2-25図 最大応答変位 (EW方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	6.26	6.69	9.51
70.20	2	5.54	5.94	8.72
62.80	3	4.75	5.01	7.79
56.80	4	4.12	4.20	6.98
50.30	5	3.41	3.30	6.09
43.20	6	2.71	2.38	5.15
35.00	7	2.06	1.57	4.10
34.23	8	2.03	1.54	4.05
31.53	9	1.97	1.44	3.87

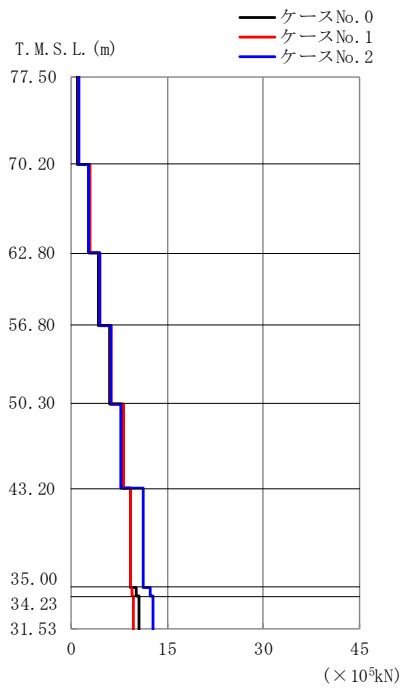
(c) Sd-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	12.9	10.9	16.8
70.20	2	11.7	9.84	15.3
62.80	3	10.2	8.48	13.4
56.80	4	8.89	7.24	11.7
50.30	5	7.38	5.83	9.87
43.20	6	5.78	4.33	7.94
35.00	7	4.11	2.72	5.84
34.23	8	4.02	2.65	5.73
31.53	9	3.76	2.62	5.37

(d) Sd-C1

第4.2-25図 最大応答変位 (EW方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.98	1.08	1.04
70.20	2	2.60	2.86	2.66
62.80	3	4.31	4.53	4.35
56.80	4	6.04	6.22	6.11
50.30	5	7.84	8.05	7.80
43.20	6	9.25	9.20	11.22
35.00	7	10.06	9.49	12.19
34.23	8	10.59	9.75	12.63
31.53				

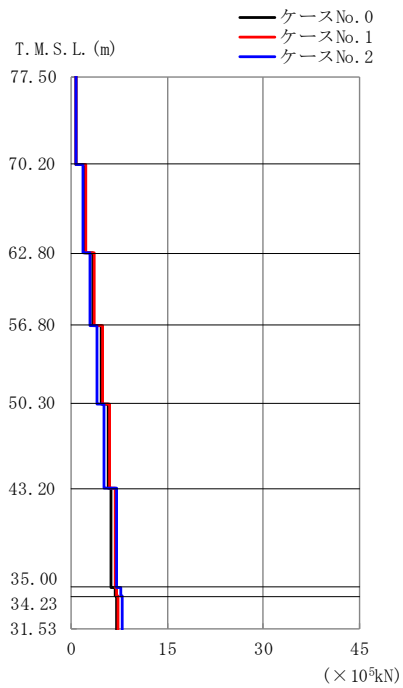
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.85	0.88	0.79
70.20	2	2.28	2.39	2.04
62.80	3	3.64	3.89	3.29
56.80	4	4.96	5.28	4.40
50.30	5	6.14	6.59	5.48
43.20	6	7.23	7.36	7.58
35.00	7	7.54	7.77	7.90
34.23	8	7.76	8.15	7.90
31.53				

(b) Sd-B1

第4.2-26図 最大応答せん断力 (EW方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.77	0.80	0.68
70.20	2	2.10	2.15	1.81
62.80	3	3.43	3.52	2.97
56.80	4	4.67	4.81	4.06
50.30	5	5.80	6.01	5.05
43.20	6	6.20	6.82	7.05
35.00	7	6.77	7.03	7.64
34.23	8	7.14	7.20	7.96
31.53				

(c) Sd-B3

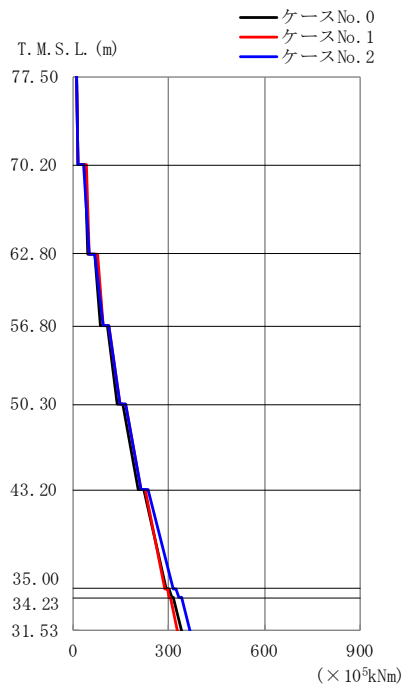


T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	1.13	1.13	1.35
70.20	2	3.15	3.09	3.73
62.80	3	5.34	5.23	6.23
56.80	4	7.60	7.41	8.78
50.30	5	9.87	9.58	11.30
43.20	6	12.25	11.99	14.51
35.00	7	13.05	12.83	15.43
34.23	8	13.50	13.44	15.76
31.53				

(d) Sd-C1

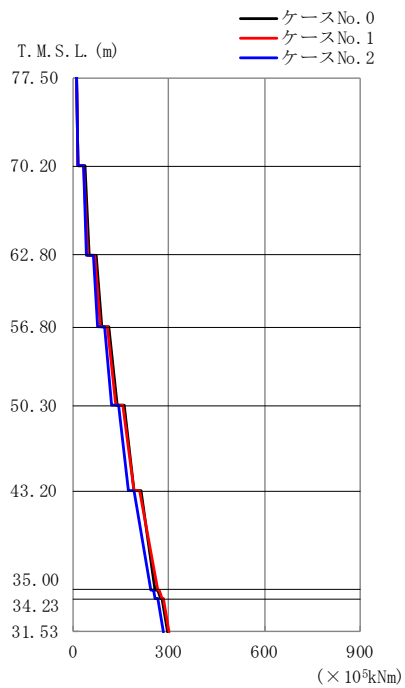
第4.2-26図 最大応答せん断力 (EW方向) (2/2)





T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 <sup>5</sup> kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	16.10	16.93	15.94
70.20	2	47.98	51.12	50.77
62.80	3	87.55	93.36	92.46
56.80	4	139.47	146.41	145.95
50.30	5	204.93	214.20	214.58
43.20	6	292.33	289.50	313.74
35.00	7	308.34	302.34	332.80
34.23	8	339.89	328.27	368.64
31.53				

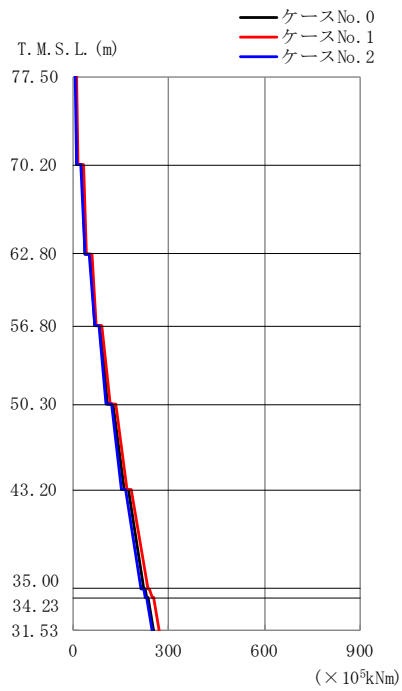
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 <sup>5</sup> kNm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	16.09	15.44	14.10
70.20	2	49.75	48.19	43.83
62.80	3	89.27	86.82	79.11
56.80	4	136.89	133.91	122.09
50.30	5	192.47	191.75	173.58
43.20	6	257.83	263.70	243.48
35.00	7	272.40	277.14	258.56
34.23	8	297.36	302.62	283.33
31.53				

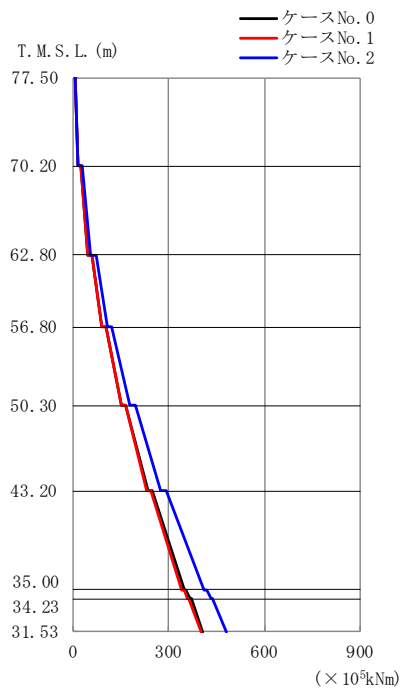
(b) Sd-B1

第4.2-27図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5 \text{kNm}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	12.24	13.59	11.42
70.20	2	38.62	40.70	36.40
62.80	3	70.01	74.34	66.50
56.80	4	108.77	116.41	104.25
50.30	5	161.49	167.21	149.71
43.20	6	219.69	233.85	213.09
35.00	7	230.92	246.02	225.45
34.23	8	250.76	268.54	249.04
31.53				

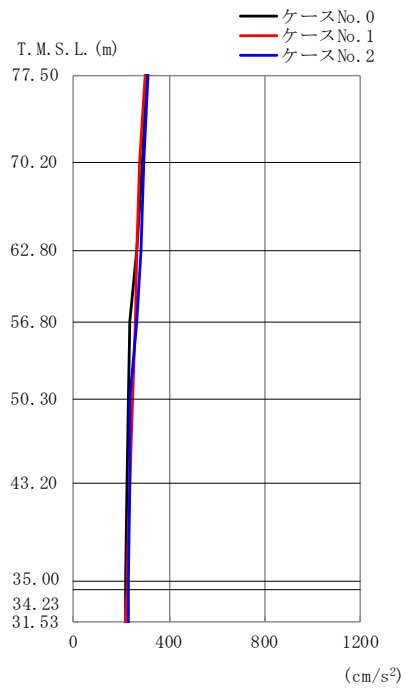
(c) Sd-B3



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5 \text{kNm}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	13.88	14.40	16.77
70.20	2	47.01	48.40	56.32
62.80	3	89.82	91.60	107.27
56.80	4	151.40	151.50	178.83
50.30	5	234.61	231.92	274.62
43.20	6	347.63	341.45	409.63
35.00	7	364.85	358.41	431.05
34.23	8	406.44	399.62	480.42
31.53				

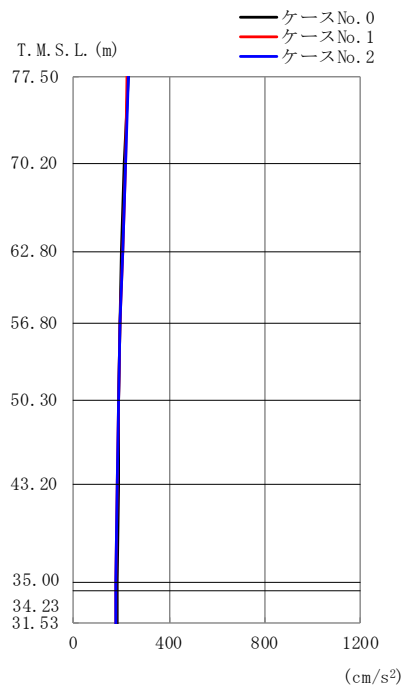
(d) Sd-C1

第4.2-27図 最大応答曲げモーメント (EW方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	307	299	313
70.20	2	288	276	295
62.80	3	264	265	281
56.80	4	237	257	265
50.30	5	232	247	238
43.20	6	224	238	233
35.00	7	218	221	230
34.23	8	218	221	230
31.53	9	217	221	231

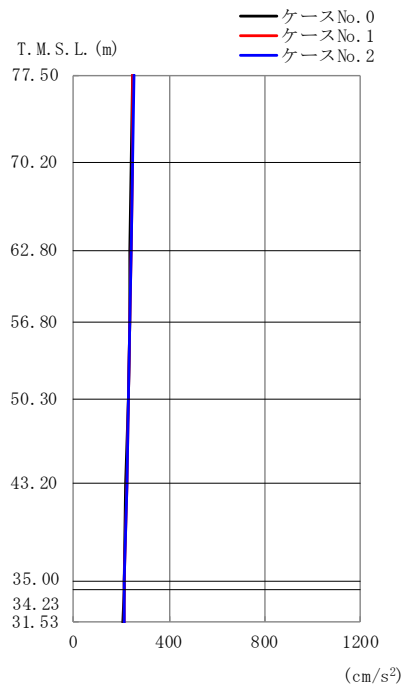
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	229	222	230
70.20	2	215	215	221
62.80	3	201	204	208
56.80	4	193	194	196
50.30	5	190	189	191
43.20	6	186	185	186
35.00	7	181	180	179
34.23	8	181	180	178
31.53	9	181	179	178

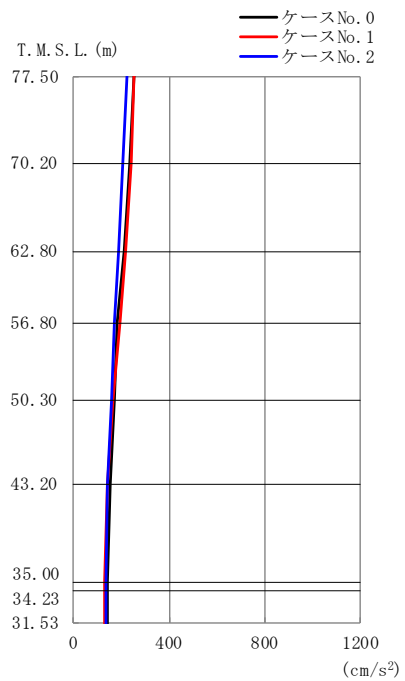
(b) Sd-B1

第 4.2-28 図 最大応答加速度 (鉛直方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	245	249	255
70.20	2	243	247	250
62.80	3	239	242	244
56.80	4	234	237	238
50.30	5	228	231	232
43.20	6	220	222	225
35.00	7	210	212	215
34.23	8	210	211	214
31.53	9	209	210	214

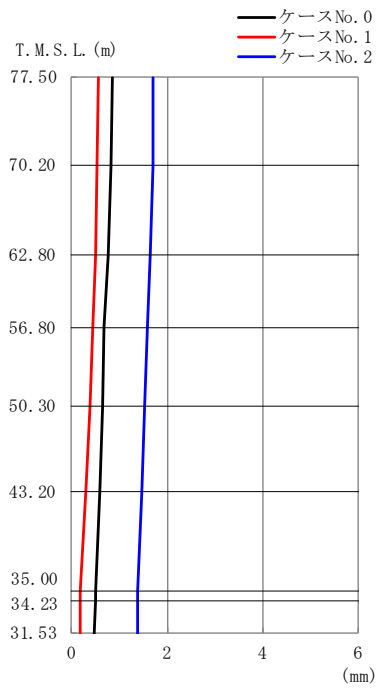
(c) Sd-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	256	255	227
70.20	2	237	239	209
62.80	3	212	218	190
56.80	4	184	192	174
50.30	5	170	166	157
43.20	6	153	143	141
35.00	7	144	131	136
34.23	8	144	130	135
31.53	9	144	129	135

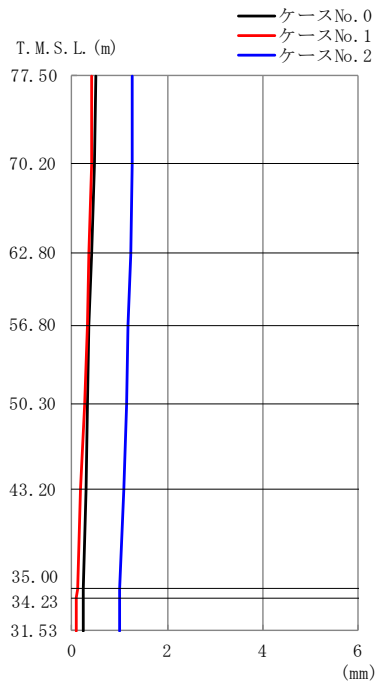
(d) Sd-C1

第4.2-28図 最大応答加速度 (鉛直方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.858	0.576	1.72
70.20	2	0.819	0.540	1.69
62.80	3	0.759	0.490	1.65
56.80	4	0.693	0.440	1.60
50.30	5	0.643	0.374	1.54
43.20	6	0.580	0.290	1.46
35.00	7	0.499	0.182	1.38
34.23	8	0.495	0.177	1.38
31.53	9	0.487	0.167	1.37

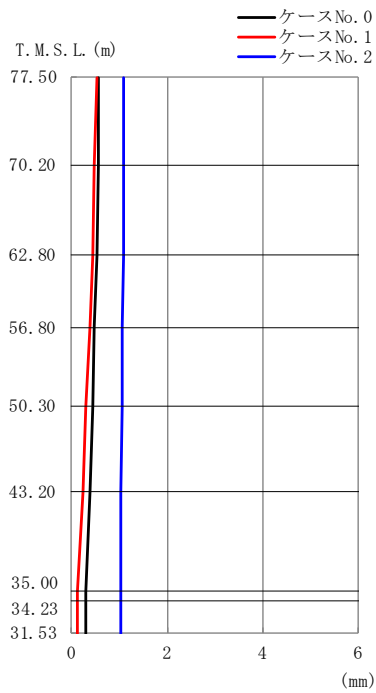
(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.491	0.430	1.28
70.20	2	0.462	0.405	1.26
62.80	3	0.417	0.364	1.22
56.80	4	0.370	0.319	1.19
50.30	5	0.336	0.261	1.14
43.20	6	0.297	0.191	1.08
35.00	7	0.249	0.108	1.01
34.23	8	0.246	0.105	1.00
31.53	9	0.242	0.0984	0.998

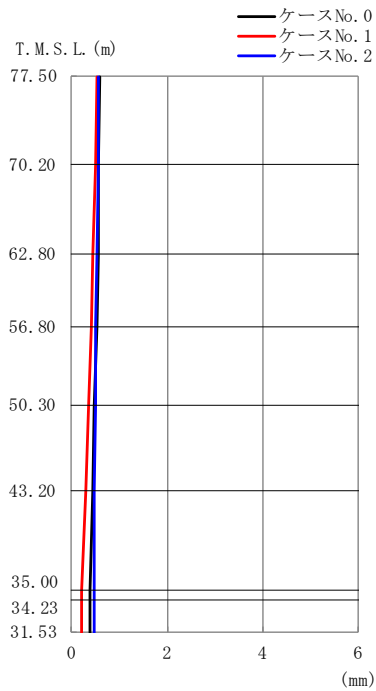
(b) Sd-B1

第4.2-29図 最大応答変位 (鉛直方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.573	0.519	1.10
70.20	2	0.554	0.487	1.08
62.80	3	0.521	0.437	1.08
56.80	4	0.484	0.380	1.07
50.30	5	0.437	0.310	1.06
43.20	6	0.378	0.225	1.04
35.00	7	0.304	0.129	1.03
34.23	8	0.301	0.125	1.03
31.53	9	0.294	0.118	1.02

(c) Sd-B3



T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.601	0.538	0.567
70.20	2	0.575	0.505	0.551
62.80	3	0.550	0.454	0.535
56.80	4	0.520	0.408	0.517
50.30	5	0.481	0.358	0.500
43.20	6	0.435	0.298	0.483
35.00	7	0.392	0.224	0.463
34.23	8	0.390	0.220	0.462
31.53	9	0.386	0.214	0.460

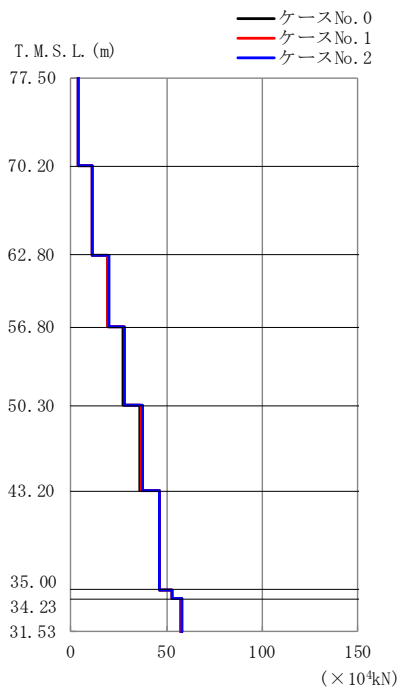
(d) Sd-C1

第4.2-29図 最大応答変位 (鉛直方向) (2/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	5.48	5.42	5.61
70.20	2	15.20	14.68	15.39
62.80	3	25.63	24.55	26.25
56.80	4	36.03	35.01	37.37
50.30	5	46.60	46.90	48.92
43.20	6	56.85	57.90	60.18
35.00	7	63.48	64.39	67.74
34.23	8	68.21	69.47	73.15
31.53				

(a) Sd-A



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	4.08	3.94	4.10
70.20	2	11.32	11.18	11.54
62.80	3	19.08	19.21	19.73
56.80	4	27.32	27.71	28.31
50.30	5	36.22	36.89	37.41
43.20	6	45.97	46.05	46.44
35.00	7	52.85	52.57	53.09
34.23	8	57.78	57.44	58.00
31.53				

(b) Sd-B1

第4.2-30図 最大応答軸力 (鉛直方向) (1/2)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	4.38	4.47	4.56
70.20	2	12.60	12.80	13.02
62.80	3	22.03	22.38	22.65
56.80	4	32.31	32.81	33.06
50.30	5	43.77	44.40	44.53
43.20	6	55.60	56.30	56.43
35.00	7	63.65	64.38	64.71
34.23	8	69.40	70.15	70.62
31.53				

(c) Sd-B3



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4$ kN)		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	4.57	4.59	4.01
70.20	2	12.55	12.69	11.00
62.80	3	20.86	21.33	18.10
56.80	4	28.91	29.77	25.49
50.30	5	36.64	38.09	33.30
43.20	6	43.29	45.42	40.65
35.00	7	47.86	49.32	45.04
34.23	8	51.43	52.07	48.16
31.53				

(d) Sd-C1

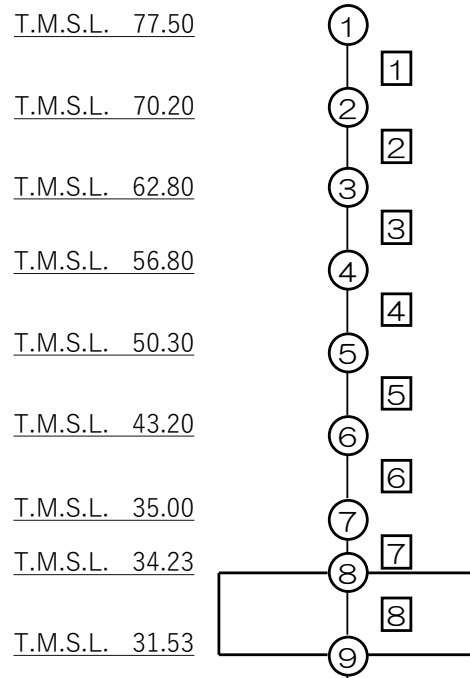
第 4.2-30 図 最大応答軸力 (鉛直方向) (2/2)



第4.2-15表 最大応答せん断ひずみ度 (Sd-A, NS方向)

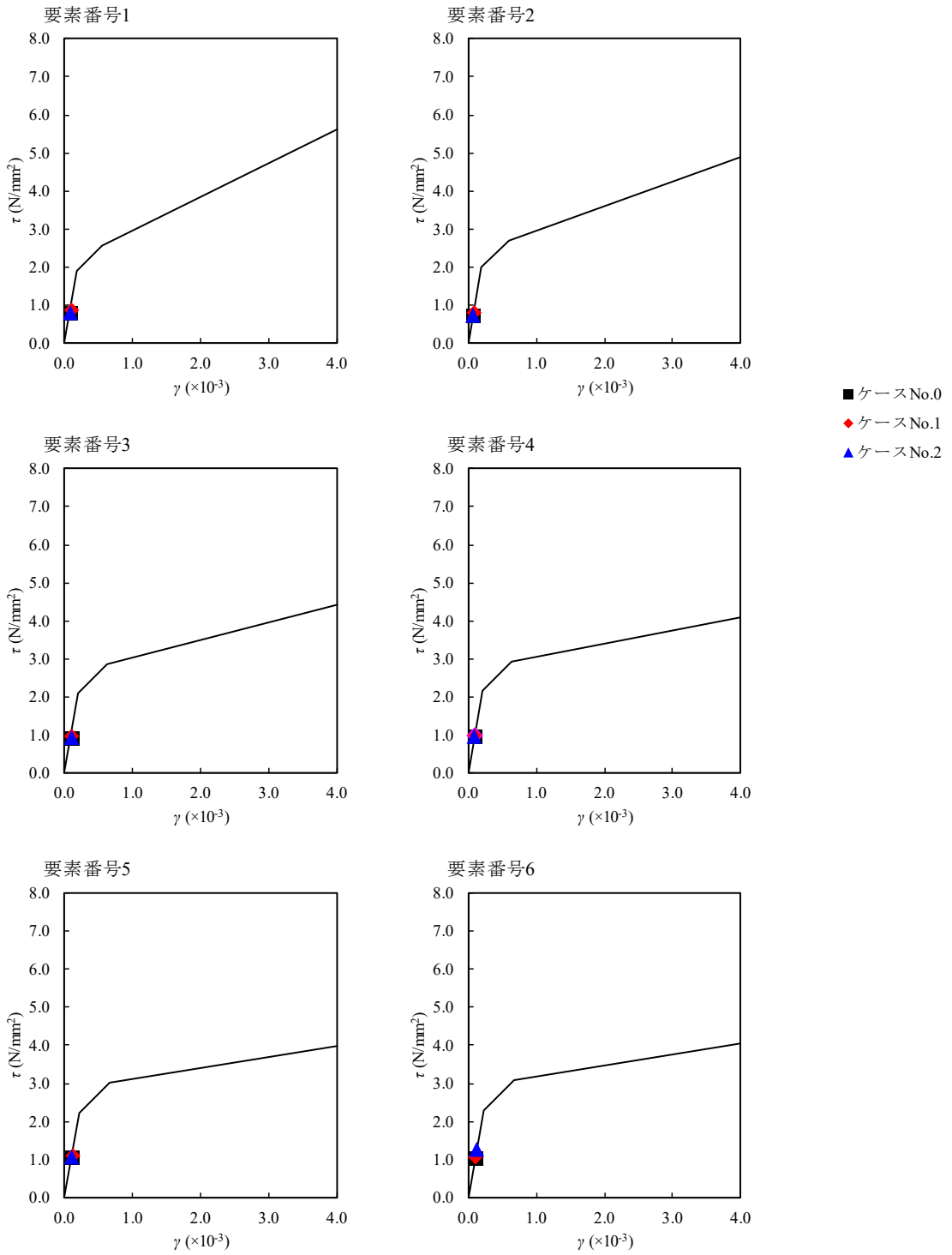
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度 ( $\times 10^{-3}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0825	0.0886	0.0794
70.20				
62.80	2	0.0739	0.0804	0.0749
56.80				
50.30	3	0.0937	0.0959	0.0947
43.20				
35.00	4	0.0963	0.0985	0.0974
	5	0.105	0.109	0.106
	6	0.104	0.106	0.127

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。

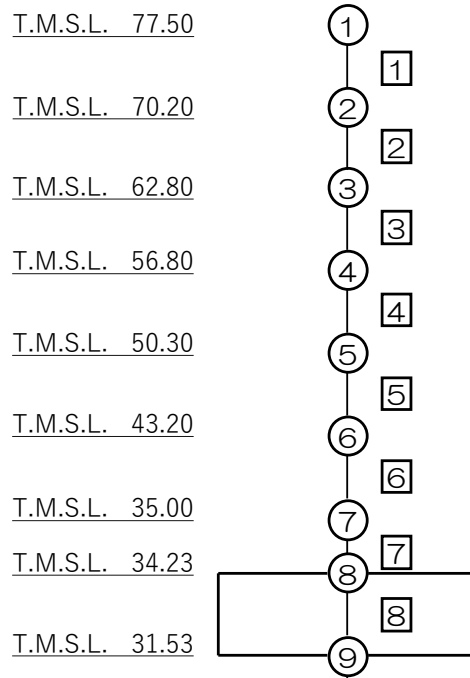


第4.2-31 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Sd-A, NS 方向)

第4.2-16表 最大応答せん断ひずみ度 (Sd-B1, NS 方向)

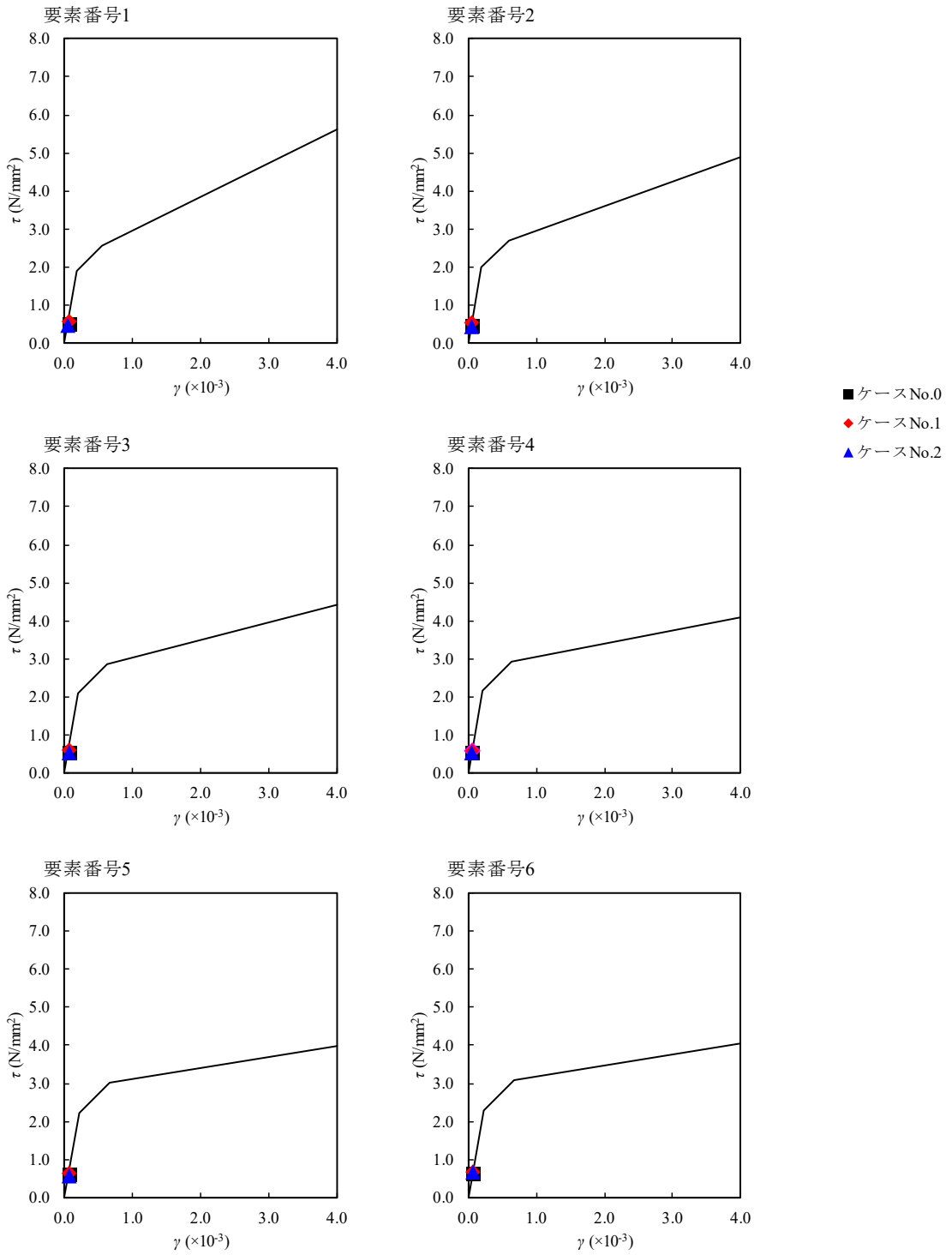
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度 ( $\times 10^{-3}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0528	0.0569	0.0496
70.20				
62.80	2	0.0473	0.0531	0.0458
56.80				
50.30	3	0.0562	0.0621	0.0547
43.20				
35.00	4	0.0561	0.0598	0.0537
	5	0.0599	0.0633	0.0556
35.00	6	0.0630	0.0656	0.0659
	6	0.0630	0.0656	0.0659

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。

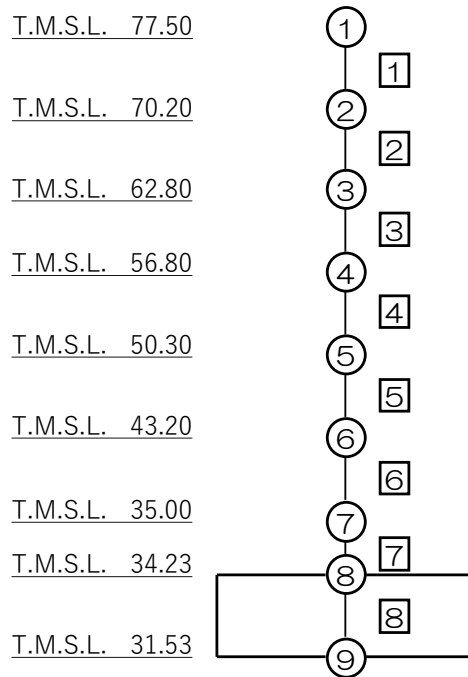


第 4.2-32 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Sd-B1, NS 方向)

第4.2-17表 最大応答せん断ひずみ度 (Sd-B3, NS 方向)

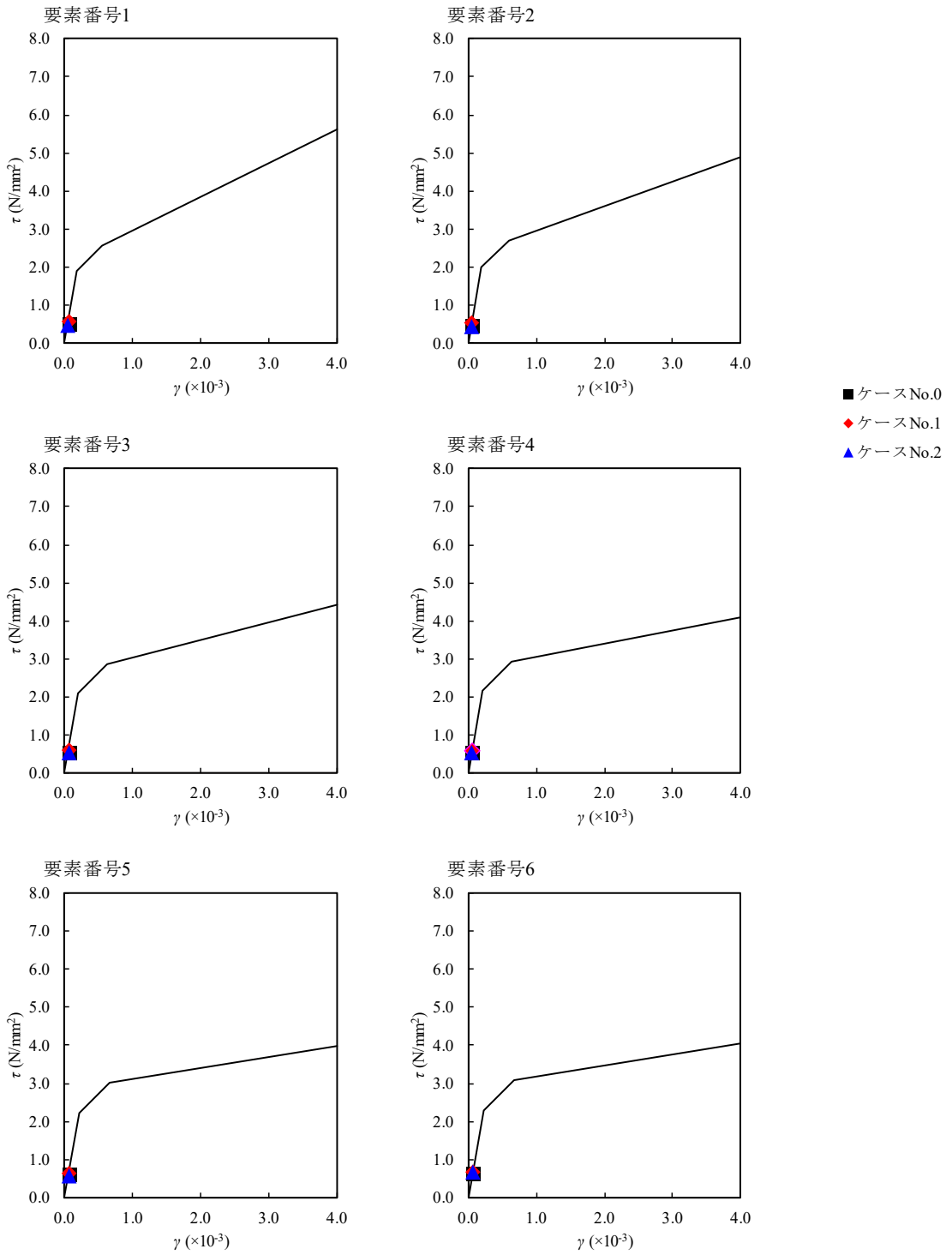
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度 ( $\times 10^{-3}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0543	0.0637	0.0573
70.20				
62.80	2	0.0536	0.0592	0.0565
56.80				
50.30	3	0.0681	0.0749	0.0715
43.20				
35.00	4	0.0708	0.0770	0.0741
	5	0.0782	0.0827	0.0814
	6	0.0836	0.0777	0.0923

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。

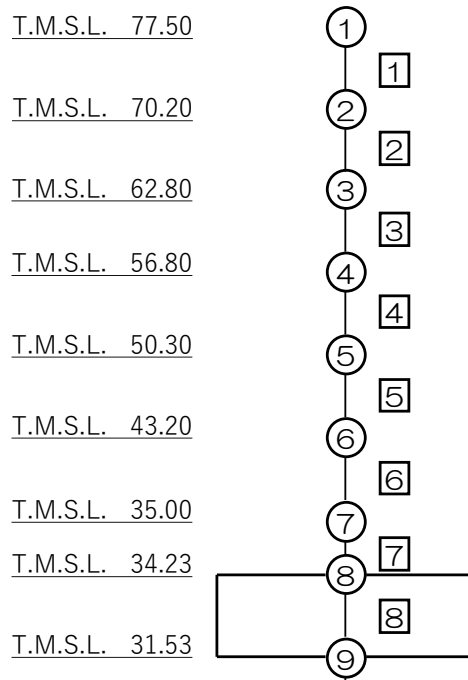


第 4.2-33 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Sd-B3, NS 方向)

第4.2-18表 最大応答せん断ひずみ度 (Sd-C1, NS 方向)

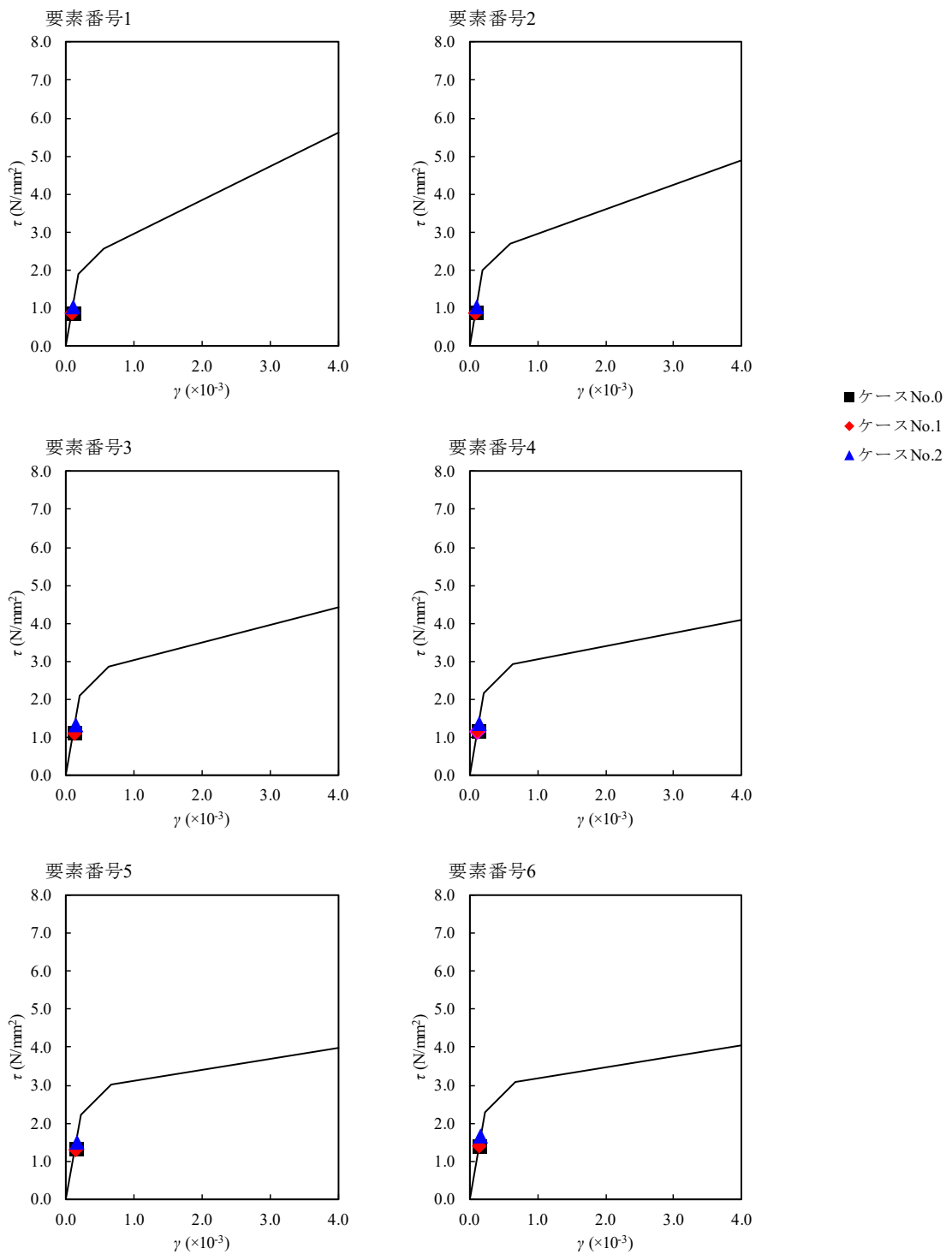
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 <sup>-3</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0887	0.0881	0.103
70.20				
62.80	2	0.0893	0.0867	0.105
56.80				
50.30	3	0.114	0.111	0.133
43.20				
35.00	4	0.118	0.116	0.136
	5	0.132	0.129	0.149
	6	0.139	0.137	0.164

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。



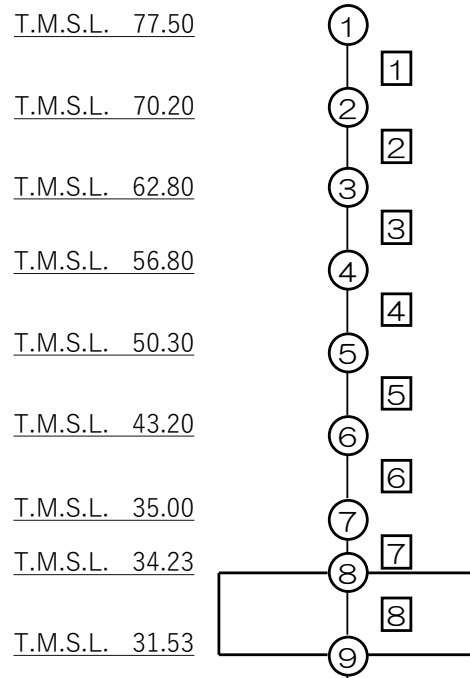
第 4.2-34 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Sd-C1, NS 方向)



第4.2-19表 最大応答せん断ひずみ度 (Sd-A, EW 方向)

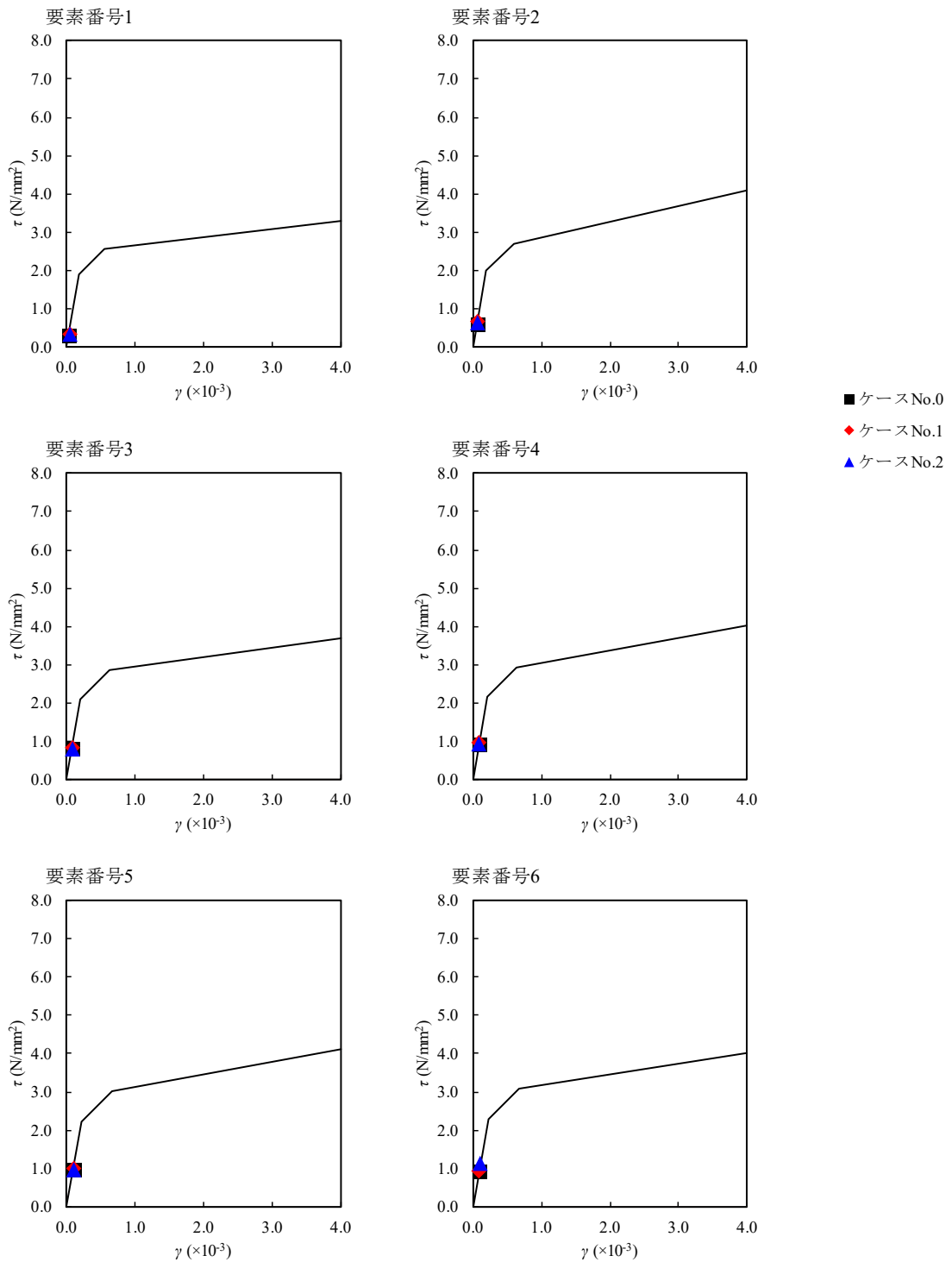
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 <sup>-3</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0321	0.0355	0.0340
70.20				
62.80	2	0.0615	0.0678	0.0629
56.80				
50.30	3	0.0810	0.0852	0.0819
43.20				
35.00	4	0.0938	0.0966	0.0948
35.00	6	0.0932	0.0927	0.113

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。

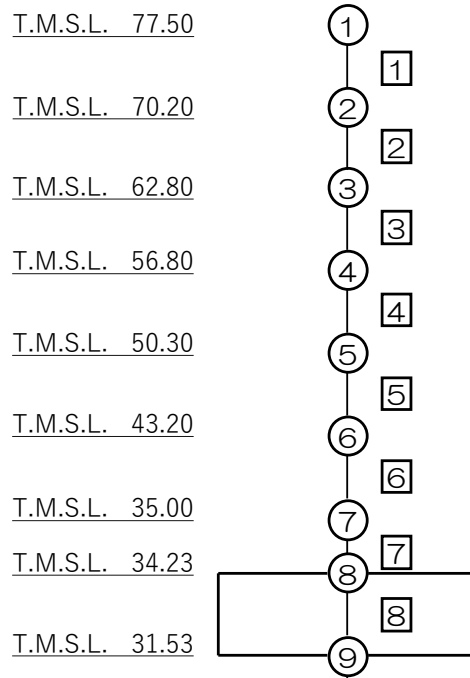


第 4. 2-35 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Sd-A, EW 方向)

第4.2-20表 最大応答せん断ひずみ度 (Sd-B1, EW 方向)

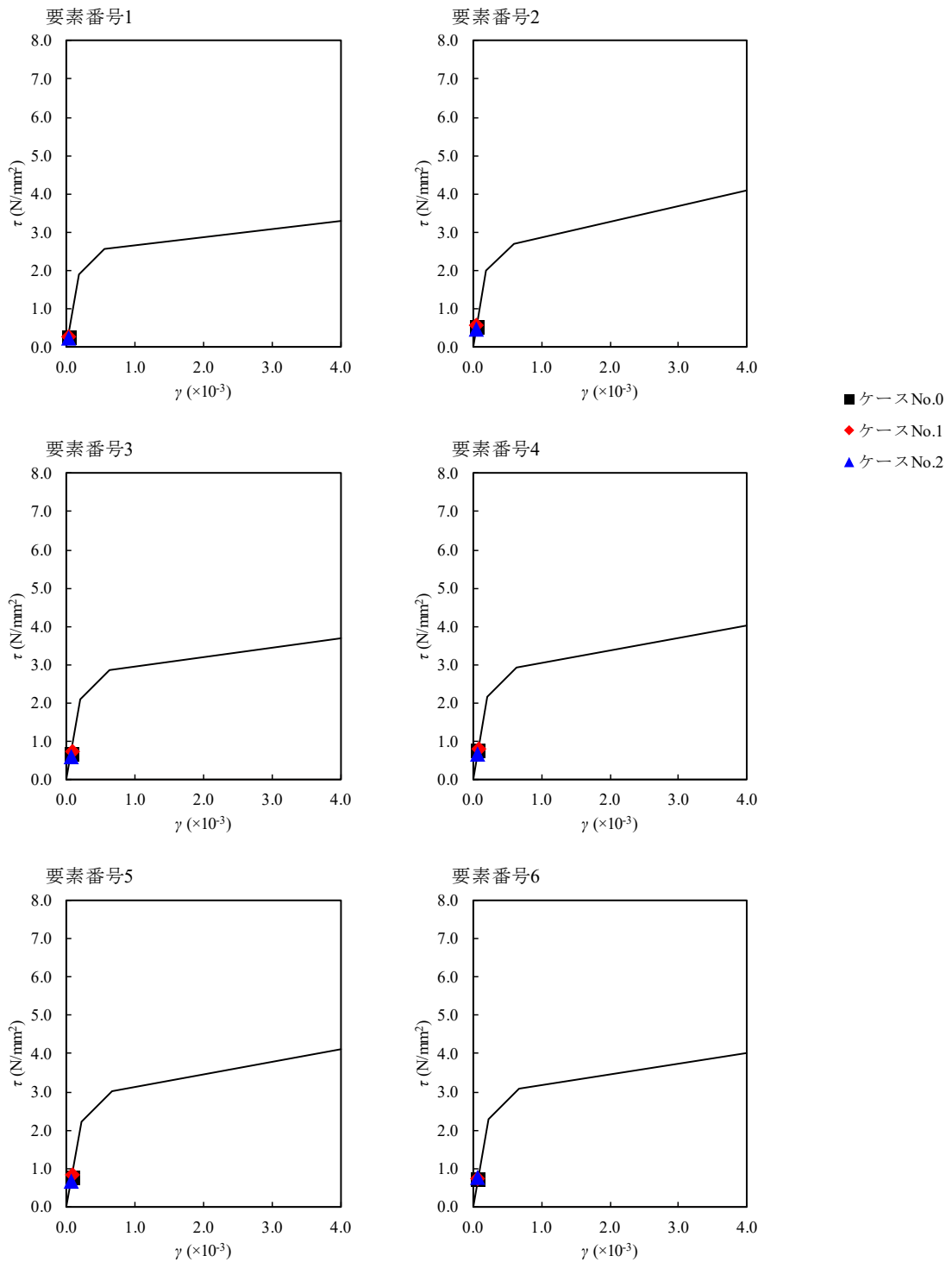
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度 ( $\times 10^{-3}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0279	0.0289	0.0257
70.20				
62.80	2	0.0539	0.0565	0.0484
56.80				
50.30	3	0.0684	0.0732	0.0619
43.20				
35.00	4	0.0770	0.0820	0.0683
	5	0.0763	0.0819	0.0681
	6	0.0728	0.0742	0.0764

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。

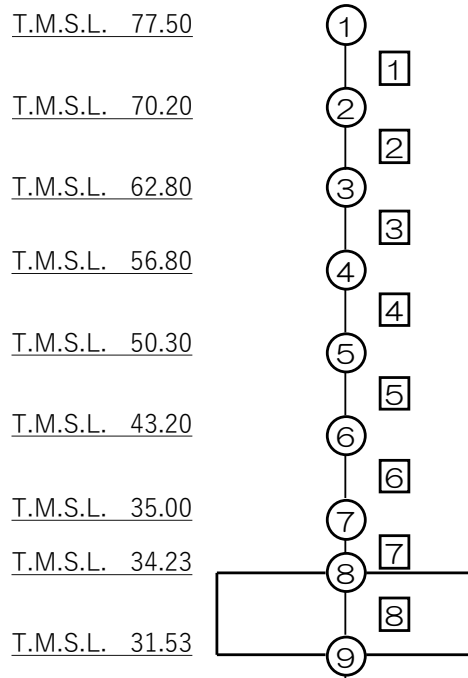


第 4.2-36 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Sd-B1, EW 方向)

第4.2-21表 最大応答せん断ひずみ度 (Sd-B3, EW 方向)

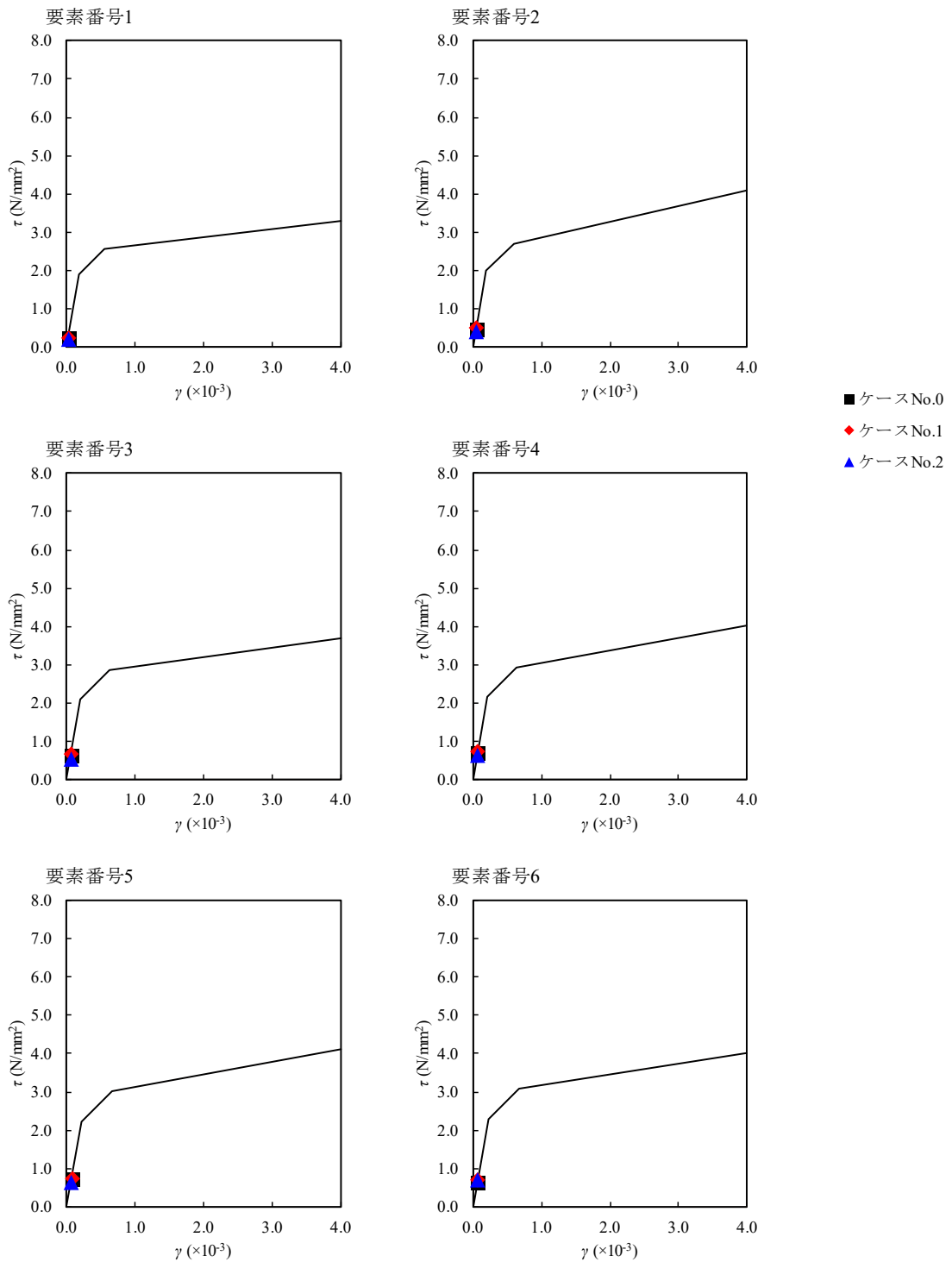
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度(×10 <sup>-3</sup> )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0254	0.0262	0.0222
70.20				
62.80	2	0.0497	0.0510	0.0429
56.80				
50.30	3	0.0644	0.0662	0.0559
43.20				
35.00	4	0.0725	0.0747	0.0631
	5	0.0721	0.0747	0.0628
	6	0.0625	0.0687	0.0711

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。

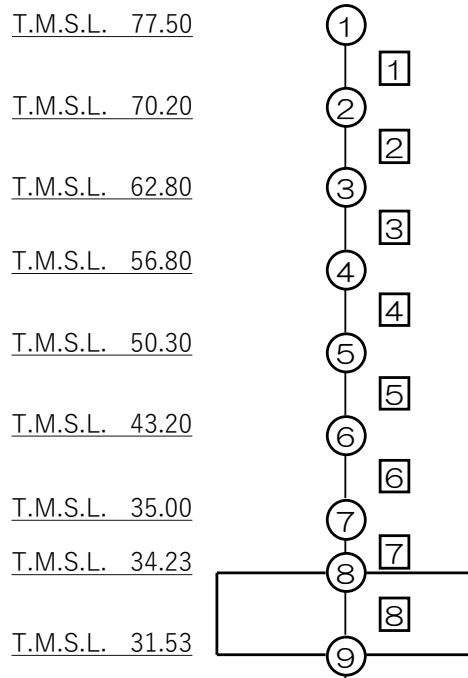


第 4.2-37 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Sd-B3, EW 方向)

第4.2-22表 最大応答せん断ひずみ度 (Sd-C1, EW 方向)

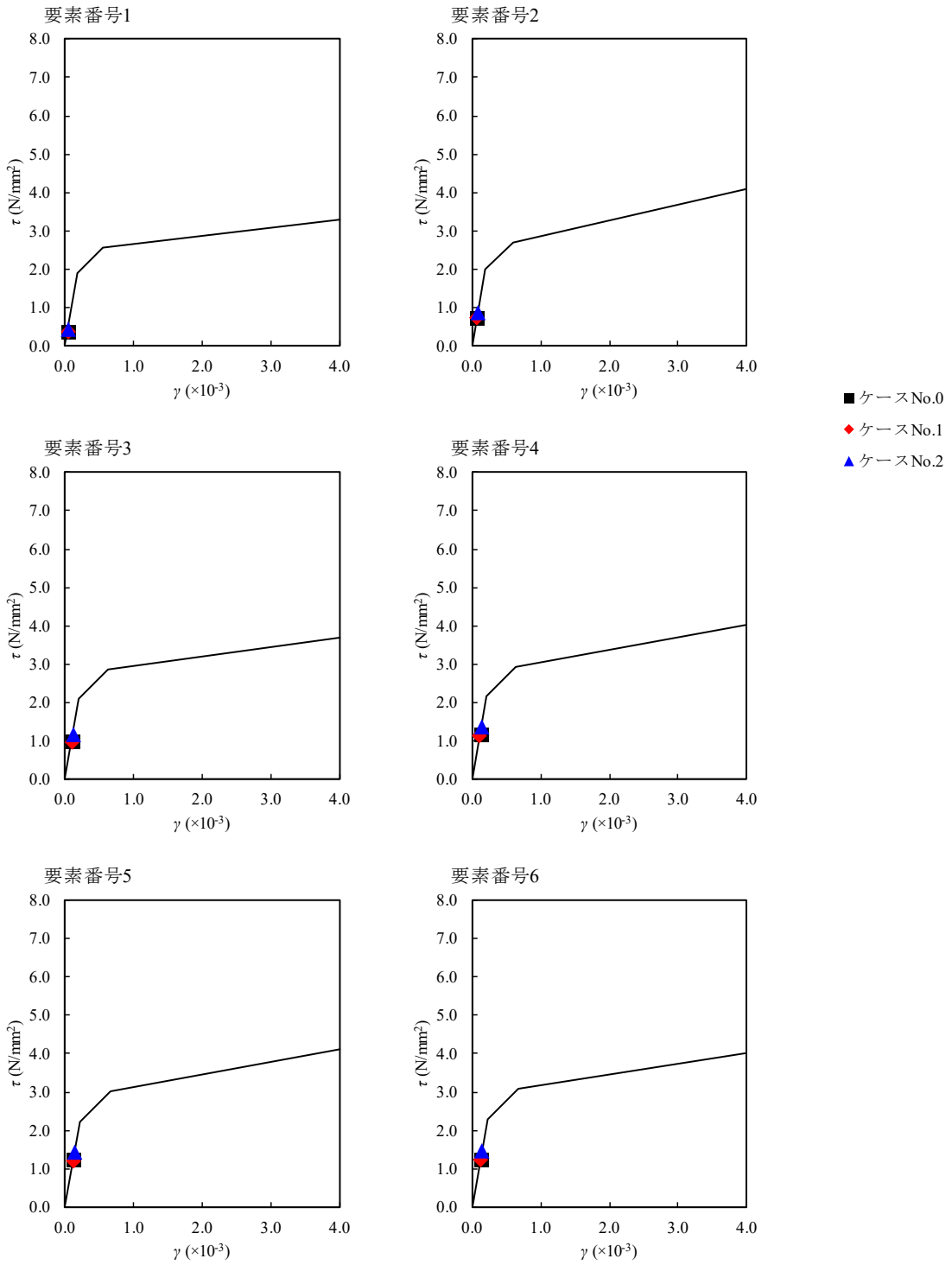
T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答せん断ひずみ度 ( $\times 10^{-3}$ )		
		ケース No. 0	ケース No. 1	ケース No. 2
77.50	1	0.0369	0.0370	0.0444
70.20				
62.80	2	0.0746	0.0732	0.0882
56.80				
50.30	3	0.100	0.0984	0.117
43.20				
35.00	4	0.118	0.115	0.136
	5	0.123	0.119	0.140
	6	0.124	0.121	0.146

(単位：m)



注記 1：○数字は質点番号を示す。

注記 2：□数字は要素番号を示す。



第 4.2-38 図  $\tau - \gamma$  関係と最大応答値 (Sd-C1, EW 方向)



第4.2-23表 浮上り検討（弾性設計用地震動Sd, ケースNo.0）

(a) NS方向

地震動	浮上り限界転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A(H)	4.48	3.41	100
Sd-B1(NS)		2.05	100
Sd-B2(NS)		2.47	100
Sd-B3(NS)		2.45	100
Sd-B4(NS)		2.31	100
Sd-B5(NS)		2.32	100
Sd-C1(NSEW)		4.07	100
Sd-C2(NS)		1.77	100
Sd-C2(EW)		1.66	100
Sd-C3(NS)		2.44	100
Sd-C3(EW)		1.92	100
Sd-C4(NS)		2.26	100
Sd-C4(EW)		3.11	100

(b) EW方向

地震動	浮上り限界転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A(H)	4.53	3.36	100
Sd-B1(EW)		2.94	100
Sd-B2(EW)		2.48	100
Sd-B3(EW)		2.48	100
Sd-B4(EW)		2.09	100
Sd-B5(EW)		2.82	100
Sd-C1(NSEW)		4.04	100
Sd-C2(NS)		1.76	100
Sd-C2(EW)		1.70	100
Sd-C3(NS)		2.48	100
Sd-C3(EW)		1.91	100
Sd-C4(NS)		2.24	100
Sd-C4(EW)		3.10	100

第4.2-24表 浮上り検討（弾性設計用地震動Sd, ケースNo.1）

(a) NS方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A(H)	4.48	3.28	100
Sd-B1(NS)		2.22	100
Sd-B3(NS)		2.71	100
Sd-C1(NSEW)		4.05	100

(b) EW方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A(H)	4.53	3.26	100
Sd-B1(EW)		3.00	100
Sd-B3(EW)		2.66	100
Sd-C1(NSEW)		3.98	100

第4.2-25表 浮上り検討（弾性設計用地震動Sd, ケースNo.2）

(a) NS方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A(H)	4.48	3.71	100
Sd-B1(NS)		2.13	100
Sd-B3(NS)		2.63	100
Sd-C1(NSEW)		4.78	100

(b) EW方向

地震動	浮上り限界転倒 モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	最小接地率算出時の 転倒モーメント ( $\times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m}$ )	接地率 (%)
Sd-A(H)	4.53	3.64	100
Sd-B1(EW)		2.80	100
Sd-B3(EW)		2.46	100
Sd-C1(NSEW)		4.75	100

第 4. 2-26 表 最大接地圧 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 0) (1/2)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Sd-A	NS	鉛直上向き	702
		鉛直下向き	777
	EW	鉛直上向き	694
		鉛直下向き	769
Sd-B1	NS	鉛直上向き	583
		鉛直下向き	648
	EW	鉛直上向き	662
		鉛直下向き	727
Sd-B2	NS	鉛直上向き	623
		鉛直下向き	683
	EW	鉛直上向き	622
		鉛直下向き	683
Sd-B3	NS	鉛直上向き	610
		鉛直下向き	688
	EW	鉛直上向き	612
		鉛直下向き	690
Sd-B4	NS	鉛直上向き	608
		鉛直下向き	666
	EW	鉛直上向き	588
		鉛直下向き	646
Sd-B5	NS	鉛直上向き	602
		鉛直下向き	677
	EW	鉛直上向き	642
		鉛直下向き	717

第 4. 2-26 表 最大接地圧（弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 0）（2/2）

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Sd-C1	NS	鉛直上向き	768
		鉛直下向き	825
	EW	鉛直上向き	760
		鉛直下向き	817
Sd-C2 (NS)	NS	鉛直上向き	564
		鉛直下向き	616
	EW	鉛直上向き	561
		鉛直下向き	613
Sd-C2 (EW)	NS	鉛直上向き	555
		鉛直下向き	607
	EW	鉛直上向き	557
		鉛直下向き	609
Sd-C3 (NS)	NS	鉛直上向き	623
		鉛直下向き	683
	EW	鉛直上向き	625
		鉛直下向き	685
Sd-C3 (EW)	NS	鉛直上向き	573
		鉛直下向き	633
	EW	鉛直上向き	570
		鉛直下向き	629
Sd-C4 (NS)	NS	—	634
	EW	—	631
Sd-C4 (EW)	NS	—	713
	EW	—	709

第 4. 2-27 表 最大接地圧 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 1)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Sd-A	NS	鉛直上向き	685
		鉛直下向き	764
	EW	鉛直上向き	681
		鉛直下向き	759
Sd-B1	NS	鉛直上向き	597
		鉛直下向き	661
	EW	鉛直上向き	666
		鉛直下向き	730
Sd-B3	NS	鉛直上向き	634
		鉛直下向き	713
	EW	鉛直上向き	628
		鉛直下向き	707
Sd-C1	NS	鉛直上向き	766
		鉛直下向き	822
	EW	鉛直上向き	754
		鉛直下向き	811

第 4. 2-28 表 最大接地圧 (弾性設計用地震動 Sd, ケース No. 2)

地震動	方向		最大接地圧 (kN/m <sup>2</sup> )
Sd-A	NS	鉛直上向き	727
		鉛直下向き	809
	EW	鉛直上向き	717
		鉛直下向き	799
Sd-B1	NS	鉛直上向き	591
		鉛直下向き	656
	EW	鉛直上向き	650
		鉛直下向き	715
Sd-B3	NS	鉛直上向き	626
		鉛直下向き	705
	EW	鉛直上向き	611
		鉛直下向き	690
Sd-C1	NS	鉛直上向き	837
		鉛直下向き	888
	EW	鉛直上向き	831
		鉛直下向き	883

参考資料

燃料加工建屋における  
建屋物性のばらつきによる  
建屋応答への影響に関する考察



## 目 次

1.	概要 .....	参考-1
2.	建屋物性のばらつきの設定 .....	参考-2
2.1	コンクリート強度による建屋物性のばらつきの設定 .....	参考-2
2.2	補助壁の考慮による建屋物性のばらつきの設定 .....	参考-4
3.	地震応答解析による建屋物性のばらつきの影響検討 .....	参考-14
3.1	固有値解析結果 .....	参考-15
3.2	地震応答解析結果 .....	参考-19

## 1. 概要

本資料は、別紙2の参考資料として、燃料加工建屋における建屋物性のばらつきによる建屋応答への影響について説明するものである。

建屋物性のばらつきについては、コンクリート強度を実強度とし、耐震壁に加え補助壁を剛性に考慮することが考えられるが、建物・構築物の耐力及び剛性が向上することから、添付書類「Ⅲ-3-1-1-1 燃料加工建屋の地震応答計算書」の基本ケース（ケースNo.0）（以下、「基本ケース」という。）の地震応答解析結果に比べ、応答せん断ひずみ度は小さくなると考えられる。

このことから、建屋物性のばらつきを考慮したケースに比べ、基本ケースは保守的な評価であるため、建屋物性のばらつきは考慮しないこととしている。

上記を踏まえ、建屋物性のばらつきを考慮した場合の建屋応答に及ぼす影響について、基本ケースの地震応答解析結果との比較により確認する。

## 2. 建屋物性のばらつきの設定

### 2.1 コンクリート強度による建屋物性のばらつきの設定

建屋物性のばらつきとして考慮するコンクリートの実強度については、本文「2.1.2 建屋物性のばらつきの設定条件」に基づき設定する。

旧調合として既認可での使用前検査の実績である、2014年、2015年の基礎スラブ及び地下3階壁・柱等のコンクリートの56日強度データの統計値及び、新調合として2015年以降（2021年）のデータである現在建設中の地下3階壁・床等の28日強度データの統計値を第2.1-1表に示す。コンクリート強度のばらつきの設定結果を第2.1-2表に示す。

2014年、2015年のコンクリート及び2015年以降のコンクリートについては、設計基準強度は等しいが、JASS5Nの準拠している年度版が異なる\*ため、調合が若干異なっている。

新旧調合によるコンクリートの圧縮強度試験結果を比較すると、旧調合の既認可での使用前検査の実績であるコンクリートの圧縮強度試験結果の平均値は、 $43.8\text{N/mm}^2$ であるのに対して、新調合でのコンクリートの圧縮強度試験結果の平均値は、 $48.4\text{N/mm}^2$ と値が大きくなっている。建屋剛性のばらつきに対する検討としては、建屋剛性のばらつき幅を大きく設定する方が保守的な検討となると考えられることから、基本ケースでのコンクリート強度 $30\text{N/mm}^2$ に対して強度が大きくなるように、新調合での圧縮強度試験結果の平均値を切り上げた $50\text{N/mm}^2$ を実強度として検討を実施することとする。また、当該実強度は、「原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準（（社）日本原子力学会、2015）」にコンクリート実強度の統計値として記載される、設計基準強度の1.4倍以上の値となることを確認している。

\*：2014年、2015年のコンクリートについては「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5N 原子力発電所施設における鉄筋コンクリート工事（（社）日本建築学会、2001）（以下、「JASS5N2001年版」という）」に準拠する調合となっている。2015年以降（2021年）のコンクリートは「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5N 原子力発電所施設における鉄筋コンクリート工事（（社）日本建築学会、2013）（以下、「JASS5N2013年版」という）」に適合する調合となっている。

第 2.1-1 表 コンクリートの圧縮強度データの統計値

(a) 旧調査のコンクリートの 56 日強度データ

検査 実施年	データの 位置付け	打設箇所	平均値 (N/mm <sup>2</sup> )	標準偏差 (N/mm <sup>2</sup> )	最大値 (N/mm <sup>2</sup> )	最小値 (N/mm <sup>2</sup> )	中央値 (N/mm <sup>2</sup> )	データ数 (個)
2014 年, 2015 年	既認可での使用前検査の実績	基礎 +地下 3 階	43.8	4.36	56.0	36.5	42.7	83

(b) 新調査のコンクリートの 28 日強度データ

検査 実施年	データの 位置付け	打設箇所	平均値 (N/mm <sup>2</sup> )	標準偏差 (N/mm <sup>2</sup> )	最大値 (N/mm <sup>2</sup> )	最小値 (N/mm <sup>2</sup> )	中央値 (N/mm <sup>2</sup> )	データ数 (個)
2021 年	自主検査	地下 3 階	48.4	1.60	50.8	44.2	48.9	18

\* : 新調査では JASS5N2001 年版から JASS5N2013 年版に基づく管理に変更したため、データの材齢が異なる

第 2.1-2 表 コンクリート強度のばらつきの設定結果

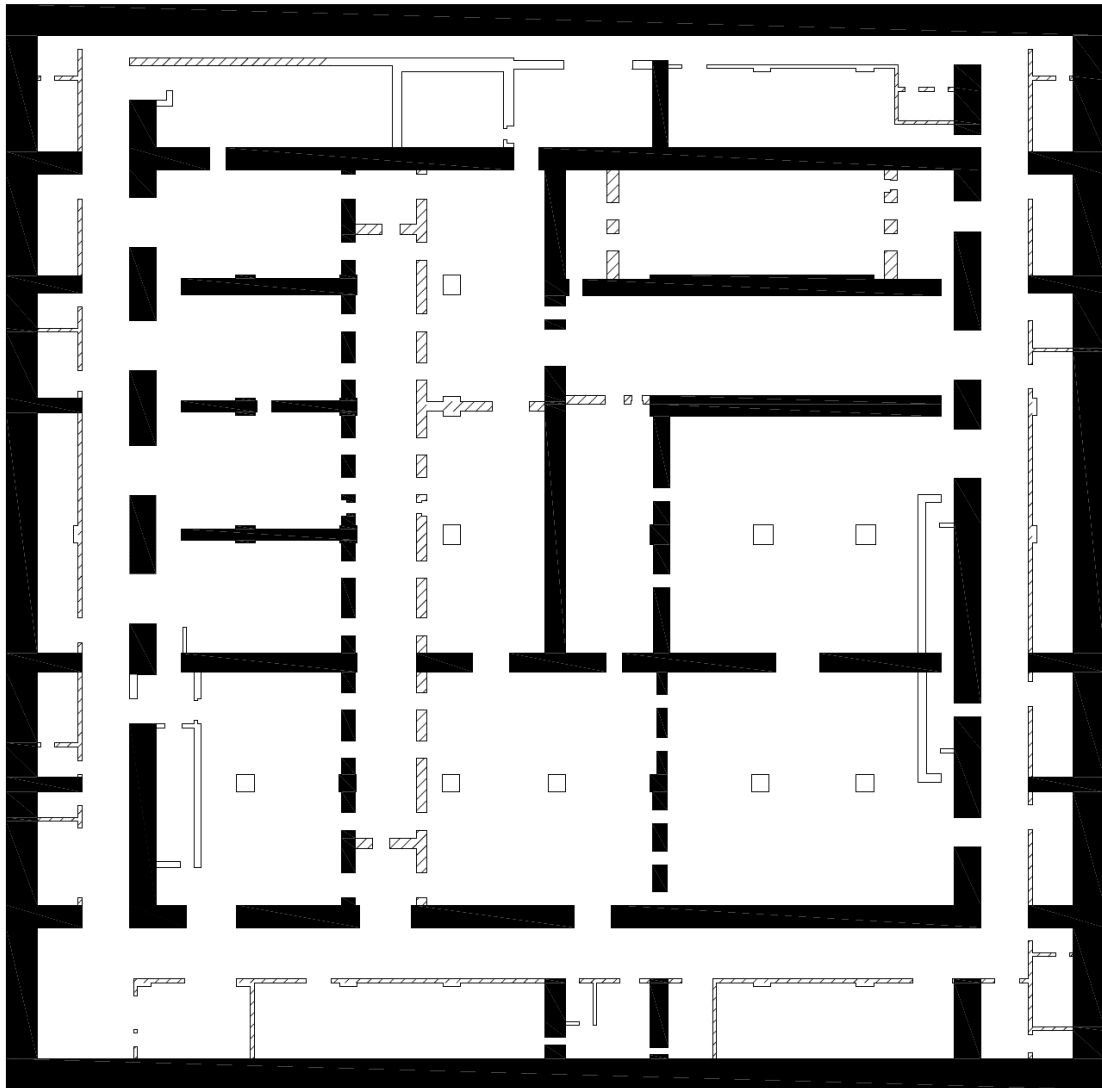
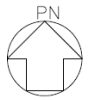
	コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> )	ヤング係数 (N/mm <sup>2</sup> )
基本ケース (設計基準強度)	30	2.44 × 10 <sup>4</sup>
実強度	50 (1.67)	2.90 × 10 <sup>4</sup> (1.19)

注記 : ( ) 内は、基本ケースに対する比率を示す。

## 2.2 補助壁の考慮による建屋物性のばらつきの設定

本文「2.1.2 建屋物性のばらつきの設定条件」に基づき、建屋物性のばらつきとして考慮する補助壁を選定する。

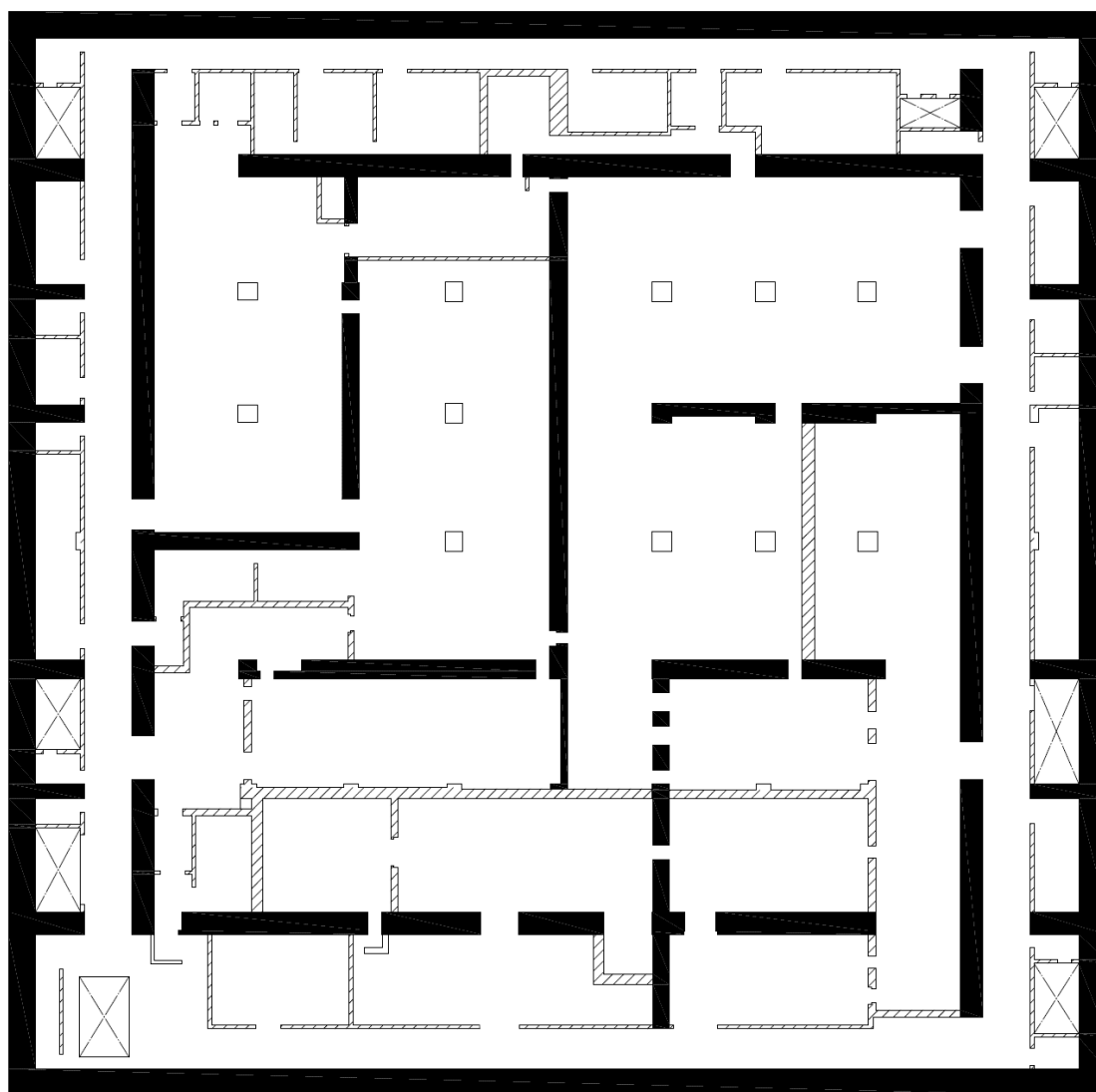
建屋物性のばらつきとして考慮する補助壁を第 2.2-1 図に、補助壁を考慮した場合のせん断断面積及び軸断面積を第 2.2-1 表に示す。



■ : 耐震壁

▨ : 補助壁

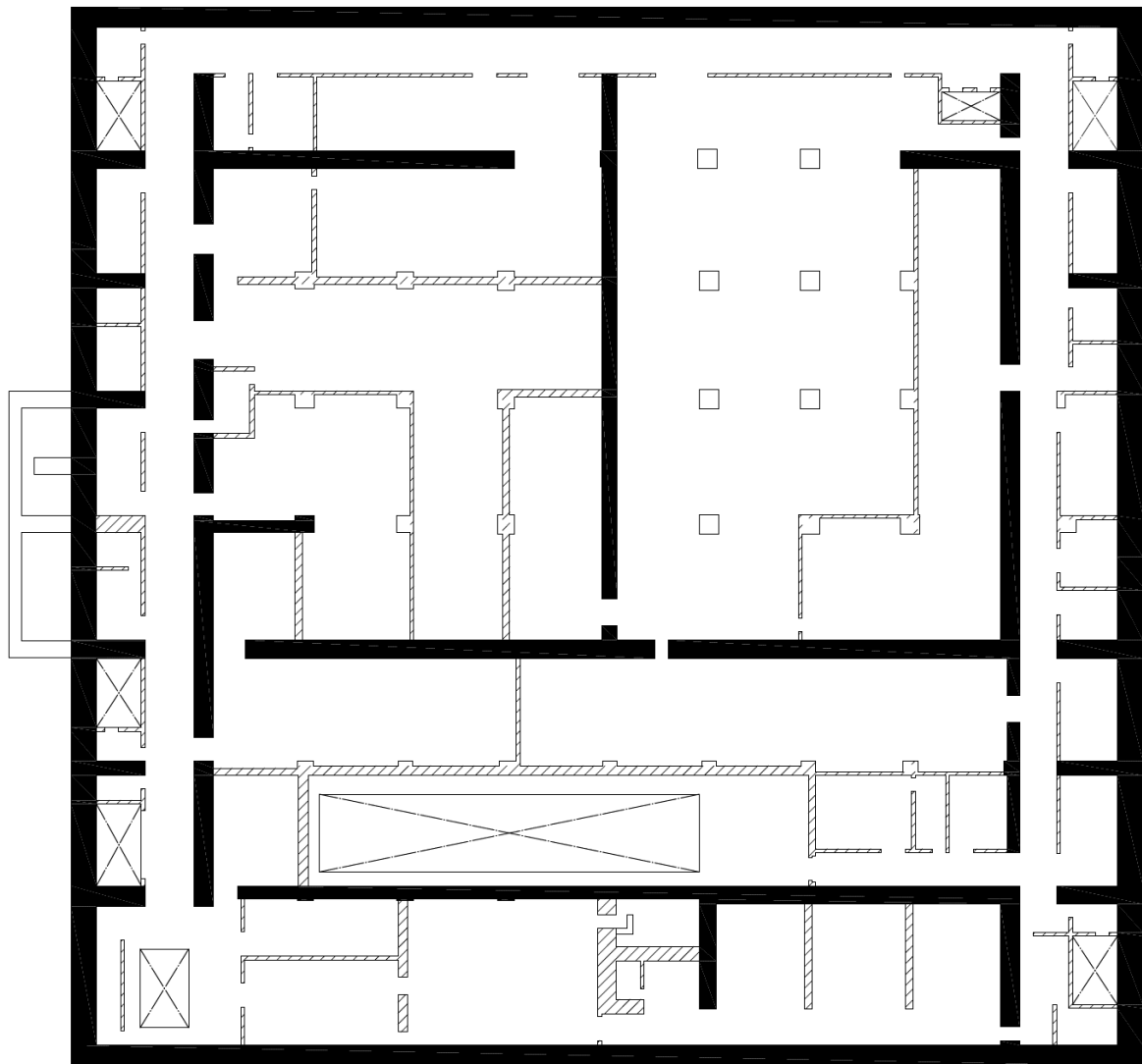
第 2.2-1 図 燃料加工建屋の建屋物性のばらつきとして考慮している  
補助壁 (1/6) (T. M. S. L. 43.20m~T. M. S. L. 35.00m)



■ : 耐震壁

▨ : 補助壁

第 2.2-1 図 燃料加工建屋の建屋物性のばらつきとして考慮している  
補助壁 (2/6) (T. M. S. L. 50.30m~T. M. S. L. 43.20m)

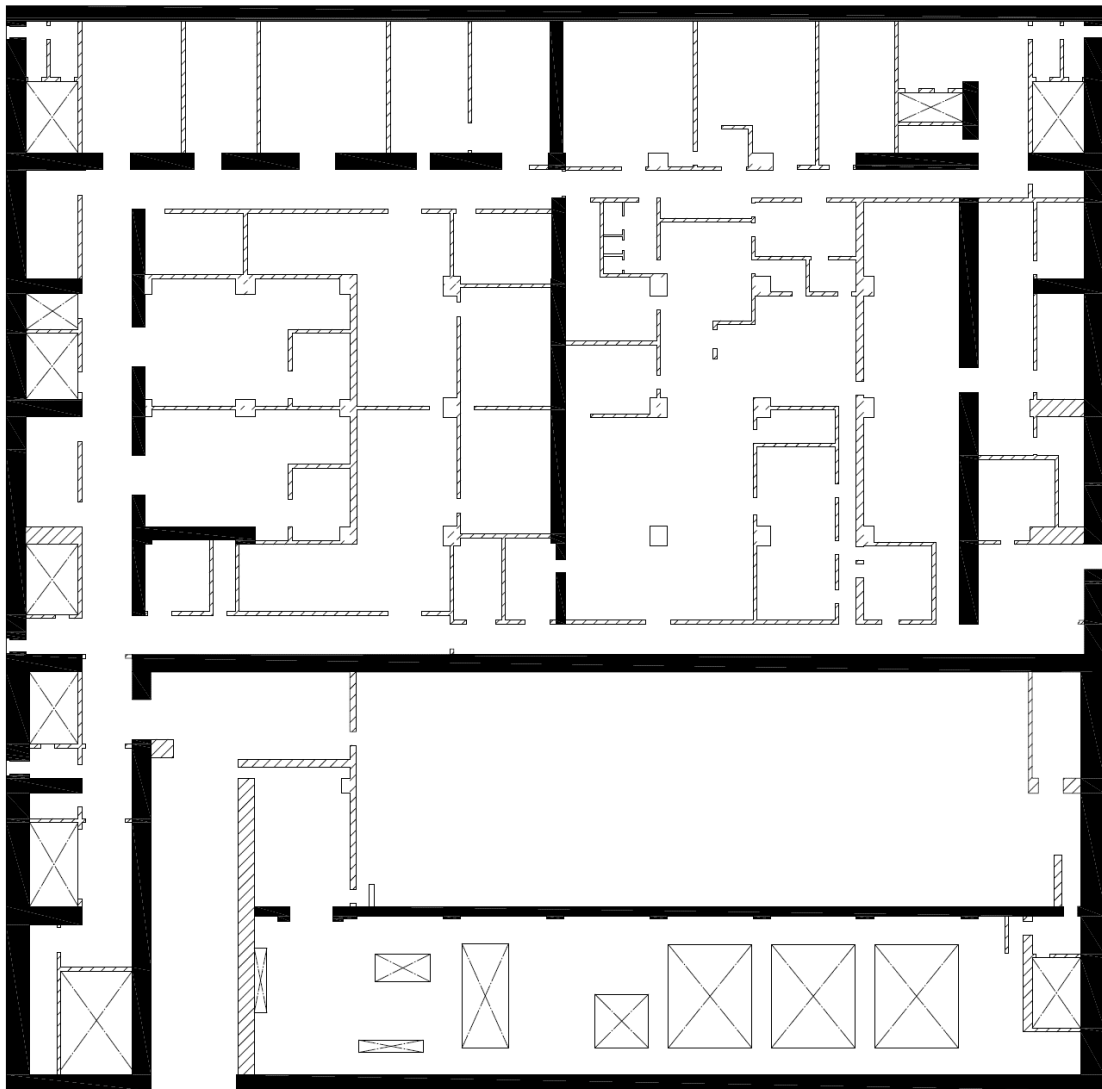


■ : 耐震壁

▨ : 補助壁

第 2.2-1 図 燃料加工建屋の建屋物性のばらつきとして考慮している  
補助壁 (3/6) (T. M. S. L. 56.80m~T. M. S. L. 50.30m)

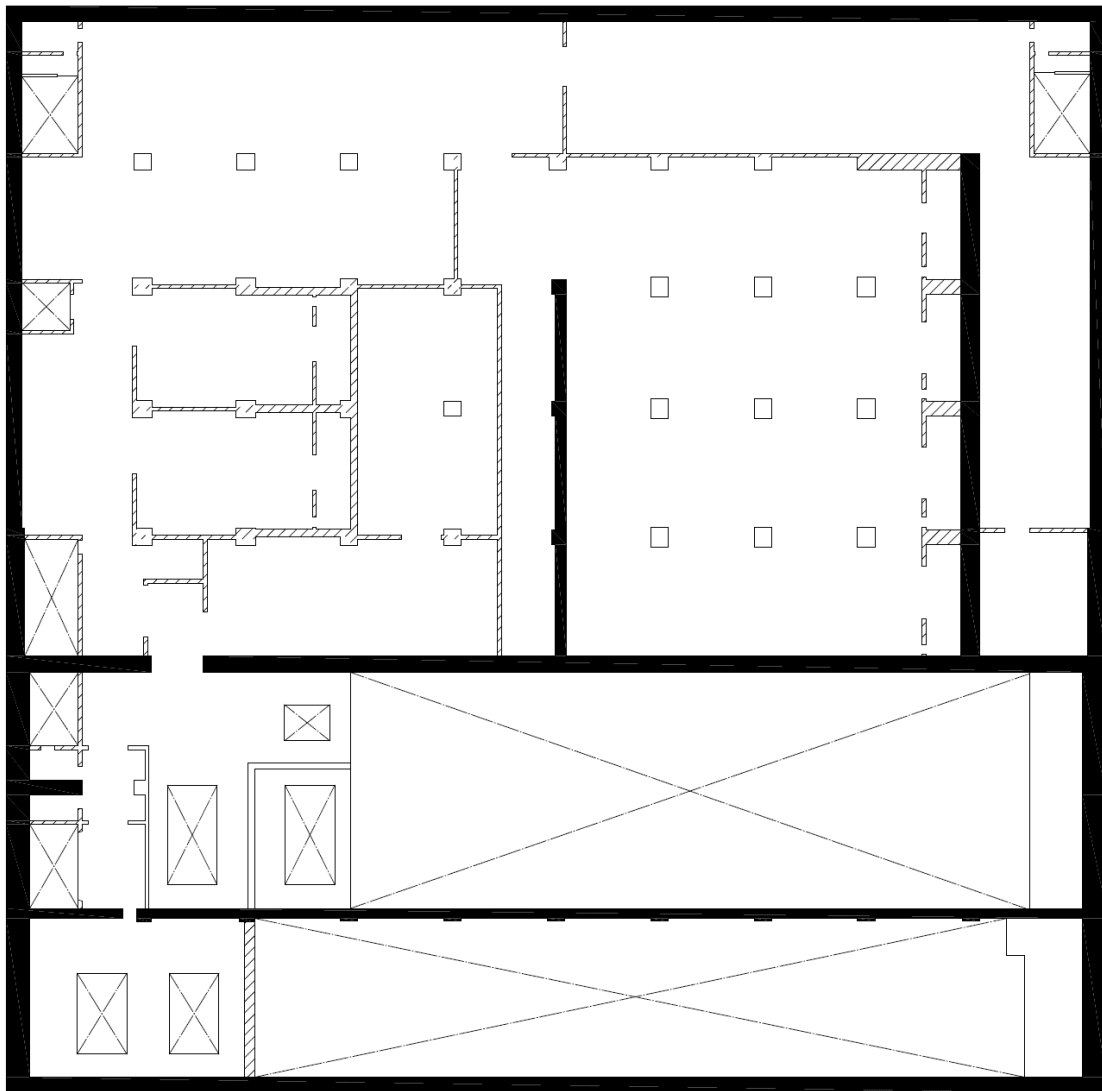




■ : 耐震壁

▨ : 補助壁

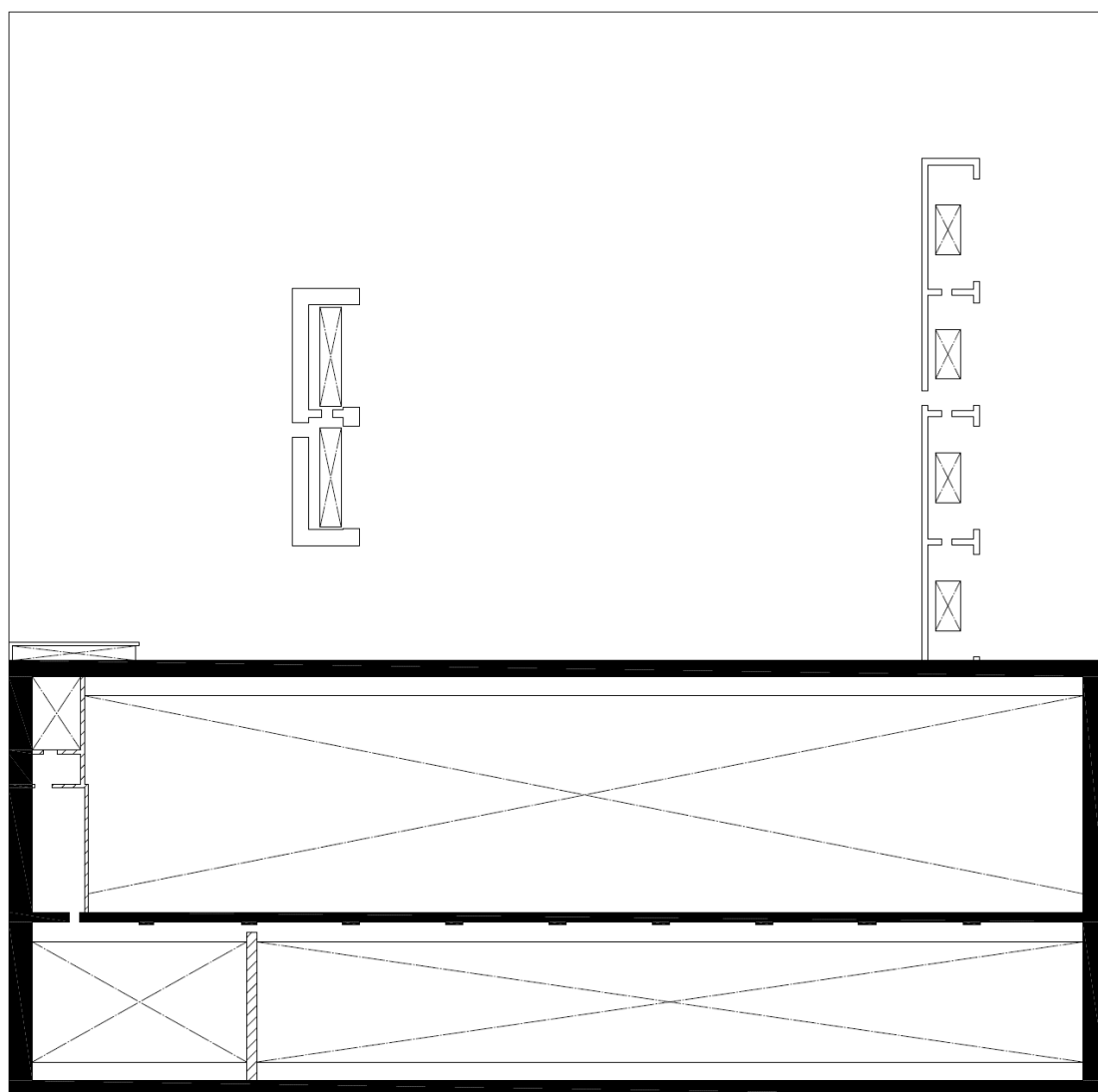
第 2.2-1 図 燃料加工建屋の建屋物性のばらつきとして考慮している  
補助壁 (4/6) (T. M. S. L. 62.80m~T. M. S. L. 56.80m)



■ : 耐震壁

▨ : 補助壁

第 2.2-1 図 燃料加工建屋の建屋物性のばらつきとして考慮している  
補助壁 (5/6) (T. M. S. L. 70.20m~T. M. S. L. 62.80m)



- : 耐震壁
- : 補助壁

第 2.2-1 図 燃料加工建屋の建屋物性のばらつきとして考慮している  
補助壁 (6/6) (T. M. S. L. 77. 50m~T. M. S. L. 70. 20m)

第 2.2-1 表 補助壁を考慮した場合のせん断断面積及び軸断面積 (1/3) (NS 方向)

要素番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	せん断断面積 $A_s$ (m <sup>2</sup> )			
		①設工認 (基本ケース)	②補助壁	①+②	比率
1	77.50～70.20	133.3	17.0	150.3	1.13
2	70.20～62.80	362.5	71.3	433.8	1.20
3	62.80～56.80	474.4	191.4	665.8	1.40
4	56.80～50.30	640.5	151.8	792.3	1.24
5	50.30～43.20	749.8	145.4	895.2	1.19
6	43.20～35.00	876.1	98.8	974.9	1.11
7	35.00～34.23	2956.9	0.0	2956.9	1.00
8	34.23～31.53	7708.6	0.0	7708.6	1.00
合計		13902.1	675.7	14577.8	1.05

第 2.2-1 表 補助壁を考慮した場合のせん断断面積及び軸断面積 (2/3) (EW 方向)

要素番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	せん断断面積 $A_s$ (m <sup>2</sup> )			
		①設工認 (基本ケース)	②補助壁	①+②	比率
1	77.50～70.20	300.1	3.0	303.1	1.01
2	70.20～62.80	415.6	81.4	497.0	1.20
3	62.80～56.80	522.9	151.4	674.3	1.29
4	56.80～50.30	633.2	151.1	784.3	1.24
5	50.30～43.20	791.3	131.6	922.9	1.17
6	43.20～35.00	975.9	61.2	1037.1	1.06
7	35.00～34.23	3852.8	0.0	3852.8	1.00
8	34.23～31.53	7708.6	0.0	7708.6	1.00
合計		15200.4	579.7	15780.1	1.04

第 2.2-1 表 補助壁を考慮した場合のせん断断面積及び軸断面積 (3/3) (鉛直方向)

要素番号	要素位置 T. M. S. L. (m)	軸断面積 A (m <sup>2</sup> )			
		①設工認 (基本ケース)	②補助壁	①+②	比率
1	77.50～70.20	420.5	17.6	438.1	1.04
2	70.20～62.80	760.0	131.6	891.6	1.17
3	62.80～56.80	957.1	293.9	1251.0	1.31
4	56.80～50.30	1208.1	258.4	1466.5	1.21
5	50.30～43.20	1468.1	230.1	1698.2	1.16
6	43.20～35.00	1718.0	126.7	1844.7	1.07
7	35.00～34.23	4064.6	0.0	4064.6	1.00
8	34.23～31.53	7708.6	0.0	7708.6	1.00
合計		18305.0	1058.3	19363.3	1.06

### 3. 地震応答解析による建屋物性のばらつきの影響検討

本章では、建屋物性のばらつきを考慮したモデルにより地震応答解析を実施し、建物・構築物の応答並びに耐震安全性に及ぼす影響について確認する。

評価ケースを第 3.-1 表に示す。なお、検討用地震動は、基準地震動  $S_s$  のうち、卓越周期に著しい偏りがなく、継続時間が長い  $S_s$ -A を用い、建屋物性のばらつきが建屋応答に与える影響についてその傾向を把握する。

第 3.-1 表 評価ケース

評価ケース	建屋物性	
	コンクリート強度	補助壁
基本ケース	設計基準強度	非考慮
建屋物性のばらつきを考慮したケース	実強度	考慮

### 3.1 固有値解析結果

建屋物性のばらつきを考慮した解析モデルを用い、固有値解析を実施し、基本ケースと建屋物性のばらつきを考慮したケースの比較を行う。固有値解析結果を第 3.1-1 表、刺激関数図を第 3.1-1 図～第 3.1-3 図に示す。

第 3.1-1 表 固有値解析結果

(単位 : Hz)

次数	NS 方向	
	基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
1	3.18	3.29
2	6.32	6.48
3	11.86	13.94
4	15.32	17.24

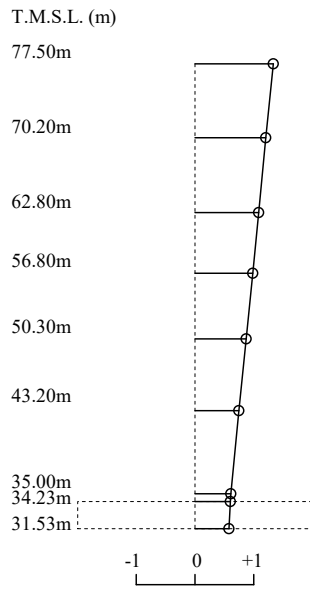
次数	EW 方向	
	基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
1	3.22	3.31
2	6.29	6.42
3	12.46	14.57
4	16.68	18.27

次数	UD 方向	
	基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
1	5.22	5.29
2	22.02	25.92



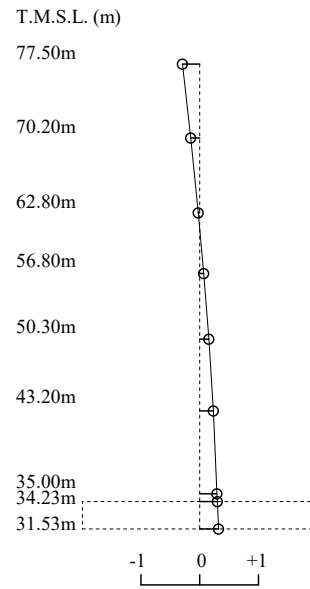
1 次モード

固有周期  $T_1=0.304$  (s)  
 固有振動数  $f_1=3.29$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_1=1.336$



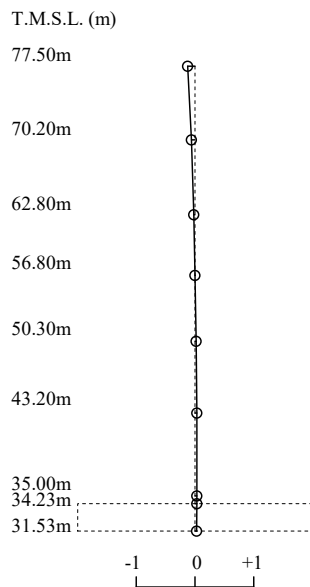
2 次モード

固有周期  $T_2=0.154$  (s)  
 固有振動数  $f_2=6.48$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_2=0.321$



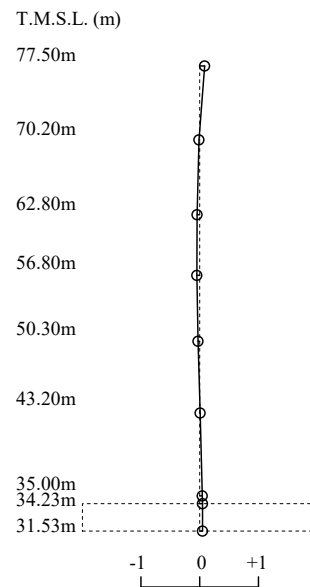
3 次モード

固有周期  $T_3=0.072$  (s)  
 固有振動数  $f_3=13.94$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_3=-0.124$



4 次モード

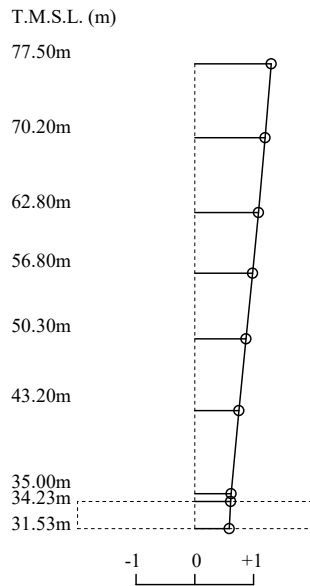
固有周期  $T_4=0.058$  (s)  
 固有振動数  $f_4=17.24$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_4=0.086$



第 3.1-1 図 建屋物性のばらつきを考慮したケースの刺激関数図 (NS 方向)

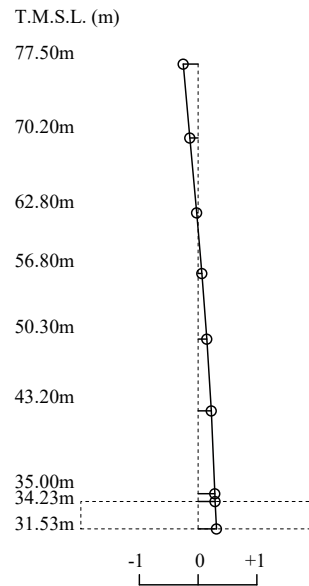
1 次モード

固有周期  $T_1=0.302$  (s)  
 固有振動数  $f_1=3.31$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_1=1.302$



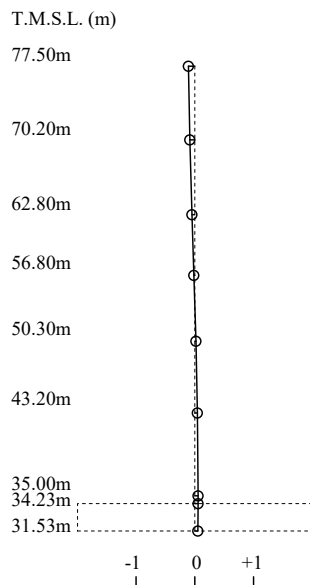
2 次モード

固有周期  $T_2=0.156$  (s)  
 固有振動数  $f_2=6.42$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_2=0.312$



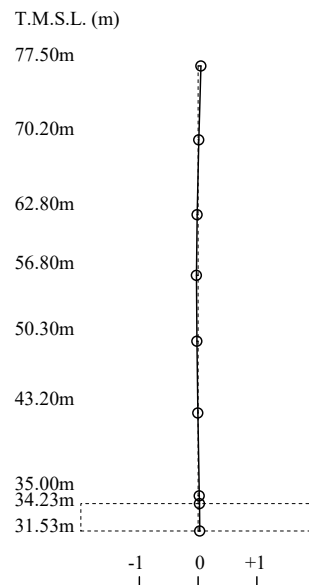
3 次モード

固有周期  $T_3=0.069$  (s)  
 固有振動数  $f_3=14.57$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_3=-0.107$



4 次モード

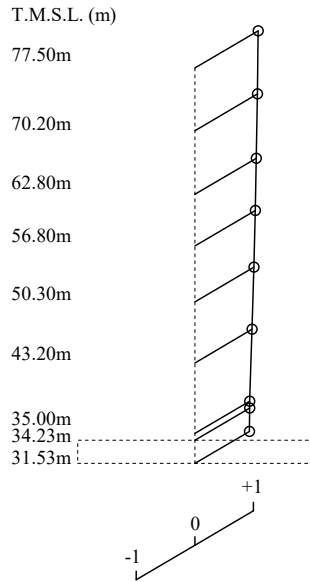
固有周期  $T_4=0.055$  (s)  
 固有振動数  $f_4=18.27$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_4=0.048$



第 3. 1-2 図 建屋物性のばらつきを考慮したケースの刺激関数図 (EW 方向)

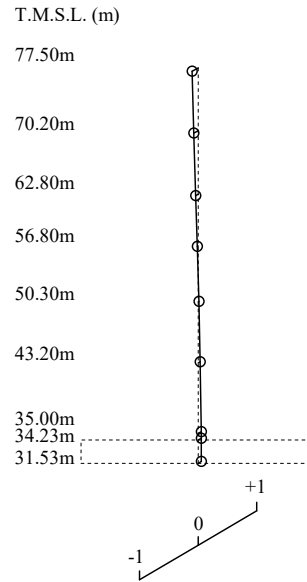
1 次モード

固有周期  $T_1=0.189$  (s)  
 固有振動数  $f_1=5.29$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_1=1.077$



2 次モード

固有周期  $T_2=0.039$  (s)  
 固有振動数  $f_2=25.92$  (Hz)  
 刺激係数  $\beta_2=-0.102$



第 3.1-3 図 建屋物性のばらつきを考慮したケースの刺激関数図 (鉛直方向)

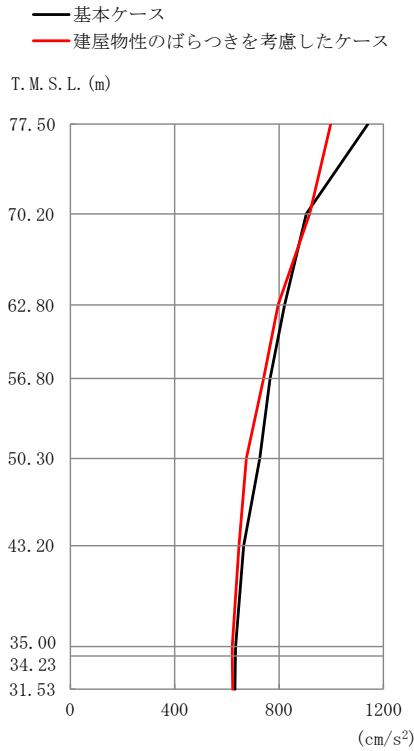
### 3.2 地震応答解析結果

最大応答値を第 3.2-1 図～第 3.2-11 図に、せん断力-せん断ひずみ度関係 ( $Q-\gamma$  関係) の比較を第 3.2-12 図～第 3.2-13 図に示す。

水平方向について、基本ケースと建屋物性のばらつきを考慮したケースでは、最大応答加速度、最大応答変位、最大応答せん断力、最大応答曲げモーメント及び最大せん断ひずみ度は、概ね同等または建屋物性のばらつきを考慮したケースで小さくなっていることを確認した。

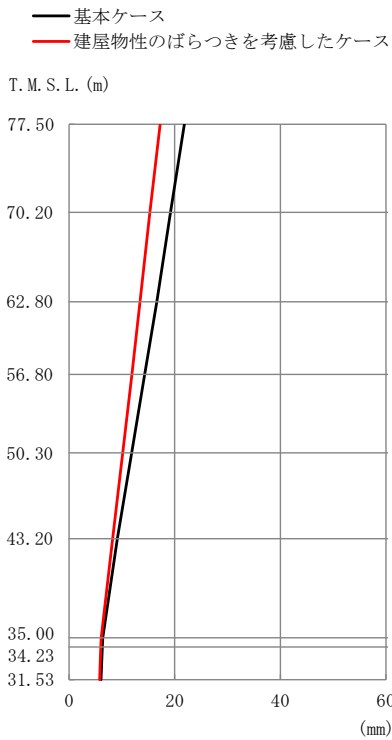
鉛直方向について、基本ケースと建屋物性のばらつきを考慮したケースでは、最大応答加速度、最大応答変位及び最大応答軸力は、概ね同等または建屋物性のばらつきを考慮したケースで小さくなっていることを確認した。

このことから、建屋物性のばらつきを考慮したケースに比べて、基本ケースは保守的な評価となることを確認した。



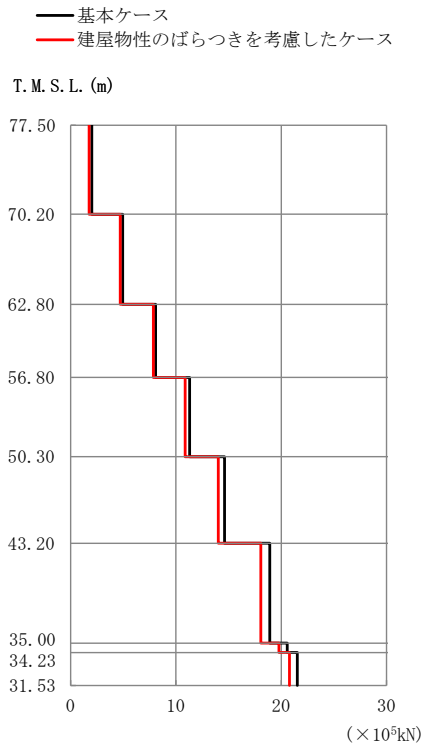
T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	
		基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
77.50	1	1140	998
70.20	2	904	918
62.80	3	822	796
56.80	4	766	741
50.30	5	726	674
43.20	6	664	646
35.00	7	633	621
34.23	8	632	621
31.53	9	631	622

第3.2-1図 最大応答加速度 (NS方向)



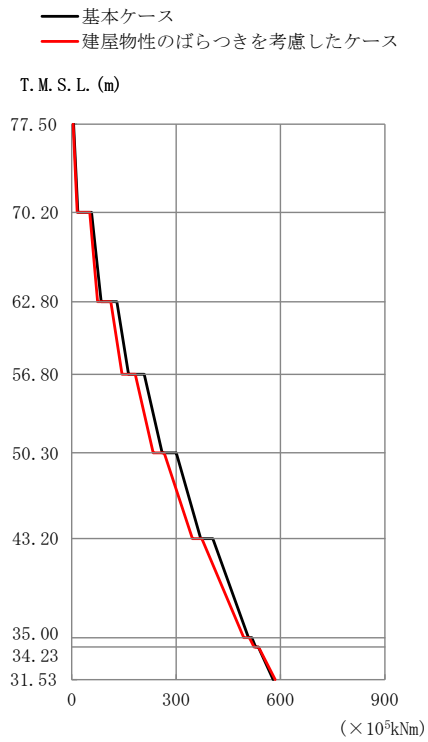
T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
		基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
77.50	1	21.8	17.3
70.20	2	19.2	15.3
62.80	3	16.6	13.4
56.80	4	14.3	11.9
50.30	5	11.9	10.2
43.20	6	9.16	8.27
35.00	7	6.40	6.10
34.23	8	6.30	6.02
31.53	9	6.04	5.78

第3.2-2図 最大応答変位 (NS方向)



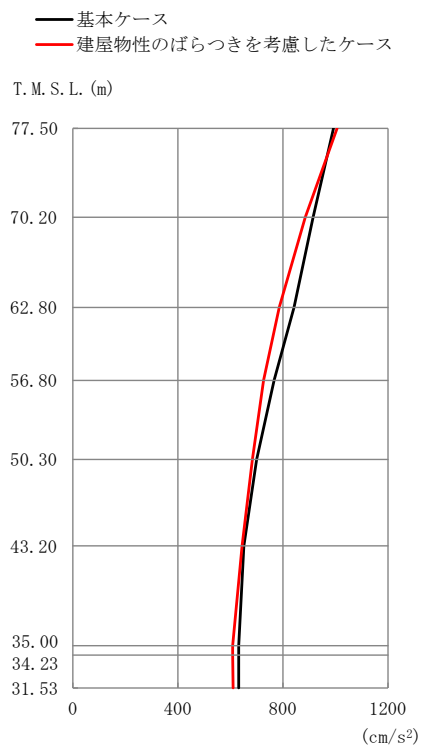
T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )	
		基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
77.50	1	2.02	1.77
70.20	2	4.95	4.72
62.80	3	8.08	7.85
56.80	4	11.31	10.87
50.30	5	14.62	14.02
43.20	6	18.91	18.06
35.00	7	20.57	19.78
34.23	8	21.52	20.79
31.53			

第3.2-3図 最大応答せん断力 (NS方向)



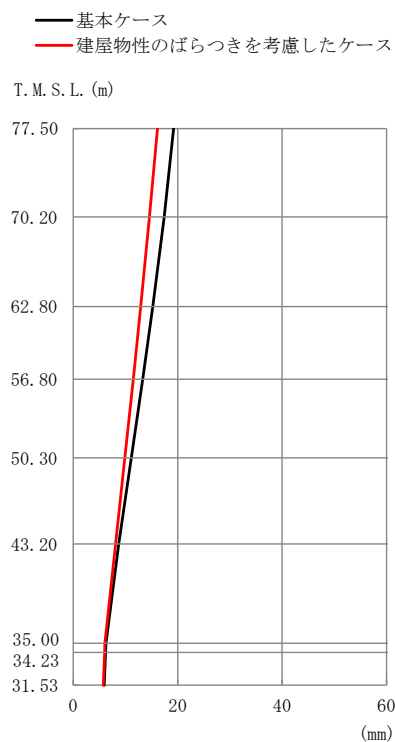
T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5 \text{kNm}$ )	
		基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
77.50	1	17.79	15.58
70.20	2	84.78	74.23
62.80	3	163.56	144.35
56.80	4	260.03	234.33
50.30	5	370.83	346.74
43.20	6	507.79	494.30
35.00	7	528.71	523.97
34.23	8	579.12	584.78
31.53			

第3.2-4図 最大応答曲げモーメント (NS方向)



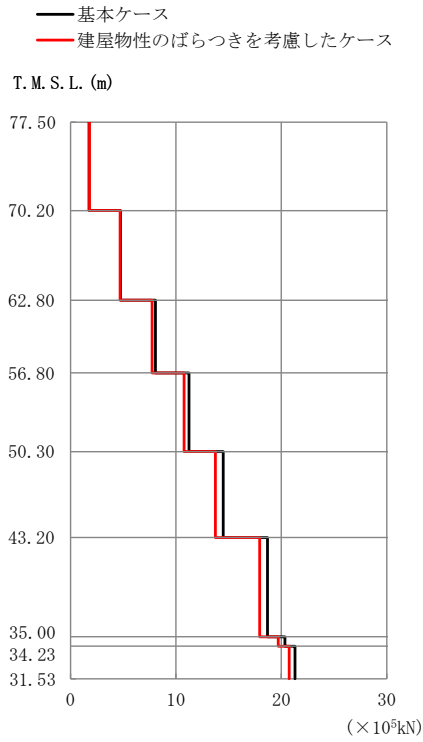
T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	
		基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
77.50	1	993	1007
70.20	2	915	885
62.80	3	843	786
56.80	4	767	727
50.30	5	700	684
43.20	6	651	645
35.00	7	632	609
34.23	8	632	609
31.53	9	632	610

第3.2-5図 最大応答加速度 (EW 方向)



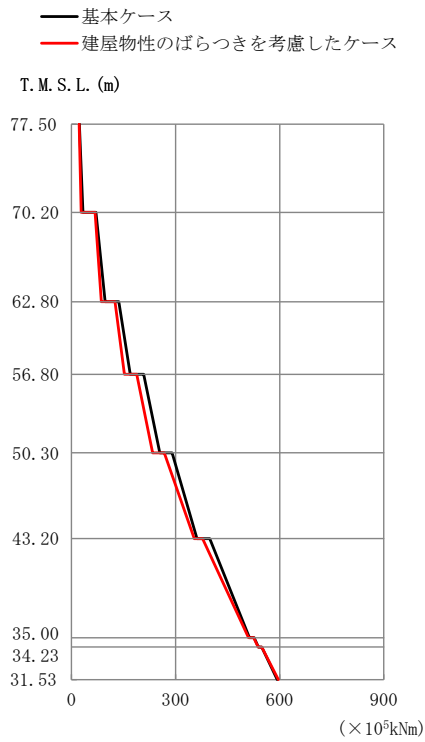
T. M. S. L. (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
		基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
77.50	1	19.2	16.2
70.20	2	17.4	14.6
62.80	3	15.2	12.9
56.80	4	13.3	11.5
50.30	5	11.1	9.89
43.20	6	8.73	8.10
35.00	7	6.26	6.08
34.23	8	6.18	6.00
31.53	9	5.92	5.77

第3.2-6図 最大応答変位 (EW 方向)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答せん断力 ( $\times 10^5 \text{kN}$ )	
		基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
77.50	1	1.76	1.79
70.20	2	4.73	4.70
62.80	3	8.05	7.74
56.80	4	11.23	10.76
50.30	5	14.49	13.74
43.20	6	18.68	17.93
35.00	7	20.34	19.70
34.23	8	21.30	20.75
31.53			

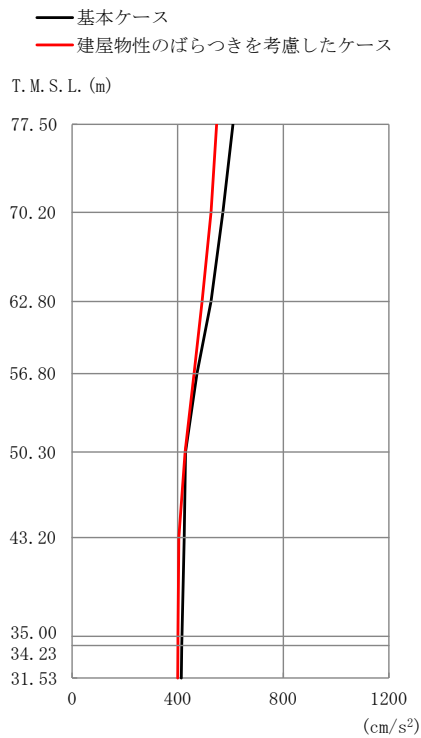
第3.2-7図 最大応答せん断力 (EW方向)



T. M. S. L. (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ( $\times 10^5 \text{kNm}$ )	
		基本ケース	建屋物性のばらつきを考慮したケース
77.50	1	32.82	27.97
70.20	2	96.95	86.04
62.80	3	169.02	152.72
56.80	4	254.17	233.59
50.30	5	361.47	353.73
43.20	6	512.56	509.91
35.00	7	538.63	537.87
34.23	8	592.99	595.95
31.53			

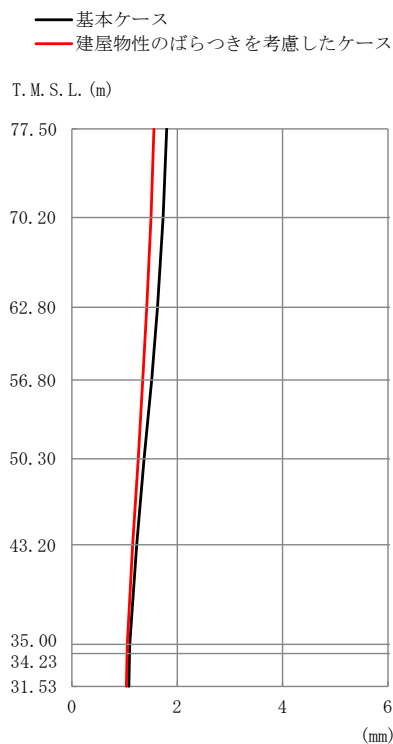
第3.2-8図 最大応答曲げモーメント (EW方向)





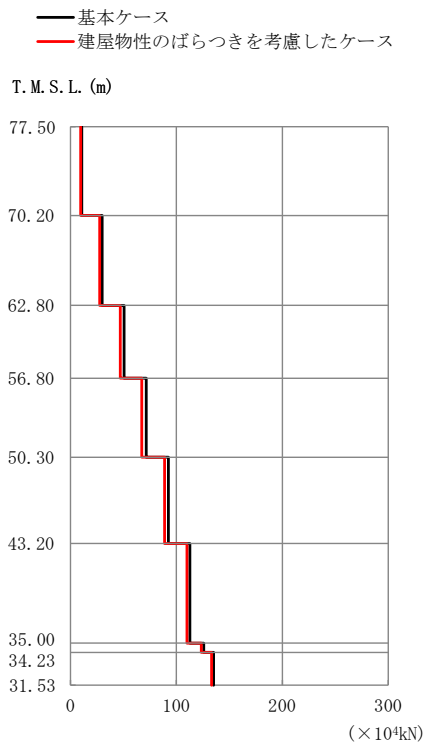
T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース
77.50	1	609	547
70.20	2	571	526
62.80	3	526	493
56.80	4	473	462
50.30	5	430	428
43.20	6	425	404
35.00	7	417	401
34.23	8	416	401
31.53	9	414	400

第 3.2-9 図 最大応答加速度 (鉛直方向)



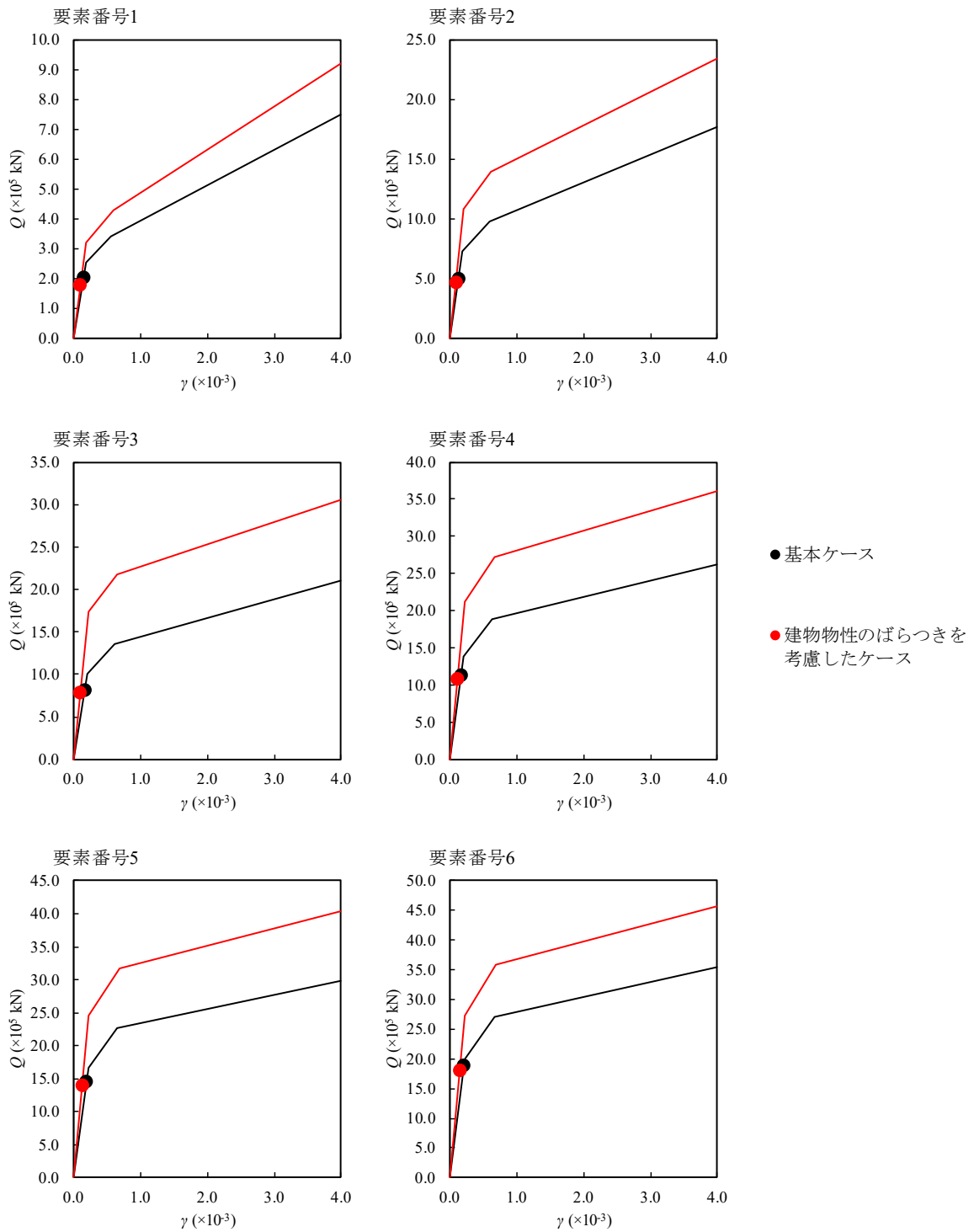
T. M. S. L. (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース
77.50	1	1.80	1.56
70.20	2	1.73	1.50
62.80	3	1.63	1.42
56.80	4	1.51	1.35
50.30	5	1.37	1.26
43.20	6	1.23	1.15
35.00	7	1.10	1.05
34.23	8	1.09	1.05
31.53	9	1.08	1.04

第 3.2-10 図 最大応答変位 (鉛直方向)

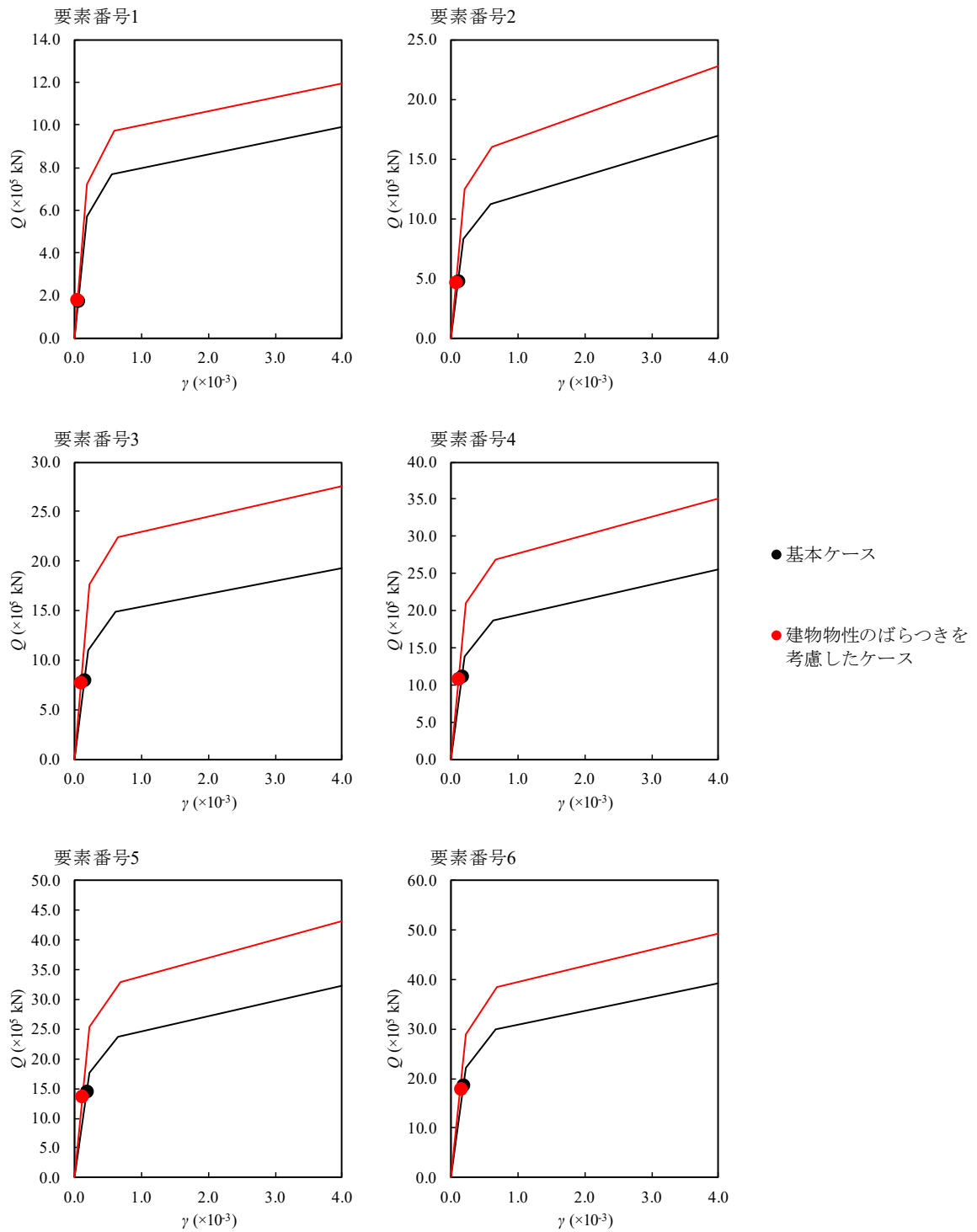


T. M. S. L. (m)	要素 番号	最大応答軸力 ( $\times 10^4 \text{kN}$ )	
		基本ケース	建屋物性の ばらつきを考慮 したケース
77.50	1	10.82	9.78
70.20	2	30.04	27.56
62.80	3	50.75	47.02
56.80	4	71.51	67.31
50.30	5	92.53	88.80
43.20	6	112.80	109.92
35.00	7	125.90	123.55
34.23	8	135.25	133.27
31.53			

第3.2-11図 最大応答軸力 (鉛直方向)



第 3.2-12 図 Q- $\gamma$  関係と最大応答値 (Ss-A, NS 方向)



第 3.2-13 図 Q- $\gamma$  関係と最大応答値 (Ss-A, EW 方向)